NTT

取扱説明書

NTTFAX P-267PDw/ P-267PD

ナンバー・ディスプレイ対応
ネーム・ディスプレイ / キャッチホン・ディスプレイ対応

0036 自動ダイヤル
お手軽、かんたん、ラクラクコール

自動で！ サンキューダイヤル 0039



技術基準適合認証品

NTT 東日本エリア	NTT 西日本エリア
北海道、東北、関東、甲信越地区	東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区

このたびは NTTFAX　P-267PDw/ P-267PD をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書は、P-267PDw(子機２台付き)と P-267PD（子機 1 台付き）の２機種共用です。機種によって使える機能や操作が一部異なります。ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマークの説明

⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項や、知っておくと便利な内容を示しています。

ご使用にあたって

- 本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。本商品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
  取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
  This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品は、お買い求めの時には国内の相手の方と通信することを前提とした設定になっています。海外との通信を主に行われる方は、重要な通信を行う前に相手の方と正常に通信できるか確認してください。正常に通信できないときは、本商品の設定を変更することにより、通信できるようになる場合もありますので、当社のサービス取扱所へご相談ください。
- 本商品と電話網の間にアダプターなどが接続された場合、アダプターなどが電話網の仕様と完全には一致しないため、本商品が正常に動作しないことがあります。
- 電話交換局から遠距離の場合にはお使いになれないことがありますので、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。
- 商品の外観および機能などの仕様は、お客様にお知らせすることなく変更される場合があります。
- 本商品をご使用にあたって、当社のレンタル電話機がご不要となった場合は、局番なしの 116 番または当社のサービス取扱所にご連絡いただければ、ご連絡をいただいた日をもって「機器使用料」は不要となります。
- 本商品は、お客様固有の情報を保存または保持可能な商品です。本商品内に保存または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に保存または保持された情報を取扱説明書の消去方法(☞ 12 ページ)にしたがって消去願います。
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信、録音などの機会を逸したために生じた損害、または本商品に登録された情報内容の消失などにより生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いします。
- 使用済の電池パックなどは貴重な資源です。使用後は端子が接触しないように、端子にテープを貼るなどの処置をしてから当社のサービス取扱所などへお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。リサイクルの推進にご協力をお願いします。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申し付けください。

商標・登録商標について

- SD ロゴは商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Quick Time は、米国および他の国々で登録された Apple Computer. Inc. の商標です。
- Bluetooth は Bluetooth SIG, Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
  その他、本書に記載の会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。

本書中の記載について

- 本書では、「主電話機」を「親機」、「コードレス電話機」を「子機」、「ハンドセット」を「受話器」と表記しています。

その他

- 本商品のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。

電池パックのお取り扱いについて

⚠ 危険

- **電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。**
- **電池パックの充電は、本商品に装着し専用の充電器を使用して行ってください。その他の充電条件で充電すると、電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災･感電・やけど・けがの原因となることがあります。**
- **電池パックは、プラス・マイナスの向きが決められています。子機に装着するときは、端子の向きを確かめて入れてください。まちがった入れかたをすると、電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。**
- **電池パックは、本商品に付属の子機専用です。付属の子機以外の機器で使用すると、電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。**
- **電池パックを分解、改造しないでください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。**
- **電池パックを使用する場合は、以下のことを必ず守ってください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。**
  - 火の中に投入したり、加熱しない。
  - 直接はんだ付けしない。
  - プラス・マイナスを針金などの金属類で接触しない。
  - 外装チューブ(被覆)をはがしたり、傷つけない。
  - 水や海水につけたり、ぬらさない。

⚠ 警告

- **電池パックは 2 年程度で交換してください。長期間電池パックを装着したままでご使用になると、液もれによるトラブルが発生する場合があります。**
- **電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、直ちにきれいな水で洗い流してください。**
- **ぬれた手で電池パックを交換しないでください。感電の原因となることがあります。**

⚠ 注意

- **電池パックは、直射日光の強いところや高温多湿の場所での使用、保管は避けてください。電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。**
- **電池パックの充電温度範囲は 5 ℃～ 35 ℃です。この温度範囲以外で充電すると、液もれや発熱したり、電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。**
- **電池パックに強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。電池パックの液がもれたり、発熱・破裂させる原因となることがあります。**

安全にお使いいただくために必ずお読みください

本商品の設置場所について

⚠ 警告

●本商品や電源プラグ、電話機コード、電話用コンセントのそばに、水や液体の入った花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品や電源プラグ、電話機コードのモジュラープラグ、電話用コンセントに水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。



●本商品や電源プラグ、電話機コードを次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

- 屋外、直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーの近くなどの温度が上がる場所
- 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所
- 湿気の多い場所や水･油･薬品などのかかるおそれがある場所
- ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所
- 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所

⚠ 注意

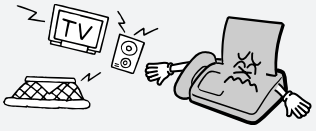
●本商品をぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



お願い

●本商品を電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください(電子レンジ、スピーカー、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバーターエアコン、電磁調理器など)。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、本商品の設置場所を移動してみてください。妨害電波が強すぎるときは、子機が使用できないことがあります。



●硫化水素が発生する場所(温泉地)や、塩分の多いところ(海岸)などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。

●金属製家具などの近くへの設置は避けてください。親機と子機間の電波が飛びにくくなります。

●周囲の環境(壁、家具など)によっては使用範囲が狭くなります。

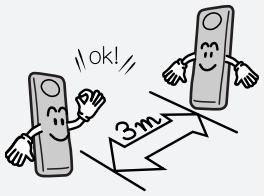
- 親機と子機間で内線通話をして、電波の強さを確認して通話できる範囲を確かめてください。

本商品の設置場所について

お願い

●本商品を設置するときは、以下の点に留意してください。

- 親機と子機間、子機と別の子機間は約 3 m 以上離してご使用ください。
- 同じ電話回線に他のコードレスホン、またはコードレス電話機付ファクスなどを接続すると、電波が相互に干渉しあって正常に動作しないことがあります。
- 隣接する電話回線 2 本以上に、それぞれコードレスホンまたはコードレス電話機付ファクスを 1 セットずつ接続して使用する場合は、距離を十分に取って使用できる位置を確認してからお使いください。



●親機のアンテナは床面に対して垂直に立ててお使いください。

- アンテナの状態が悪いと、電波が飛びにくくなり、子機使用中に、雑音が入る場合があります。
- 親機と子機間で内線通話をして雑音の入らない場所かどうかを確かめてから親機を設置してください。

●子機を汚れやすいところに置かないでください。故障の原因となることがあります。

●本商品の隙間から虫(ゴキブリなど)が入ると、故障の原因となることがあります。

- 厨房や台所などに設置するときは、虫が入らないようにご注意願います。

●本商品を、次のようなところに設置しないでください。

- 記録紙トレーや記録紙スタンドが壁にあたる場所(紙詰まりの原因となります。)
- ピアノなどの上(傷や、熱によるひび割れ、変色の原因となります。)
- じゅうたんや布団、カーペット、ソファーなどの上(通風孔をふさぎ、発熱などでじゅうたんや布団、カーペット、ソファーなどが変色したり火災の原因となります。)
- 原稿排出口に光が直接あたる場所(コピーや送信ファクスの画質劣化の原因となります。)
- 温度変化が激しい場所(結露による誤動作の原因となります。)

安全にお使いいただくために必ずお読みください

本商品のお取り扱いについて

⚠ 警告

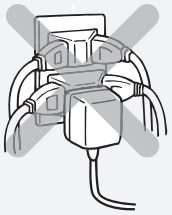
●電源は、AC 100 V の商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。



●電源プラグは電源コンセントの奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因となることがあります。

●充電器は必ず付属のものを使用し、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。



●電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。また、半年から 1 年に 1 回は、電源プラグを電源コンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。

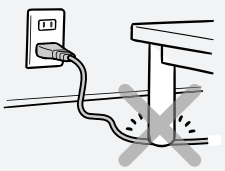
●万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。電源プラグや電話機コードをそれぞれ電源コンセントや電話用コンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

●万一、本商品を落としたり、キャビネットを破損した場合、または、本商品内部や電源プラグ、電話機コードのモジュラープラグ、電話用コンセントに異物や水などが入った場合は、電源プラグや電話機コードをそれぞれ電源コンセントや電話用コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。また、電話機コードのモジュラープラグがぬれた場合は、乾いても、その電話機コードを使わないでください。

●本商品を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください(分解、改造された商品は修理に応じられない場合があります)。



●電源コードおよび電話機コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりするとコードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。コードが傷んだら当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。



本商品のお取り扱いについて

⚠ 警告

- ●電源コードおよび電話機コードが傷んだ状態(芯線の露出、断線など)のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源プラグ、電話機コードのモジュラープラグを抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- ●本商品や電源プラグ、電話機コード、電話用コンセントに水をかけたり、ぬれた手で本商品の操作や電源プラグおよび電話機コードの抜き差しをしないでください。火災・感電の原因となることがあります。



- ●本商品をお手入れするときは、電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。火災・感電の原因となることがあります。
- ●本商品のそばで可燃性スプレーを使用しないでください。スプレーのガスが本商品内部の電磁部品などに付着すると、火災・感電の原因となることがあります。
- ●本商品のお手入れには、アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が本商品内部の電磁部品に付着したり、揮発性ガスが本商品内部に充満すると、火災・感電の原因となることがあります。
- ●本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品の電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- ●子機をねじったり、重い物をのせたり、強く押しつけたりして、圧迫しないでください。破損して、火災・やけど・けがの原因となることがあります。



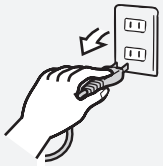
- ●子機は、航空機内や病院内などの使用を禁止された区域では、電源を切る(電池パックを外す)か持ち込まないでください。電子機器や医療機器に影響を与え事故の原因となることがあります。
- ●本商品は高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカーなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。
  電子機器や心臓ペースメーカーなどが誤動作するなどの原因となることがあります。
  また、医療機器の近くや病院内など使用を制限された場所では使用をしないでください。
- ●本商品を移動するときは、電源プラグや電話機コードを抜いたことを確認してから行ってください。電源プラグや電話機コードが電源コンセント、電話用コンセントに差し込まれたまま移動すると、電源コードなどが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

本商品のお取り扱いについて

⚠ 警告

●電源プラグを電源コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。



●本商品や電源コード、電話機コードを熱器具に近づけないでください。キャビネットやコードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

●近くに雷が発生したときは、電源プラグ、電話機コードを電源コンセント、電話用コンセントから抜いてご使用を控えてください。雷による、火災・感電の原因となることがあります。



●本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

●SD メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かないでください。誤って、飲み込む恐れがあります。

⚠ 注意

●本商品を長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品の電源プラグを電源コンセントから抜いてください。また、電池パックを使用しているときは、電池パックを取り出してください。

●本商品に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、こわしたりしてけがの原因となることがあります。

●本商品の底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

●インクフィルムの交換や紙づまりなどで開閉部などを開けるときには、突起物に手を引っかけたり、開閉部で手を挟むなど、けがの原因となることがあります。ご注意ください。

●記録紙をセットするときや紙づまりの処理をするときは、紙の端で手を切ったりしないようにご注意ください。

●給紙ローラーや記録紙ローラーのお手入れには、中性洗剤を使用しないでください。ローラー類を傷める原因となることがあります。

●充電器に磁気に弱いもの(キャッシュカード、通帳など)を近づけないでください。充電器からの磁力線により、磁気に弱いものは使えなくなることがあります。

●充電器にコインや指輪などの金属類を置かないでください。金属が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

本商品のお取り扱いについて

お願い

●本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。



●本商品をぬれた雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。ただし、電話機コードのモジュラープラグ部分は、よくしぼった場合でも、中性洗剤をつけた布では絶対にふかないでください。

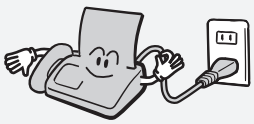


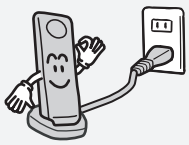
●ナンバー・ディスプレイ、ネーム・ディスプレイ、キャッチホン・ディスプレイのご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。

●親機および充電器の電源プラグを抜いたままにしないでください。

親機
- 親機および子機ともに使えません。

充電器
- 子機が充電できません。
- 子機のクイック通話が設定されている場合、充電中に充電器の電源プラグが外れると子機はお話し中の状態となります。





●子機は、防水が施されていません。次のような使用はしないでください。
- ぬらさないでください。
- 浴室で使用したり、水の中に浸けたりしないでください。
- 水滴が付いた場合は、なるべく早く乾いた布などでふき取ってください。
- 受話口や送話口の穴などに水滴がついたときは、水滴を取り除いてからお使いください。
- 子機に水滴が付いたまま、充電器に戻さないでください。
- ぬれたまま、0 ℃以下になる場所に放置しないでください。



●本商品は、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、子機を使っての通話は、電波を利用している関係上、第三者が故意または偶然に通話を受信することも考えられます。重要な通話の際には、親機のご利用をおすすめします。

●補聴器の種類によっては子機で通話中に雑音が入る場合があります。雑音が入る場合は、親機をお使いください。

●通信やコピーなどの動作中に電源プラグを抜いたり、本商品の開閉部を開けたりしないでください。故障の原因となることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

本商品のお取り扱いについて

お願い

●記録紙およびインクフィルムは当社指定品をご使用ください。指定品以外の記録紙やインクフィルムをお使いになった場合のトラブルにつきましては、当社では保証いたしかねますのでご了承ください。指定品につきましては、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。

●しわ、折れ、破れのある紙、湿っている紙、一度記録した紙の裏面などは使用しないでください。紙づまりの原因となることがあります。

●残った記録紙は包装紙に包み、湿気が少なく直射日光の当たらないところに保管してください。

●紙づまりのとき、記録紙は破れないように慎重に取り除いてください。取り除く途中で記録紙が破れたときは、紙片を本商品の中に残さずにすべて取り除いてください。

●ファクスやコピーの記録紙は、プリント中に追加しないでください。また、厚さの異なる記録紙を一緒にセットしないでください。

●ハンズフリー（スピーカーホン）でお話しのとき、以下の点に注意してください。

- 送話口の前には、ものなどを置かないでください。また、送話口との距離は 50 cm 以内を目安としてお話しください。
- 送話口を手で覆わないでください。「ピー」と鳴ることがあります。
- 以下のような場合、スピーカーからの音が途切れることがあります。
  - 外の相手の方のお話しが終わらないうちに、こちらから話しかけたとき
  - 外の相手の方と同時に話し始めたとき
  - 周囲の騒音が大きい場所に置いたとき

●子機をお使いのとき、以下の点に注意してください。

- 子機どうしの内線通話のあとは、他の子機が使用できるまでに、しばらく時間がかかることがあります。
- 外線通話、内線通話のあと、すぐに次の操作を行っても、受け付けないことがあります。

お知らせ

●停電のときは、親機・子機ともに使用できません。

●トラックや車、オートバイ、電車が近くを通ったとき、雑音が入ったりする場合があります。

●ナンバー・ディスプレイを利用して着信拒否を設定している場合は、緊急の用件でも拒否した電話からの着信は着信音が鳴りませんのでご注意ください。

●おやすみモードを設定している場合は、緊急の用件でも着信音は鳴りませんのでご注意ください。緊急の用件が想定される相手の場合は、おやすみ特定着信（☞ 113ページ）をご利用ください。

●当社指定の 2.4 G デジタルコードレス電話機（子機）以外の電話機や PHS は接続できません。

電波の干渉について

● 本商品は、2.4 GHz（ギガヘルツ）の周波数帯の電波を利用しています。この周波数帯の電波はいろいろな機器が使用していますので、電波の干渉により、本商品や他の機器の動作や性能に悪影響を及ぼすことがあります。本商品は電波干渉の影響を受けにくい方式ですが、下記の内容に注意してください。

- 電子レンジなどを使用中に、近くで本商品の子機を使用すると、電話の声が途切れたり、使えなくなることがあります。
- 親機は電子レンジなどから離して設置し（めやす：約 3 m 以上）、子機も電子レンジなどの近くで使わないでください。
- 無線 LAN 機器（ルーター、AV 機器、防犯機器など）を使用している環境で本商品の子機を使うと、電話の声が途切れたり、無線 LAN 機器の動作に大きな影響を与えることがあります。
- 親機や子機を、無線 LAN 機器からなるべく離してご使用ください。

● その他、下記のような機器でも、2.4 GHz の周波数帯の電波を使用しているものがあります。これらの機器の周辺では、電話の声が途切れたり、使えなくなることがあります。
また、相手の機器の動作に影響を与えることがあります。
（ワイヤレス AV 機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）、ゲーム機のワイヤレスコントローラー、万引き防止システム（書店や CD ショップなど）、アマチュア無線局、工場や倉庫などの物流管理システム、鉄道車両や緊急車両の識別システム、マイクロ波治療器、その他 Bluetooth® 対応機器や VICS（道路交通情報通信システム）など）

- 設置場所や使用場所を離してください。

● 本商品は、2.4 ～ 2.4835 GHz の全帯域を使用する無線設備です。
移動体識別装置の帯域が回避不可能で、変調方式は「FH-SS 方式」、与干渉距離は 80 m です。本商品には、それを示す右のようなマークが貼付されています。



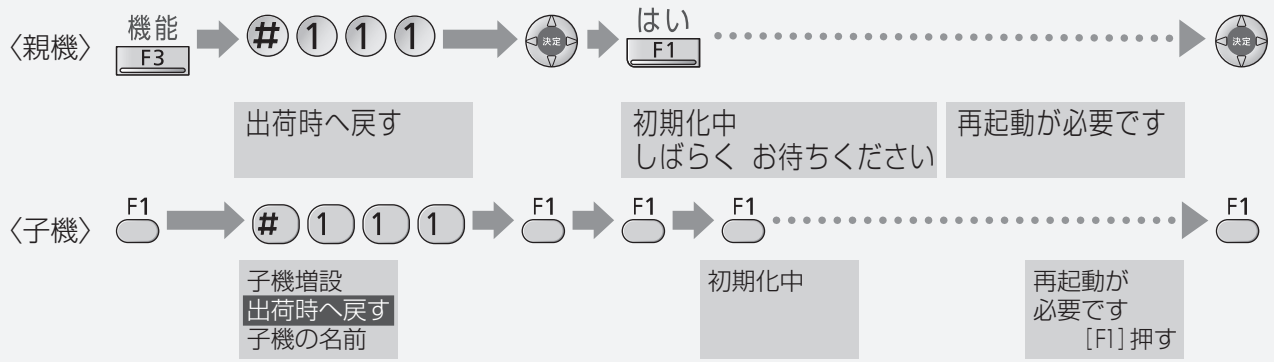
● 本商品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、およびアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 本商品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局や特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本商品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、本商品の電源プラグを抜いて、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- その他、本商品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

廃棄（または譲渡、返却）される場合のご注意

● 本商品は、お客様固有の情報を保存または保持可能な商品です。本商品内に保存または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品に保存または保持された情報を下記の操作にしたがって消去願います。
・ 初期化するときは、親機から電話機コードを外してください。



● 上記操作を行っても、SD メモリーカード内のデータは消去されません。お客様の大切な情報の流出による不測の損害を回避するため、SD メモリーカードは必ず取り出してください。
● 使用済みのインクフィルムには、プリントされた内容が白抜きで残っています。
137 ページの「■ 使用済みのインクフィルム（芯を含む）を捨てるとき」に従って処分してください。

お知らせ

● 電話機コードを接続したまま親機の初期化を行うと、続いて「回線種別」が自動設定され、お買い求め時の設定「自動」に戻らないことがあります。（☞ 118 ページ）

SD メモリーカードを廃棄・譲渡するとき

本商品やパソコンの機能による「フォーマット」や「消去・削除」では、多くの場合、SD メモリーカード内のデータは完全には消去されません。
譲渡の際は、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使って SD メモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。
また廃棄の際は、SD メモリーカードを物理的に破壊するか、SD メモリーカード内のデータを完全に消去して、それぞれの地域ルールにしたがって、分別廃棄をお願いします。

目次

なまえや機能の名称からページを探すときは「索引」が便利です。（☞ 160、161 ページ）

確認と準備

安全にお使いいただくために必ずお読みください 2
電波の干渉について 11
廃棄（または譲渡、返却）される場合のご注意 12
SD メモリーカードを廃棄、譲渡するとき 12
特長 15
本体と付属品の確認 16
各部のなまえとはたらき（親機） 17
各部のなまえとはたらき（子機） 20
各部のなまえとはたらき（液晶ディスプレイ） 22
インクフィルムを取り付ける 24
記録紙をセットする 26
親機を接続する 28
オープニングツアーについて 29
子機を準備する 31
回線の設定 32
電話回線の種別を設定する 32
日付・時刻の設定 33
日付や時刻を設定するとき 33
名前や電話番号の登録 34
あなたの名前と電話番号を登録したいとき 34
子機に名前をつけたいとき 35
操作案内／読み上げダイヤル 36
操作案内について 36
読み上げダイヤルについて 36
固定電話から携帯電話への通話サービスを利用する 37
携帯電話への通話サービスとは 37
携帯通話設定を設定すると 37
携帯電話へのダイヤル方法について 38
携帯通話設定について 39
携帯通話設定に必要な情報と設定画面 39
携帯通話設定時のご注意 39
携帯通話設定を利用する 40
携帯番号帯設定を行う 42

電話

電話をかける 44
親機で／子機で
再ダイヤル／かんたん再ダイヤル／電話帳で／
短縮ダイヤルで／受話器や子機を取らずにかける
電話を受ける 46
親機で／子機で
通話中の機能 47
受話音の大きさ／ボイスセレクト／
ボイスチェンジ／ファニーボイス／保留／
ファクス受信／通話録音／キャッチホン
迷惑な電話をお断りする（通話拒否） 50
相手の声を確認して電話に出る（あんしん応答） 52
親機と子機・子機どうしで話す（内線通話） 54
親機から子機へ／子機から親機へ／
子機から別の子機へ
電話を取りつぐ（転送する）／３者通話にする 56
親機から子機へ／子機から親機へ／
子機から別の子機へ

電話帳

電話帳に登録する（親機） 58
電話帳に登録する（子機） 60
電話帳を転送する 62
親機の電話帳を子機へ／
子機の電話帳を親機または別の子機へ
短縮ダイヤルに登録する 64

ファクス

ファクスを送る 66
再ダイヤル／電話帳で／短縮ダイヤルで／
相手と話してから／海外へ送る
見てから印刷（メモリー受信）に設定する／解除する 68
ファクスを電話に出て受ける 69
親機で／子機で
ファクスを自動で受ける 70
在宅時／留守時／ファクス専用
在宅時、呼出音を鳴らさずに自動で受ける（無鳴動受信） 71
メモリー受信したファクスを表示・プリント消去する（見てから印刷） 72
ファクスを表示・プリント・消去する 72
ファクス表示中にできること 72
ファクスのプリントについて 74
ファクスの便利な機能 75
娯楽情報などをファクスで受けたいとき 75
F ネット（ファクシミリ通信網サービス） 75

コピー

コピーする 76
ファクス・コピーの原稿・記録紙について 77
原稿について 77
記録紙について 77

留守番電話

留守番電話を使う 78
親機で／子機で
留守セットして、電話やファクスを受ける 80
応答メッセージを変える 81
自分の声で応答メッセージを作る 81
外出先から留守番電話を聞く 82
外出先から聞くための準備 82
外出先での操作 82
携帯電話などに転送するための設定（用件転送） 83

目次

SD メモリーカード

SD メモリーカードについて 84
SD メモリーカードをお使いになる前に 84
本商品で SD メモリーカードに保存できるもの 84
SD メモリーカード容量について 85
パソコンなどで使う 86
フォルダ構造とファイル形式について 87
入れる／取り出す 88
用件を保存・再生する 90
ファクスを保存・表示・プリントする 92
原稿を読み取って保存する 94
電話帳を保存する／読み込み 96
フォーマット・整理する 98
SD メモリーカードをフォーマットする 98
SD メモリーカードのデータを整理する 98

電話サービス

ナンバー・ディスプレイ 99
こんなことができます 99
ナンバー・ディスプレイを利用するには 99
契約について 100
電話がかかってくると（ナンバー・ディスプレイ、ネーム・ディスプレイ） 100
電話がかかってくると（キャッチホン・ディスプレイ） 101
着信メモリー（履歴）を見る・使う 102
相手によって受けかたを変える 103
未登録番号着信拒否／迷惑電話着信拒否／非通知着信拒否／公衆電話着信拒否／表示圏外着信拒否
相手によって呼出音を変える〈着信鳴り分け〉 106
非通知・公衆電話・表示圏外のときにお知らせする 107
モデムダイヤルインサービス 108
モデムダイヤルインサービス、マイナンバーとは 108
モデムダイヤルインサービス、マイナンバーを利用するには 108
設定のしかた 109

お好み設定

キーロックを使う 110
おやすみモードを使う 111
おやすみモードにする時間帯を設定する（おやすみタイマー） 112
おやすみモード中、特定の相手のみ呼出音を鳴らす（おやすみ特定着信） 113
音の設定 114
相手の声の音質を変える 114
自分の声を低く変える 115
自分の声を高く変える 115
音の大きさを変える 116
呼出音を変える 117
内線通話の呼び出しかたを変える 117
親機の機能一覧 118
子機の機能一覧 122
応答メッセージ一覧 123

必要なとき／困ったとき

文字入力のしかた（親機） 124
挿入・修正・消去／文字列一覧
文字入力のしかた（子機） 126
挿入・修正・消去／文字列一覧
記録紙が詰まったとき 128
記録紙や相手の受信用紙に白や黒の線などが入るとき 130
原稿が詰まったとき 132
子機やドアホンを増設するとき 133
子機やドアホンを増設したときの内線番号 133
ドアホンを接続したとき 134
来客があったとき 134
電話中に来客があったとき 134
外出先から携帯電話などでドアホンに出るための準備 135
外出先での操作 135
インクフィルムを交換する 136
インクフィルムの交換のしかた 136
インクフィルムについて 137
お手入れ 138
子機の電池パックを交換する 139
故障かなと思ったとき 140
電話 140
子機の充電 141
子機の通話 141
ファクス送受信 142
プリント 143
留守番電話 144
SD メモリーカード 145
呼出音 146
ナンバー・ディスプレイ 147
こんなときは 148
こんな表示が出たら 149
親機 149
子機 154
Q&A 156
停電になったときには 158
別売品／消耗品について 159
索引 160
主な仕様 162
親機／子機／子機用充電器
保守サービスのご案内 163

特長

ファクスや用件などがたっぷり残せるSD メモリーカード対応

次のようなデータを保存することができて便利です。

◇ 通話録音の音声データ　◇ 読み取った原稿
◇ 留守番電話の用件　◇ 電話帳
◇ 受信したファクス

受信ファクスは見てから印刷

受信したファクスは、大型液晶ディスプレイで見てから、必要な内容のみプリントできます。（お買い求め時の設定。☞ 72 ページ）

特大受話音量で聞きやすい子機

通常の子機より最大受話音量を大きくして、電話の声が聞こえにくいときでも聞き取りやすい音量に調節できます。

操作のしかたを音声とイラストで案内

次のようなときに、操作のしかたを音声と液晶ディスプレイ上のイラストで案内してくれるので、安心です。（☞ 36 ページ）

◇原稿をセットしたり、ファクス や コピー を押したとき（ファクス送信とコピーのしかた）
◇[フィルムがなくなりました U23] と表示されてバックカバーを開けたとき（インクフィルム交換のしかた）
◇親機で電話帳や再ダイヤル、着信メモリー、短縮ダイヤルを使うとき（電話帳の登録や検索のしかた、再ダイヤル・着信メモリー・短縮ダイヤルを使った電話のかけかた）
◇メモリー受信したファクスを選ぶとき（選択やプリントのしかた）

たためる記録紙トレー

記録紙トレー、記録紙スタンドは折りたたみ式です。使用しないときはたたんで（☞ 26 ページ）、コンパクトにご利用いただけます。

就眠中は呼出音を鳴らさずに留守番電話やファクス受信

おやすみになりたいときや静かにすごしたいときは、ボタン 1 つで本商品の音を鳴らさないようにできます。特定の相手のみ呼出音を鳴らすこともできます。また、毎日同じ時間帯におやすみモードを設定することもできます。（☞ 111 ページ）

ダイヤルした電話番号を音声で読み上げ

親機を使ってダイヤルすると、押したボタンを音声で読み上げるので、間違ってダイヤルしていないか確かめながらダイヤルできます。（☞ 36 ページ）

迷惑電話をメッセージで拒否

呼出音が鳴っているときや通話中に、通話を拒否するメッセージを流したり、親機で通話中にはドアホンのチャイムが鳴ったように見せかけて、電話を切ることができます。（☞ 50 ページ）

お手入れが楽な無接点充電方式

子機は充電端子のない無接点充電方式です。端子が汚れて充電できない、といったトラブルがありません。

子機からも通話を録音

残しておきたい会話の録音が、親機だけでなく、子機からもできます。（☞ 48 ページ）

自分の声を変える子機の機能

かかってきた電話が迷惑電話なら、自分の声を低くしたり（ボイスチェンジ）、会話を楽しくしたいときは自分の声を高くしたり（ファニーボイス）と、自分の声を状況にあわせて変えることができます。（☞ 115 ページ）

ダイヤルキーが点灯

親機・子機ともに着信中や操作中に、液晶ディスプレイやダイヤルキーのバックライトが点灯しますので、暗い部屋でも操作することができます。（☞ 23 ページ）

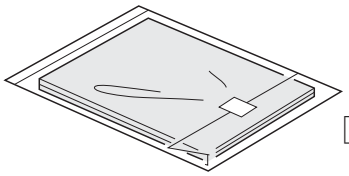
1 つの回線で複数の電話番号を使い分け

モデムダイヤルインサービス（当社との契約が必要です）ご利用時は、1 回線で複数の電話番号が使えます（☞ 108 ページ）。親機と子機で違う番号にすれば、家族間で使い分けたり仕事用／プライベート用といった使い分けができます。また、電話とファクスで違う番号にもできます。

本体と付属品の確認

● セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁、落丁があった場合には、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご連絡ください。

□記録紙
……1 セット

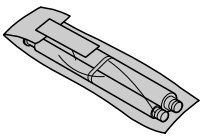


□電話機コード
（長さ約 1.8 m）
……1 本

□受話器
……1 個

□本体……1 台

□受話器コード
……1 本

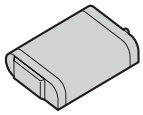


□お試し用インクフィルム
（約 10 m）
……1 式



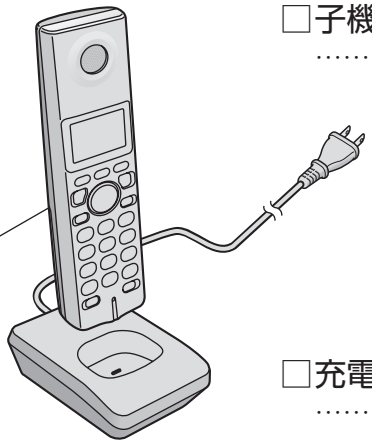
□SD メモリーカード（試供品）……1 枚
SD メモリーカードを使いになるときは「SD メモリーカードについて」（☞84 ページ）

□電池パック
……1 個（※ 2 個）



お買い求め時は、電池カバーが取り付けられています。

□子機
……1 台（※ 2 台）



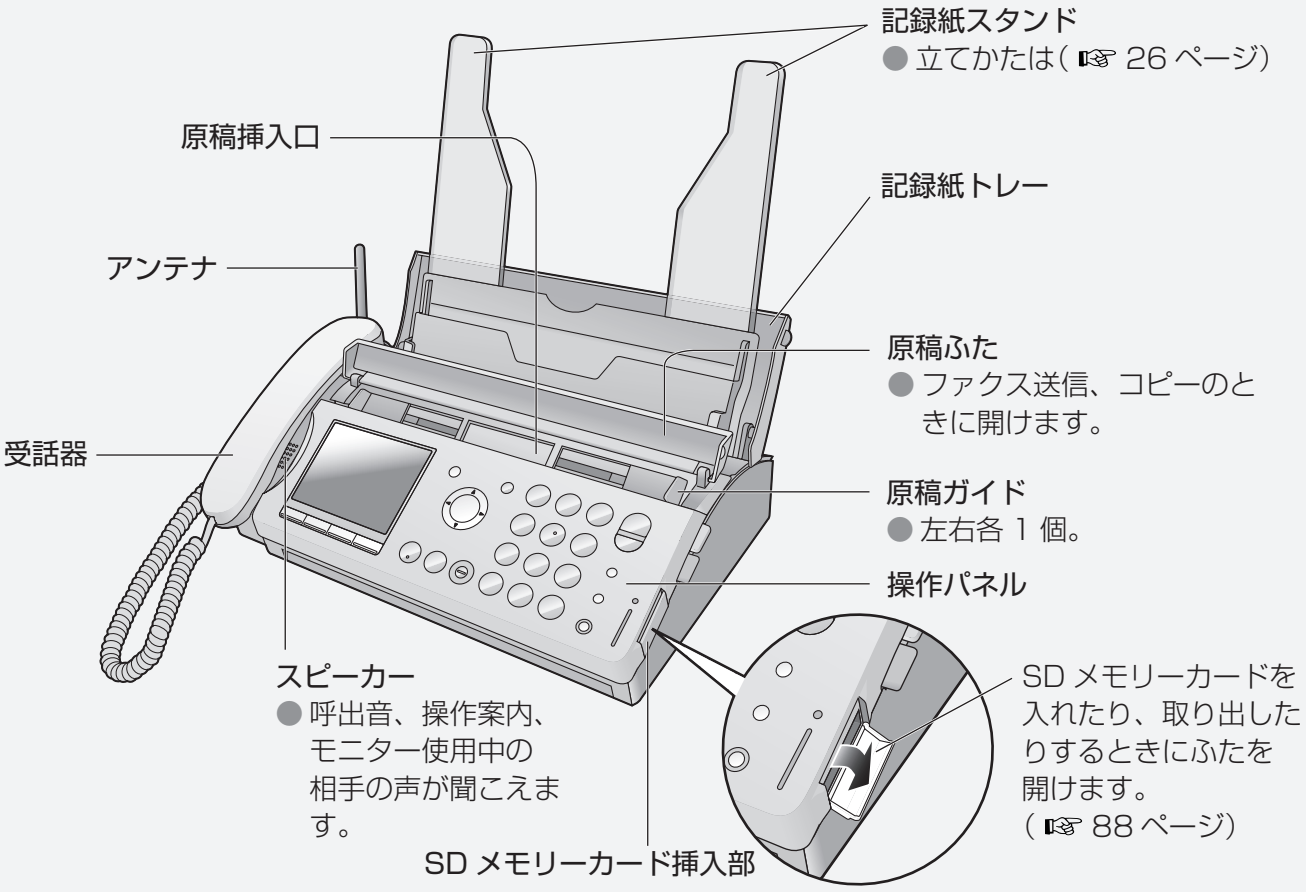
□充電器
……1 台（※ 2 台）

※ P-267PDw の場合の個数

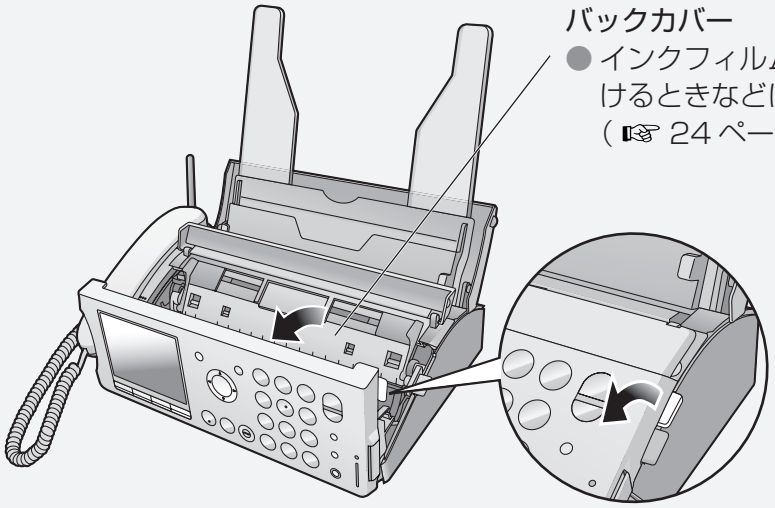
☑取扱説明書（本書）..... 1 冊
□保証書..... 1 枚
□「NTT 通信機器お取扱相談センタ」シール..... 1 枚

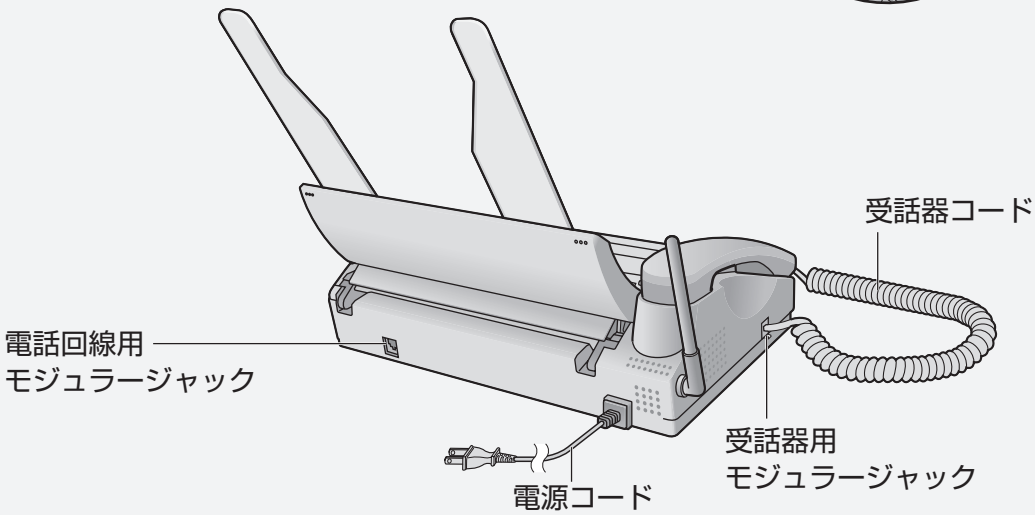
※保証書は梱包箱に貼付されています。

各部のなまえとはたらき 親機 （続く）



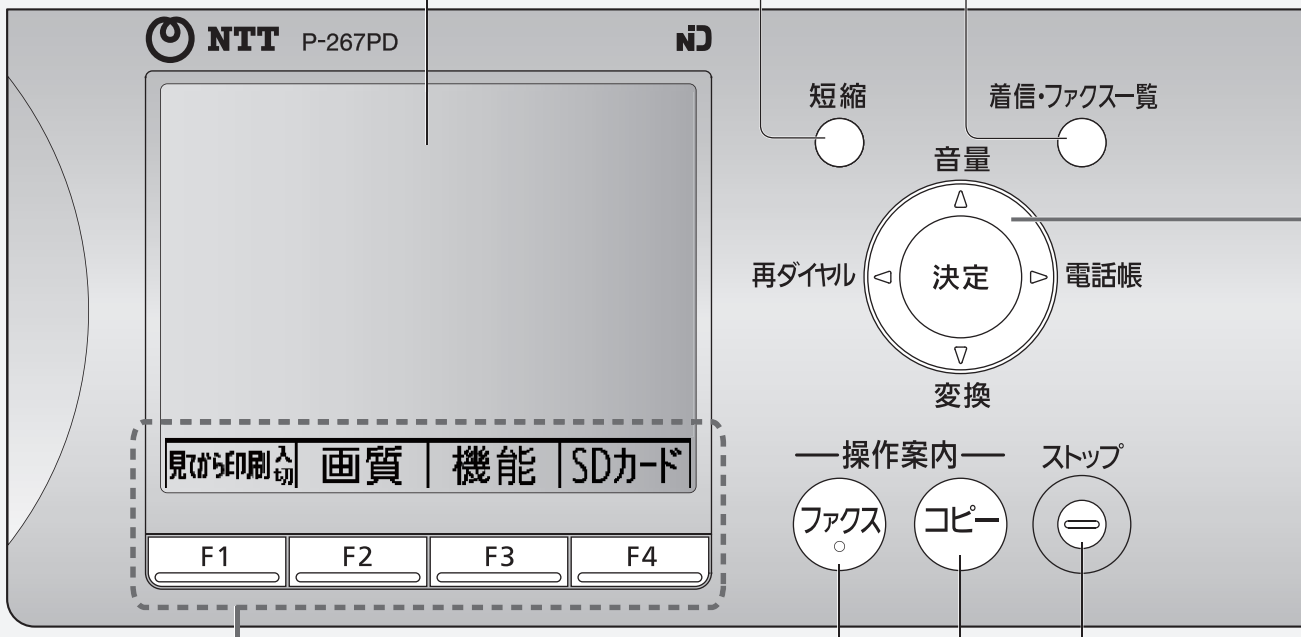
操作パネルを開けると…





各部のなまえとはたらき 親機

（続き）



● ファクスをメモリー受信したとき、ナンバー・ディスプレイ利用時に電話に出なかったときなどに点灯する。（☞68・100 ページ）
● メモリー受信したファクスを表示する。（☞72 ページ）
● 着信メモリー（履歴）を見る。（☞102 ページ）

液晶ディスプレイ（☞22 ページ）
● コントラストの調整は（☞120 ページ「LCD コントラスト」）

● 短縮ダイヤルを使う。（☞45・64 ページ）

F1 ～ F4 は「見てから印刷入切」「画質」「機能」「SDカード」などを操作するときに押してください。

● 本書では 見てから印刷入切 F1　画質 F2　機能 F3　SDカード F4 のように表しています。

お知らせ

● 「見てから印刷入切」「画質」「機能」「SDカード」などの表示は、操作手順によって変わります。

● ファクスの送信・受信を開始する。（☞66・69 ページ）
● 原稿をセットする前に押すと、操作案内が流れる。

● コピーする。（☞76 ページ）
● 原稿をセットする前に押すと、操作案内が流れる。

● 操作を途中でやめる。
● 登録を終わる。
● 液晶ディスプレイが消えているときに表示させる。

マルチファンクションキー

● 本書では、キーの押しかたを下記のように表しています。

右を押す

上または下を押す

決定を押す

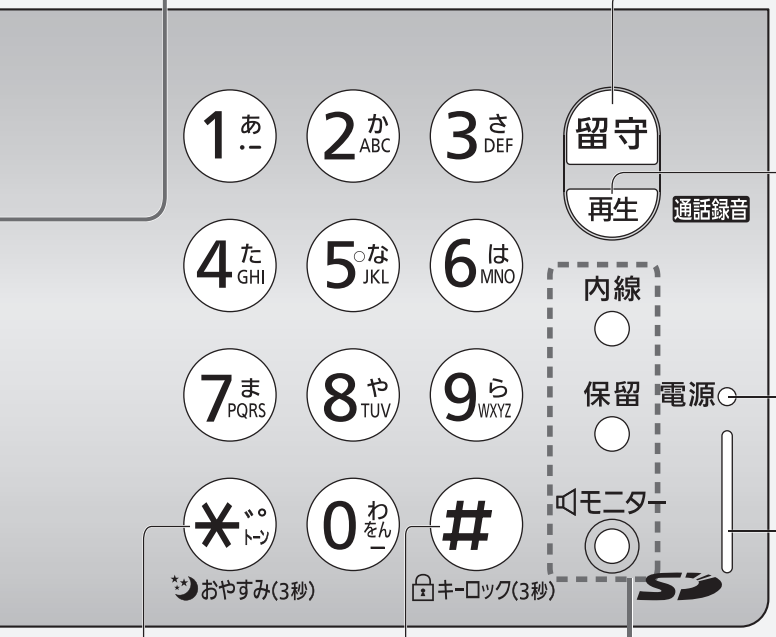
音量を大きくする（☞116 ページ）
漢字に変換する（☞125 ページ）

再ダイヤルする（☞45 ページ）
前の用件を聞く（☞79 ページ）

決定

電話帳を使う（☞45・58 ページ）
次の用件を聞く（☞79 ページ）

音量を小さくする（☞116 ページ）
漢字に変換する（☞125 ページ）



● 留守セットする。（☞78 ページ）
● 構内交換機（PBX）に接続しているときなどに、ポーズ（ダイヤルの待ち時間）を入れる。（ディスプレイには「P」と表示される）

● 用件を再生する。（☞78・79 ページ）
● 読み上げた番号をもう一度聞く。（☞36 ページ）
● 通話を録音する。（☞48 ページ）

● 電源が入っているときに点灯する。

SD ランプ

点灯	● SD メモリーカードが入っているとき ●液晶ディスプレイの表示（☞22 ページ「■液晶ディスプレイの表示について」）が消えると、SD ランプも消灯します。
点滅	● データの読み出し中や書き込み中 お願い SD ランプの点滅中は、SD メモリーカードを抜いたり、電源コードを抜いたりしないでください。（データが破壊されることがあります）
消灯	● SD メモリーカードが入っていないとき ● 液晶ディスプレイの表示が消えているとき

＃（シャープ）ボタン
● 機能登録などに使う。
● キーロックを使う。（☞110 ページ）
● 通常のダイヤル発信以外のサービスを利用するときに使う。

＊（スター）ボタン
● ダイヤル（DP）回線でプッシュホンサービスを使う。（トーンボタン）（☞44 ページ）
● おやすみモードを使う。（☞111 ページ）

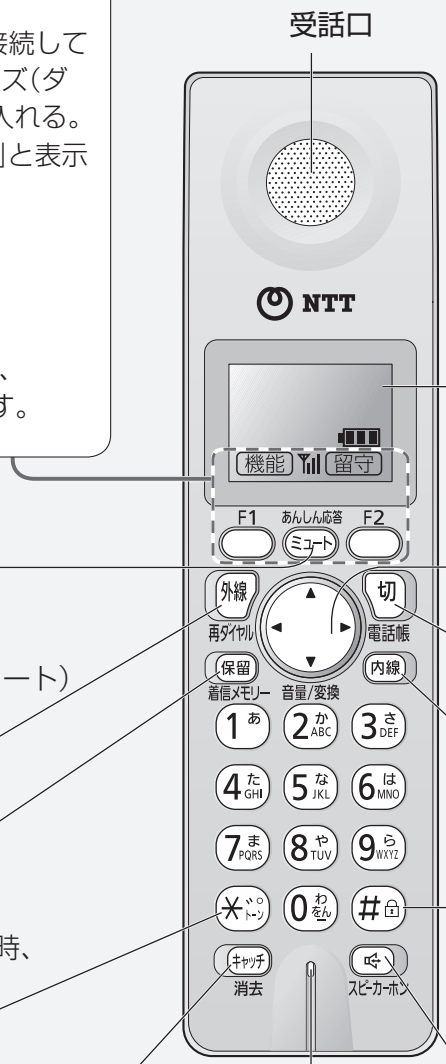
内線	● 子機やドアホンを呼び出す。（☞54・56・134 ページ）
保留	● 通話中に待ってもらう。（☞47 ページ）
モニター	● 受話器を取らずにダイヤルする。（☞45 ページ）

各部のなまえとはたらき 子機

F1
- 機能を登録する・使う。
- 電話帳を登録する・修正する。（☞60 ページ）

F2
- 留守セットする。（☞78 ページ）
- 構内交換機（PBX）に接続しているときなどに、ポーズ（ダイヤルの待ち時間）を入れる。（ディスプレイには「P」と表示される）
- 文字の種類を変える。（☞126 ページ）

お知らせ
- 「機能」「留守」などの表示は、操作手順によって変わります。



液晶ディスプレイ（☞23 ページ）

マルチファンクションキー（☞右ページ）
- 通話を終了する。
- 操作を途中でやめる。

- 親機・別の子機・ドアホンを呼び出す。（☞54・56・134 ページ）

#（シャープ）ボタン
- 機能登録などに使う。
- キーロックを使う。（☞110 ページ）
- 通常のダイヤル発信以外のサービスを利用するときに使う。

- 子機を置いたまま通話する。（☞45 ページ）

送話口
- 話すとき、手でふさがない。

- 相手の声を確認して電話に出る。（☞53 ページ）
- 通話中に、自分の声が相手に聞こえないようにする。（ミュート）（☞45 ページ）

- 電話をかける・受ける。（☞44・46 ページ）

- 通話中に待ってもらう。（☞47 ページ）
- ナンバー・ディスプレイ利用時、着信した相手を見る。（☞102 ページ）

＊（スター）ボタン
- ダイヤル（DP）回線でプッシュホンサービスを使う。（トーンボタン）（☞44 ページ）

- キャッチホンを受ける。（☞49 ページ）
- 登録している内容を消去する。
- 間違えた文字・数字を消す。（☞126 ページ）

■ ダイヤルキーのバックライトについて
- 子機の液晶ディスプレイのバックライト（☞23 ページ）に連動して点灯します。

マルチファンクションキー

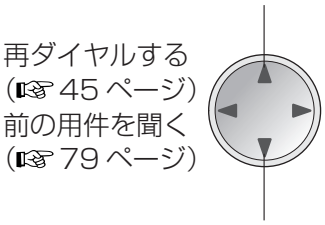
● 本書では、キーの押しかたを下記のように表しています。

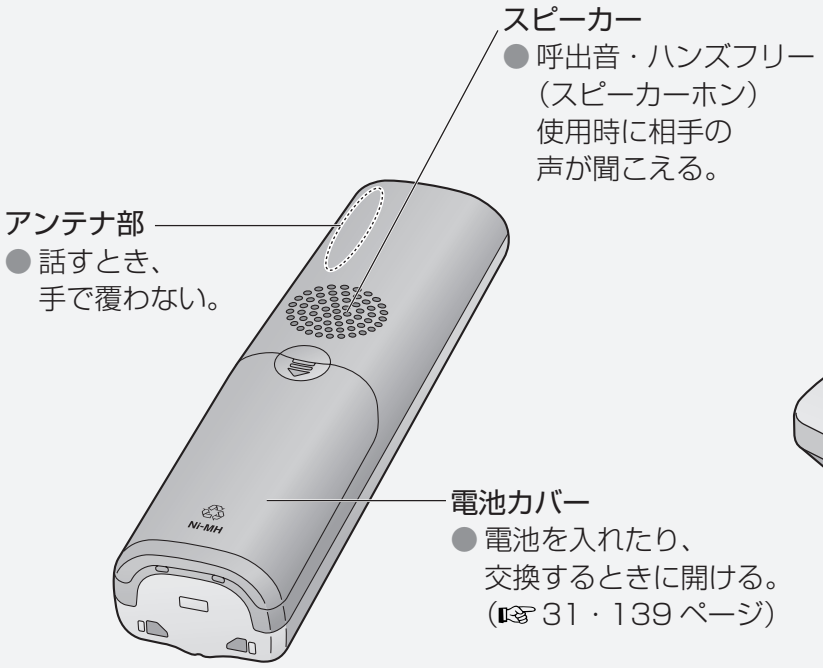


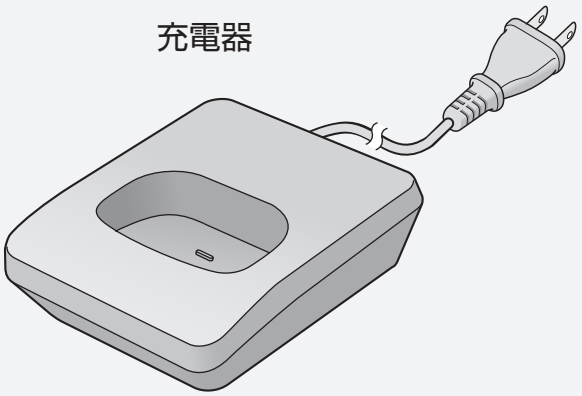
右を押す



上または下を押す

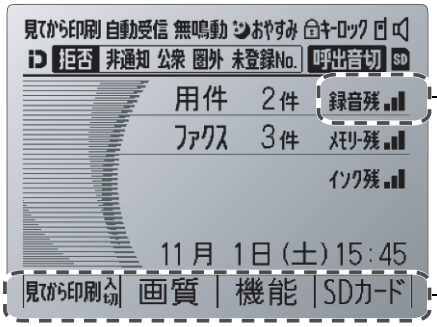






各部のなまえとはたらき 液晶ディスプレイ

親　機



SD メモリーカードに録音可能なときは「SD残」に変わります（☞ 85 ページ）

F1 ～ F4 ボタンの機能を表示（☞ 18 ページ）

見てから印刷	ファクスをメモリー受信する設定のとき（☞ 68 ページ）
自動受信	ファクスの自動受信を設定しているとき（☞ 70 ページ）
無鳴動	呼出音を鳴らさずにファクスを受ける設定をしているとき（☞ 71 ページ）
おやすみ	おやすみモードを設定しているとき（☞ 111 ページ）
キーロック	親機のキーロックを設定しているとき（☞ 110 ページ）
	● 携帯通話設定を利用しているとき（☞ 37 ページ） ● 携帯通話設定を設定して電話をかけるときに、固定電話会社の事業者識別番号が自動付加されると約 5 秒間点滅（☞ 41 ページ）
	モニターを使用しているとき（☞ 45 ページ）
呼出音切	呼出音を鳴らさない設定をしているとき（☞ 116 ページ）
録音残	録音残量（時間）のめやす（☞下記）
メモリー残	ファクス受信のメモリー残量のめやす（☞下記）
インク残	インクフィルム残量のめやす（☞下記）（設定するには☞ 120 ページ「インクフィルム残量表示」、137 ページ）
SD	SD メモリーカードが入っているとき（☞ 88 ページ）

■ナンバー・ディスプレイ利用時の表示

iD	ナンバー・ディスプレイを利用しているとき（☞ 99 ページ）
拒否 非通知	非通知の電話やファクスを受けない設定をしているとき（☞ 51・105 ページ）
拒否 公衆	公衆電話からの電話を受けない設定をしているとき（☞ 51・105 ページ）
拒否 圏外	表示圏外の電話やファクスを受けない設定をしているとき（☞ 51・105 ページ）
拒否 未登録No.	親機の電話帳に未登録の相手からの電話やファクスを受けない設定をしているとき（☞ 103 ページ）

■「録音残」「メモリー残」「インク残」表示のめやす

残量表示					
録音残※1	留守番電話に録音できる時間	0	4 分以下	4～8分	8～12分
メモリー残※2	ファクスを受信できる枚数	0	16 枚以下	32 枚以下	50 枚以下
インク残※3	印刷できる枚数	0	6 枚以下	30 枚以下	45 枚以下

※ 1　録音件数が 50 件になると、録音残量はなくなります。
※ 2　A4 サイズ 700 字程度の原稿を標準的画質（8 × 3.85 本／ mm）で受信したときの枚数です。写真や文字の多い原稿は受信できる枚数が少なくなります（例：A4 サイズの新聞を画質「ふつう字」で受信･･･最大約 8 枚）。また、受信枚数が 50 枚になると受信できなくなります。
※ 3　別売の消耗品のインクフィルム（長さ 15 m）を使う場合のめやすを表示します。（付属のお試し用インクフィルムでは、正しく表示されません）

■液晶ディスプレイの表示について

- 本商品を操作しないと、節電のため、約2分後に表示が消えます。（常時表示させることはできません）
- 本商品を操作したり、電話がかかってきたりすると表示されます。
- ファクスのメモリーがいっぱいになったときなど、お知らせがあるときには表示は消えません。親機を操作すると、操作を終了して約 2 分後に消えます。

- 液晶ディスプレイは、説明のためすべて表示しています。（実際の表示とは異なります）
- 表示できる漢字は、JIS 第1水準および JIS 第 2 水準です。

子　機



子機の内線番号や、登録した名前（☞35 ページ）

子機のキーロックを設定しているとき（☞110 ページ）

親機からの電波が届かず、呼出音が鳴らない、通話ができないとき

親機で設定した日付・時刻を表示（☞33 ページ）

アンテナレベル（☞ 下記）

電池残量



■充電完了したあとの使用時間のめやす
（使用環境温度が 20 ℃のとき）

- 連続通話時間：約 5 時間
  - ハンズフリー（スピーカーホン）で通話したり、電波状態が悪い所で使う場合
    ➡連続通話時間は短くなります。
- 待受時間：約 150 時間
  - 充電器に置かずに一度も通話しないとき。
  - 「圏外」表示中は短くなります。

待受時	通話中
	 （点滅）
「充電してください」と表示	4 秒ごとに「ピピッ」と警告音が鳴る

すぐに充電が必要です。

■ 液晶ディスプレイのバックライトについて

- 外からの電話の呼出中や、操作したときなどに点灯します。（応答後や操作終了後、自動的に消灯します）

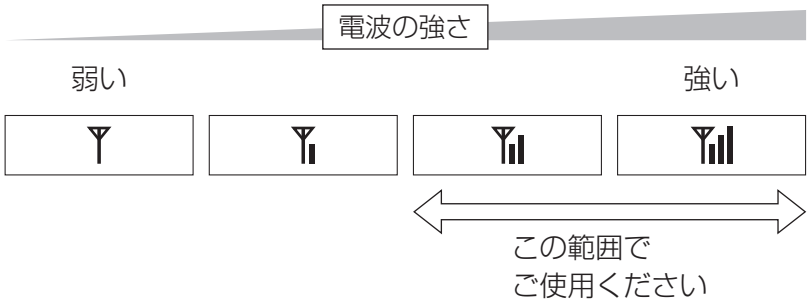
■ アンテナレベル

- 子機が受けている電波の強さのめやすを表示します。

圏外のとき



- 親機からの電波が届いていません。親機に近づいてください。



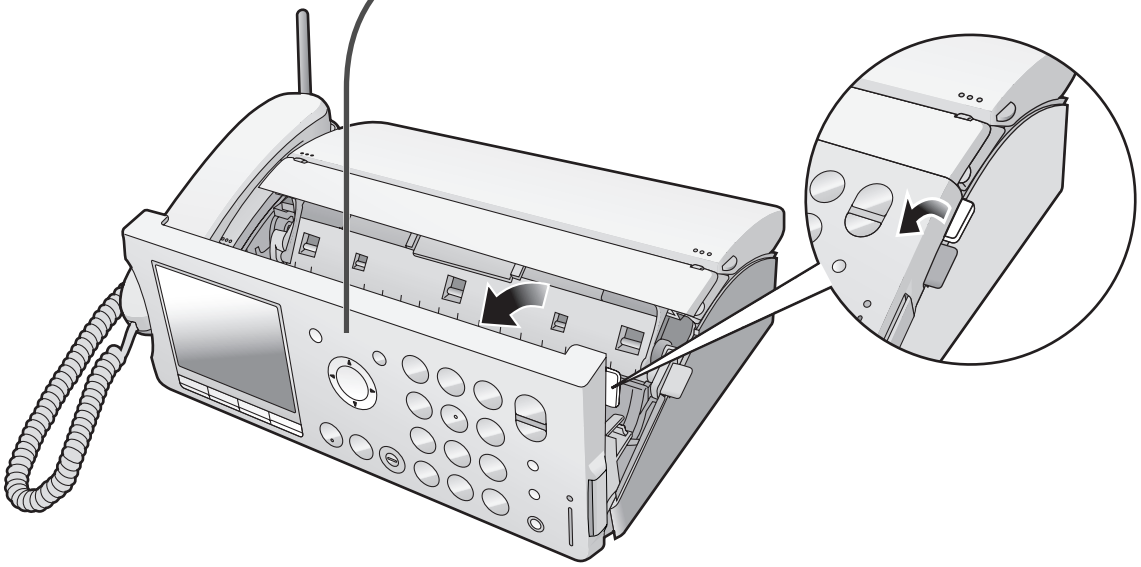
お知らせ

- お話しできる範囲（電波の届く範囲）は、親機から見通し距離で約 100m 以内です。建物の構造などで電波の届く範囲は短くなることがあります。
- 親機と子機の間に障害物などがあると、近くても電波が弱くなります。
- 電波が強い状態でも、他の機器との電波干渉により電話の声が途切れることがあります。（☞11 ページ）
- 電池パックを抜き差しすると、電池残量マークが  になります。

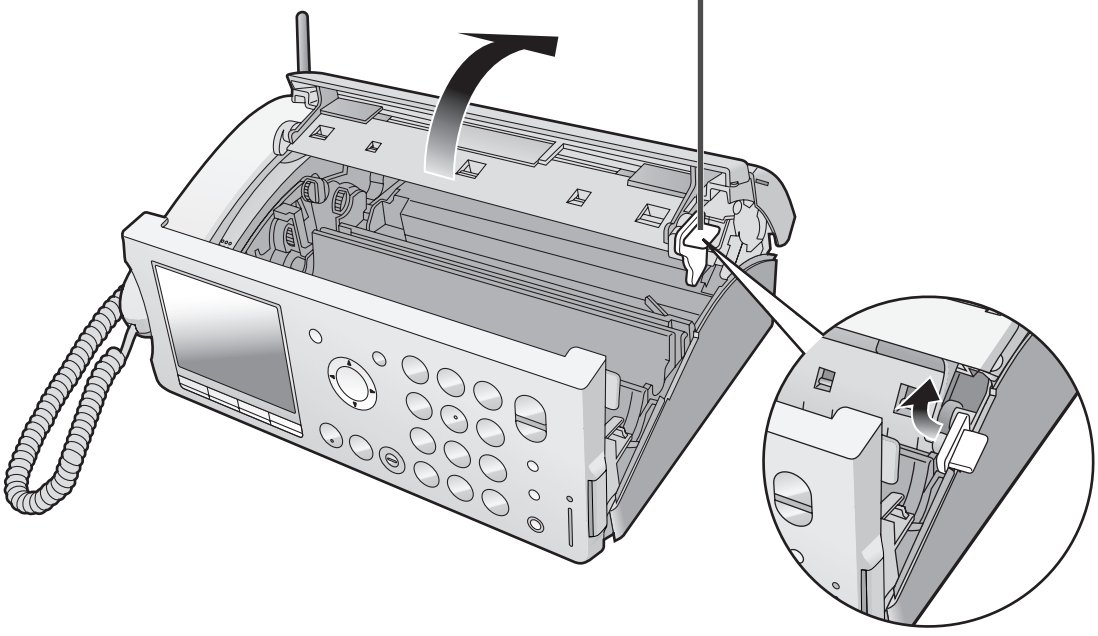
- 液晶ディスプレイは、説明のためすべて表示しています。（実際の表示とは異なります）
- 表示できる漢字は、JIS 第1水準および JIS 第2水準です。

インクフィルムを取り付ける

1 操作パネルを開ける

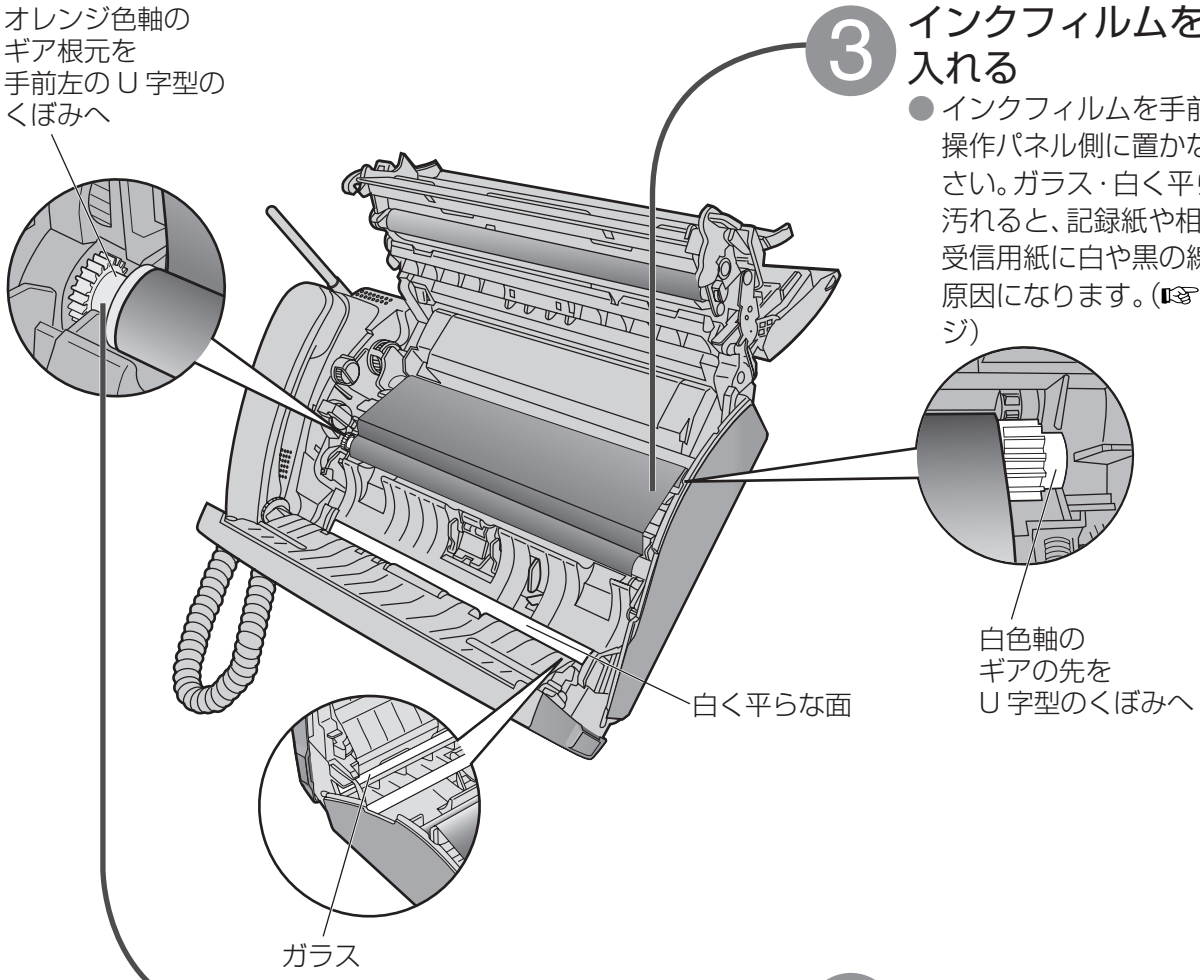


2 バックカバーを開ける



■インクフィルムを交換するとき（☞ 136 ページ）

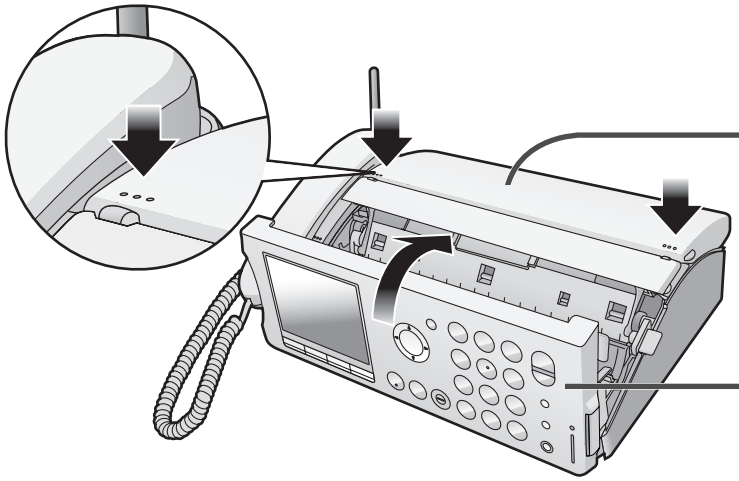
● 別売の消耗品のインクフィルム（長さ 15 m）を使うときは、残量のめやすを表示できます。
（☞ 137 ページ「■インクフィルム残量のめやすを表示させたいとき」）
　● 付属のお試し用インクフィルムでは、正しく表示されません。



3 インクフィルムを入れる

- インクフィルムを手前の操作パネル側に置かないでください。ガラス・白く平らな面が汚れると、記録紙や相手の受信用紙に白や黒の線が入る原因になります。(☞ 130 ページ)

4 オレンジ色のギアを奥にまわしてインクフィルムのたるみを取る



5 「カチッ」と音がするまで両端の「◦◦◦」の部分を押してバックカバーを閉める

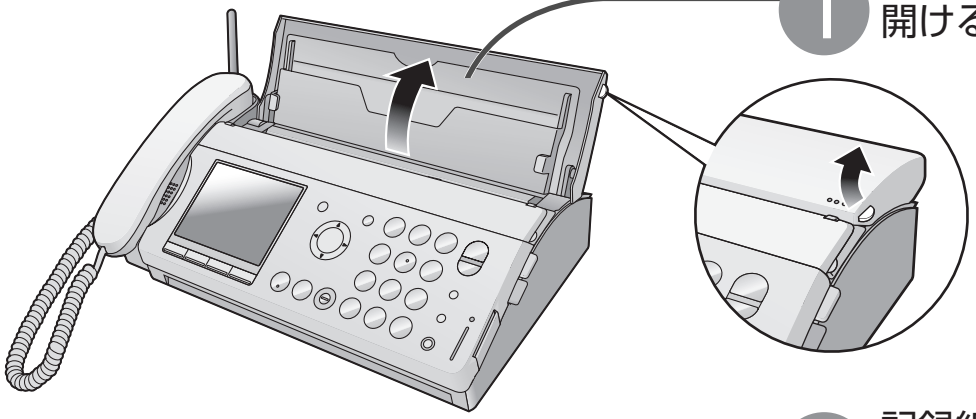
6 操作パネルを閉める

- 付属品のインクフィルムは、お試し用で長さ約 10 m です。(A4 サイズで約 30 枚分)
- インクフィルムは、数行のプリントでも、記録紙 1 枚につき約 32 cm 使用されます。
- バックカバーを開け閉めすると、インクフィルムが少し巻き取られます。

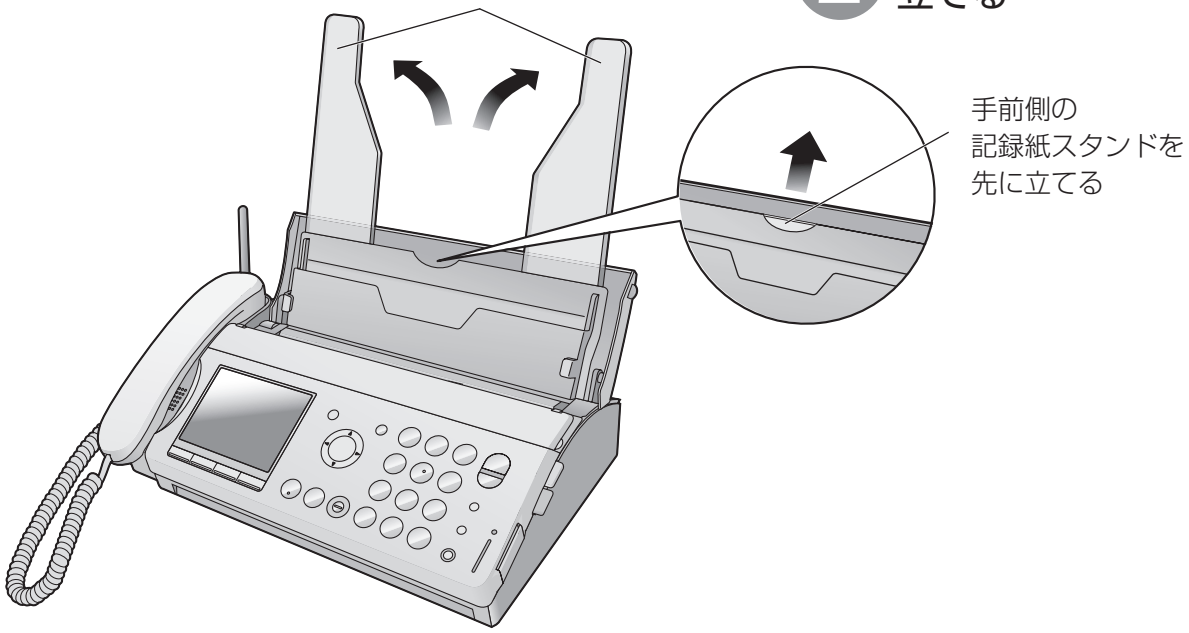
記録紙をセットする

ふだんは記録紙をセットせずに記録紙トレーをたたんでおいてください。
（開けたままにしていると、ほこりが中に入り、記録紙詰まりの原因になります）
受信したファクスのプリントやコピーをするときに、下記の手順で記録紙をセットしてください。

1 記録紙トレーを開ける



2 記録紙スタンドを立てる



記録紙トレーをたたむとき

① 記録紙を取り出し
記録紙スタンドをたたむ。
- 左右のどちら側からもたためます。



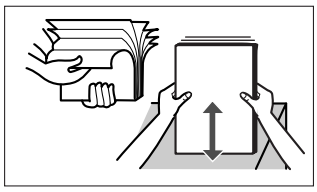
② 記録紙トレーを
閉める。





3 記録紙をゆっくり入れる

- A4 記録紙を 15 枚まで。
- 押し込んだり、落として入れない。
- さばいて、まっすぐにそろえる。



お願い

- 本商品は、なるべく風のあたらない場所に設置してください。
  ➡風があたって記録紙が手前に倒れたりすることがあります。
- 記録紙を追加するときは、残っている記録紙を一度取り出してから、一緒に入れ直してください。
  ➡残っている記録紙にそのまま追加すると、紙が詰まったり、重なってプリントされたりします。
- 記録紙については、「記録紙について」(☞ 77 ページ)を参照してください。
- 感熱カット紙は使用できません。
- プリント中は、記録紙を追加しないでください。
- 厚さの異なる記録紙をセットしないでください。
- 本商品でプリントした記録紙の上に別の紙をのせて、文字を書かないでください。
  ➡印字面のインクが別の紙や机などに転写することがあります。
- 本商品では記録紙の両面にプリントしないでください。
  ➡印刷する部分にインクが付着し、汚れの原因になります。
- 本商品でプリントした記録紙を、裏紙として、他のコピー機やプリンターで使わないでください。
  ➡他の機器の故障や紙詰まりの原因になります。

お知らせ

- [記録紙づまりです U12] が表示されたときは、詰まった記録紙を取り除いてください。
  (☞ 128 ページ)

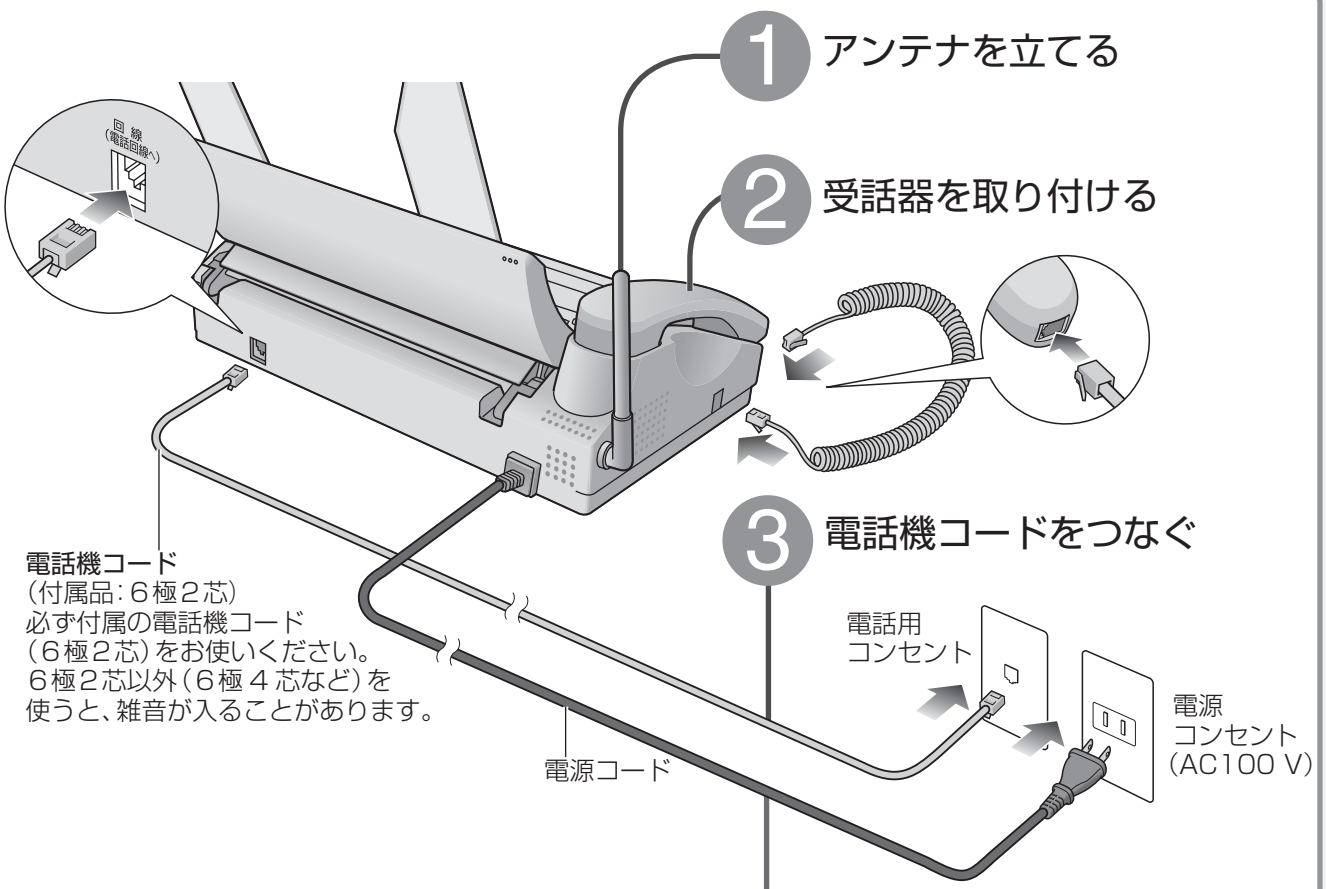
お知らせ

- ファクス・コピーを使わないときは、記録紙をセットせずに記録紙トレーをたたんでおくことをお勧めします。(記録紙をセットしたままにしておくと、ほこりがたまり記録紙詰まりの原因になります)
  - ファクスがくると、メモリーに受信されます。(☞ 68 ページ)
    受信した内容をディスプレイで見る、または記録紙をセットしてからプリントしてください。
    (☞ 72 ページ)

親機を接続する

電話用コンセントに接続して電源を入れると、本商品が自動的に回線をチェックします。

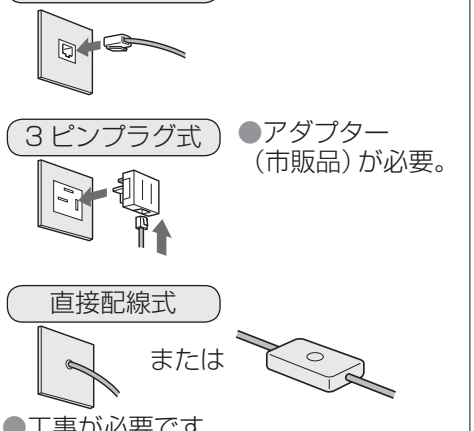
本商品を設置する場所が当社の電話交換局から遠距離の場合には、お使いになれないことがあります。このときは当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご相談ください。



お知らせ

- 受話器コードや電話機コードは「カチッ」という音がするまで差し込んでください。
- 受話器コードや電話機コードを抜くときは、モジュラープラグのレバーを押さえながら引き抜いてください。
- 正しく使うために
  - ➡当社のピンク電話の回線には接続できません。
  - ➡他の電話機を並列に接続しないでください。
- 回線チェックを正常に行うために
  - ➡電話機コードを先に接続してから、電源を接続してください。
  - ➡回線チェック中に、ストップ ㊀ を押さないでください。
- 電話回線の種別が変わったとき
  - ➡手動で設定してください。（☞ 32 ページ）
- 電話機コードをつながずに、電源コードをつないで放置すると、約 20 分後に次々と画面が替わります。または、操作案内が流れ始めます。（デモモード）
  - ➡電話機コードを接続し、電源コードを抜き差ししてください。
- 設定を間違えると、電話がかからなかったり、違った相手にかかることがあります。
- ご不明な点は、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。

■電話用コンセントの種類



4 電源コードをつなぐ

電源が入ると、オープニングツアーを開始します。（☞右ページ）

オープニングツアーについて

本商品では電源が入ると、電話回線のチェックや携帯通話設定（☞ 39 ～ 41 ページ）などを行うオープニングツアーが自動的に始まります。

1 電源が入ると、電話回線のチェックが始まる

回線種別ﾁｪｯｸ中

左記の表示中は、ボタン操作をしないでください。（正しく設定できません）

↓

ひかり電話利用
あり,**なし**

電話回線のチェックが終了すると、ひかり電話サービス※1の通話設定が始まります。

■ 回線種別が
設定できませんでした
手動設定してください
が表示されたとき（☞ 32 ページ「電話回線の種別を設定する」）

2 ひかり電話サービス※1の利用について、◎で「なし」または「あり」を選び、◎(決定)を押す

ひかり電話利用
あり,**なし**

●「なし」の場合は携帯通話設定をする。
「あり」の場合はオープニングツアーを終了する。ひかり電話サービスをご利用の場合、携帯通話設定はご利用できません。

※1 ひかり電話サービスとは、B フレッツなどを利用した電話サービスです。

3 携帯通話設定の利用について、◎で「する」または 「なし」を選び、◎(決定)を押す

「固定電話から携帯電話への通話サービスを利用する」（☞ 37 ページ）を参照して、設定を行ってください。オープニングツアーでの携帯通話設定は「0036(NTT 東日本) ／ 0039(NTT 西日本)※2」に設定されます。なお、携帯通話設定を行わない場合やその他の事業者を設定したい場合は、「なし」を選び、◎(決定)を押してください。

あとから設定を行う場合は、「携帯通話設定を利用する」（☞ 40 ページ）を参照してください。

NTT東日本携帯通話
する,なし

または

NTT西日本携帯通話
する,なし

●「する」の場合は 050IP 電話サービス※3の利用を設定する。
「なし」の場合はオープニングツアーを終了する。

050IP 電話および加入電話選択番号については、「携帯通話設定について」（☞ 39 ページ）を参照してください。

※2 本商品をご購入になったエリアにより表示される事業者名が異なります。

4 050IP 電話サービス※3の利用について、◎で「あり」または「なし」を選び、◎(決定)を押す

IP 電話利用
あり,**なし**

↓

携帯通話設定は
設定されました

↓

用件 0件
ﾌｧｸｽ 0件

●「あり」の場合は加入電話選択番号（☞ 40、41 ページ）を入力する。

加入電話選択番号
0000

※3 IP 電話サービスとは、インターネットを利用して音声通信するサービスです。このうち、「050」で始まる番号が新たに提供されるサービスを「050IP 電話サービス」と呼びます。

お知らせ

● オープニングツアーを途中でやめるときは、ストップ◎を押してください。

親機を接続する（続き）

■加入電話選択番号とは

050IP 電話サービスをご契約時に、050IP 電話サービスを一時解除して電話をかけるための番号です。

お願い

- 050IP 電話サービスと携帯通話設定を併用してのご利用はできません。050IP 電話サービスを契約している電話機から携帯通話設定を利用する場合は、必ず IP 電話利用設定で「あり」を選択して加入電話選択番号を登録してください。（自動的に 050IP 電話サービスを一時解除して電話をかけます）

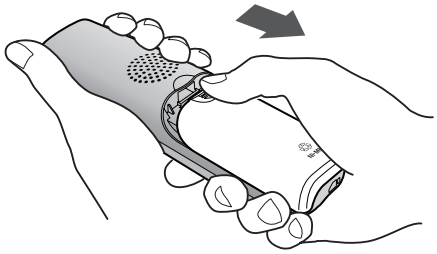
お知らせ

- ホームテレホンや構内交換機（PBX）に接続した場合や、ひかり電話サービスをご利用の場合、携帯通話設定はご利用できません。
- 携帯通話設定を利用しない場合は「なし」を選択してください。（☞ 29 ページの手順 3）
  あとで設定する場合は、40 ページを参照してください。
- 携帯通話設定を利用する場合は、050IP 電話サービスを一時解除する必要があります。そのため 050IP 電話をご契約の場合に、携帯通話設定に加入電話選択番号を設定しておくと、加入電話選択番号も自動的に付加することができます。
- IP 電話利用の設定で「あり」を選択すると、携帯電話へのダイヤル時に、常に加入電話選択番号が最初に付加されます。
- NTT 東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

  NTT 東日本携帯通話を「する」に設定すると、親機の液晶ディスプレイに が表示され、携帯電話にかけると、 が約 5 秒間点滅します。携帯電話にかけたときは、事業者識別番号（0036）が自動的に付加されても事業者識別番号は表示されません。
- NTT 西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

  NTT 西日本携帯通話を「する」に設定すると、親機の液晶ディスプレイに が表示され、携帯電話にかけると、 が約 5 秒間点滅します。携帯電話にかけたときは、事業者識別番号（0039）が自動的に付加されても事業者識別番号は表示されません。

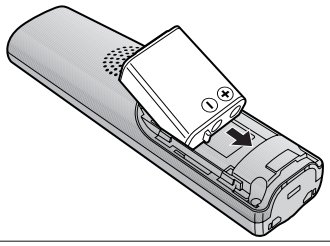
子機を準備する



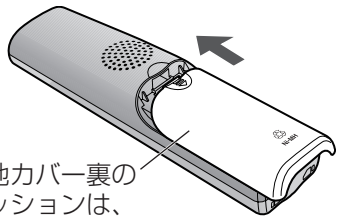
1 電池カバーを開ける

● を押し下げながら手前に引く。

① 矢印の方向に電池パックを入れる。

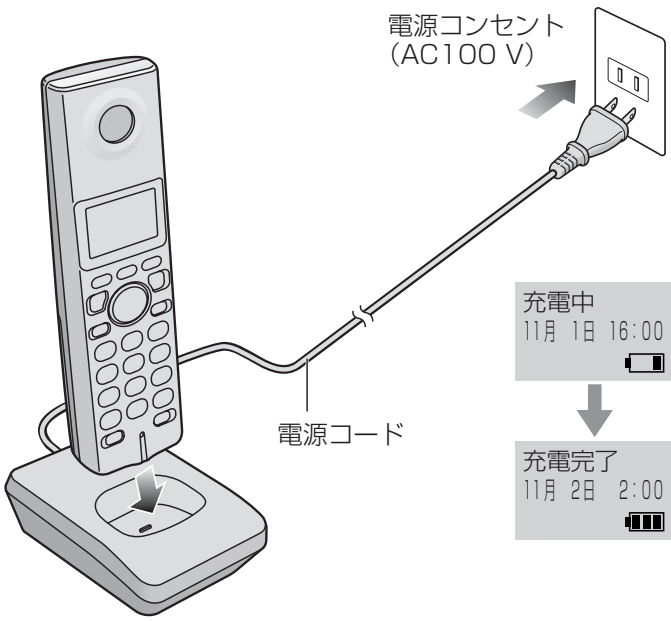


② 電池カバーを閉める。



電池カバー裏のクッションは、外さない。

2 電池パックを入れる



● 充電器は壁掛けできません。

3 電源コードをつなぐ

4 子機を置き、約 10 時間充電する

● 使用環境温度が低いときや、電源電圧が低いときは、充電時間が長くなります。(☞ 162 ページ)
● 途中で子機を使用したりすると、充電時間が長くなります。
● 充電器は、子機に「圏外」と表示されない場所に設置してください。(「圏外」の場所では、充電時間が長くなります)
● 「充電中」の表示が出ないときは、数分間充電器に置いたままにしてください。
● 子機は充電器に置いたままでも、過充電しないようになっています。

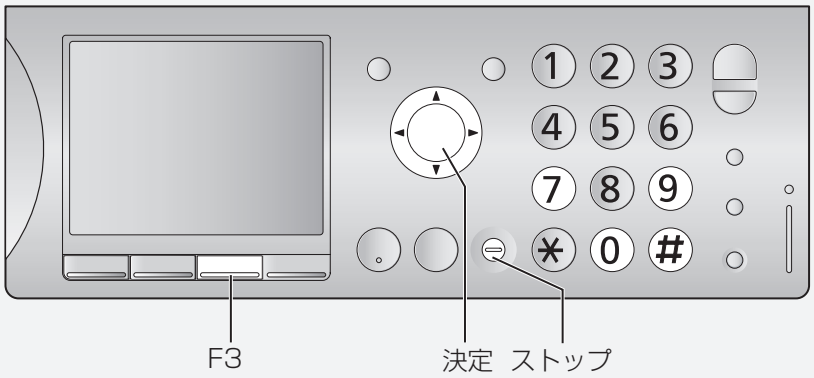
お願い

● 親機の接続が終わったあとに、子機を充電してください。
● 1 週間以上子機を充電器からはずしたり、1 週間以上電源コードを抜くときは、電池パックを外してください(☞ 139 ページ)。次に使うときは充電してください。(電池パックの性能維持と電池消耗を防ぐため)
● 充電器は、AM ラジオの近くに置かないでください。AM ラジオで雑音が聞こえる原因になります。
● 充電器は、電磁波や磁力を出すもの(テレビ、スピーカーなど)の近くに置かないでください。充電できないことがあります。

お知らせ

● 充電が終わったあと、子機を置いたまま使用することができます。
● 子機や充電器の一部が温かくなりますが、故障ではありません。
● 充電器は子機を乗せていなくても、電力を消費します。

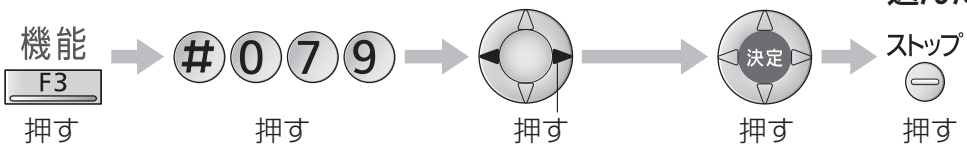
回線の設定



電話回線の種別を設定する

電話回線の種別を設定する

■「ﾌﾟｯｼｭ」「20」「10」のいずれかを選んだとき



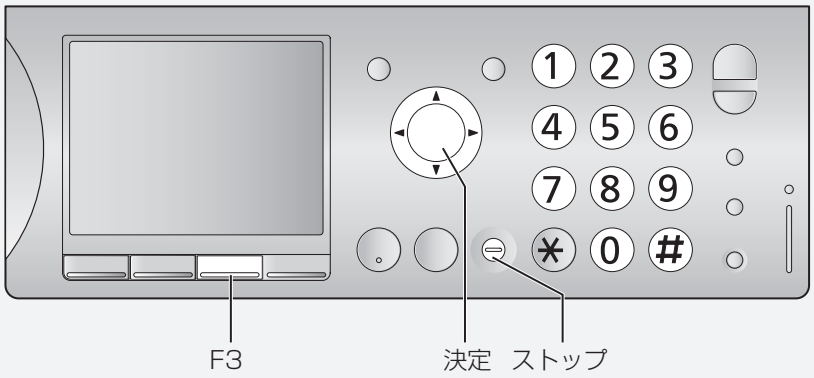
回線種別
自動, ﾌﾟｯｼｭ,20,10

回線種別
自動, ﾌﾟｯｼｭ,20,10

- ﾌﾟｯｼｭ：プッシュ(PB)回線
- 20：ダイヤル(DP)回線(速度 20 PPS)
- 10：ダイヤル(DP)回線(速度 10 PPS)
- 自動：自動設定(お買い求め時の設定)

設定後 177（天気予報）などに電話をかけて、電話がかけられるか確認してください。(177 番に電話をかけると通話料がかかります)
かけられないときは、再度、ご契約の回線種別を確認して、最初からやり直してください。

日付・時刻の設定



日付や時刻を設定するとき

現在の日付・時刻を設定する

機能 F3 押す → #001 押す → 年・月・日・時刻を入力する 押す → 決定 押す → ストップ 押す

2008年10月30日
15:30
（例）

2008年11月01日
15:4
カーソル

（例）2008年11月1日15時45分

2008年 11月 1日 15時 45分

● 間違えたときは
（カーソルを合わせる）➡ 入れ直す。

お願い

● 本商品に表示される日付・時刻は、めやすとしてご利用ください。1か月に約60秒ずれることがあります。日付・時刻がずれたときには、設定し直してください。

お知らせ

● 子機のディスプレイにも設定した日付・時刻を表示します。（「圏外」のときは、表示できません）

名前や電話番号の登録

お好みで、登録しておくと便利です。

あなたの名前と電話番号を登録したいとき

- 名前(印刷用)や電話番号を登録すると、ファクスを送ったとき相手の記録紙にプリントされます。
- 名前(表示用)を登録すると、相手も本商品と同一機種を使っていれば、送受信のとき電話番号の代わりに「名前(表示用)」がディスプレイに表示されます。(一部表示しない場合もあります)
- 「184」をダイヤルして送ると(☞ 99 ページ)、相手にプリントや表示はされません。

名前(印刷用)を登録する

- 親機で操作します。

機能 F3 押す → # 0 0 2 押す → **名前を入力する** 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ＊ 0 押す → 決定 押す → ストップ 押す

名前(印刷用)? [かな]
▮
-

名前(印刷用)? [かな]
自宅▮
-

(全角 15 文字／半角 30 文字まで)

- 文字入力・漢字変換のしかたは(☞ 124 ページ)

名前(表示用)を登録する

- 親機で操作します。

機能 F3 押す → # 0 0 3 押す → **名前を入力する** 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ＊ 0 押す → 決定 押す → ストップ 押す

名前(表示用)? [ｶﾅ]
▮

名前(表示用)? [ｶﾅ]
ｼﾞﾀｸ

(カタカナ・英字・記号・数字 16 文字まで。漢字・ひらがなで登録はできません)

- 文字入力のしかたは(☞ 124 ページ)

電話番号を登録する(表示・印刷用)

- 親機で操作します。

機能 F3 押す → # 0 0 4 押す → **電話番号を入力する** 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ＊ 0 # 押す → 決定 押す → ストップ 押す

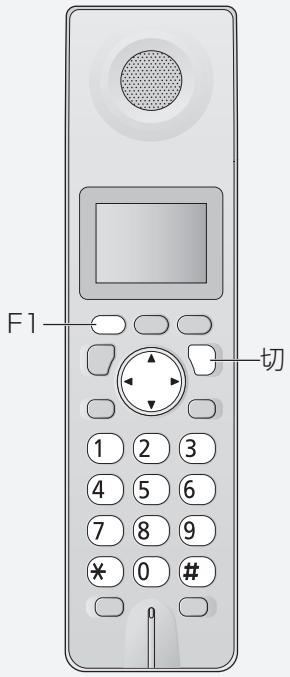
あなたの電話番号?

あなたの電話番号?
0312345678

(20 ケタまで)

- 間違えたときは 消去 F4 押す
- スペースを入れるときは 保留 押す
- 「+」を入れるときは、＊ 押す

子機に名前をつけたいとき



● 子機のディスプレイに名前を表示します。

寝室
11月 1日 15:45

● 内線通話をかけると受ける側の親機や子機のディスプレイに名前を表示します。

子機の名前を登録する

名前を入力する

F1 押す → #002 押す → F1 押す → 1 2 3 / 4 5 6 / 7 8 9 / * 0 押す → F1 押す → (続く)

子機の名前
未登録

名前?
寝室
_

(全角 6 文字／半角 12 文字まで)

● 文字入力・漢字変換のしかたは (☞ 126 ページ)

(続き) → 間違っていれば修正する → F1 押す → 切 押す

フリガナを確認する

寝室
ﾌﾘｶﾞﾅ?
ｼﾝｼﾂ

(半角 8 文字まで)

● 修正のしかたは (☞ 126 ページ)

操作案内／読み上げダイヤル

操作案内について

操作のしかたをディスプレイと音声で案内します。

操　作	ページ	音声が流れないようにするには
ファクスを送る	66	機能 F3 ➡ #0210 ➡ 「なし」を選ぶ ➡ (決定) ➡ ストップ ● 原稿をセットしたときに自動的に始まる操作案内を、流れないようにします。 （ディスプレイの操作案内も、表示されないようにします）
コピーする	76	
電話帳に登録する	58	機能 F3 ➡ #1677 ➡ 「なし」を選ぶ ➡ (決定) ➡ ストップ
短縮ダイヤルに登録する	64	
再ダイヤル・電話帳・短縮ダイヤルで電話をかける	45	
着信メモリーで電話をかける	102	
インクフィルムを交換する	136	機能 F3 ➡ #1733 ➡ 「なし」を選ぶ ➡ (決定) ➡ ストップ
メモリー受信したファクスを選ぶ	72	機能 F3 ➡ #1777 ➡ 「なし」を選ぶ ➡ (決定) ➡ ストップ
SD メモリーカードに保存したファクスを選ぶ	92	

読み上げダイヤルについて

親機でダイヤルすると、押したボタンの番号を音声で読み上げます。
（「*」はスター、「#」はシャープ、「留守(ポーズ)」はポーズと読み上げます）

お知らせ

- 押したボタンの番号を読み上げようとしたときに次の番号を押すと、前の番号の読み上げを中断します。音声を聞いて番号を確かめながら、ゆっくりダイヤルしてください。
- 受話器を置いたままダイヤルしたときは、受話器を上げる前に 再生 を押すと、読み上げた番号をもう一度聞くことができます。

■ダイヤルを読み上げないようにするには

機能 F3 ➡ #1300 ➡ 「なし」を選ぶ ➡ (決定) ➡ ストップ

■操作案内／読み上げダイヤルの音量を変えるには

ファクス または コピー（操作案内が始まる） ➡ 音声が流れている間に 押す。

- 上記すべての音量が変わります。
- キーロック中は、キーロック解除後に操作してください。

お知らせ

- おやすみモードのときは、音声は流れません。

固定電話から携帯電話への通話サービスを利用する

（続く）

携帯電話への通話サービスとは

固定電話から携帯電話に電話をかけるとき、携帯電話番号の先頭に事業者識別番号をつけてダイヤルすると、固定電話事業者が設定した料金で通話できるサービスです。（お申し込み手続きは不要です。）



（例）NTT東日本のサービスを利用するには
0036（事業者識別番号）＋090-XXXX-XXXX（携帯電話番号）

（例）NTT西日本のサービスを利用するには
0039（事業者識別番号）＋090-XXXX-XXXX（携帯電話番号）

お知らせ

- 通話先・通話時間や発信事業者の料金プランなどによっては、料金が異なります。各固定電話事業者へお問い合わせください。
- PHS への通話はご利用できません。
- 携帯電話会社の留守番電話サービスの遠隔操作、船舶電話など一部ご利用できない場合があります。
- ひかり電話サービスをご利用の場合、本サービスはご利用できません。

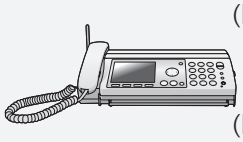
携帯通話設定を設定すると

本商品の「携帯通話設定」（☞ 40 ページ）を設定すると、本商品から携帯電話に電話をかけるとき、自動的に事業者識別番号をつけてダイヤルすることができます。

固定電話（かける側）

相手の携帯電話番号をダイヤルする

事業者識別番号を自動的につけてダイヤルします。



（NTT 東日本に設定しているときの例）
「0036090XXXXXXXX」のようにダイヤルされます。

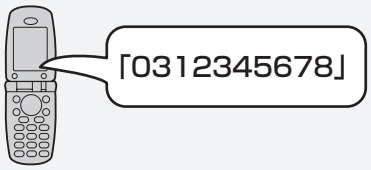
（NTT 西日本に設定しているときの例）
「0039090XXXXXXXX」のようにダイヤルされます。

- 親機の液晶ディスプレイの 📱 が約 5 秒間点滅します。
- 付加した事業者識別番号は液晶ディスプレイに表示されません。

呼び出す

携帯電話（受ける側）

呼出音が鳴り、相手の電話番号が表示される



お知らせ

- 次の場合もご利用できます。
  - 「184」「186」などを付加しているとき（「184」などの非通知設定で電話をかけた場合、携帯電話に電話番号は表示されません）
  - 再ダイヤルからかけ直すとき
  - 電話帳からかけるとき
  - 用件転送先を呼び出すとき（用件転送ご利用時）
  - 着信メモリーからかけ直すとき（ナンバー・ディスプレイご利用時）
- ひかり電話サービスをご利用される場合は、携帯通話設定を解除してください。（☞ 40 ページ）

固定電話から携帯電話への通話サービスを利用する

（続き）

携帯電話へのダイヤル方法について

固定電話から携帯電話へ電話をかける場合は、「IP 電話利用」の設定によりダイヤルの方法が違います。

■ 050IP 電話サービスをご利用でないお客様

（☞ 41 ページの手順「IP 電話利用」で「なし」を選択した場合）

用　途	利 用 方 法
携帯通話設定を利用して発信する場合	090-XXXX-XXXX　または　080-XXXX-XXXX 携帯電話番号をダイヤルする
一時的に携帯通話設定を解除して発信する場合	0000-090-XXXX-XXXX　または　0000-080-XXXX-XXXX （0000：携帯通話設定解除番号） 携帯電話番号の前に、携帯通話設定解除番号（「0000」）をつけてダイヤルする

■ 050IP 電話サービスをご利用のお客様

（☞ 41 ページの手順「IP 電話利用」で「あり」を選択した場合）

用　途	利 用 方 法
携帯通話設定を利用して発信する場合	090-XXXX-XXXX　または　080-XXXX-XXXX 携帯電話番号をダイヤルする
一時的に携帯通話設定を解除して 050IP 電話網経由で発信する場合	0000-090-XXXX-XXXX　または　0000-080-XXXX-XXXX （0000：携帯通話設定解除番号） 携帯電話番号の前に、携帯通話設定解除番号（「0000」）をつけてダイヤルする※1
一時的に携帯通話設定を解除して加入電話網経由で発信する場合	0000-0000-090-XXXX-XXXX または 0000-0000-080-XXXX-XXXX （0000：携帯通話設定解除番号／0000：加入電話選択番号※2） 携帯電話番号の前に、携帯通話設定解除番号（「0000」）と加入電話選択番号※2（「0000」）をつけてダイヤルする

お知らせ

●加入電話網経由で固定電話に発信する場合（050IP 電話サービスをご利用のお客様）

0000-0000-03-XXXX-XXXX

（0000：携帯通話設定解除番号／0000：加入電話選択番号※2／03-XXXX-XXXX：固定電話番号）

固定電話番号の前に、携帯通話設定解除番号（「0000」）と加入電話選択番号※2（「0000」）をつけてダイヤルする

※1　携帯通話設定解除番号（「0000」）と加入電話選択番号（「0000」）が同一のときに、「0000」を 1 つだけつけてダイヤルした場合は携帯通話設定解除番号として認識されます。

※2 加入電話選択番号「0000」は例です。ご利用の 050IP 電話サービスに合わせてダイヤルしてください。

携帯通話設定について

携帯通話設定は、会社やご自宅の固定電話から携帯電話に電話をかけるときに、携帯電話番号の先頭に事業者識別番号をつけてダイヤルすると、その事業者が設定する料金で通話できる機能です。
050IP 電話サービスを利用している場合は、加入電話選択番号を設定すると 050IP 電話サービスを一時解除し、携帯通話設定をご利用できます。
ひかり電話サービスをご利用の場合は、携帯通話設定はご利用できません 。

携帯通話設定に必要な情報と設定画面

■お客様にご用意いただきたい情報

携帯通話設定を行う場合には、以下の情報が必要です。あらかじめご用意ください。

① **登録する事業者識別番号**（携帯電話への発信時に利用する事業者の識別番号）

② **050IP 電話を利用している場合には加入電話選択番号**

■設定画面について

携帯通話設定の設定画面について、次の表に示します。

表　示	登録内容
携帯通話事業者選択 NTT東日本(0036) または NTT西日本(0039)	**●携帯通話事業者選択** 固定電話で契約されている電気通信事業者(NTT 東日本／ NTT 西日本、その他事業者)を選択します。
IP 電話利用 あり, なし	**● IP 電話利用** IP 電話は、インターネットを利用した電話のことです。最近は、IP 電話が利用している通信プロトコルから VoIP とも言われています。「050」で始まる番号を提供されている IP 電話(以下「050IP 電話サービス」)をご利用の場合は「あり」を選択します。
加入電話選択番号 0000	**●加入電話選択番号** 050IP 電話サービスをご契約時に、050IP 電話サービスを一時解除して電話をかけるための番号を入力します。 加入電話選択番号については、ご利用の 050IP 電話サービス事業者にお問い合わせください。
事業者識別番号 ▌	**●事業者識別番号** 携帯通話設定を利用する事業者を特定する番号を入力します。NTT 東日本は「0036」、NTT 西日本は「0039」です。その他事業者の事業者識別番号については、各固定電話事業者にお問い合わせください。

携帯通話設定時のご注意（2008 年 11 月現在）

- 停電時、携帯通話設定はご利用できません。
- 携帯通話設定を「NTT 東日本(0036)」に設定して、通話できる回線の種類は、NTT 東日本サービス提供エリア内(北海道、東北、関東、甲信越地区)の加入電話、加入電話・ライトプラン、INS ネット 64、INS ネット 64・ライト、INS ネット 1500 となります。
- 携帯通話設定を「NTT 西日本(0039)」に設定して、通話できる回線の種類は、NTT 西日本サービス提供エリア内(東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区)の加入電話、加入電話・ライトプラン、INS ネット 64、INS ネット 64・ライト、INS ネット 1500 となります。
- 携帯通話設定を設定した場合でも、「0000」(携帯通話設定解除番号)をつけてダイヤルすると、その通話に限り、携帯通話設定を解除して電話をかけることができます。
- 携帯電話会社の留守番電話サービスの遠隔操作、船舶電話など、一部ご利用できない番号があります。この場合は、「0000」(携帯通話設定解除番号)をつけてダイヤルしてください。
- 050IP 電話サービスをご利用時に、携帯通話設定を設定した場合は、「184」や「186」のあとにポーズを入力しないでください。電話がかけられないことがあります。
- 050IP 電話サービスをご利用時に、接続する VoIP 機器(ルーターなど)の状態によっては、携帯通話設定が正しく動作しない場合があります。
- 携帯通話設定が働く場合は、ダイヤルボタンを押しても、しばらくダイヤル音が聞こえない場合があります。これは本商品が事業者識別番号の付加判定を行っているためであり、故障ではありません。
- 携帯通話設定は、電話をかけるときに有効な機能ですが、お話し中に キャッチ F1 を利用して電話をかけるとき(3 者通話ご利用時など)には、携帯通話設定は動作しません。
- PHS への通話はご利用できません。

携帯通話設定を利用する

携帯通話設定を「NTT 東日本(0036) ／ NTT 西日本(0039)」または「その他」に設定しておくと、本商品から携帯電話に電話をかけるとき、自動的に事業者識別番号をつけてダイヤルします。携帯通話設定を利用する場合は、必ず設定してください。お買い求め時は「なし」に設定されています。(お申し込み手続きは不要です。)
親機で設定すると、親機と子機で携帯通話設定をご利用できます。

携帯通話設定 NTT 東日本 ／NTT 西日本に設定する

● 親機で操作します。



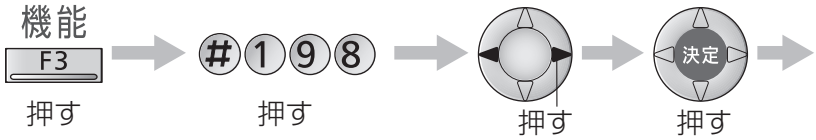
「NTT 東日本(0036) ／ NTT 西日本(0039)」を選ぶ

携帯通話事業者選択
NTT東日本(0036)
または
携帯通話事業者選択
NTT西日本(0039)

● 解除するときは「なし」を選ぶ。

携帯通話設定 その他の事業者に設定する

● 親機で操作します。



「その他」を選ぶ

携帯通話事業者選択
その他

● 解除するときは「なし」を選ぶ。

事業者識別番号を入力する

事業者識別番号
▌
(4 ～ 6 ケタ)

■加入電話選択番号とは

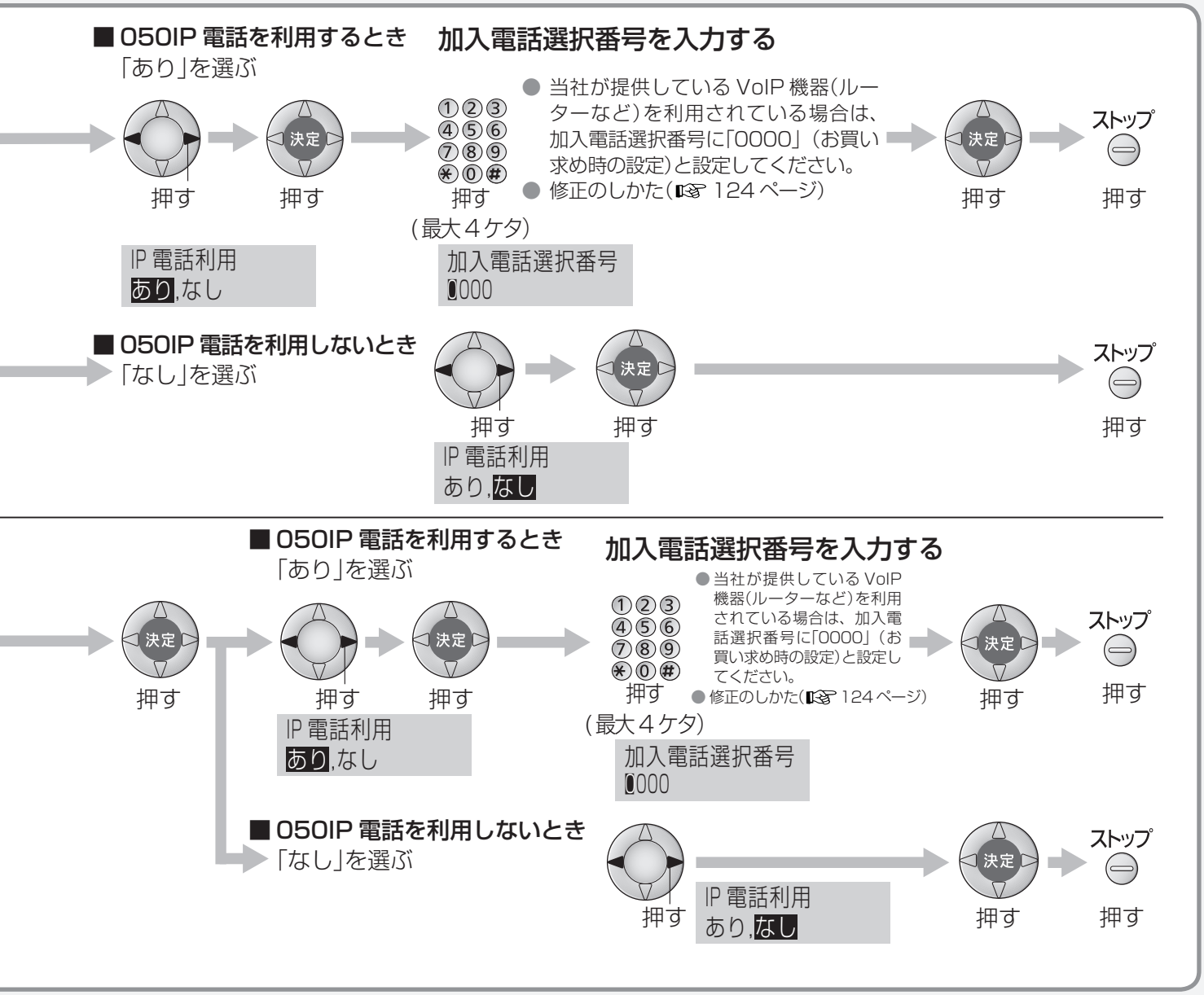
050IP 電話サービスをご契約時に、050IP 電話サービスを一時解除して電話をかけるための番号です。
加入電話選択番号については、ご利用の 050IP 電話サービス事業者にお問い合わせください。

お知らせ

- 050IP 電話サービスを契約している場合は、事業者選択画面で、設定する事業者を選択した際に、必ず IP 電話利用設定で「あり」を選択してください。
  ※ 050IP 電話サービスを契約していない場合は、IP 電話利用設定で「なし」を選択してください。
- IP 電話利用設定で「あり」を選択した場合は、必ず加入電話選択番号を登録してください。
  ※ご契約の 050IP 電話サービスによって加入電話選択番号は異なりますので、加入電話選択番号が不明な場合は、契約している 050IP 電話サービス事業者へ確認してください。
  ※当社が提供している VoIP 機器(ルーターなど)を利用されている場合は、加入電話選択番号は「0000」(お買い求め時の設定)を登録してください。

お知らせ

- 携帯通話設定は、携帯電話への発信のみに動作します。携帯電話以外の通話はご利用できません。
- 通話先・通話時間や発信事業者の料金プランなどによっては、一部お安くならない場合があります。
- 携帯電話に電話をかけるとき、ダイヤル操作が遅れると、事業者識別番号が自動付加されないことがあります。
- 携帯通話設定を設定すると、親機の液晶ディスプレイに が表示され、携帯電話にかけると、 が約５秒間点滅します。
- ひかり電話サービスをご利用の場合、携帯通話設定はご利用できません。



お知らせ

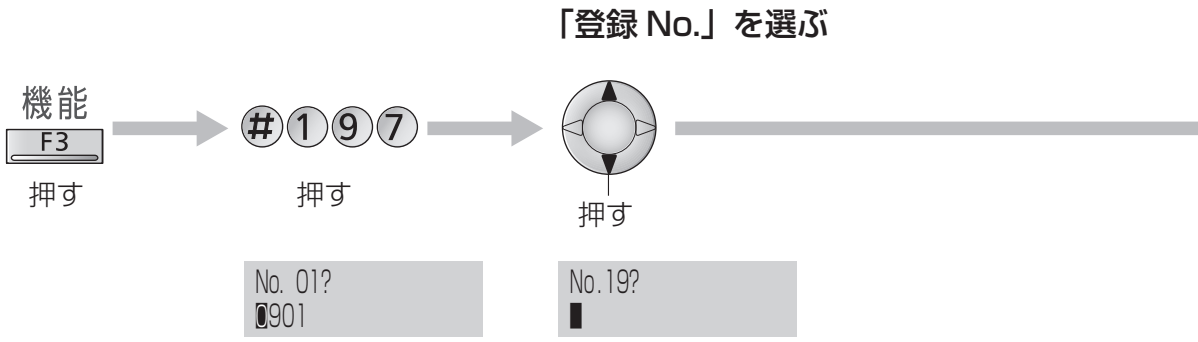
- 事業者選択画面で、「NTT 東日本（0036）」を選択した場合、NTT 東日本のサービス提供エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）以外では利用できません。
- 事業者選択画面で、「NTT 西日本（0039）」を選択した場合、NTT 西日本のサービス提供エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）以外では利用できません。
- 当社サービス提供エリア以外で利用される場合は、「その他」を選択してください。
- 事業者識別番号設定に、市外局番や存在しない事業者識別番号などを設定すると、相手につながりません。
- ホームテレホンや構内交換機（PBX）に接続した場合は、事業者選択設定を「なし」に設定してください。
- 携帯電話会社の留守番電話サービスの遠隔操作、船舶電話などには、「0000」（携帯通話設定解除番号）をつけてダイヤルしてください。その通話に限り、携帯通話設定を解除して電話をかけることができます。
- 携帯通話設定を利用していると、再ダイヤルに事業者識別番号や加入電話選択番号は記録されません。
- その他事業者のサービス内容、および通話料金については、各固定電話事業者にお問い合わせください。
- その他事業者の事業者識別番号は、各固定電話事業者にお問い合わせください。
- 設定の途中で設定動作を中断した場合は、設定変更内容は反映されません。
- 相手につながるまで、時間がかかる場合があります。

携帯番号帯設定を行う

この操作は、携帯番号帯が追加・変更されたとき以外は行わないでください。
登録されている番号の発信のみに携帯通話設定が適用されます。
2008 年 11 月現在、この操作を行う必要はありません。

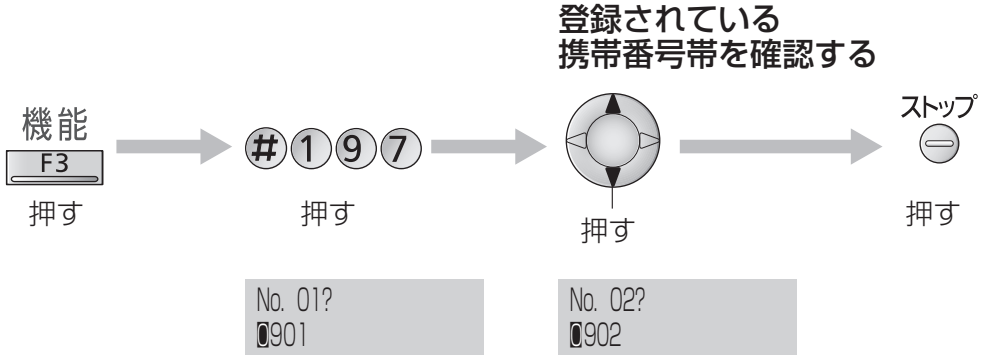
携帯番号帯を設定する

● 親機で操作します。



携帯番号帯を確認する

● 親機で操作します。



携帯番号帯とは

「090」「080」ではじまる携帯電話番号の上位 4 ケタのことです。
お買い求め時には、あらかじめ以下の 18 件が設定されています。最大 30 件まで設定できます。

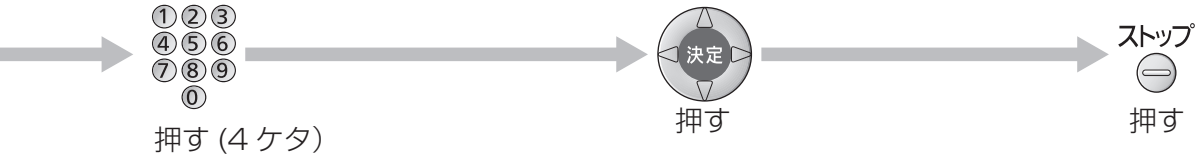
● 設定されている携帯番号帯

0901、0902、0903、0904、0905、0906、0907、0908、0909
0801、0802、0803、0804、0805、0806、0807、0808、0809

お知らせ

● すでに設定されている携帯番号帯を、誤って設定・消去すると、その携帯番号帯に電話をかけるときに携帯通話設定が利用できなくなります。

携帯番号帯を入力する



押す (4 ケタ)　　押す　　押す

No. 19?
091▌

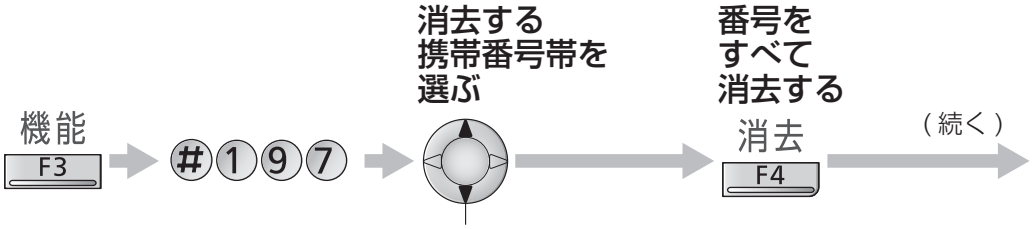
(例) 携帯番号帯「0911」を追加するとき

お知らせ

- PHS（「070」で始まる電話番号）や、市外局番、事業者識別番号など携帯番号帯以外の番号は設定しないでください。

携帯番号帯を消去する

- 親機で操作します。



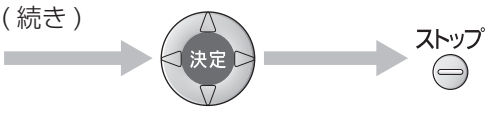
押す　　押す　　押す　　押す

No. 09?
0909

No. 09?
▌

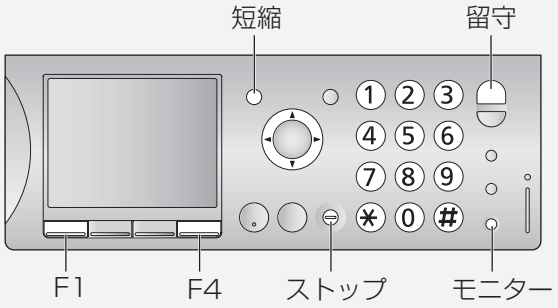
(例) No.09 の「0909」を消去するとき

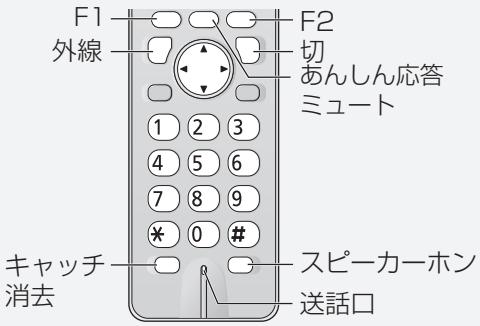
- 消去しないときは ストップ 押す



押す　　押す

電話をかける





親機で

1. 受話器を取り、ダイヤルする
2. 話す
3. 終わったら**受話器を戻す**

子機で

1. 充電器から**子機を取り、** 外線 **押し、ダイヤルする**
2. 話す
3. 終わったら 切 **押す**（充電器に戻す）

お知らせ

- 「ツー」音が聞こえてからダイヤルしてください。
- 親機でダイヤルすると、番号を音声で読み上げます。**（読み上げダイヤル）**（☞ 36・118 ページ）
- 子機は、充電器から取りあげるだけで電話をかけるように設定できます。（☞ 122 ページ「クイック通話」）
- 電話番号に 184 や 186 をつけてかけるとき（☞ 99 ページ）

  〈親機〉1 8 4（または 1 8 6） ➡ 留守（ポーズ） ➡ 電話番号 ➡ 取る

  〈子機〉1 8 4（または 1 8 6） ➡ F2（ポーズ） ➡ 電話番号 ➡ 外線 押す
  - かけられないときは（☞ 140 ページ）
- 構内交換機（PBX）に接続しているとき

  〈親機〉外線発信番号 ➡ 留守（ポーズ） ➡ 電話番号 ➡ 取る

  〈子機〉外線発信番号 ➡ F2（ポーズ） ➡ 電話番号 ➡ 外線 押す
- ダイヤル（DP）回線でプッシュホンサービスを利用するとき

  〈親機〉相手につながったあと ✱（トーン）押す

  〈子機〉相手につながったあと ✱（トーン）押す
- 携帯通話設定を設定して携帯電話にかけると、親機の液晶ディスプレイの が約 5 秒間点滅します。
- 表示される通話時間は、めやすです。

（親機の例）

時間 0:01:30
0312345678

- プリント中は、電話はかけられません。
- 相手の方がナンバー・ディスプレイをご利用のときは、ダイヤルしてから呼出音が聞こえるまでの時間が長くなることがあります。

■いろいろなかけかた

同じ相手にもう一度かける（再ダイヤル）
● 10 件まで記憶

親機

再ダイヤル 押す → 押して **相手を選び** → **取る**

■ 再ダイヤルの履歴を消去するには

（再ダイヤル） → 相手を選び → 消去 F4 → はい F1 → ストップ

子機

再ダイヤル 押す → 押して **相手を選び** → 外線 押す

■ 再ダイヤルの履歴を消去するには

（再ダイヤル） → 相手を選び → キャッチ 消去 → F1 → 切

チケット予約など電話を切らずにかけ直す（かんたん再ダイヤル）

子機のみ

相手にダイヤルする → つながらなかったら 再ダイヤル 押す

電話帳でかける

親機

電話帳 押す → 押して **相手を選び** → **取る** ● 登録は（☞ 58 ページ）

子機

電話帳 押す → 押して **相手を選び** → 外線 押す ● 登録は（☞ 60 ページ）

短縮ダイヤルでかける

親機のみ

短縮 押す → 1 ～ 9 押す → 取る ● 登録は（☞ 64 ページ）

受話器や子機を取らずにかける

親機

モニター 押す → ダイヤルする → **相手と話すときは、取る**
（モニター使用中は、こちらの声は聞こえません）

子機

■ ハンズフリー（スピーカーホン）でかける

スピーカーホン 押す → ダイヤルする → **送話口に向かって話す**（約 50 cm 以内）

● 天気予報など相手の声を聞くだけの場合に周囲の音により相手の声がとぎれるとき
あんしん応答 ミュート （ミュート）押す。もう一度押すと解除。

お知らせ

- 電話帳に表示される順番は（親機 ☞ 58 ページ・子機 ☞ 60 ページ「■登録を確認するには」）
- よくかける相手を先に表示させたいとき（親機 ☞ 58 ページ、子機 ☞ 60 ページ）
- 電話帳でかける相手を選ぶときに
  - フリガナの頭文字から探すには
    〈親機〉（電話帳） → 0 ～ 9（フリガナ） → （選ぶ）
    〈子機〉（電話帳） → 0 ～ 9（フリガナ） → （選ぶ）
  - グループから探すには
    〈親機〉（電話帳） → # → 1 ～ 9（グループ番号） → （選ぶ）
    〈子機〉（電話帳） → # → 1 ～ 9（グループ番号） → （選ぶ）
  - 電話番号の表示されていない部分を見るには （子機のみ） 押す
- 再ダイヤル・電話帳・短縮ダイヤルでかけるときは操作案内が流れます。（親機のみ）
  流れないようにするには（☞ 36 ページ）

電話を受ける



親機で

1 受話器を取り、話す

2 終わったら受話器を戻す

子機で

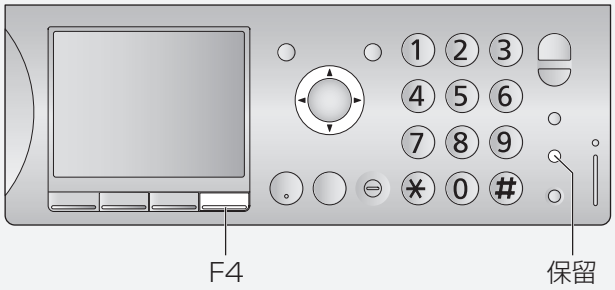
1 充電器から子機を取り、
外線 押し、話す

2 終わったら 切 押す（充電器に戻す）

お知らせ

- 子機は、充電器から取りあげるだけで電話に出られるように設定できます（☞ 122 ページ「オフフック応答」）。「オフフック応答」の設定を「あり」にすると「あんしん応答」（☞ 52 ページ）は働きません。
- 子機は 切 F1 F2 あんしん応答（ミュート） 以外のどのキーを押しても受けられます。
  （☞ 122 ページ「エニーキーアンサー」）
  - あんしん応答（ミュート） を押すと、あんしん応答になります。（☞ 53 ページ）
- 電話に出ても「ポーポー」音や無音のときは、ファクスが送られてきています。（☞ 69 ページ）
- 親機がプリント中は、子機では電話に出られません。

通話中の機能 （続く）





受話音の大きさを変える

親機

音量 押して **大きく**　　音量 押して **小さく**

● 詳しくは（☞ 116 ページ）

子機

押して **大きく**（音量/変換）　　押して **小さく**（音量/変換）

● 詳しくは（☞ 116 ページ）

相手の声の音質を変える（ボイスセレクト）

親機

ボイスセレクト F4 押す

● 詳しくは（☞ 114 ページ）

子機

F1 押す → 押して **「ﾎﾞｲｽｾﾚｸﾄ」を選び** → F1 押す → 押して **声の音質を選び** → F1 押す

● 詳しくは（☞ 114 ページ）

自分の声を低く変える（ボイスチェンジ）

子機のみ

F1 押す → 押して **「ﾎﾞｲｽﾁｪﾝｼﾞ」を選び** → F1 押す → F1 押す

● 電話がかかってきたときに使えます。

● 詳しくは（☞ 115 ページ）

自分の声を高く変える（ファニーボイス）

子機のみ

F1 押す → 押して **「ﾌｧﾆｰﾎﾞｲｽ」を選び** → F1 押す → F1 押す

● 電話がかかってきたときに使えます。

● 詳しくは（☞ 115 ページ）

相手に待ってもらう（保留）

親機

保留 押す（通話に戻るときは再度押す）

● 保留中は相手にメロディ「曲名：愛の挨拶」（和音ではありません）が流れる。

子機

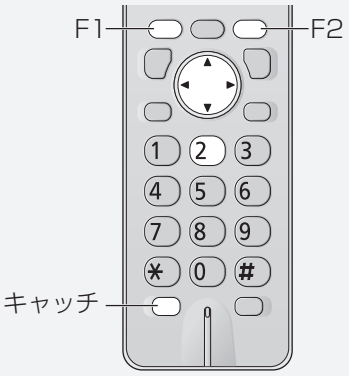
保留 押す（通話に戻るときは再度押す）

● 4 秒ごとに「ピーッ」と鳴る。
　● 鳴らさないようにするには（☞ 122 ページ「保留通知音」）。

● 保留中は相手にメロディ「曲名：愛の挨拶」（和音ではありません）が流れる。

通話中の機能（続き）





ファクスを受ける

親機

通話後、または「ポーポー」音や無音のとき　ファクス 押す ➡ 戻す

● 詳しくは（☞ 69 ページ）

子機

通話後、または「ポーポー」音や無音のとき　F1 押す ➡ 押して**「ファクス受信」を選び** ➡ F1 押す ➡ F1 押す

● 詳しくは（☞ 69 ページ）

通話を録音する（約 12 分まで）

● 内線通話、3 者通話、親機のモニター、子機のハンズフリー（スピーカーホン）での通話ではできません。

※ SD メモリーカードに録音できるときは 1 件 60 分まで（☞ 78 ページ「SD メモリーカードを使うとき」）

親機

再生 通話録音 押す ➡ はい F1 押す

通話録音を始める前に警告の音声を相手に流しますか？

● 相手にメッセージ「録音を始めます」が流れたあと、録音が開始される。

● いいえ F4 を押すと、メッセージが流れずに録音が開始される。

（やめるときは ストップ 押す）

子機

F1 押す ➡ 押して**「通話録音」を選び**

F1 押す ➡ F1 押す

（やめるときは F1 押す）

■ 録音した通話を聞くとき

通話を終了したあとで

〈親機〉 再生 押す

〈子機〉 F2 ➡ 2 押す

● 再生していない留守番電話の用件も同時に再生されます。（再生中の操作は ☞ 79 ページ「■ 用件を再生中に…」）

● 録音時間について（☞ 162 ページ）

■ SD メモリーカードを入れているとき

SD ランプの点滅中は、SD メモリーカードを抜いたり、電源コードを抜いたりしないでください。（データが破壊されることがあります）

キャッチホンを受ける（当社との契約が必要です）

親機

キャッチ（F1）押す

■元の相手との通話に戻るとき　キャッチ（F1）押す

■キャッチホンでファクスが来たとき　（☞左ページ「ファクスを受ける」）

● ファクス受信中は 1 人目の方は保留になり、受信完了後は通話が切れます。
（ファクス）を押す前に 1 人目の方との通話を終了してください。（☞下記）

子機

（キャッチ）押す

■元の相手との通話に戻るとき （キャッチ）押す

■キャッチホンでファクスが来たとき　（☞左ページ「ファクスを受ける」）

● ファクス受信中は 1 人目の方は保留になり、受信完了後は通話が切れます。
F1 を押す前に 1 人目の方との通話を終了してください。（☞下記）

お知らせ

● ファクスの送信中や受信中にキャッチホンが入ると、ファクスの画像が乱れたり、送信や受信が中断されることがあります。
またこの場合は、電話がかかってきたことはこちらではわかりません。キャッチホンサービスの異常ではありませんので、ご了承ください。

● キャッチホンⅡサービスをご利用になり、割り込み回数を「0 回」に設定していただくとファクス通信中にキャッチホンが入っても異常なく通信できます。

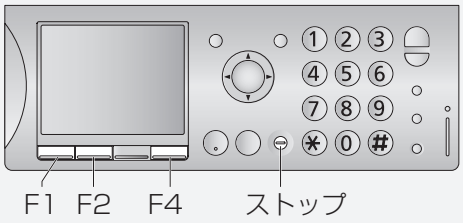
● 通話中にキャッチホンが入ったときは、必ずキャッチ（F1）（子機では（キャッチ））を押して切り換えてください。他の方法ではうまく切り換わらないことがあります。

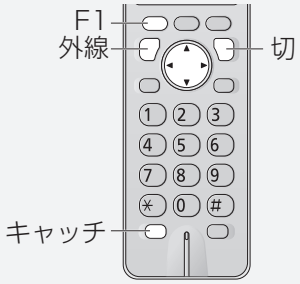
● **通話中にキャッチホンサービスにより割り込んだ相手がファクスの場合は**
➡「ポーポー」という音が聞こえてもファクス親切受信（☞ 69 ページ）は働きません。
ファクスを受信する場合は、前の人との通話を終了し、手動受信の操作（☞左ページ「ファクスを受ける」）により受信します。ファクス受信を完了すると回線が切断されます。
なお手動受信の操作を行わなかった場合は、ファクスを送った相手の方は通信エラーになります。また続けてファクスが送られてくることが考えられますので、早めにお話しを終わられることをお勧めします。

● キャッチホンが入っていないときにキャッチ（F1）を押すと、通話が切れる場合があります。

● キャッチボタンを操作するときには、誤って他のボタンを押さないようにしてください。誤動作または通話が切れる場合があります。

迷惑な電話をお断りする 通話拒否





- 呼出音が鳴っているときや通話中に通話拒否の操作をすると、相手に通話を拒否するメッセージを流し、電話が切れます。通話中にチャイムを鳴らして、来客があったようにすることもできます(親機のみ)。
- ナンバー・ディスプレイを利用しているときは、通話拒否したあと、今後、電話を受けないようにすることができます。(☞ 右ページ)

メッセージを流して通話を拒否する

親機

■ 呼出音が鳴っているとき

通話拒否 F2 押す → 受話器を取っているときは 戻す

■ 通話中

通話拒否 F2 押す → 音声 F1 押す

- 相手にメッセージ⑭(☞ 123 ページ)が2回流れ、電話が切れる。
- メッセージの途中で戻しても最後まで流れる。

子機

■ 呼出音が鳴っているとき

F1 押す → F1 押す → 切 押す(充電器に戻す)

- 相手にメッセージ⑭(☞ 123 ページ)が2回流れ、電話が切れる。
- メッセージの途中で押しても最後まで流れる。

■ 通話中

F1 押す → 押して「通話拒否」を選び → F1 押す

通話中、チャイムを鳴らして通話を拒否する

親機のみ

■ 通話中

通話拒否 F2 押す → チャイム F4 押す → 来客があったことにして**電話を切る**

- 相手にチャイムが聞こえる。(電話は切れない)

■メッセージを中止し、電話に出るには

〈親機〉
- 呼出音が鳴っているときに通話拒否の操作をしたときは、メッセージ中に 取る
  (メッセージ中に ストップ を押すと、メッセージを中止し電話が切れます)
- 通話中に通話拒否の操作をしたときは、受話器を上げた状態で、メッセージ中に ストップ 押す
  (受話器を置いた状態で、メッセージ中に ストップ を押すと、メッセージを中止し電話が切れます)

〈子機〉 メッセージ中に 外線 押す

お知らせ

- メッセージ中は、スピーカーから通話拒否メッセージと相手の声を聞くことができます。音量を変えるには(☞ 116 ページ)
- 電話をかけたときや、内線通話中・コピー中は使えません。
- キャッチホンを受けたときは(親機は キャッチ F1、子機は キャッチ)、上記機能は働きません。

ナンバー・ディスプレイ（当社との契約が必要です）を利用しているとき

■呼出音が鳴っているときに、メッセージを流して通話を拒否する操作をすると

相手にメッセージが2回流れ、電話が切れる。

- 電話番号を通知してきた相手には…メッセージ⑭（☞ 123 ページ）
- 非通知の相手には……メッセージ⑩（☞ 123 ページ）
- 公衆電話の相手には…メッセージ⑪（☞ 123 ページ）
- 表示圏外の相手には…メッセージ⑫（☞ 123 ページ）

〈親機〉電話番号を通知してきたとき	非通知・公衆電話・表示圏外のとき	〈子機〉電話番号を通知してきたとき	非通知・公衆電話・表示圏外のとき
通話拒否中 切るには［ｽﾄｯﾌﾟ］押す 迷惑設定しますか？	通話拒否中 切るには［ｽﾄｯﾌﾟ］押す 拒否設定しますか？	通話拒否中 話すには ［外線］押す ↕交互表示 迷惑設定 しますか？	通話拒否中 話すには ［外線］押す ↕交互表示 拒否設定 しますか？

■ 通話中にメッセージを流して通話を拒否する操作をすると

相手にメッセージ⑭（☞ 123 ページ）が2回流れ、電話が切れる。

〈親機〉電話番号を通知してきたとき	非通知・公衆電話・表示圏外のとき	〈子機〉電話番号を通知してきたとき	非通知・公衆電話・表示圏外のとき
通話拒否中 中止は［ｽﾄｯﾌﾟ］押す 迷惑設定しますか？	通話拒否中 中止は［ｽﾄｯﾌﾟ］押す 拒否設定しますか？	通話拒否中 話すには ［外線］押す ↕交互表示 迷惑設定 しますか？	通話拒否中 話すには ［外線］押す ↕交互表示 拒否設定 しますか？

■ 通話中にチャイムを鳴らして通話を拒否する操作をすると

相手にチャイムが聞こえる。（電話は切れない）

〈親機のみ〉 電話番号を通知してきたとき	非通知・公衆電話・表示圏外のとき
迷惑設定しますか？	拒否設定しますか？

通話拒否した電話を、次回から受けないようにすることができます。

〈親機〉 上記ディスプレイを表示中に はい F1 押す　〈子機〉 上記ディスプレイを表示中に F1 押す

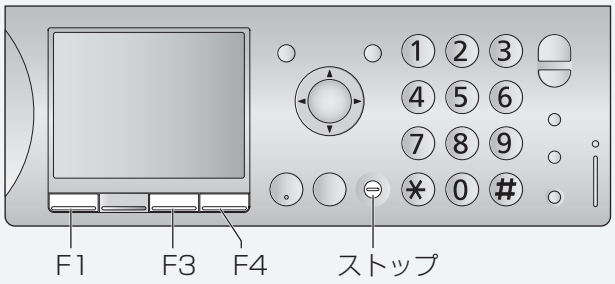
- 電話番号を通知してきたとき…相手が「迷惑電話着信拒否」に登録される（☞ 104 ページ）
- 非通知のとき……「非通知拒否／留守応答」が「受けない」に設定される（☞ 105 ページ）
- 公衆電話のとき……「公衆電話拒否／留守応答」が「受けない」に設定される（☞ 105 ページ）
- 表示圏外のとき……「表示圏外拒否／留守応答」が「受けない」に設定される（☞ 105 ページ）

お知らせ

- キャッチホン・ディスプレイをご利用時、通話中にキャッチホンが入ると、上記機能は働きません。

相手の声を確認して電話に出る

あんしん応答



呼出音が鳴っているときに、相手に名前を尋ねるメッセージを流して相手の声を確認したあと、電話に出たり、電話を切ったりすることができます。

あんしん応答を使う　**親機**

呼出音が鳴っているとき

あんしん応答 F3 押す → **スピーカーから相手の声を聞く**

あんしん応答中
[F1]=おことわり
[F4]=くりかえし
切るには[ストップ]押す

● 名前を尋ねるメッセージ⑮（☞ 123 ページ）が相手に流れます。

■ 電話に出るとき

取る

■ おことわりのメッセージを流して電話を切るとき

おことわり F1 押す

あんしん応答中
おことわり中

切るには[ストップ]押す

● メッセージ⑭（☞ 123 ページ）が相手に流れ、電話が切れます。

■ もう一度名前を尋ねるメッセージを流すとき

くりかえし F4 押す

■ メッセージ中やスピーカーから相手の声を聞いているときに電話を切るには

〈親機〉 ストップ 押す　〈子機〉 切 押す（または充電器に戻す）

お知らせ

● メッセージ中は、スピーカーからあんしん応答メッセージと相手の声を聞くことができます。音量を変えるには（☞ 116 ページ）

● 親機は あんしん応答 F3 、子機は あんしん応答 ミュート を押したあと、約 40 秒間操作をしないと、電話が切れます。

● 内線電話中・コピー中などは、あんしん応答は使えません。



あんしん応答を使う

子機

呼出音が鳴っているとき

あんしん応答
ミュート
押す

→ スピーカーから相手の声を聞く

あんしん応答
話すには
[外線]押す

↕ 交互表示

あんしん応答
おことわり=＊
くりかえし=＃

● 名前を尋ねるメッセージ⑮（☞ 123 ページ）が相手に流れます。

■ 電話に出るとき

外線
押す

■ おことわりのメッセージを流して電話を切るとき

＊
押す

あんしん応答
おことわり中

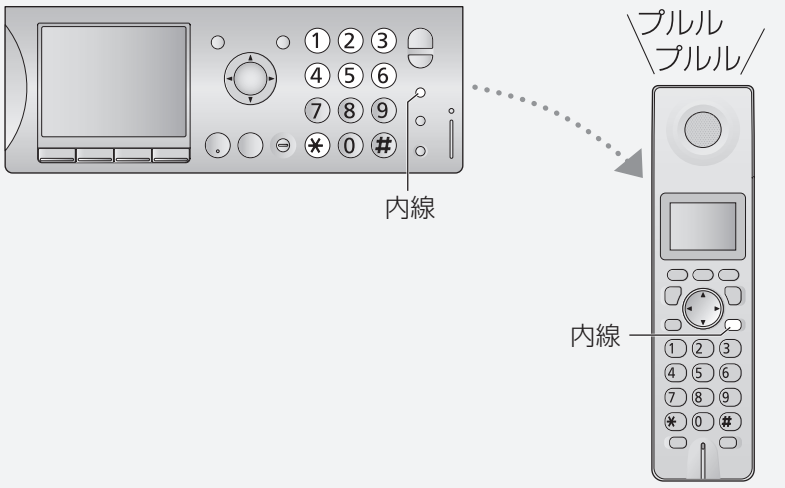
● メッセージ⑭（☞ 123 ページ）が相手に流れ、電話が切れます。

■ もう一度名前を尋ねるメッセージを流すとき

＃
押す

親機と子機・子機どうしで話す（内線通話）

親機から子機へ



親機

取り、内線 押す

■子機が 2 台以上または
ドアホン接続時

内線 → 1 ～ 6

（内線番号）

■すべての子機を呼ぶとき

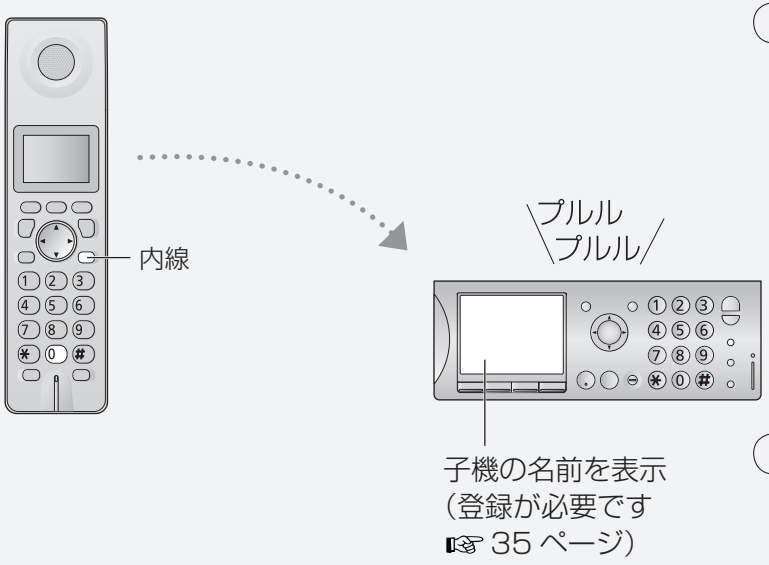
内線 → ＊

子機

充電器から取り、

内線 押し、話す

子機から親機へ



子機

内線 押す

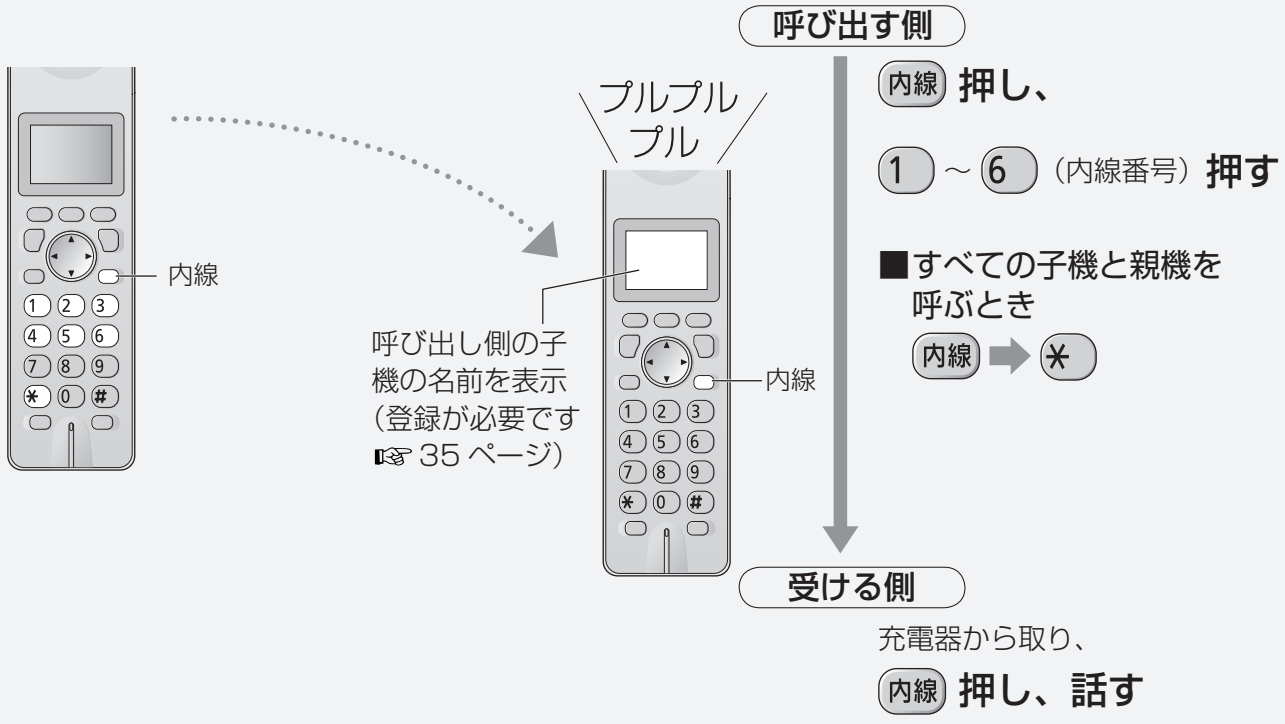
■子機が 2 台以上または
ドアホン接続時

内線 → 0

親機

取り、話す

子機から別の子機へ（子機が 2 台以上のとき）



■内線通話を切るには

〈親機〉 戻す　　〈子機〉 切 押す（または充電器に戻す）

■内線通話中に電話がかかってきたら

呼出音（ベル 1 ☞ 117 ページ）が聞こえる。

〈親機〉受話器を戻してから取る。（外線につながる）　　〈子機〉 切 ➡ 外線 （外線につながる）

- 外線がファクスのときは

〈親機〉 ファクス ➡ 戻す　　〈子機〉 F1 ➡ 「ファクス受信」を選び ➡ F1 ➡ F1

■「内線呼出」が「音声」のときは（☞ 117 ページ）

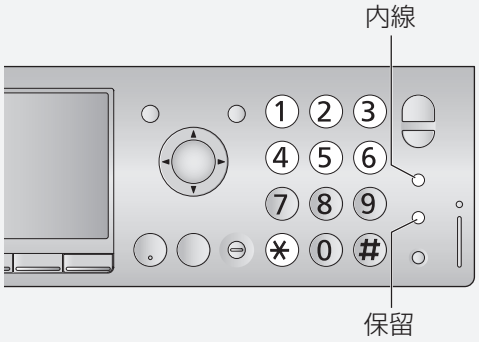
〈かける側〉 内線通話をかけて呼出音が 2 回聞こえたあと、受話器（または子機）を使って相手に呼びかけてください。

〈受ける側〉 内線通話の呼出音が 1 回鳴ったあと、スピーカーから相手の声を聞くことができます。受話器を取って（子機は充電器から取り、内線 押して）話してください。

お知らせ

- 子機どうしで内線通話中に、電話やファクス・コピーはできません。
- 内線通話では子機のハンズフリー（スピーカーホン）は使えません。
- 親機と子機で内線通話中、子機どうしの内線通話中は、モデムダイヤルインによる呼び出しは働きません。通話中の電話機の受話口から呼出音が聞こえます。内線通話を終え、外線通話を受けてください。
- ドアホンを接続しているとき（☞ 134 ページ「■本商品からドアホンに呼びかけるには」）

電話を取りつぐ(転送する)／3者通話にする





親機から子機へ取りつぐ(親機で3者通話にする)

親機側



通話中 **子機を呼び出す**

内線 ○ 押す

■ 子機が2台以上またはドアホン接続時

内線 ○ ➡ 1 ～ 6 (内線番号)

■ すべての子機を呼ぶとき

内線 ○ ➡ ＊

子機側



■取りつぐ(または3者通話の)相手が出ないとき

内線 ○ 押す(通話に戻る)

子機から親機へ取りつぐ(子機で3者通話にする)

子機側



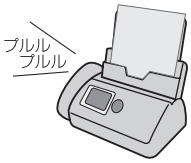
通話中 **親機を呼び出す**

内線 押す

■ 子機が2台以上またはドアホン接続時

内線 ➡ 0

親機側



子機が2台以上のときに子機から別の子機へ取りつぐ

呼び出す側

通話中

内線 押す ➡ 1 ～ 6 (内線番号) 押す

■ すべての子機と親機を呼ぶとき

内線 ➡ ＊

受ける側



■取りつぐ(または3者通話の)相手が出ないとき

外線 押す(通話に戻る)

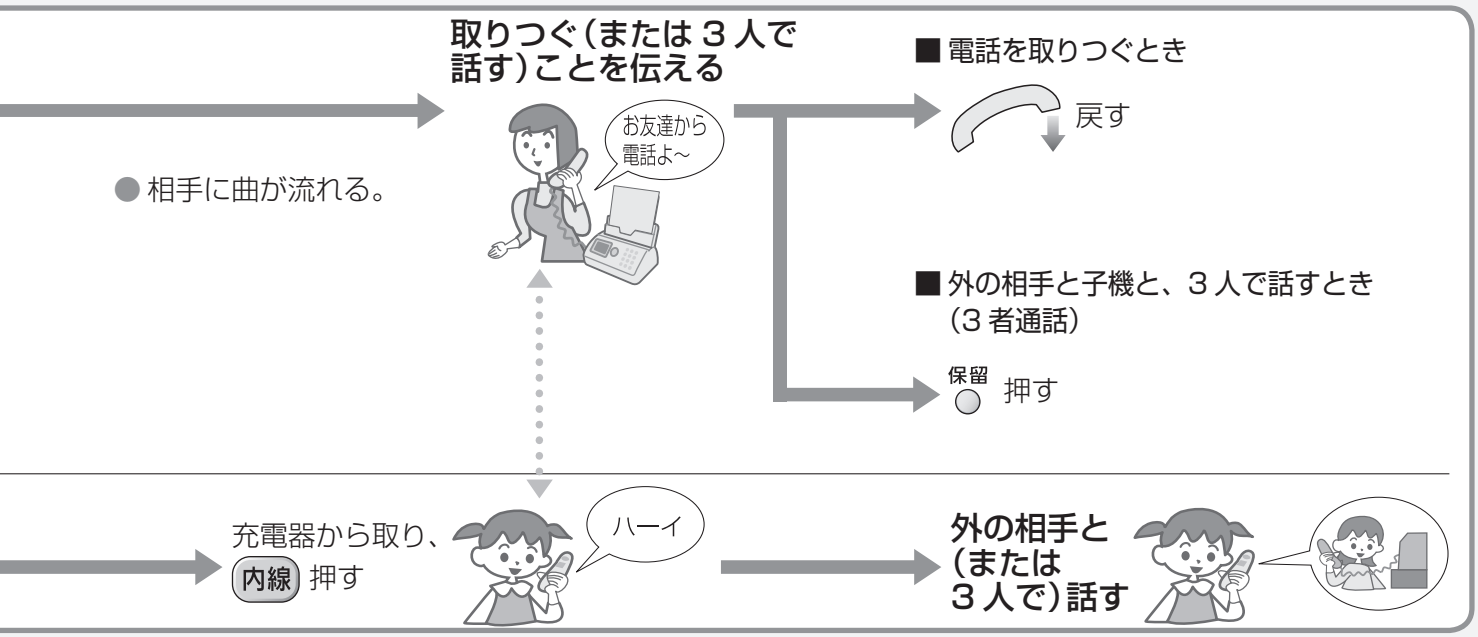
お知らせ

- 3者通話では子機のハンズフリー(スピーカーホン)は使えません。
- 3者通話中にドアホンから呼び出しがあったときは、電話を切ったあと、ドアホンに出てください。
  外線を保留してドアホンに出るには
  - 親機で出るとき
    ➡子機の 切 押し(子機の通話が終わる)、親機の 内線 ○ 押す
  - 子機で出るとき
    ➡親機の受話器を戻し(親機の通話が終わる)、子機の 内線 押す

ドアホンとの通話が終わり、電話の相手と再度お話しするには、親機は受話器を戻して再度取り上げる(子機は 切 押し、外線 押す)。3者通話に戻るには、電話を取りつぐ操作をやり直してください。

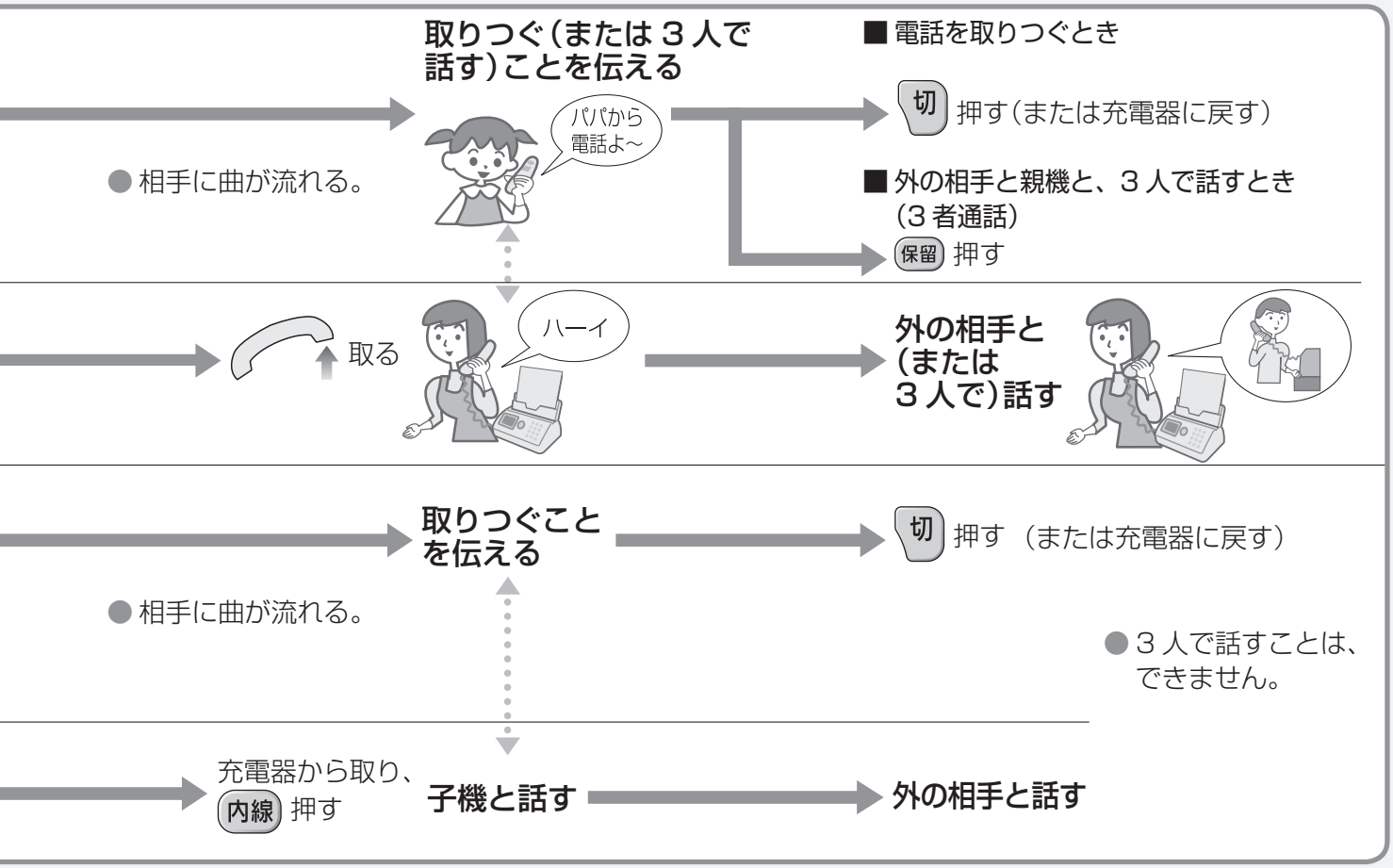
お知らせ

- ボイスチェンジ、ファニーボイス、ミュートを使っているときは、電話を取りつぐ操作をすると解除されます。
- 「内線呼出」が「音声」のときは（☞ 55 ページ、設定は☞ 117 ページ）



■取りつぐ相手が近くにいるとき

〈親機〉 保留 ➡ 戻し、取りつぎたい相手に声をかける ➡ 〈子機〉 外線 押す



■取りつぐ相手が近くにいるとき

〈子機〉 保留 ➡ 取りつぎたい相手に声をかける

➡ 〈親機〉 取る または 〈取りつぐ相手の子機〉 外線 押す

電話帳に登録する 親機



- 電話帳で電話をかけるには（☞ 45 ページ）
- 電話帳でファクスを送るには（☞ 67 ページ）
- 登録済みの相手先を、子機へ転送するには（☞ 62 ページ）
- SD メモリーカードを使って電話帳の保存・読み込みをするには（☞ 96 ページ）

お願い

- 電話帳に登録した内容（名前、電話番号など）は、プリントして保管してください（☞ 右ページ「■登録内容をプリントするには」）。電話帳に登録した内容は、本商品の故障、修理やその他取り扱いにより、登録内容が消失してしまう場合があります。万一、電話帳に登録してある内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

親機に登録する（150 件まで）

電話帳を開く

電話帳 を押す

電話帳空き　146件
登録は［登録］押す
検索は［▼,▲］押す

登録できる残り件数

- 操作案内が流れる。

登録 F3 を押す

名前を入力する

①②③ ④⑤⑥ ⑦⑧⑨ ✱⓪# を押す

名前?　［かな］
友人▌
_

（全角 10 文字／半角 20 文字 まで）

- 文字入力・漢字変換のしかたは（☞ 124 ページ）

決定 を押す

1 ～ 9 のグループ番号をつけて登録すると

グループ別に相手を探して電話をかけたり（☞ 45 ページ）、ナンバー・ディスプレイを利用すれば、グループごとに呼出音を変えることができます。（☞ 106 ページ）

ナンバー・ディスプレイご利用時、本商品の鳴り分けなどを正しく動作させるために、電話番号は同一市内でも必ず市外局番から入力してください。

■途中でやめるとき

ストップ を押す

■操作案内が流れないようにするには

（☞ 36 ページ）

■登録を確認するには

（電話帳）→（順に表示）→ ストップ

- を押すと、次のフリガナ順に表示されます。
  を押すと、逆順で表示されます。
  数字（小さい順）→アルファベット（A ～ Z）→カナ（ア～ン）→記号→電話番号（名前登録なし）
- よくかける相手を先に表示させたいときは、フリガナの前に数字をつけて登録すると（例：「001 ﾕｳｼﾞﾝ」「002 ｶｲｼｬ」…）、数字の小さい順に表示されます。

お知らせ

- 184 や 186 をつけて電話番号を入力するとき（☞ 99 ページ）
  ①⑧④（または①⑧⑥）のあとに 留守（ポーズ）押す
  （ポーズを入れないと誤発信することがあります。かけられないときは ☞ 140 ページ）
- 時報（117）、天気予報（177）、電報（115）、番号案内（104）がすでに登録されています。
  （修正・消去できます）
- 登録する際は、誤った番号を登録しないよう、電話番号をよく確かめて登録してください。
- スペースを入れるとき ➡ 保留 押す
- 海外などの番号を登録するとき
  ➡ 事業者識別番号のあとに 留守（ポーズ）押す

（続けて登録するとき）

フリガナを確認する

間違っていれば修正する ➡ 決定 押す

```
ﾌﾘｶﾞﾅ?          [ｶﾅ]
ｺｳｼﾞﾝ
```

（半角 12 文字 まで）

- 修正のしかたは
  （☞ 124 ページ）

電話番号を市外局番から入力する

①②③
④⑤⑥
⑦⑧⑨
✱⓪#

押す ➡ 決定 押す

```
電話番号?
          0312342222
```

（24 ケタまで）

- 番号を音声で読み上げます。
  （読み上げダイヤル）
  （☞ 36・118 ページ）
- 再生 押すと、読み上げた番号をもう一度聞くことができます。
- 間違えたときは 消去 F4 押す

グループ番号を入力する

1 ～ 9 押す ➡ 決定 押す ➡ ストップ 押す

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟ?
1
```

入力しないときは、グループ 1 になる

■再ダイヤルから登録するには

（再ダイヤル）➡ 相手を選び ➡ 電話帳登録 F3 ➡ 名前を入力 ➡（決定）➡ フリガナを確認 ➡（決定）➡ 電話番号を確認 ➡（決定）➡ グループ番号を入力 ➡（決定）➡ ストップ

■修正するには〔※修正のしかたは（☞ 124 ページ）〕

（電話帳）➡ 修正する人を選び ➡ 修正 F3 ➡ 名前を修正※ ➡（決定）➡ フリガナを修正※ ➡（決定）➡ 電話番号を修正※ ➡（決定）➡ グループ番号を修正 ➡（決定）➡ ストップ

■消去するには

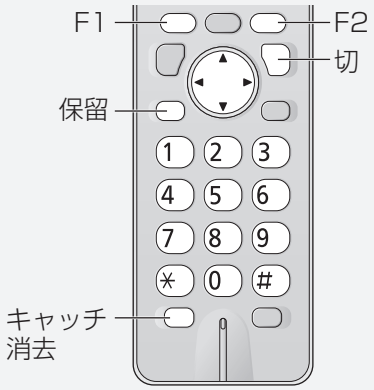
（電話帳）➡ 消去する人を選び ➡ 消去 F4 ➡ はい F1 ➡ ストップ

- すべてを消去するには（☞ 119 ページ「電話帳全消去」）

■登録内容をプリントするには

機能 F3 ➡ #⓪④① ➡（決定）➡ 終わったら ストップ

電話帳に登録する 子機



- 電話帳で電話をかけるには（☞ 45 ページ）
- 登録済みの相手先を、親機または別の子機へ転送するには（☞ 62 ページ）

お願い

- 電話帳に登録した内容（名前、電話番号など）は、プリントして保管してください（☞ 右ページ「■登録内容をプリントするには」）。電話帳に登録した内容は、本商品の故障、修理やその他取り扱いにより、登録内容が消失してしまう場合があります。万一、電話帳に登録してある内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

子機に登録する
（150 件まで）

電話帳を開く

電話帳 → 押す

F1 → 押す

名前を入力する

1 2 3 / 4 5 6 / 7 8 9 / * 0 → 押す

F1 → 押す

名前?
空き　146件
登録できる残り件数

友人▮
_
（全角 10 文字／半角 20 文字 まで）

- 文字入力・漢字変換のしかたは（☞ 126 ページ）

1 ～ 9 のグループ番号をつけて登録すると

グループ別に相手を探して電話をかけたり（☞ 45 ページ）、ナンバー・ディスプレイを利用すれば、グループごとに呼出音を変えることができます。（☞ 106 ページ）

ナンバー・ディスプレイご利用時、本商品の鳴り分けなどを正しく動作させるために、電話番号は同一市内でも必ず市外局番から入力してください。

■途中でやめるとき 切 押す

■登録を確認するには

(電話帳) → (順に表示) → 切

- を押すと、次のフリガナ順に表示されます。
  を押すと、逆順で表示されます。
  数字（小さい順）→アルファベット（A ～ Z）→カナ（ア～ン）→記号→電話番号（名前登録なし）
- よくかける相手を先に表示させたいときは、フリガナの前に数字をつけて登録すると（例：「001 ﾕｳｼﾞﾝ」「002 ｶｲｼｬ」…）、数字の小さい順に表示されます。

お知らせ

- 親機とは別に、子機ごとに 150 件まで登録できます。
- 184 や 186 をつけて電話番号を入力するとき(☞ 99 ページ)
  (1)(8)(4)(または(1)(8)(6))のあとに F2(ポーズ)押す
  (ポーズを入れないと誤発信することがあります。かけられないときは ☞ 140 ページ)
- 時報(117)、天気予報(177)、電報(115)、番号案内(104)がすでに登録されています。
  (修正・消去できます)
- 登録する際は、誤った番号を登録しないよう、電話番号をよく確かめて登録してください。
- スペースを入れるとき➡ 保留 押す
- 海外などの番号を登録するとき
  ➡ 事業者識別番号のあとに F2(ポーズ)押す

(続けて登録するとき)

フリガナを確認する

間違っていれば修正する ➡ F1 押す

友人
ﾌﾘｶﾞﾅ?
ﾔﾏｼﾞﾝ

(半角 12 文字 まで)

- 修正のしかたは(☞126ページ)

電話番号を市外局番から入力する

(1)(2)(3)
(4)(5)(6)
(7)(8)(9)
(*)(0)(#)
押す ➡ F1 押す

友人
0312342222

(24 ケタまで)

- 間違えたときは キャッチ 消去 押す

グループ番号を入力する

(1) ～ (9) 押す ➡ F1 押す ➡ 切 押す

ｸﾞﾙｰﾌﾟ=1
[1-9]押す

入力しないときは、グループ 1 になる

■再ダイヤルから登録するには

(再ダイヤル) ➡ 相手を選び ➡ F1 ➡ 名前を入力 ➡ F1 ➡ フリガナを確認 ➡ F1 ➡ 電話番号を確認 ➡ F1 ➡ グループ番号を入力 ➡ F1 ➡ 切

■修正するには〔※修正のしかたは(☞ 126 ページ)〕

(電話帳)➡ 修正する人を選び ➡ F1 ➡ 名前を修正※ ➡ F1 ➡ フリガナを修正※ ➡ F1 ➡ 電話番号を修正※ ➡ F1 ➡ グループ番号を修正 ➡ F1 ➡ 切

■消去するには

(電話帳)➡ 消去する人を選び ➡ キャッチ 消去 ➡ F1 ➡ 切

- すべてを消去するには(☞ 122 ページ「電話帳全消去」)

■登録内容をプリントするには(親機と子機で操作する)

〈親機〉機能 F3 ➡ (#)(0)(4)(1) ➡ 「子機」を選び ➡ (決定)

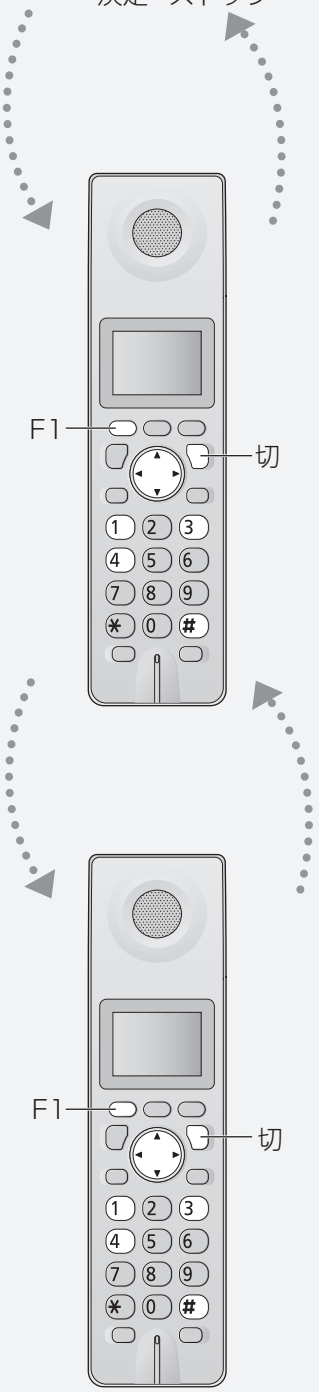
➡〈子機〉☞ 62 ページ「子機の電話帳を親機または別の子機へ転送する」の「全件を一斉に」の操作

➡〈親機〉プリントが終わったら、ストップ

- この操作をしても親機の電話帳には登録されません。

電話帳を転送する





親機の電話帳を子機へ転送する

1件ずつ

機能 F3 押す → #143 押す

電話帳転送

全件を一斉に

機能 F3 押す → #143 押す

電話帳転送

子機の電話帳を親機または別の子機へ転送する（子機が2台以上のとき）

1件ずつ

F1 押す → #143 押す

転送先=親機
選択は
[▼,▲]を押す

● 子機が2台以上のときは
転送先を選ぶ。

全件を一斉に

F1 押す → #143 押す

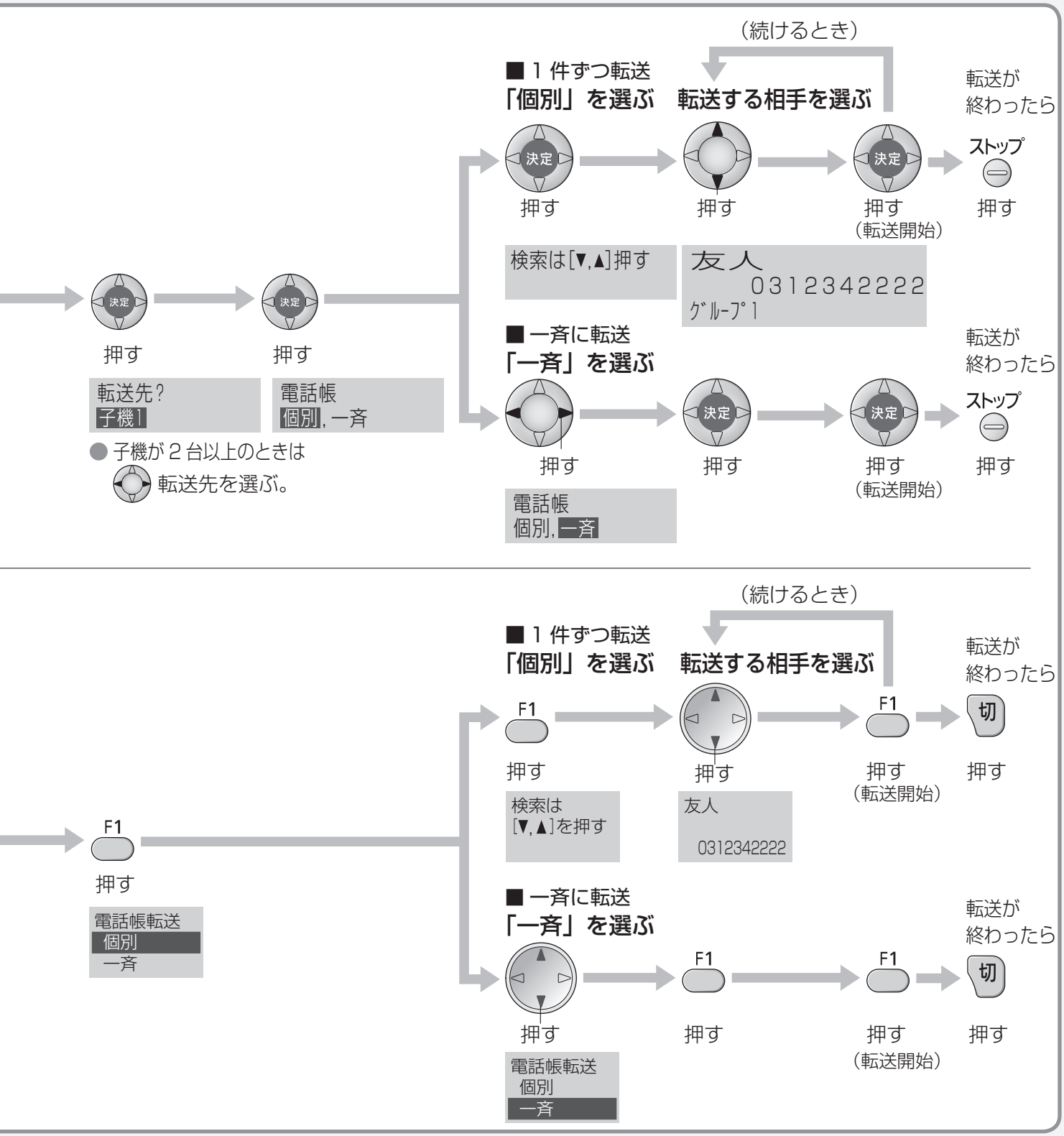
転送先=親機
選択は
[▼,▲]を押す

● 子機が2台以上のときは
転送先を選ぶ。

■途中でやめるとき

〈親機〉 ストップ 押す

〈子機〉 切 押す

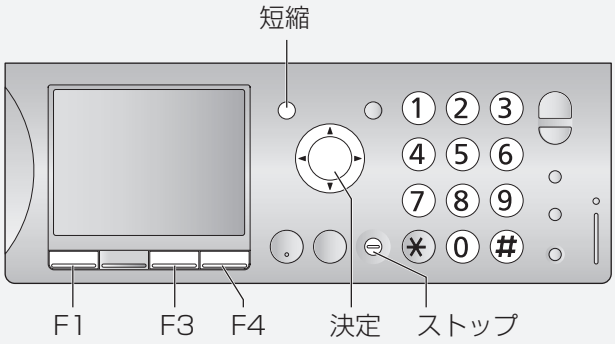


お知らせ

- 転送先に同じ内容があるときは、追加登録されません。(名前が同じでも電話番号やグループが違うときは登録されます)
- 全件を一斉に転送したときは、 を押して表示される順に転送されます(多いと時間がかかります)。
  空き件数がなくなると終了します。
- 転送するときは、子機を親機の近くに持ってきてください。
- 転送中に電話がかかってくると、転送をやめて呼出音が鳴ります。
- 転送しても、転送元や転送先にすでに登録されている内容は消えません。

短縮ダイヤルに登録する

親機の電話帳に登録している相手を、短縮ダイヤルに登録できます。



- 短縮ダイヤルで電話をかけるには
  （☞ 45 ページ）
- 短縮ダイヤルでファクスを送るには
  （☞ 67 ページ）

短縮ダイヤルを登録する
（9 件まで）

短縮番号を押す

短縮 押す → 1 ～ 9 いずれかを押す → 登録 F3 押す

- 操作案内が流れる。

1 を押したときの例

短縮1
未登録

- すでに登録されているときは、別の短縮番号を押す。
- を押しても選べます。

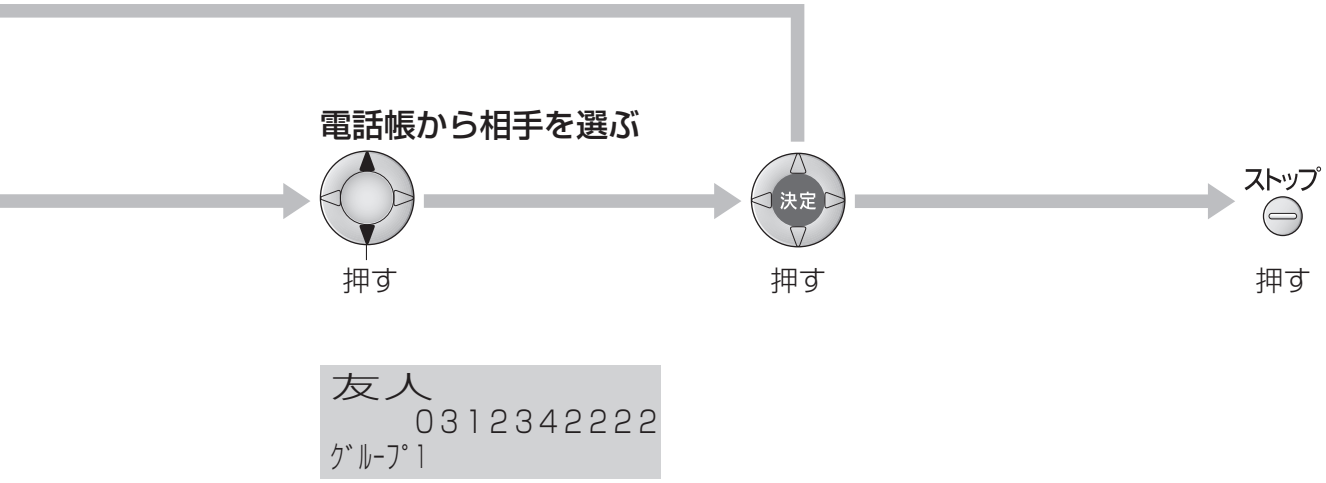
お知らせ

- 名前や電話番号を修正するには、電話帳の内容を修正してください。（☞ 59 ページ）
  電話帳を修正・消去すると、短縮ダイヤルも修正・消去されます。
- SD メモリーカードに保存されている電話帳を「上書読込」で読み込むと、短縮ダイヤルも消去されます。（☞ 96 ページ「SD メモリーカードの電話帳を親機に読み込む」）
- 短縮ダイヤルを消去しても、電話帳は消去されません。
- 短縮ダイヤルを変更するときは、一度短縮ダイヤルを消去して、再度登録してください。

■途中でやめるとき ストップ 押す

■操作案内が流れないようにするには
（☞ 36 ページ）

（続けて登録するとき）



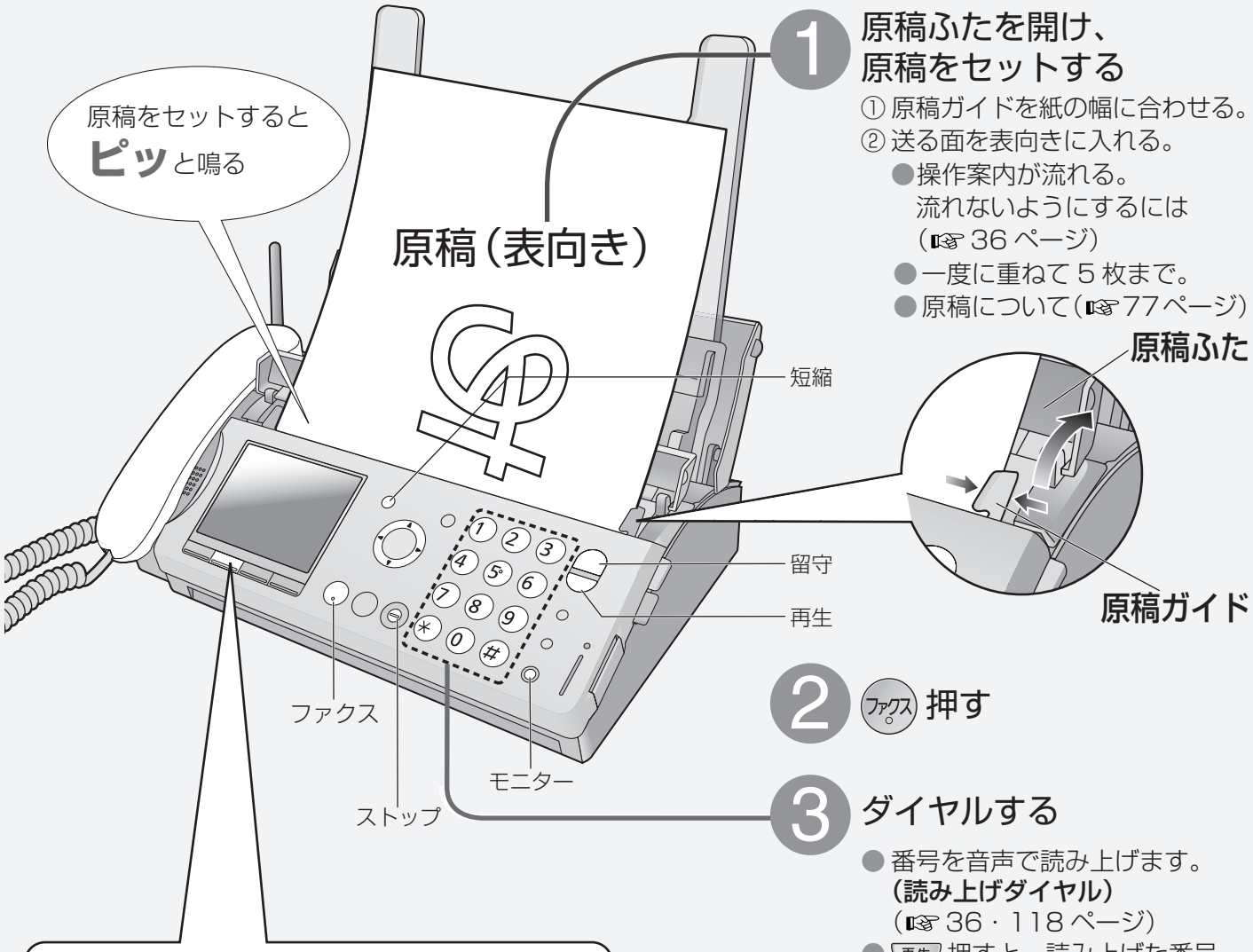
■消去するには

短縮 ➡ ①～⑨（短縮番号）➡ 消去 F4 ➡ はい F1 ➡ ストップ

■登録内容をプリントするには

機能 F3 ➡ #039 ➡ （決定）➡ 終わったら ストップ

ファクスを送る



1 原稿ふたを開け、原稿をセットする

① 原稿ガイドを紙の幅に合わせる。
② 送る面を表向きに入れる。

- 操作案内が流れる。
  流れないようにするには
  （☞ 36 ページ）
- 一度に重ねて 5 枚まで。
- 原稿について（☞77ページ）

2 ファクス 押す

3 ダイヤルする

- 番号を音声で読み上げます。
  （読み上げダイヤル）
  （☞ 36・118 ページ）
- 再生 押すと、読み上げた番号をもう一度聞くことができます。

4 ファクス 押す

■送るのをやめるには

ストップ 押す（原稿が排出される。原稿が残っているときは、再度押す）

■送れなかったときは

ストップ 押して原稿を排出させる

■操作案内を聞かずにファクスを送るには

「自動操作案内」を「なし」にする
（☞ 36・118 ページ）
（上記手順 2 の操作は不要になります）

お知らせ

- 原稿をセットする前に ファクス を押すと、操作案内が始まります。（止めるには ストップ 押す）
- 原稿をうまく引き込まないときは、記録紙スタンドを立ててください。（☞ 26 ページ）

写真や小さい文字の原稿を送るとき

原稿をセットしたあと
画質 F2 押して**画質を選ぶ**

ふつう字 → 小さい字 → 写真

ふつう字	小さい字	写真
	新聞程度の小さい文字。	写真や濃淡のある原稿。

- 「小さい字」や「写真」では、「ふつう字」に比べて通信時間が長くかかります。
- 色地の原稿を送るときは、「ふつう字」または「小さい字」を選んでください。「写真」で送ると送信時間が極端に長くなることがあります。

■いろいろな送りかた

同じ相手にもう一度送る（再ダイヤル）	**原稿をセットし** → 再ダイヤル 押す → 押して **相手を選び** → ファクス 押す
電話帳で送る	**原稿をセットし** → **電話帳** 押す → 押して **相手を選び** → ファクス 押す
短縮ダイヤルで送る	**原稿をセットし** → **短縮** 押す → ① ～ ⑨ 押す（短縮番号） → ファクス 押す
相手と話してから送る	**原稿をセットし** → 取って **ダイヤルし、相手と話す** → 相手にファクスを送ることを伝え **相手のファクス受信用ボタンを押してもらう** → 「ピーヒョロロ」が聞こえたら ファクス 押し、**戻す**
海外へ送る	**原稿をセットし** → モニター 押し、**ダイヤルする** → 「ピーヒョロロ」が聞こえたら ファクス 押す ■ [通信ｴﾗｰ U40] が表示されて送れないとき 「海外送信」を「1 回」に設定して送る。（☞ 119 ページ） ● 送信時間が通常の約 2 倍かかる。 ● 送信後、「海外送信」は自動的に解除（設定：なし）される。

お願い

● 間違った相手にファクスを送らないために、相手の電話番号をよく確かめてから送信してください。

お知らせ

● 電話帳で送る相手を選ぶときに
  ● フリガナの頭文字から探すには（電話帳） ➡ ⓪ ～ ⑨（フリガナ） ➡ （選ぶ）
  ● グループから探すには （電話帳） ➡ # ➡ ① ～ ⑨（グループ番号） ➡ （選ぶ）
● 「184」や「186」をつけてかけるとき、「184」や「186」のあとに留守（ポーズ）を押し、相手の電話番号をダイヤルしてください。
● 相手の電話番号が 24 ケタより多いときは、受話器を取りあげてダイヤルします。相手とお話ししてから送ってください。
● ファクスは、同じ大きさの原稿でも黒い部分が多い原稿や色地の原稿、縦の罫線のある原稿では、送信に時間がかかります。
● 送信結果を音声でお知らせします。お知らせが必要ないときは（☞ 118 ページ「ファクス親切案内」）
● 構内交換機（PBX）に接続しているとき　外線発信番号 ➡ 留守（ポーズ） ➡ 電話番号をダイヤルする
● 相手が話し中など、応答がなかったときは、自動的に再ダイヤルします。（1 分間隔、3 回まで）
  ● 受話器を取る、またはモニターボタンを押して送ったときは働きません。
  ● 再ダイヤル待ちは「再ﾀﾞｲﾔﾙ待機中」と表示します。ただし、親機を使うと中止されます。

見てから印刷（メモリー受信）に設定する／解除する

ファクスの見かたを選ぶ

本体メモリーに受信してディスプレイで見る

■見てから印刷（メモリー受信）に設定する（お買い求め時の設定）

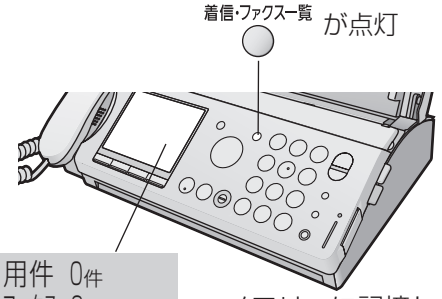
設定中に表示



■「見てから印刷」が表示されていないときは

見てから印刷入切 F1 → はい F1

ファクスを受信すると、受信したことをお知らせ



ディスプレイで見る（☞72ページ）



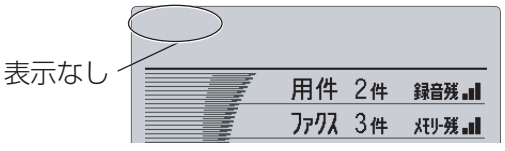
● プリント・消去するとき（☞72ページ）

- ナンバー・ディスプレイを利用時に、電話に出られなかったときも着信・ファクス一覧が点灯します。（☞100ページ）
- メモリー受信できる枚数は（☞162ページ「■本体メモリー容量のめやす」）
- SDメモリーカードが入っていても、ファクスは本体メモリーに記憶されます。SDメモリーカードにファクスを保存するときは（☞92ページ）

記録紙に直接プリントして見る

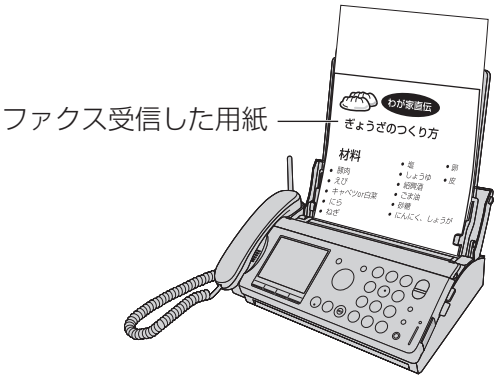
■見てから印刷（メモリー受信）を解除する

見てから印刷入切 F1 → はい F1



- 記録紙に直接プリントしたときは、メモリーに記憶していませんので、ディスプレイで見ることはできません。
- インクフィルムや記録紙がなくなると、メモリー受信します。
- おやすみモード（☞111ページ）のときは、メモリー受信します。

ファクスを受信すると、受信終了後に記録紙にプリント



お願い

- メモリー受信したファクスは、内容を見るかプリントするかSDメモリーカードに保存（☞92ページ）したあと、できるだけ早く消去してください。（☞72ページ）
  ファクスを記録紙に直接プリントするときでもメモリーを使うため、メモリーが残っていても通信時間が極端に長くかかるような原稿などは、受信できないことがあります。本体のファクスメモリーがいっぱいになっているとファクスは受信できません。（☞22ページ「メモリー残」）

ファクスを電話に出て受ける

電話に出て受ける（お買い求め時）

親機で

1 呼出音が鳴ったら
受話器を取る



2 通話後、または
「ポーポー」音や無音のとき
ファクス 押し、受話器を戻す

子機で

1 呼出音が鳴ったら
充電器から子機を取り、
外線 押す

2 通話後、または
「ポーポー」音や無音のとき
F1 押す



3 ▲▼◀▶ 押して
「ファクス受信」を選び、F1 押す

4 F1 押す

■受信を中止するときは ストップ 押す

お知らせ

- 「ファクスを受信します…」と聞こえたら、ボタンを押さなくても受信します。（ファクス親切受信）
- 受信結果を音声でお知らせします。（親機のみ）
  お知らせが必要ないときは（☞ 118 ページ「ファクス親切案内」）
- 7 ～ 8 回以上呼出音が鳴ってから電話に出ると、ファクスを受信できないことがあります。
- ファクスを記録紙に直接プリントするときでもメモリーを使うため、メモリーが残っていても通信時間が極端に長くかかるような原稿などは、受信できないことがあります。メモリーがいっぱいになっているとファクスは受信できません。（☞ 22 ページ「メモリー残」）
- 原稿がセットされている状態の親機で電話に出たとき ➡ 原稿を取り除いてから ファクス 押す

（ファクスを自動で受けるには ☞ 70 ページ）

ファクスを自動で受ける

在宅時、電話に出られなくても自動で受ける

留守 消灯

ファクスや電話がかかってくると
呼出音が 3 回鳴る
- 5回にすることもできます。（☞下記「■ 在宅呼出回数を5回にするとき」）

本商品が応答して呼出音が再度鳴り出す
- 回線がつながって、ここから相手に通話料金がかかります。※1
相手には呼出音が流れる。

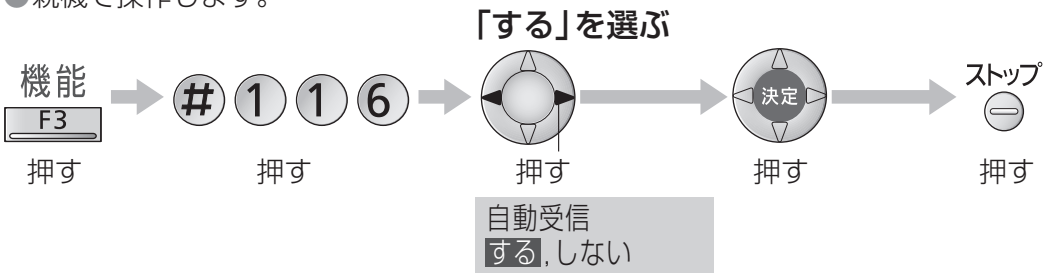
ファクスのとき
自動的に受信。

電話のとき
再度鳴り出した呼出音が6回鳴ったあと、メッセージ①（☞123ページ）が相手に流れ、電話が切れる。

- 電話に出て相手がファクスのときは、「電話に出て受ける」操作をする。（☞69ページ）

■設定が必要です。

- 親機で操作します。



- 設定すると、ディスプレイに「自動受信」と表示します。
- 解除は「しない」を選ぶ。（在宅呼出回数は 15 回に設定される）

■在宅呼出回数を 5 回にするとき

機能 F3 → #112 → 「5」を選び → （決定） → ストップ

- 「在宅呼出回数」で「3」または「5」以外を選ぶと、自動受信が解除されます。（☞118ページ）

留守のときなど自動で受ける

留守 点灯
- 詳しくは（☞78ページ）

ファクスや電話がかかってくると
呼出音が 4 回鳴る
- 呼出回数を変えるには（☞118ページ「留守呼出回数」）

応答メッセージが流れる
※ファクスのときは相手の送信のしかたによって流れないことがあります。

ファクスのとき
自動的に受信。

電話のとき
用件を録音。

ファクスのみ専用で受ける

留守 点灯

ファクスや電話がかかってくると
呼出音が 1 回鳴る
- 呼出音「切」にすると鳴らない。（☞116ページ）

ファクスのとき
自動的に受信。※2

電話のとき
かかってきても受けられません。※2

- 設定が必要です。「留守呼出回数」を「ファクス専用」にしてください。（☞118ページ）

※1 再度鳴りだした呼出音が鳴っている間も、相手に通話料金がかかっています。
※2 相手側に「ピーヒョロロ」というファクスの信号音を流します。

在宅時、呼出音を鳴らさずに自動で受ける（無鳴動受信）

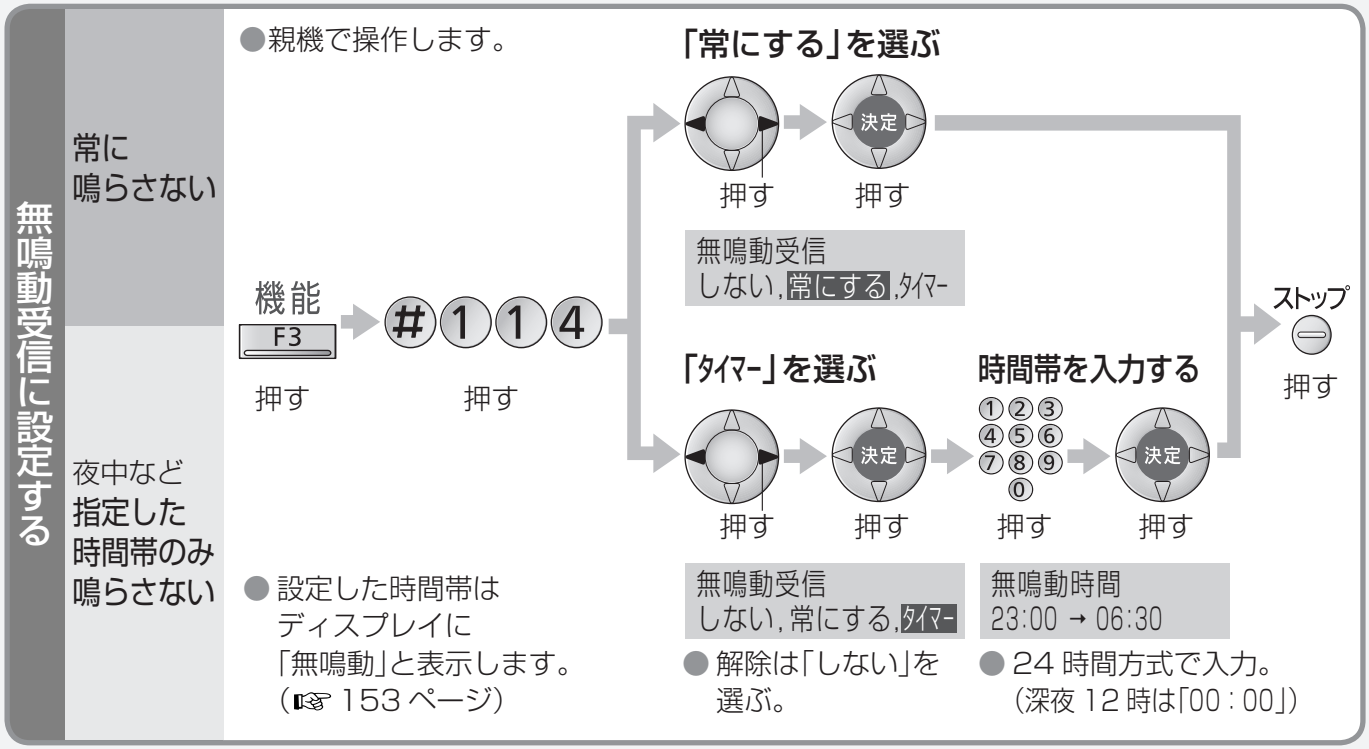
設定しておけば、留守 が消灯しているときに働きます。

ファクスや電話がかかってくると
呼出音が鳴らずに本商品が応答する
- 回線がつながって、ここから相手に通話料金がかかります。※

ファクスのとき
自動的に受信。

電話のとき
約 7 秒後に呼出音が鳴り始め、6 回鳴ったあと、メッセージ ①(☞ 123 ページ)が相手に流れ、電話が切れる。

※ 呼出音が鳴っていなくても、相手に通話料金がかかっています。



お知らせ

- 次の場合は、無鳴動受信を設定していても呼出音が鳴ります。
  - 留守セット中。（留守ボタン点灯）
  - ファクスのメモリーがいっぱいのとき。（☞ 22 ページ「メモリー残」）
  - 相手が受話器を取ってダイヤルし、回線がつながってから送信の操作をしたとき。（再呼出音が鳴る）
  - 050IP 電話などからかかってきたとき。（相手の回線や接続機器によっては、鳴ることがある）
- おやすみになりたいときや静かにすごしたいとき、おやすみモード（☞ 111 ページ）を使うと、本商品の音を鳴らさないで用件の録音とファクスの受信ができます。
- ファクスメモリーがいっぱいのときは、ファクスを自動で受けることができません。

メモリー受信したファクスを表示・

ファクスを表示・プリント・消去する

受信したファクスをディスプレイに表示、プリント、消去できます。

● 見てから印刷（メモリー受信）の設定は（☞ 68 ページ）



着信･ﾌｧｸｽｰ一覧
押す

着信ﾒﾓﾘｰ　：　ﾌｧｸｽｰ一覧
新規　2件　：　未読　1件—①
　　：　合計　3件—②

● 操作案内が流れる。

① プリントも表示もしていない
ファクスの件数
② メモリーに記憶している
ファクスの件数

お願い

● メモリー受信したファクスは、内容を見るかプリントするか SD メモリーカードに保存（☞ 92 ページ）したあと、できるだけ早く消去してください。

お知らせ

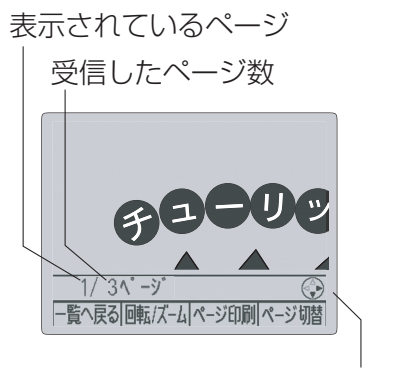
● 写真や文字の多い原稿など、原稿によっては、表示に時間がかかることがあります。
● 相手が B4 サイズや A3 サイズで送ったときは、A4 サイズに縮小されます。縮小後に A4 縦幅（約 297 mm）より長くなる場合、A4 縦幅を超えた部分は表示できませんが、プリントすると、受信原稿のすべてを見ることができます。
● 通話中は、ファクスの表示やプリントができません。ファクスを見ながら話すには、通話の前にプリントしておいてください。

■終わるには ストップ 押す

■受信したファクスを SD メモリーカードに保存するには
（☞ 92 ページ）

ファクス表示中にできること

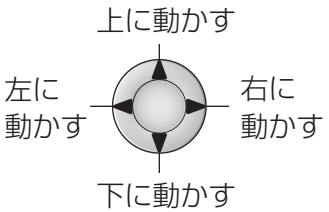
＜表示例＞



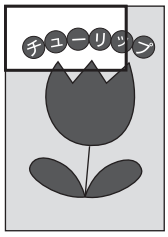
画面に表示されていない部分があるときに表示されます。

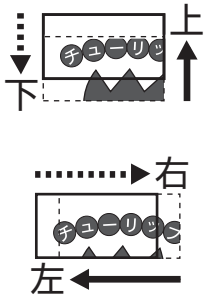
● 表示されている方向に 押すと、続きを表示できます。

■画面を上下左右に動かす



（例）





● 各ボタンを押し続けると、画面を連続して動かせます。
● 各ボタンを押して画面が受信原稿の端までくると、「ピピッピピッ」音が鳴ります。
さらに同方向のボタンを押すと、受信原稿の反対側の端を表示します。
● 受信原稿の大きさによっては、表示されない部分があります。
画面を上下左右に動かして内容を表示させてください。
● 画面に何も表示されないときは、画面を上下左右に動かして内容を表示させてください。

プリント・消去する 見てから印刷

ファクスを選ぶ

ファクス一覧 F4 を押す → くり返し押す

⑥ ⑦ ⑧

③ (未読) (未保存) 1/ 3件
④ 11月 2日(金) 12:34 5枚 ⑨
⑤ 友人 ⑩
0312342222 ⑪

● 新しいファクスが最初に表示されます。

③ プリントも表示もしていないファクス
④ ファクスを受信した日時
　● 受信したファクスに表示されている日時と異なる場合があります。
⑤ 相手の名前(表示できないときは空白)
⑥ SD メモリーカードに保存されていないファクス
⑦ ファクスの受信順(新しい順)
⑧ 本体メモリーに記憶しているファクスの件数
⑨ 本体メモリー使用量の多いファクス(写真や新聞など)
　● 表示またはプリントして内容を確認するか、SD メモリーカードに保存(☞ 92 ページ)したら、消去してください。
⑩ ファクスの受信ページ数
⑪ 相手の電話番号(表示できないときは空白)

選んだファクスを見るには

表示 F2

● ファクス表示中にできることは(☞ 左ページ)

選んだファクスをプリントするには

プリントが終わったら**ファクスを消す**

印刷 F3 → はい F1

● プリントしたファクスのみ消える。
残すには いいえ F4 押す

メモリーの内容を消去するには

■ 選んだファクスを消去するとき

消去 F4 → はい F1

■ すべてのファクスを消去するとき

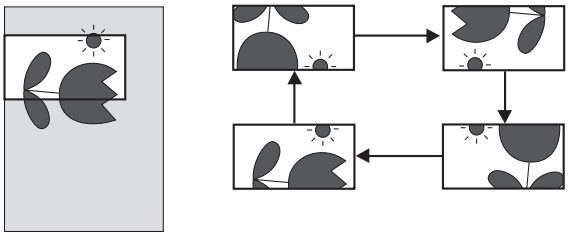
ボタン切替 F1 → 全消去 F4 → はい F1

■画面の向きを変える(回転)

画面の向きを時計回りに 90 度ずつ回転できます。

回転/ズーム F2 → 回転 F2 くり返し押す

(例)



● プリント時の向きは、回転されません。

■画面を拡大・縮小する(ズーム)

回転/ズーム F2 → ズーム F4 くり返し押す

● 標準→拡大(2 倍)→縮小(2 分の 1)→標準…の順に切り替わります。
● プリント時の大きさは、拡大・縮小されません。

■前ページへ戻る

ページ切替 F4 → 前ページ F2 くり返し押す

■次ページへ進む

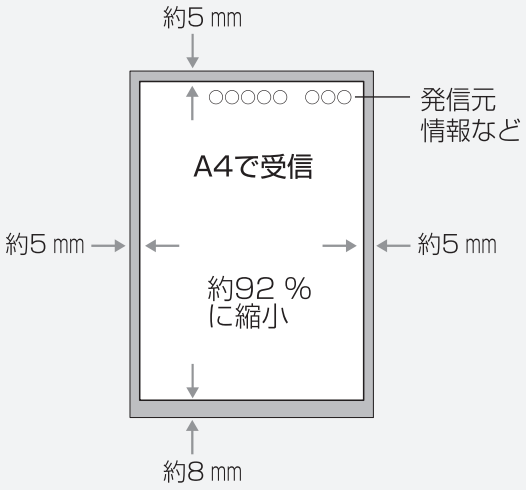
ページ切替 F4 → 次ページ F4 くり返し押す

■表示中のページをプリントする

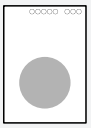
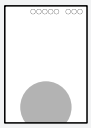
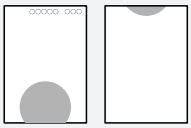
ページ印刷 F3

ファクスのプリントについて

● **プリント可能範囲**
  ● 網の部分にはプリントしません。



● 相手が B4 サイズや A3 サイズで送ったときは、A4 サイズに縮小されます。
  ● 文字が読みにくいときは相手に、画質を変えて送ってもらってください。
  ● B5 サイズで横向きで送られたときも、縮小されるので縦向きに送ってもらってください。
● 文字などが薄いときは「受信印字濃度」を調整してください。（☞ 119 ページ）
● **エコノミー受信**…原寸で受けたいときは「あり（2）」または「なし」にする。（☞ 119 ページ）

「あり (1)」	「あり (2)」	「なし」
 お買い求め時		 1 枚目　2 枚目
92 %に縮小 （発信元情報などを プリントするため）	原寸でプリント （はみ出た部分は プリントしない）	2 枚にわたり原寸でプリント 相手の原稿によっては 2 枚目が 白紙となる場合があります。

ファクスの便利な機能

娯楽情報などをファクスで受けたいとき

親機で取り出す（受ける）

モニター 押し

情報提供先の番号をダイヤルする

音声に従ってダイヤルする → ファクス 押す

- ダイヤル（DP）回線をご利用のとき
  ✳ 押し、ダイヤルする

ファクスで情報が送られてくる

お知らせ

- 相手機によっては、文字が小さくなったり、受信できない場合があります。
- 情報内容や提供方式については、各情報提供先にお問い合わせください。
- 本商品は、ポーリング受信には対応していません。

Fネット（ファクシミリ通信網サービス）

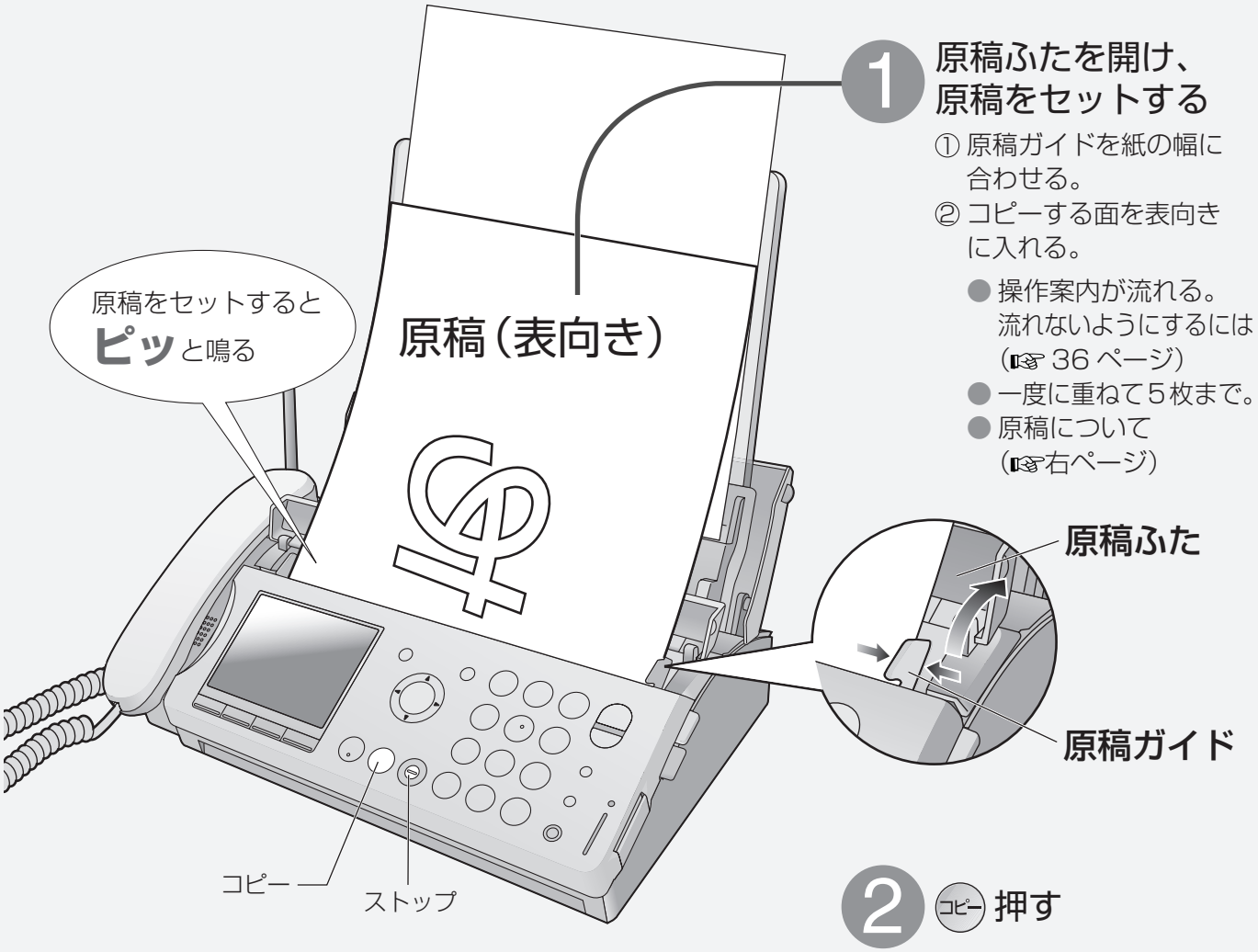
1. NTT コミュニケーションズ株式会社と加入契約する
   （G3 サービス 1300 Hz）
2. 「Fネット」の設定を「あり」にする（☞119ページ）

Fネットとは、NTT コミュニケーションズ株式会社のファクシミリ専用ネットワークです。このサービスを利用するためには、NTT コミュニケーションズ株式会社との契約が必要です。本サービスの詳細は、NTT コミュニケーションズ株式会社にお問い合わせください。

お知らせ

- Fネットに加入して、ファクスが送られてきたときは
  - 呼出音は鳴らずに自動受信します。（契約が 16 Hz のときは鳴る）
  - コピーや登録操作中は「Fネット呼出です」と表示され、約 3 秒間断続的にブザーが鳴りますが、受信しません。その後、再送信され自動受信します。

コピーする



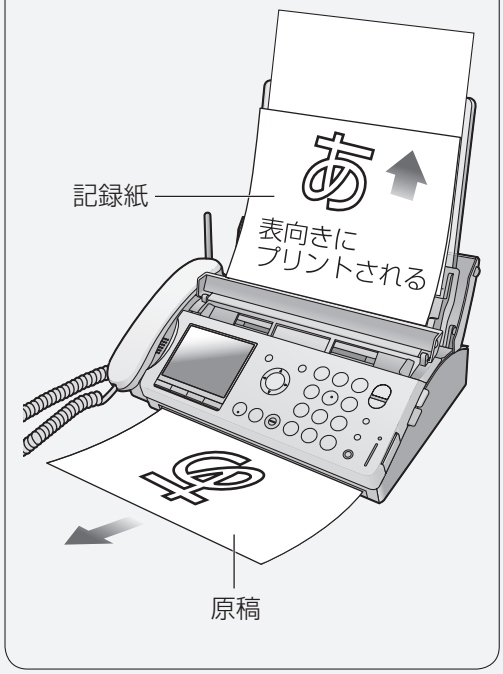
1 原稿ふたを開け、原稿をセットする

① 原稿ガイドを紙の幅に合わせる。
② コピーする面を表向きに入れる。

- 操作案内が流れる。流れないようにするには（☞ 36 ページ）
- 一度に重ねて5枚まで。
- 原稿について（☞右ページ）

2 コピー 押す

コピーが終わったら…



■写真や濃淡のある原稿をコピーするには

原稿をセットしたあとに、画質を「写真」にする。（☞66ページ）

■途中でやめるには

ストップ 押す（原稿が排出される。原稿が残っているときは、再度押す）

■操作案内を聞かずにコピーするには

「自動操作案内」を「なし」にする。（☞ 36・118 ページ）

お知らせ

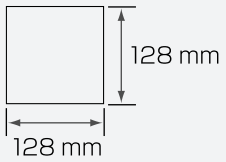
- 原稿をセットする前に コピー を押すと、操作案内が始まります。（止めるには ストップ 押す）
- 画質「ふつう字」でコピーしても、自動的に「小さい字」に変わります。
- プリント中は、子機で電話を受けたり、ドアホンへ応答することができません（親機は電話を受けることができますが、子機は呼出音も鳴りません）。また親機・子機ともに、電話をかけたり、内線通話をかけることもできません。
- A4 サイズより長い原稿をコピーすると
  - A4 サイズ分のみプリントされる。
  - 続きを次ページにプリントするには（☞ 121 ページ「分割コピー」）

ファクス・コピーの 原稿・記録紙について

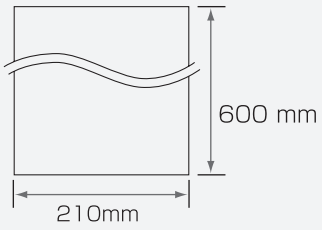
原稿について

■サイズ

● 最小



● 最大

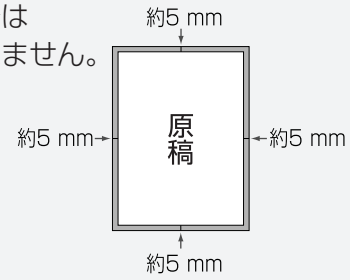


■厚さ

● 1 枚のとき
0.06 ～ 0.2 mm
● 2 枚以上 5 枚以下
0.06 ～ 0.13 mm
（新聞紙は 0.05 mm ～ 0.06 mm、上質紙は約 0.10 mm、官製はがきは約 0.23 mm、この取扱説明書の本文は約 0.1 mm ですので、紙の厚さのめやすとしてください）

■読み取り可能範囲

● 網の部分は読み取れません。



● 原稿が 2 枚以上のときは、同じサイズ・厚さで先端をそろえる。

■次のような原稿は、本商品で使用できません（別の複写機でコピーしてから使ってください）

● 薄い紙（0.06 mm 未満のもの）
● 厚い紙（0.2 mm を超えるもの）
● 布地・金属シート
● のりやセロハンテープで貼り合わせたもの
● 幅 128 mm ×長さ 128 mm より小さいもの
● 破れ・しわ・カールや折り目のあるもの
● フィルムやトレーシングペーパーのようなもの
● 表または裏がコーティングされているもの
● 感熱紙、裏カーボン紙など化学処理したもの
● パンチ穴が開いているもの
● こしが強いもの

■次のものはコピー禁止です

● 通貨・証券類・未使用郵便切手・官製はがき・印紙・酒税法で規定の証書類など（法律で禁止）
● 著作権の対象となっている書籍類・芸術作品類・地図など（個人的な使用以外は法律で禁止）

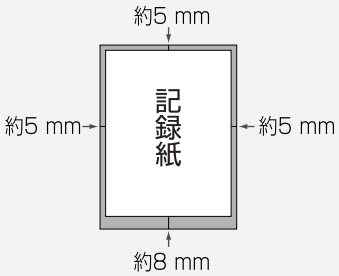
■こんなときは

● クリップやホッチキスは、取り外す。
● インク・のり・修正液は、完全に乾かしてからファクス・コピーする。
● 白や黒い線が入るときは、原稿読取部の汚れをふき取る。（☞ 130 ページ）

記録紙について

■プリント可能範囲

● 網の部分はプリントされません。

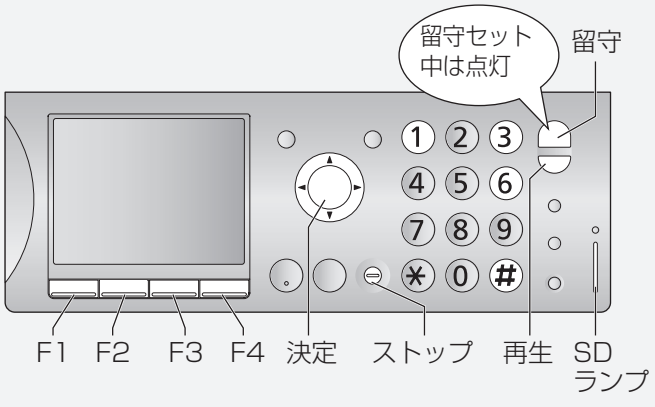


■消耗品について（☞ 159 ページ）

● 記録品質への悪影響および故障の原因となることがあります。当社指定品の記録紙をお使いください。（表面がざらざらしている記録紙を使うと、文字がかすれます）
● 下記のような記録紙は使わないでください。
- 破れているもの
- 広告などの裏紙
- 折り目、しわのあるもの
- カールして（丸く反って）いるもの
- 本商品で一度片面プリントしたもの
- 湿気の多い場所に置いていたもの

留守番電話を使う

留守セットしておけば、自動的に
用件の録音とファクスの受信ができます。





親機で 留守セットし、用件を聞く

お出かけ前に
留守セットする

留守

押す

- ランプが点灯します。
- 応答メッセージが流れます。

止めるには ストップ 押す

メッセージの種類
(固定1/ 固定2/ 自作)

留守ﾓｰﾄﾞ
応答ﾒｯｾｰｼﾞ:固定1

↓ 3秒後

残り約 8分です ― 録音残り時間

子機で 留守セットし、用件を聞く

お出かけ前に
留守セットする

F2 → ✱ → 切

押す　押す　押す

- 応答メッセージが流れます。

SD メモリーカードを使うとき

用件は SD メモリーカードに録音されます。SD メモリーカードがいっぱいになると、本体メモリーに録音されます。

- 録音先を本体メモリーに固定するには (☞ 119 ページ「用件録音先」)
- 本体メモリーに録音された用件を SD メモリーカードに保存するには(☞ 90 ページ)

再生は SD メモリーカードの用件、本体メモリーの用件の順となります。

お願い

- SD ランプの点滅中は、SD メモリーカードを抜いたり、電源コードを抜いたりしないでください。(データが破壊されることがあります)

お知らせ

- 留守セットしても、残している用件は消えません。
- 6 秒以上相手が話さなかったときや、声が小さいときは、正しく録音されません。
- おやすみモードのときは、自動的に留守セットされます。
- 留守セットしたまま新しい用件を聞く (親機は 再生、子機は F2 → 2)と、留守ランプの点滅が点灯に変わります。

■親機で用件を聞くとき 再生 押す

- 新しい用件が録音されているときは、新しい用件のみ再生されます。
- 新しい用件が録音されていないときは、すべての用件が再生されます。

■子機で用件を聞くとき

- 新しい用件を聞くには F2 → 2
- すべての用件を聞くには F2 → 4

■あとから 1 件ずつ用件を消すとき

〈親機〉 再生 → 消去する用件を再生中に → 用件消去 F4 → はい F1

帰って来たら

留守

● 新しい用件があると点滅します。

用件を聞く

留守 押す

● ランプ消灯。
● 留守セット解除。

再生が終わったら

用件を消す

はい F1 押す

● 再生した新しい用件のみ消えます。
残すには いいえ F4 押す

新しい用件が録音されました
↕ 交互表示
用件 2件
ファクス 3件
すべての用件の数

再生中 1/ 2件
11月 2日(木)15:45 ← 録音された日時

SD メモリーカードが入っているときは、次の表示になります。

(SD)：SD メモリーカードの用件を再生中

(未保存)：SD メモリーカードに一度も保存されたことがない本体メモリーの用件を再生中

表示なし：SD メモリーカードに保存されたことがある本体メモリーの用件を再生中

■用件を再生中に…

● 音量を変える
● 次の(前の)用件を聞く (前へ) (次へ)
● 再生を止める ストップ
(再度聞くには 再生)
● 用件を聞き直す 再生
(用件の頭に戻ります)
● 再生中の用件を 1 件ずつ消す
用件消去 F4 → はい F1

(SD メモリーカードの用件を再生中は下記の操作もできます)

● 10 秒戻る 10秒戻る F2
● 30 秒進む 30秒進む F3

帰って来たら**用件を聞く**

F2 押す → 0 押す → 再生が終わったら 切 押す

● 留守セット解除。
● 受話口から聞くときは スピーカーホン 押す

■用件を再生中に…

● 音量を変える
● 次の(前の)用件を聞く (前へ) (次へ)
● 再生を止める #(再度聞くには 4)

(SD メモリーカードの用件を再生中は下記の操作もできます)

● 10 秒戻る 8 ● 30 秒進む 5

■あとからすべての用件を消すとき

(SD メモリーカードなし)

〈親機〉 機能 F3 → #163 → (決定) → はい F1

(SD メモリーカードあり)

〈親機〉 機能 F3 → #163 → (決定)

(本体と SD メモリーカードの用件を消去する)
本体+SD F1 → はい F1

(本体の用件を消去する)
本体 F3 → はい F1

(SD メモリーカードの用件を消去する)
SDカード F4 → はい F1

留守番電話を使う （続き）

留守セットして、電話やファクスを受ける

ファクスや電話が
かかってくると
呼出音が 4 回鳴る
- 呼出回数を変えるには
（☞ 118 ページ
「留守呼出回数」）

応答メッセージが流れる
（☞右ページ）
※ファクスのときは相手の送信のしかたによって流れないことがあります。

電話のとき
相手の用件が録音される。
（スピーカーから相手の声が聞こえる）
- 電話に出るには
〈親機〉受話器を取る 〈子機〉外線 押す
（録音は途中で止まり、1 件分として残る）

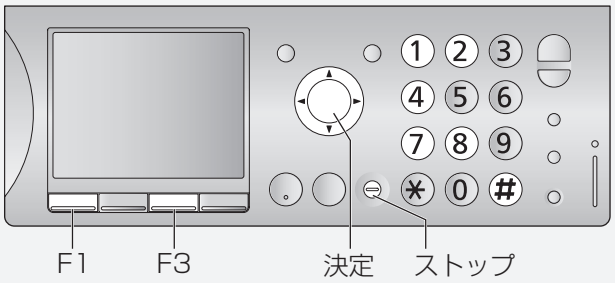
ファクスのとき
ファクスを自動的に受信する。
- ファクスをメモリー受信すると
着信・ファクス一覧 が点灯する。
受信したファクスを見るには
（☞ 72 ページ「ファクスを表示・プリント・消去する」）

- 応答メッセージは状態によって変わります。
固定のメッセージ ② ～ ⑨ は（☞ 123 ページ「応答メッセージ一覧」）

	応答メッセージの設定値 (☞右ページ)		
	「自動」	「固定1」	「固定2」
通 常	自作応答録音 または メッセージ ②	メッセージ ②	メッセージ ⑥
用件録音できないとき	メッセージ ③	メッセージ ③	メッセージ ⑦
ファクスが受信できないとき	メッセージ ④	メッセージ ④	メッセージ ⑧
用件録音もファクス受信もできないとき	メッセージ ⑤	メッセージ ⑤	メッセージ ⑨

■録音時間と件数について

- 1 件あたり 2 分まで。変更するには（☞ 119 ページ「用件録音時間」）
- 合計 12 分、最大 50 件まで。（録音時間は、通話録音・自作応答メッセージを含みます）
（詳しくは☞ 162 ページ「■ 本体メモリー容量のめやす」）
- SD メモリーカードをお使いのときの録音時間と件数は（☞ 85 ページ「SD メモリーカード容量について」）



応答メッセージを変える

留守セット中の応答メッセージを選ぶことができます。

応答メッセージを変える

機能 F3 押す → #128 押す（留守応答 自動, 固定1, 固定2） → **応答メッセージを選ぶ** 押す（留守応答 自動, 固定1, 固定2） → 決定 押す → ストップ 押す

● 自動 / 固定1 / 固定2 から選ぶ（☞下記）

- ●自動： 自作の応答メッセージ（☞下記）が流れます。自作の応答メッセージを録音していないときは、「固定1」のメッセージが流れる。
- ●固定1：「ただいま電話に出ることができません。ファクスをご利用の方は送信してください。電話の方は「ピー」という音に続けてお名前とご用件をお話しください」が流れる。
  （☞ 123 ページ「メッセージ ②」）
- ●固定2：「ただいま留守にしております。ファクスをご利用の方は送信してください。電話の方は「ピー」という音に続けてお名前とご用件をお話しください」が流れる。
  （☞ 123 ページ「メッセージ ⑥」）

自分の声で応答メッセージを作る

自作の応答メッセージを録音する

機能 F3 押す → #147 押す → 決定 押す（自作応答録音 受話器を取ってください） → **受話器を取る** → 開始 F3 押す（続く）（自作応答録音 録音開始は[F3]押す）

（続き） → 「ピー」音のあと、**受話器に向かって録音する**（16 秒以内）（録音中 ■■>>>>>>） → 終了 F3 押す または ストップ 押す

受話器を戻す
- ●録音したメッセージを再生。
- ●「留守応答」が「自動」（お買い求め時の設定）のときは、自動的に固定メッセージから切り替わります。（☞上記）

■自作の応答メッセージを消すには 機能 F3 → #148 → 決定 → はい F1

お知らせ

- ●用件を録音できないときや、ファクスを受信できないときは、メッセージは自動的に切り替わります。
  （☞ 80 ページ「● 応答メッセージは状態によって変わります。」）

外出先から

留守番電話を聞く

外出先から聞くための準備

外から電話をかけると、新しい用件が聞けます。

暗証番号を登録する

● 親機で操作します。

4 ケタで暗証番号を入力する

機能 F3 押す → #006 押す → ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⓪ 押す → 決定 押す → ストップ 押す

留守電暗証番号?
1234

● 変更・消去は 消去 F4 押す

■外出前に留守セットしてください 留守 押す。

■外出先から留守セットできます

家に電話をかける → 呼出音が少し小さい音に変わったら、暗証番号を押す → 「留守設定をしました」と聞こえたら切る

「在宅呼出回数」を「自動応答しない」に設定すると、外出先から留守セットすることはできません。「留守」に設定すると、呼出音が 15 回鳴ったあと、自動的に留守にセットされます。
(☞ 118 ページ)

お願い

● 暗証番号は、「0000」や電話番号の一部など推測されやすい番号は登録しないでください。
また、定期的に変更することをおすすめします。

外出先での操作

外出先で留守番電話を聞くとき

携帯電話や公衆電話などで、家に電話をかける。



応答メッセージ中に**暗証番号を押す**

携帯電話などに本商品から転送されてきたとき

用件が録音されると、家から電話がかかる。
- 電話に出ないときは
  - 約 50 秒で切れる。
  - 1 分間隔で 3 回、30 分間隔で 3 回かけ直す。



メッセージに従い、**暗証番号を押す**

用件を聞く
- 新しい用件
  4 秒待つ
  または
  2 押す
- すべての用件
  4 押す

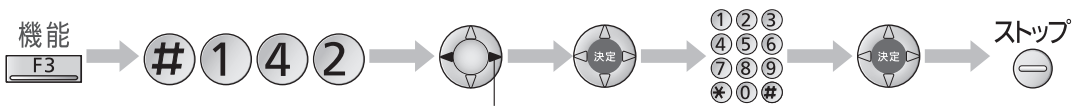
■電話代節約のために〈トールセーバー〉
- 家に電話をかけたとき、留守番電話が応答するまでの呼出音の回数で新しい用件の有無がわかります。
  - 3 回以内：新しい用件あり　4 回以上：新しい用件なし
    留守番電話が応答する前に電話を切ると、通話料金がかかりません。
- 設定は（☞ 118 ページ「留守呼出回数」）
- モデムダイヤルインサービス（☞ 108 ページ）を利用しているときは、うまく働かないことがあります。

携帯電話などに転送するための設定（用件転送）

新しい用件が録音されると、設定した電話番号に自動的に発信します。

転送先を登録する

● 親機で操作します。



押す　押す　押す　押す　押す　押す　押す

「する」を選ぶ

用件転送
する, しない

● 解除するときは「しない」を選ぶ。

電話番号を入力する

転送先の電話番号?
0987

（24 ケタまで）

● 間違えたときは
消去 F4 押す

● 暗証番号を登録していないときは暗証番号入力画面で
4 ケタを入力 → ● （決定）

● ホームテレホンや構内電話に接続していると、転送できないことがあります。
● おやすみモードのときは、転送できません。（☞ 111 ページ）
● かかってきた電話やファクスを直接転送するには、当社のボイスワープサービス（有料）をご利用ください。（お問い合わせは局番なしの「116」へ）
● 電話番号にはポーズ（留守）・スペース（保留）・トーン（✱）も登録できます。

操作一覧

■用件再生前・終了後

- ●留守セットを解除する …… 0
- ●用件転送を設定する …… 7
  （事前に転送先の登録が必要）
- ●用件転送を解除する …… 9
- ●すべての用件を聞き直す …… 4
  （一度聞いた用件を含む）
- ●すべての用件を消す※1 …… 6
  押して「消去します…」メッセージのあと、再び 6 押す。

※ 1 SD メモリーカードに保存された用件は消去されません。

■用件再生中

- ●前の用件を聞く …… 1
- ●再生中の用件を聞き直す …… 2
- ●次の用件を聞く …… 3
- ●10 秒戻る※2 …… 8
- ●30 秒進む※2 …… 5
- ●再生を中止する …… #
- ●再生中の用件を消す …… 6
  押して「消去します…」メッセージのあと、再び 6 押す。

※ 2 SD メモリーカードに保存された用件のみ。

→ 電話を切る

お知らせ

● 外出先では、トーン（PB）信号（ピッポッパッ）が出せる電話機をお使いください。
● 新しい用件を聞く操作（☞左ページ）では、一度聞いた用件は再生されません。
くり返し再生させるには、「留守電リモート再生」を「繰り返し」にしてください。（☞ 119 ページ）
ただし、設定する前に一度聞いた用件は再生されません。
● ファクス専用（☞ 70 ページ）にすると、外出先から用件を聞けません。
● 転送先が着信した時点で転送元（本商品側）に料金がかかります。
● ボタンを押す間隔を 10 秒以内にしてください。間隔が長くなると電話が切れたり、リモコン操作ができなくなります。

SD メモリーカードについて

SD メモリーカードをお使いになる前に

■使用可能な SD メモリーカードについて

本商品は SD メモリーカード（2 GB 以下）に対応しています。SD 規格に準拠した FAT12、FAT16 形式でフォーマットされた以下の種類の SD メモリーカードが使用できます。

- SD メモリーカード
- miniSD カード (miniSD カード用アダプタ使用)
- microSD カード (microSD カード用アダプタ使用)

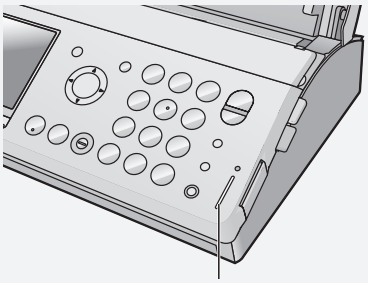
動作確認済みの SD メモリーカードの最新情報は下記サイトでご確認ください。
【NTT 東日本エリア】
http://web116.jp/shop/goods/267pd/sd.html
【NTT 西日本エリア】
http://www.ntt-west.co.jp/kiki/consumer/home/267pd/sd.html

- SD メモリーカードの種類によっては読み出しや書き込みに時間がかかることがあります。
- SD メモリーカードによっては、使用できないことがあります。動作確認済みの SD メモリーカードをお買い求めいただくことをおすすめします。
- SDHC メモリーカード、miniSDHC カード、microSDHC カード、マルチメディアカードは使用できません。

■大切なデータを保護するために

データの読み出し中や書き込み中は、SD ランプが点滅します。
点滅中は、ＳＤメモリーカードを抜いたり、電源コードを抜いたりしないでください。（データが破壊されることがあります）
また、大切なデータはバックアップをとることをおすすめします。

データの損失などにより発生した損害につきましては、当社は責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。



SD ランプ

■SD メモリーカードの取り扱いについて

電磁波、静電気、本商品や SD メモリーカードの故障などにより SD メモリーカード内のデータが壊れたり消失することがあります。（大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください）

- パソコンなど他の機器でフォーマットされた SD メモリーカードは、本商品でフォーマットしてから使用してください。（☞ 98 ページ）
  大切なデータはパソコンなどに保存したあと、フォーマットしてください。
- 新品の SD メモリーカードを使用する場合は、本商品でフォーマットしてください。

■SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチについて

SD メモリーカード本体には書き込み禁止スイッチが付いています。スイッチを「LOCK」側にすると、SD メモリーカードへの用件録音・ファクスや電話帳の保存、これらの消去、フォーマット、データの整理ができなくなります。
書き込み禁止スイッチを元に戻すと可能になります。



書き込み禁止スイッチ

■miniSD カード、microSD カードについて

miniSD カードまたは microSD カードを本商品で使用する場合は、専用の miniSD カード用アダプタまたは microSD カード用アダプタを必ず装着してお使いください。

本商品で SD メモリーカードに保存できるもの

音声	用件録音と通話録音（☞ 90 ページ）	電話帳	親機の電話帳（☞ 96 ページ） （SD メモリーカードの内容を読み込むこともできます）
画像	メモリー受信したファクス（☞ 92 ページ） 読み取った原稿（☞ 94 ページ）		

SD メモリーカード容量について

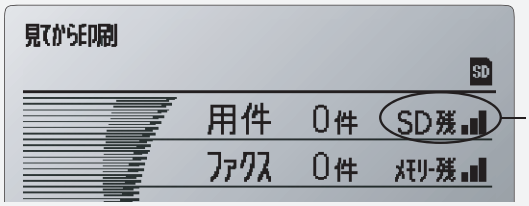
SD メモリーカードの容量	用件・通話 最大録音時間 ※1	ファクス・原稿 最大保存枚数 ※2
2 GB	約 68 時間	約 5000 枚
1 GB	約 33 時間	約 5000 枚
512 MB	約 16 時間	約 3776 枚
256 MB	約 8 時間	約 1905 枚
128 MB	約 4 時間	約 977 枚
64 MB	約 2 時間	約 483 枚
32 MB	約 1 時間	約 235 枚
16 MB	約 29 分	約 111 枚
8 MB	約 13 分	約 50 枚

- 音声が録音されていると、保存できる画像は少なくなります。
- 画像が保存されていると、録音できる時間は短くなります。
- 他のデータが保存されていると、録音時間や保存枚数は少なくなります。
- 電話帳は最大 10 ファイルまで保存できます。（☞ 96 ページ）

※ 1
- 録音件数が 500 件になると SD メモリーカードに録音できなくなります。
- 用件 1 件の録音時間は 2 分まで（☞ 119 ページ「用件録音時間」を「最大」に設定すると 60 分まで）です。
- 通話録音 1 件の最大録音時間は 60 分です。

※ 2
- 保存件数が 100 件になると保存できなくなります。
- 1 件の最大枚数は 50 枚です。
- A4 サイズの 700 字程度の原稿を標準的画質（8 × 3.85 本／ mm）で受信したときの枚数です。
- 写真や文字の多い原稿は保存できる枚数が少なくなります。
- 「SD の JPEG 保存形式」（☞ 119 ページ）の設定によっては、保存できる枚数が少なくなります。

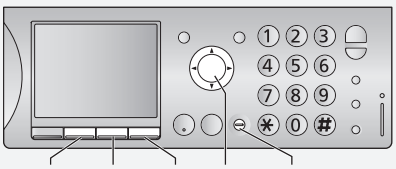
■SD メモリーカードの残量のめやす



SD メモリーカードの残量のめやす

残量表示					
SD 残	SD メモリーカードに録音できる時間	0	4 分以下	4 ～ 8 分	8 分以上

■SD メモリーカードの残量を見るには



- 表示される残量はめやすです。
- SD メモリーカードには著作権保護機能用の領域などが含まれていますので、実際に利用できる容量は少なく表示されます。

SDカード F4 → 「SDの残量表示」を選び → （決定）

（用件の残量を見るとき）
用件 F2 → ストップ

（ファクスの残量を見るとき）
ファクス F3 → ストップ

（電話帳の残ファイル数を見るとき）
電話帳 F4 → ストップ

SD メモリーカードについて（続き）

パソコンなどで使う

操作のしかたは、各機器の取扱説明書をお読みください。

- 小さな文字は、読めないことがあります。

■パソコンで再生する

パソコンやパソコンに接続された SD メモリーカードスロットに SD メモリーカードを入れて、SD メモリーカードに保存されている画像や音声をパソコンで再生できます。

- 画像ファイル（JPEG 形式、TIFF 形式）は、それぞれの画像形式に対応した画像閲覧ソフトで表示できます。（メモリー受信したファクス、読み取った原稿の内容を表示できます）
- 音声ファイル（WAVE 形式）は、Windows Media® Player または QuickTime で再生できます。

対応 OS	Windows® 98
	Windows® Me
	Windows® 2000
	Windows® XP
	Windows Vista®

- Microsoft® Windows® 98 operating system を Windows 98 と表記しています。
- Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system を Windows Me と表記しています。
- Microsoft® Windows® 2000 operating system を Windows 2000 と表記しています。
- Microsoft® Windows® XP operating system を Windows XP と表記しています。
- Microsoft® Windows Vista® operating system を Windows Vista と表記しています。

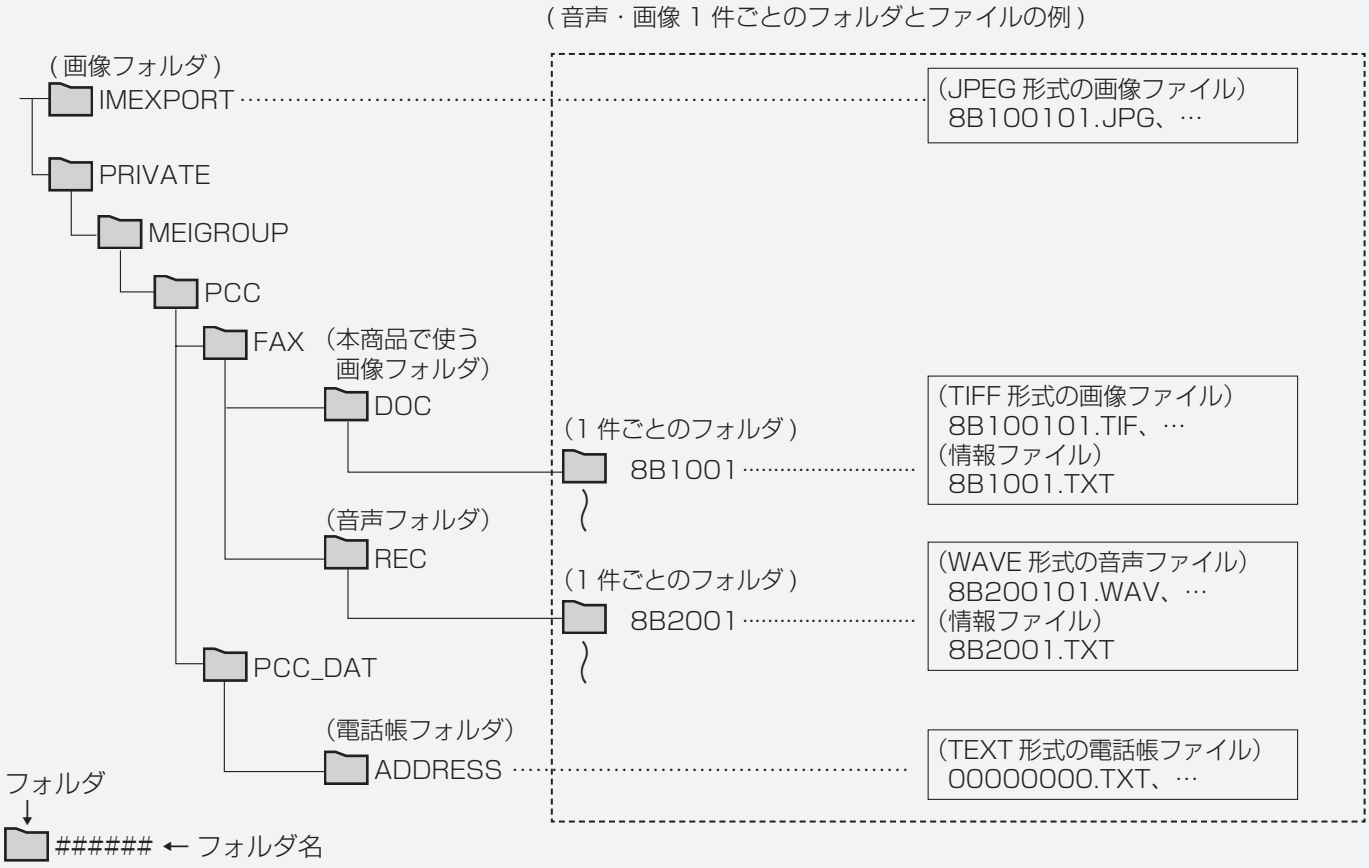
お知らせ

- 本商品は、SDHC メモリーカード、miniSDHC カード、microSDHC カード、マルチメディアカードを使用できません。

フォルダ構造とファイル形式について

本商品に SD メモリーカードを入れると SD メモリーカードに以下のフォルダが作成されます。
また、音声・画像を 1 件保存するごとに 1 つのフォルダが作成されます。

- **パソコンなどでフォルダやファイルを消去したり、名前を変更しないでください。**（本商品で再生・印刷できなくなります）
- 画像 1 件ごとに JPEG 形式と TIFF 形式の 2 つのファイルが作成されます。



1 件ごとのフォルダとファイルについて

ファクスが受信されたり、用件が録音された日付で、フォルダ名やファイル名が付与されます。

● フォルダ名について

（例）2008 年 11 月 1 日に保存された画像や音声のフォルダ名
「8 B 1 0 0 1」

- 「年」を「数字→アルファベット（A ～ Z）→数字→…」で表す
  （8：2008 年、9：2009 年、A：2010 年、B：2011 年、…）
- 「月」を「1 ～ 9、A、B、C」で表す
  （A：10、B：11、C：12）
- 「日」を「1 ～ 9、A ～ V」で表す
  （A：10、B：11、…、V：31）
- 3 桁の数字

● 情報ファイルについて

1 件ごとのフォルダに用件録音やファクス受信日時、相手の名前や電話番号を記録した TEXT 形式の情報ファイルが作成されます。

● 画像ファイル名について

（例）「8 B 1 0 0 1 0 1.JPG」
「8 B 1 0 0 1 0 1.TIF」

- フォルダ名と同じ
- ページ番号「01 ～ 50」

● 音声ファイル名について

（例）「8 B 2 0 0 1 0 1.WAV」

- フォルダ名と同じ
- 録音時間が 10 分ごとの管理番号「01 ～ 06」

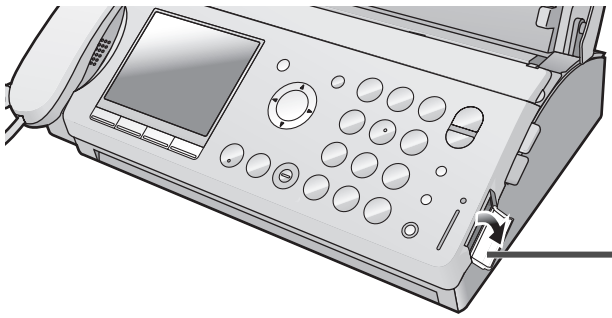
● 電話帳ファイル名について

（例）「0 0 0 0 0 0 0 0.TXT」

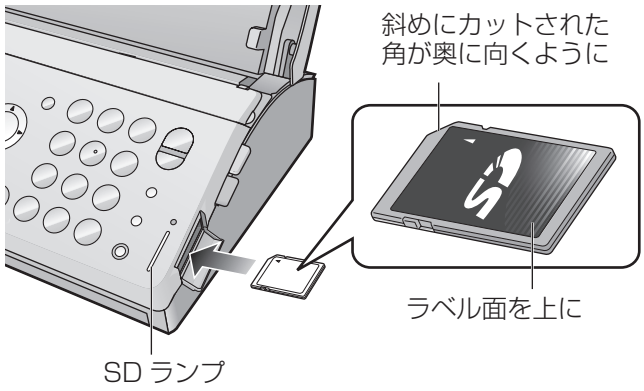
- 「00000000」～「00000009」までの数字

SD メモリーカード 入れる／取り出す

SD メモリーカードを入れるとき



1 SD メモリーカード挿入部のふたを開ける



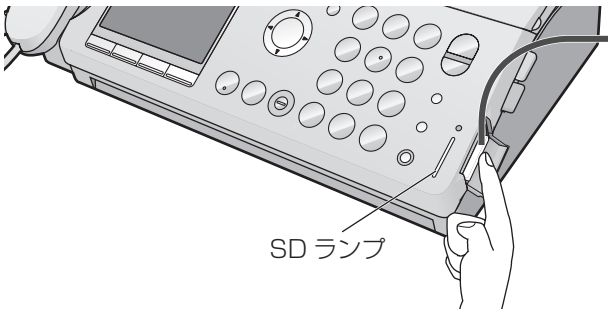
2 SD メモリーカードをまっすぐ押し込む

- SD ランプが点滅し、SD メモリーカード情報の確認が始まります。（☞ 右ページ）
- ディスプレイに SD と表示されます。

3 ふたを閉める

取り出すとき

1 ふたを開ける



2 SD ランプが点滅していない状態で SD メモリーカードの中央部を押す

- 指でつまめるくらい SD メモリーカードが出ます。

3 まっすぐ引き抜く

4 ふたを閉める

4 SD メモリーカード情報の確認が終わると、SD メモリーカードが使える

● 本商品から SD メモリーカードへ音声・画像・電話帳を保存する際に必要なフォルダ(☞ 87 ページ)の有無を確認します。

SDﾒﾓﾘｰｶｰﾄﾞ情報を確認中
ｶｰﾄﾞを抜かないでください
□□□□□□□□□□ 0%
他機器で消去したら[F1]

■パソコンなどでフォルダやファイルを消去したり、名前を変更してしまったとき

不要になったデータの消去と管理情報の整理を行います。
(時間がかかることがあります)

データ整理 F1 押す

● あとで整理することもできます。(☞ 98 ページ「SD メモリーカードのデータを整理する」)

SDﾒﾓﾘｰｶｰﾄﾞ情報を作成中
ｶｰﾄﾞを抜かないでください

● 必要なフォルダなどを作成中です。

SDﾒﾓﾘｰｶｰﾄﾞを認識しました

(確認完了)

お願い

- SD ランプの点滅中は、SD メモリーカードを抜いたり、電源コードを抜いたりしないでください。(データが破壊されることがあります)
- SD メモリーカード以外のカードは入れないでください。
- SD メモリーカードの裏の接続端子部に触れないでください。

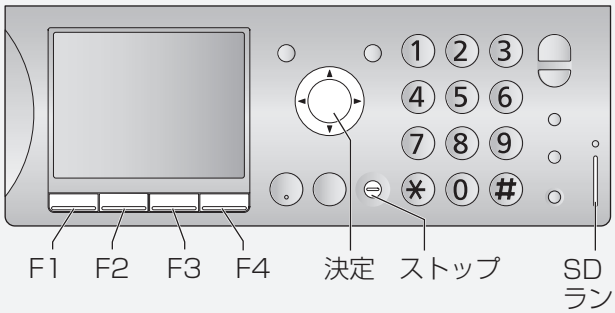
お知らせ

- SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしているときは、保存できません。書き込み禁止スイッチを解除してください。(☞ 84 ページ)

SD メモリーカード用件を保存・再生する

本体メモリーに録音された通話録音や留守番電話の用件を SD メモリーカードに保存することができます。
本体メモリーとは別に 500 件まで保存できます。(☞ 85 ページ)

● SD メモリーカードが入っていると、通話録音や留守番電話の用件は SD メモリーカードに保存されます。(☞ 78ページ「SD メモリーカードを使うとき」)



● 操作の前に、SD メモリーカードを入れてください。

SD メモリーカードに未保存の用件をすべて保存する

● SD メモリーカードに一度も保存されたことがない用件のみ保存されます。

SDカード
F4
押す

■ 途中でやめるときは
ストップ 押す

お願い

● SD ランプの点滅中は、SD メモリーカードを抜いたり、電源コードを抜いたりしないでください。(データが破壊されることがあります)

お知らせ

● 保存と消去には録音時間と同じ程度の時間がかかることがあります。
(件数が多い場合は、より時間がかかることがあります)

SD メモリーカードの用件を再生する

「SD の用件一覧」を選ぶ

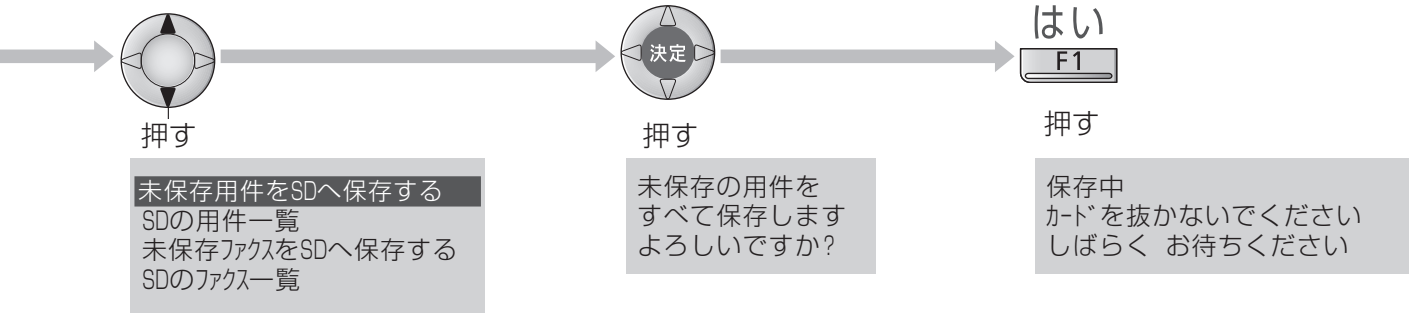
SDカード
F4
押す

押す

未保存用件をSDへ保存する
SDの用件一覧
未保存ファクスをSDへ保存する
SDのファクス一覧

■ 終わるには ストップ 押す

「未保存用件を SD へ保存する」を選ぶ



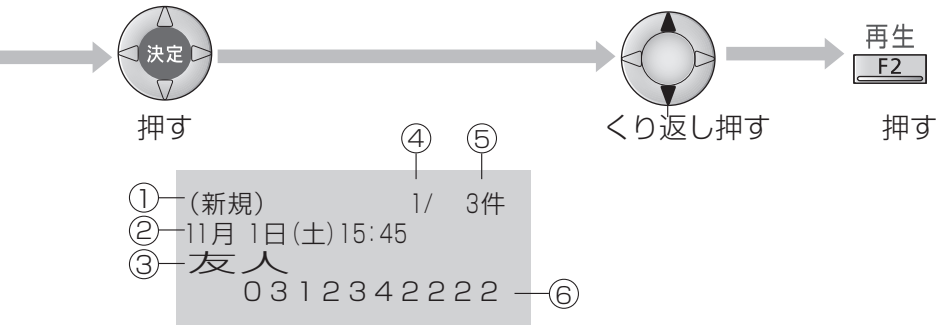
■ 本体メモリーの用件を再生中に SD メモリーカードに保存するとき

用件を再生する（☞ 78 ページ）→ 再生中に SD保存 F3 → はい F1

再生中（未保存） 1/ 2件
11月 2日(日)10:05
SD メモリーカードに一度も保存されたことがない用件を再生中に表示

再生中 1/ 2件
11月 2日(日)10:05
SD メモリーカードに保存されたことがある用件を再生中は、表示なし

用件を選ぶ



■用件を再生中に…

- 音量を変える
- 再生を止める 停止 F1
- 10 秒戻る 10秒戻る F2
- 30 秒進む 30秒進む F3

● SD メモリーカードに保存された古い順に表示されます。

① 再生していない用件
② 用件が録音された日時
③ 相手の名前（表示できないときは空白）
④ 用件の保存順（古い順）
⑤ 保存している用件の数
⑥ 相手の電話番号（表示できないときは空白）

■SD メモリーカードの選んだ用件を消去するとき

SDｶｰﾄﾞ F4 → ○「SDの用件一覧」を選び → ○（決定） → ○用件を選び → 消去 F4 → はい F1

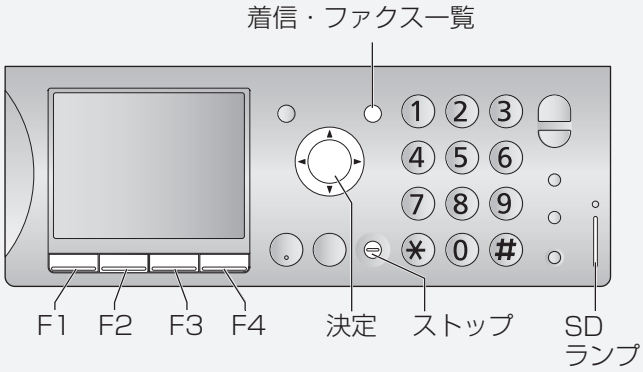
■SD メモリーカードのすべての用件を消去するとき

SDｶｰﾄﾞ F4 → ○「SDの用件一覧」を選び → ○（決定） → ﾎﾞﾀﾝ切替 F1 → 全消去 F4 → はい F1

● 保存された音声ファイルをパソコンで読み取り専用に設定していても、上記操作で用件を消去するとファイルは消去されます。

SD メモリーカード ファクスを保存・表示・プリントする

本体メモリーに記憶されたファクスを SD メモリーカードに保存することができます。
SD メモリーカードに保存されたファクスをディスプレイに表示・プリントできます。



● 操作の前に、SD メモリーカードを入れてください。

SD メモリーカードに未保存のファクスをすべて保存する

● SD メモリーカードに一度も保存されていないファクスのみ保存されます。

SDカード
F4
押す

■ 途中でやめるときは
ストップ 押す

SD メモリーカードにファクスを 1 件ずつ保存する

着信・ファクス一覧
押す

■ 途中でやめるときは
ストップ 押す

お願い

● SD ランプの点滅中は、SD メモリーカードを抜いたり、電源コードを抜いたりしないでください。(データが破壊されることがあります)

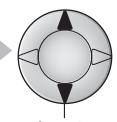
お知らせ

● 保存されるファクスのファイルサイズは「SD の JPEG 保存形式」(☞ 119 ページ) で変更できます。
● A4 サイズ 700 字程度の原稿 1 枚の保存時間のめやすは約 10 秒、消去時間のめやすは約 5 秒です。

SD メモリーカードのファクスを表示・プリントする

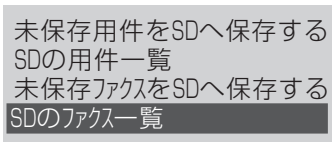
「SD のファクス一覧」を選ぶ

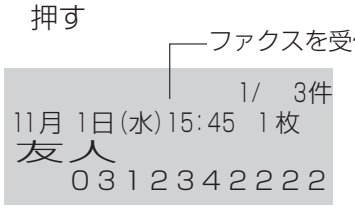
SDカード
F4
押す


押す



押す





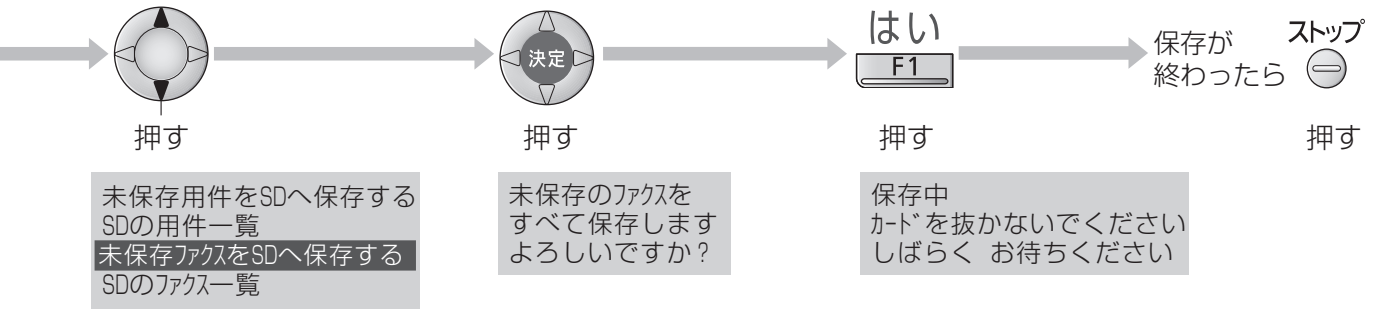
■ 終わるには ストップ 押す

● SD メモリーカードに保存された新しい順に表示されます。
● 操作案内が流れます。

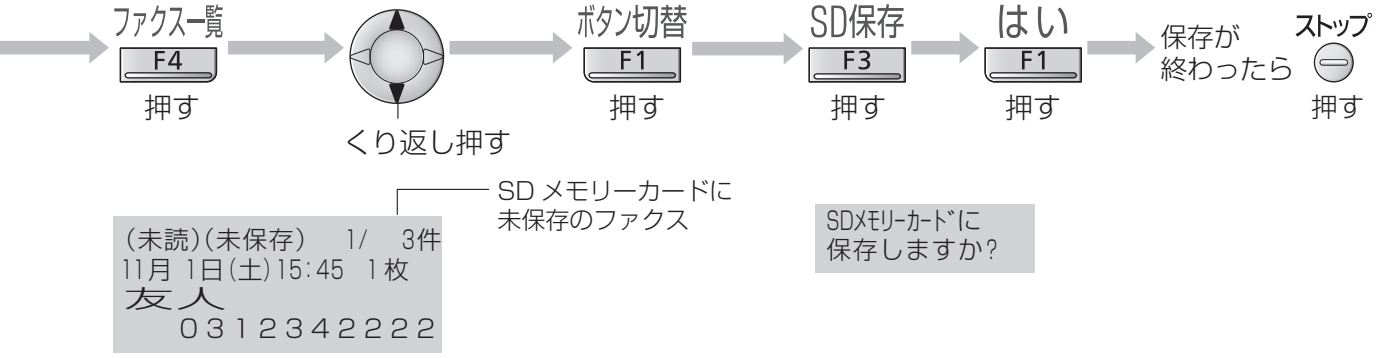
お知らせ

● 写真や文字の多い原稿や、枚数が多い場合は、保存・表示・消去に時間がかかることがあります。
● 相手が B4 サイズや A3 サイズで送信したときは、A4 サイズに縮小して表示されます。縮小後に A4 縦幅(約 297 mm)より長くなる場合、A4 縦幅を超えた部分は表示できませんが、プリントすると、受信原稿のすべてを見ることができます。
● 通話中は、ファクスの表示やプリントができません。ファクスを見ながら話すには、通話の前にプリントしておいてください。

「未保存ﾌｧｸｽを SD へ保存する」を選ぶ



ファクスを選ぶ



ファクスを選ぶ



■選んだファクスを見るには

表示 F2 押す ● ファクス表示中にできることは(☞ 72 ページ)

■選んだファクスをプリントするには

プリントしたファクスを消すか残すか選ぶ

印刷 F3 押す
- 消すとき はい F1 押す
- 残すとき いいえ F4 押す

■SD メモリーカードの選んだファクスを消去するとき

SDｶｰﾄﾞ F4 → 「SDのﾌｧｸｽ一覧」を選び → (決定) → ファクスを選び → 消去 F4 → はい F1

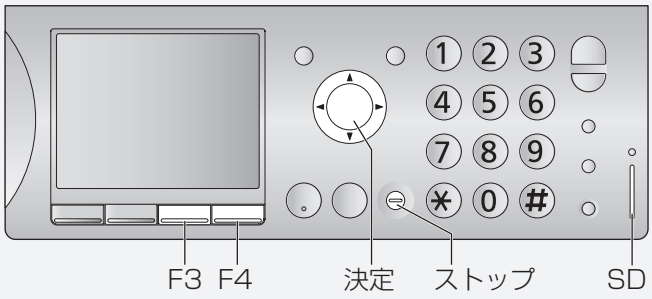
■SD メモリーカードのすべてのファクスを消去するとき

SDｶｰﾄﾞ F4 → 「SDのﾌｧｸｽ一覧」を選び → (決定) → ﾎﾞﾀﾝ切替 F1 → 全消去 F4 → はい F1

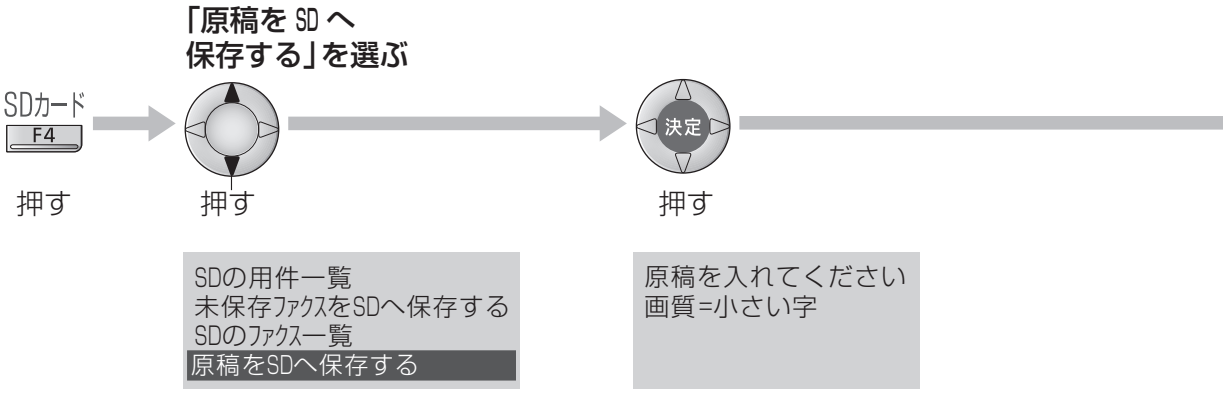
● 保存された画像ファイルをパソコンで読み取り専用に設定していても、上記操作でファクスを消去するとファイルは消去されます。

SD メモリーカード 原稿を読み取って保存する

本商品で原稿を読み取って、SD メモリーカードに保存することができます。
保存した原稿は表示・プリント・消去することもできます。



SD メモリーカードに原稿を保存する



■ 写真や濃淡のある原稿を保存するには
原稿をセットしたあとに、画質を「写真」にする。(☞ 66 ページ)

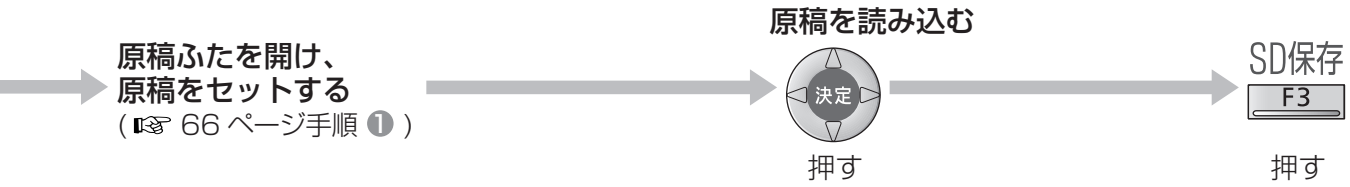
■ 途中でやめるには ストップ 押す(原稿排出)
(原稿が残っているときは、再度押す)

お願い

- SD ランプの点滅中は、SD メモリーカードを抜いたり、電源コードを抜いたりしないでください。
(データが破壊されることがあります)

お知らせ

- 保存された原稿の画質は、記録紙にコピーするとき (☞ 76 ページ) と同等になります。
(カラーの原稿もモノクロで保存されます)
- 保存される原稿の JPEG ファイルサイズは「SD の JPEG 保存形式」(☞ 119 ページ) で変更できます。
- 原稿の読み込みには本体のファクスメモリーを使うため、メモリーが残っていても写真画質のときなどは読み込めないことがあります。本体のファクスメモリーがいっぱいになっていると原稿は読み込めません。
(☞ 22 ページ「メモリー残」)

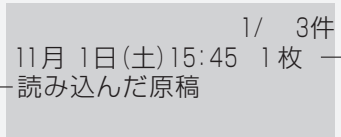


● 読み込みを終了すると読み込んだ原稿を表示します。

■ 保存した原稿を表示・プリントするには

保存したあとに、「SD メモリーカードのファクスを表示・プリントする 」(☞ 92 ページ) の操作を行う。

● 「SDのﾌｧｸｽ一覧」(☞ 92 ページ) で保存した原稿を選ぶと、「読み込んだ原稿」と表示されます。（相手の名前や電話番号は表示されません）



● 読み込んだ原稿をプリントすると縮小されます。原寸でプリントするには、「エコノミー受信」を「あり（2)」にしてください。(☞ 119 ページ)

SD メモリーカード 電話帳を保存する／読み込む

親機の電話帳を SD メモリーカードに保存したり、SD メモリーカードに保存した電話帳を親機に読み込んだりすることができます。

● SD メモリーカードに保存された電話帳をご利用になるためには、電話帳を親機に読み込んでください。

SD メモリーカードに電話帳を保存する（10 ファイルまで）

● 親機で操作します。

電話帳を開く



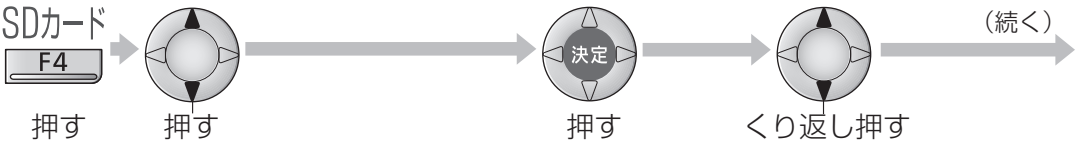
電話帳空き　146件
登録は [登録] 押す
検索は [▼,▲] 押す

全件数を保存します
よろしいですか?

SD メモリーカードの電話帳を親機に読み込む

● 親機で操作します。

「SD の電話帳を読み込む」を選ぶ　　**ファイルを選ぶ**



未保存ﾌｧｸｽをSDへ保存する
SDのﾌｧｸｽ一覧
原稿をSDへ保存する
SDの電話帳を読み込む

1/10
11月 1日(土)15:45
00000001.TXT

保存されている電話帳ファイル名

電話帳ファイルが保存された日時

（続き）

■ 親機に登録されている電話帳に追加するとき（追加読込）



電話帳に追加されます
よろしいですか?

■ 親機に登録されている電話帳を置き替えるとき（上書読込）



電話帳が上書きされます
よろしいですか?

● 短縮ダイヤル（☞ 64 ページ）やおやすみ特定着信（☞ 113 ページ）を登録しているときはもう一度 はい F1 押す

■ SD メモリーカードの選んだ電話帳を消去するとき



● 保存された電話帳ファイルをパソコンで読み取り専用に設定していても、上記操作で電話帳を消去するとファイルは消去されます。

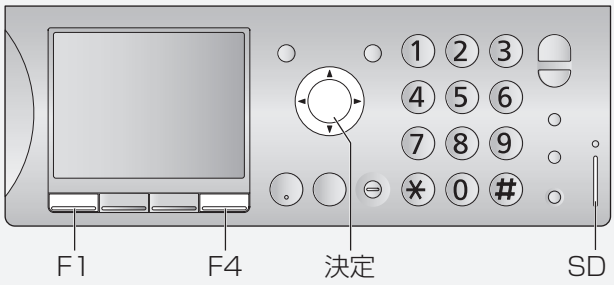
お願い

● SD ランプの点滅中は、SD メモリーカードを抜いたり、電源コードを抜いたりしないでください。（データが破壊されることがあります）

お知らせ

● 電話帳は、まとめてひとつのファイルに保存されます。1 件ずつ選んで保存することはできません。
● 「追加読込」で SD メモリーカードの電話帳を読み込むとき
  ● 親機の電話帳に同じ内容があるときは、追加登録されません。（名前が同じでも電話番号やグループが違うときは登録されます）
  ● 親機の電話帳の空き件数がなくなると終了します。
● 「上書読込」で SD メモリーカードの電話帳を読み込むとき
  ● 短縮ダイヤルの登録は消去されます。（☞ 64 ページ）
  ● おやすみ特定着信の登録は消去されます。（☞ 113 ページ）
  ● 「未登録番号拒否／留守応答」（☞ 103 ページ）は解除（設定：受ける）されます。

SD メモリーカードを フォーマット・整理する

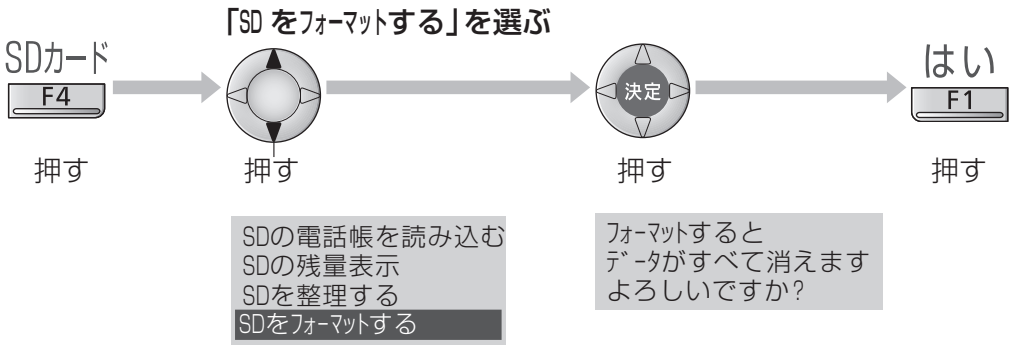


SD メモリーカードをフォーマットする

パソコンなどの他の機器でフォーマットされた SD メモリーカードは、消去などの処理速度が遅くなったり、本商品で使用できなくなる場合があります。必ず本商品でフォーマットしてからご使用ください。

- フォーマットすると、SD メモリーカードに記録されているデータはすべて消去され、元に戻すことができません。大切なデータはパソコンなどに保存したあと、フォーマットしてください。

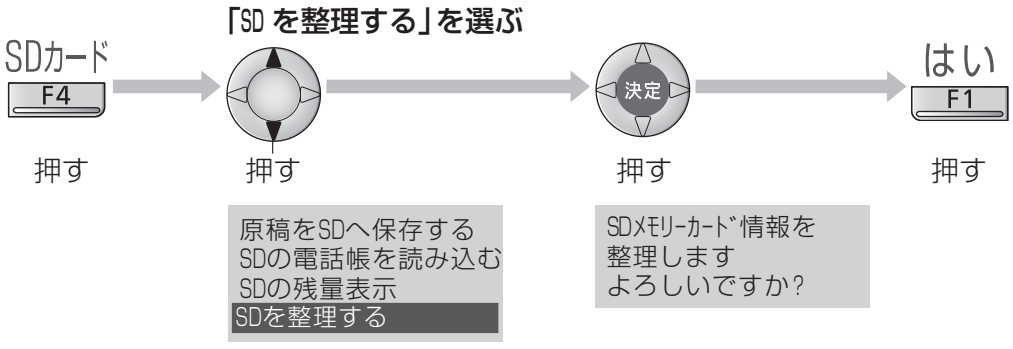
SD メモリーカードを フォーマットする



SD メモリーカードのデータを整理する

パソコンなどでフォルダやファイルを消去したり、名前を変更したために、本商品で表示できない不要なデータが残ったときに行ってください。

SD メモリーカードの データを整理する



お願い

- SD ランプの点滅中は、SD メモリーカードを抜いたり、電源コードを抜いたりしないでください。（データが破壊されることがあります）

お知らせ

- SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしているときはフォーマットやデータの整理ができません。書き込み禁止スイッチを解除してください。（☞ 84 ページ）

ナンバー・ディスプレイ（続く）

本商品は、当社の ナンバー・ディスプレイ ネーム・ディスプレイ / キャッチホン・ディスプレイ に対応しています。

こんなことができます

■ナンバー・ディスプレイ（当社との契約が必要です）
電話をかけた方が電話番号を通知してかけてきた場合、かけた方の電話番号が、受信側のディスプレイに表示されるサービスです（☞ 100 ページ）。
このサービスを使って、本商品では以下のようなことができます。
- かけてきた相手の電話番号などをディスプレイで確認してから電話に出る
- かけてきた相手の電話番号が着信メモリーに記憶されるので、それを使って電話をかけるなど（☞ 102 ページ）
- 非通知でかけてきた電話を受けない（**非通知着信拒否**）（☞ 105 ページ）
- 公衆電話からかけてきた電話を受けない（**公衆電話着信拒否**）（☞ 105 ページ）
- 表示圏外からかけてきた電話を受けない（**表示圏外着信拒否**）（☞ 105 ページ）
- 受けたくない電話を拒否（**迷惑電話着信拒否**）（☞ 104 ページ）
- 迷惑電話着信拒否に登録していない相手でも、電話番号を見て、通話拒否のメッセージを流す（**通話拒否**）（☞ 50 ページ）
- グループごとに呼出音を変える（**着信鳴り分け**）（☞ 106 ページ）
- 親機の電話帳に登録されていない相手からの電話を一時的に受けない（**未登録番号着信拒否**）（☞ 103 ページ）
- おやすみモード中でも、特定の相手のみ呼出音を鳴らす（**おやすみ特定着信**）（☞ 113 ページ）

■ネーム・ディスプレイ（当社との契約が必要です）
電話をかけた方が企業名や名前などを通知してかけてきた場合、かけた方の企業名や名前が受信側のディスプレイに表示されるサービスです（☞ 100 ページ）。電話帳に登録している電話番号と一致したときは、電話帳に登録した内容で表示します。

■キャッチホン・ディスプレイ（当社との契約が必要です）
電話でお話しをしているとき、別の人からかかってきた電話番号などをディスプレイで確認してから、電話に出ることができるサービスです（☞ 101 ページ）。ネーム・ディスプレイを契約していると相手の名前も表示します。電話帳に登録している電話番号と一致したときは、電話帳に登録した内容を表示します。

ナンバー・ディスプレイを利用するには

1 当社と契約する

2 ナンバー・ディスプレイの設定をする
本商品は、お買い求め時は「自動」に設定されています。

3 電話がかかってくると
相手の名前・電話番号が表示される

お問い合わせ・お申し込み
局番なしの **「116」**

■ナンバー・ディスプレイを利用するには、当社との契約が必要です。（☞ 100 ページ）
➡ 工事終了後にサービスを利用できます。

■キャッチホン・ディスプレイ契約時は、次の設定をしてください。
機能 F3 ➡ # 1 3 7 ➡ ◀▶ 「あり」を選び（解約時は「なし」を選び） ➡ ●（決定） ➡ ストップ ⊖

■ナンバー・ディスプレイの利用をやめるには（当社への連絡が必要です）
機能 F3 ➡ # 1 3 3 ➡ ◀▶ 「なし」を選び ➡ ●（決定） ➡ ストップ ⊖

自分の電話番号を相手に通知するかしない（非通知）か選べます

	常に決めておく（回線ごと）	かけるたびに選ぶ（通話ごと）
通知するとき	当社に「通常通知」申し込み。	1 8 6 をつけてかける（☞ 44 ページ）
通知しないとき	当社に「通常非通知」申し込み。	1 8 4 をつけてかける（☞ 44 ページ）

ナンバー・ディスプレイ（続き）

契約について（2008 年 11 月現在）

種類	工事費	月額使用料	申し込み先	主なサービスの内容
ナンバー・ディスプレイ	有料	有料	局番なしの 116	かけてきた相手の電話番号を表示する
ネーム・ディスプレイ※1	無料			かけてきた相手の名前や会社名を表示する
キャッチホン・ディスプレイ※2	有料			キャッチホンの電話番号を表示する

※1　ネーム・ディスプレイ契約のほかに、ナンバー・ディスプレイの契約が必要です。
※2　キャッチホン･ディスプレイ契約のほかに、ナンバー･ディスプレイおよびキャッチホン、キャッチホンⅡ、マジックボックス、ボイスワープⅡ、話中時転送サービスのいずれか 1 つの契約が必要です。

お知らせ

- ナンバー･ディスプレイ契約時には、「ナンバー･ディスプレイ」を「自動」または「あり」に設定してください。（お買い求め時は、「自動」に設定されています）
- 停電時は、ナンバー・ディスプレイはご利用になれません。
- 当社の他のサービスと同時に使えない場合があります。詳しくは局番なしの 116 番にお問い合わせください。
- 当社の ISDN 回線をご利用の場合
  - ➡ 接続するターミナルアダプターによっては表示されない場合があります。ナンバー・ディスプレイ対応のアナログポートのあるターミナルアダプターなどを接続してください。
- 構内交換機（PBX）、ホームテレホンと接続している場合
  - ➡ 本商品のナンバー・ディスプレイ機能は利用できません。「ナンバー・ディスプレイ」を「なし」に設定してください。
- 電話機を並列に接続しないでください。（誤動作の原因になります。）

電話がかかってくると（ナンバー・ディスプレイ、ネーム・ディスプレイご利用時）

電話がかかってくると…

相手の電話番号を表示

- 電話帳に登録した相手は、名前も表示。
- ネーム･ディスプレイを使うと、名前（最大 10 文字）と電話番号を表示。
  - 電話帳に登録した相手は、親機・子機とも電話帳に登録した内容を表示。
  - ネーム･ディスプレイで名前が表示されないとき
    - ➡かけてきた相手が名前を通知するように当社に申し込んでいないことがあります。
  - 本商品で表示できる漢字（JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準）以外の漢字コードを受信したときは、自動的に、「※」に変わります。

〈親機〉

友人
0312342222

〈子機〉

友人
0312342222

相手を確認してから電話に出る

- 日時と電話番号を着信メモリーに記憶。（30 件まで）（☞ 102 ページ）
- 電話に出なかったときは、着信･ファクス一覧 ◯ が点灯。（留守番電話が応答したとき、ファクスを自動で受けたとき、新規にファクスをメモリー受信したときも点灯）

■こんな表示が出たとき

親機の表示	子機の表示	相手がこんなとき	着信メモリー
非通知		電話番号を通知していない	記憶される
公衆電話		公衆電話から	
表示圏外		海外など番号を通知できない電話	
表示できません	外線着信中	回線状態が悪いとき	記憶されない

お知らせ

- ナンバー・ディスプレイなどで電話帳に登録されていない発信電話番号、発信者名情報を受信した場合は、着信メモリー（☞ 102 ページ）から登録することができます。
- ナンバー・ディスプレイをご利用の方で特定の電話番号に対して着信を拒否する設定をしたときは、緊急の場合でも拒否した電話からの着信音は鳴りませんのでご注意ください。
- プリント中は、非通知着信拒否、公衆電話着信拒否、表示圏外着信拒否、未登録番号着信拒否、子機のナンバー・ディスプレイ機能は働きません。
- ナンバー・ディスプレイ契約後の最初の呼び出しでは、呼出音「プルプル」が鳴った直後に受話器を取ると無音になることがあります。相手番号が表示され、呼出音が鳴ってから電話に出てください。

電話がかかってくると（キャッチホン・ディスプレイご利用時）

通話中に別の電話がかかってくると…

通話中に「ピポッ」音のあとに「プップッ」が聞こえ、相手の電話番号を約30秒間表示

- 電話帳に登録した相手は、名前も表示。
- ネーム･ディスプレイを使うと、名前（最大 10 文字）と電話番号を表示。
  - 電話帳に登録した相手は、親機･ 子機とも電話帳に登録した内容を表示。
  - ネーム･ディスプレイで名前が表示されないとき
    ➡かけてきた相手が名前を通知するように当社に申し込んでいないことがあります。
  - 本商品で表示できる漢字（JIS 第 1 水準、JIS 第2水準）以外の漢字コードを受信したときは、自動的に「※」に変わります。

〈親機〉

友人
0312342222

〈子機〉

友人
0312342222

別の電話に出るときは

〈親機〉キャッチ（F1）押す

〈子機〉（キャッチ）押す

お話しする

- 1 人目は保留になり 2 人目と通話できる

元の相手との通話に戻るとき

〈親機〉キャッチ（F1）押す

〈子機〉（キャッチ）押す

お知らせ

- ファクスの送信中や受信中にキャッチホンが入ると、ファクスの画像が乱れたり、送信や受信が中断されることがあります。
  またこの場合、電話がかかってきたことはこちらではわかりません。キャッチホン・ディスプレイの異常ではありませんので、ご了承願います。
- 通話中にキャッチホンにより割り込んだ相手がファクスの場合は「ポーポー」という音が聞こえてもファクス親切受信（☞ 69 ページ）は働きません。
  ➡ ファクスを受信する場合は、前の人との通話を終了し、手動受信の操作（☞ 48 ページ「ファクスを受ける」）によりファクスを受信します。ファクス受信を完了すると回線は切断されます。
  なお手動受信の操作を行わなかった場合は、ファクスを送った相手の方は通信エラーになります。また続けてファクスが送られてくることが考えられますので、早めにお話しを終えられることをお勧めします。
- キャッチホン着信時には、親機で約 2 秒、子機で約 3 秒通話が途切れます。また、「ピポッ」という割り込み音とお話し中の声が重なると、電話番号が表示されないことがあります。
- 通話中の声を割り込み音と誤検知して、通話が途切れる場合があります。
- 保留中、留守セット動作中、ファクス送受信中、登録操作中、保留転送中、通話拒否中などは、電話番号などが表示されません。
- 留守番電話で用件録音中にキャッチホンが入ったときは、「ピポッ・ビュッ」という音が録音されます。
- 下記の設定をしていてもキャッチホン・ディスプレイでかかってきた場合は機能しません。
  - 迷惑電話着信拒否（☞ 104 ページ）
  - 非通知着信拒否（☞ 105 ページ）
  - 公衆電話着信拒否（☞ 105 ページ）
  - 表示圏外着信拒否（☞ 105 ページ）
  - 着信鳴り分け（☞ 106 ページ）
  - 未登録番号着信拒否（☞ 103 ページ）
  - おやすみ特定着信（☞ 113 ページ）
- キャッチホンを操作するときは、誤って他のボタンを押さないようにしてください。誤動作または通話が切れる場合があります。
- 通話中にキャッチホンが入ったときは、必ずキャッチ（F1）（子機では（キャッチ））を押して切り換えてください。他の方法ではうまく切り換わらないことがあります。

ナンバー・ディスプレイ（続き）

着信メモリー（履歴）を見る・使う（ナンバー・ディスプレイご利用時）

着信メモリーは、親機・子機共通で 30 件まで。

親機で着信メモリーを見る

着信・ファクス一覧 押す → 着信メモリー F1 押す → くり返し押す

電話に出なかった着信メモリーの件数

着信メモリー	:	ファクス一覧
新規　2件	:	未読　1件
	:	合計　3件

● 操作案内が流れる。

電話に出なかったとき

(新規)　1/30件
11月 2日(日)12:34
友人
0312342222

● 新しい順に表示。

■ 終わるには ストップ 押す

■ 操作案内が流れないようにするには（☞ 36 ページ）

■ すべて消去するには

着信・ファクス一覧 → 着信メモリー F1 → ボタン切替 F1 → 全消去 F4 → はい F1

■ 着信メモリーをプリントするには

着信・ファクス一覧 → 着信メモリー F1 → ボタン切替 F1 → リスト印刷 F3

■ 電話をかけるとき

取る

■ ファクスを送るとき

原稿をセットする → ファクス 押す

■ 電話帳に登録するとき

登録 F3 押す → 電話帳 F4 押す →（☞58 ページ「親機に登録する」名前の入力へ）

■ 消去するとき

消去 F4 押す → はい F1 押す

■ 迷惑電話を拒否するとき（☞ 104 ページ）

■ 非通知の電話・公衆電話・表示圏外からの電話を拒否するとき（☞ 105 ページ）

● 電話番号に 184 や 186 をつけてかけるとき（☞ 99 ページ）

1 8 4（または 1 8 6）→ 留守（ポーズ）→ 着信・ファクス一覧 → 相手を選び → 取る

（ポーズを入れないと誤発信することがあります。かけられないときは☞ 140 ページ）

子機で着信メモリーを見る

保留 着信メモリー 押す → くり返し押す

電話に出なかった着信メモリーの件数

新規(*)　3件
[▼,▲]を押す

■ 終わるには 切 押す

電話に出なかったとき

*11/ 2 14:45
0312342222

新しい順に表示

■ すべて消去するには

保留 着信メモリー → キャッチ 消去 → F1

■ 電話をかけるとき

外線 押す

■ 電話帳に登録するとき

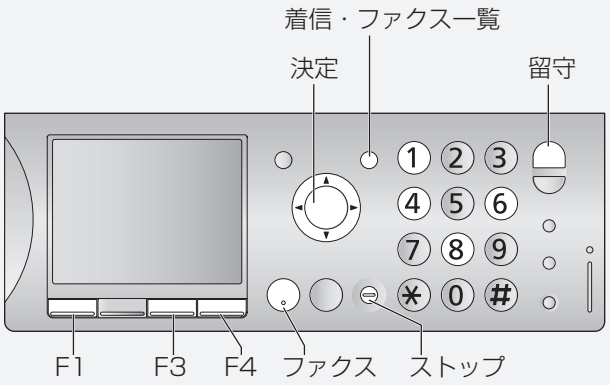
F1 押す →（☞ 60 ページ「子機に登録する」名前の入力へ）

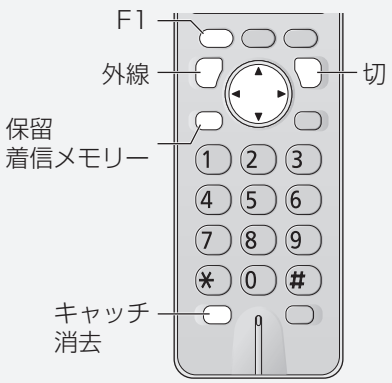
■ 消去するとき

キャッチ 消去 押す → F1 押す

お知らせ

● かけてきた相手の方の電話番号が 30 件を超えたときは、古い順から消去されます。
● 非通知や表示圏外などの相手は、電話をかけたり、電話帳の登録ができません。





相手によって受けかたを変える（ナンバー・ディスプレイご利用時）

親機の電話帳に登録していない相手からの電話やファクスを、約８時間受けないようにできます。

親機の電話帳に
未登録の相手からの電話やファクスを一時的に受けない

未登録番号着信拒否

● 親機で操作します。

「受けない」を選ぶ

機能（F3）押す → #188 押す → 押す → 決定 押す → ストップ 押す

未登録番号拒否/留守応答
受ける,**受けない**,録音

● ディスプレイに「拒否 未登録 No.」と表示される。
● 親機の電話帳に登録していない相手から電話があったときは、呼出音が鳴らずに相手にメッセージ ⑬（☞ 123 ページ）が流れる。

● 「受けない」に設定していても、約 8 時間後に自動的に解除（設定：受ける）されます。
　●「受けない」に設定しているときに、再度設定すると、再設定してから約 8 時間拒否されます。
● 「録音」を選ぶと、留守セットしていなくても留守番電話が応答し、相手の声を確かめてから電話に出られます。（ファクスは受信）
　（次に設定するまで、設定は変わりません）
● 拒否した相手の電話番号を着信メモリーで確認することができます。（☞ 102 ページ）

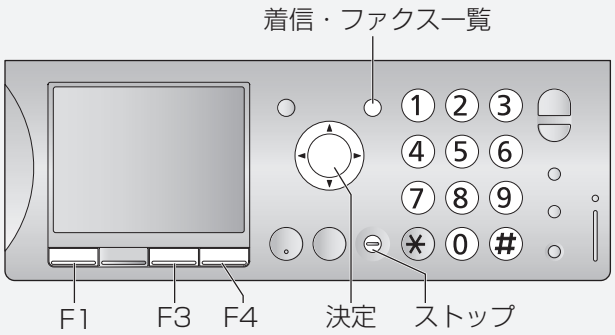
■解除するとき

機能（F3）→ #188 →「受ける」を選び →（決定）→ ストップ

お知らせ

● 親機の電話帳に、5 ケタ以上の番号が登録されていないときは、設定できません。
● 親機の電話帳の内容をすべて消去すると、自動的に解除（設定：受ける）されます。
● 4 ケタ以内の番号は拒否されません。
● キャッチホン・ディスプレイをご利用時、通話中にキャッチホンが入っても上記機能は働きません。
● 「受けない」に設定しているときに、停電したり、電源コードを抜くと解除（設定：受ける）されます。
● モデムダイヤルインで、子機のみに電話がかかってきたときは、上記機能は働きません。
● SD メモリーカードに保存されている電話帳を「上書読込」で読み込むと、自動的に解除（設定：受ける）

ナンバー・ディスプレイ（続き）

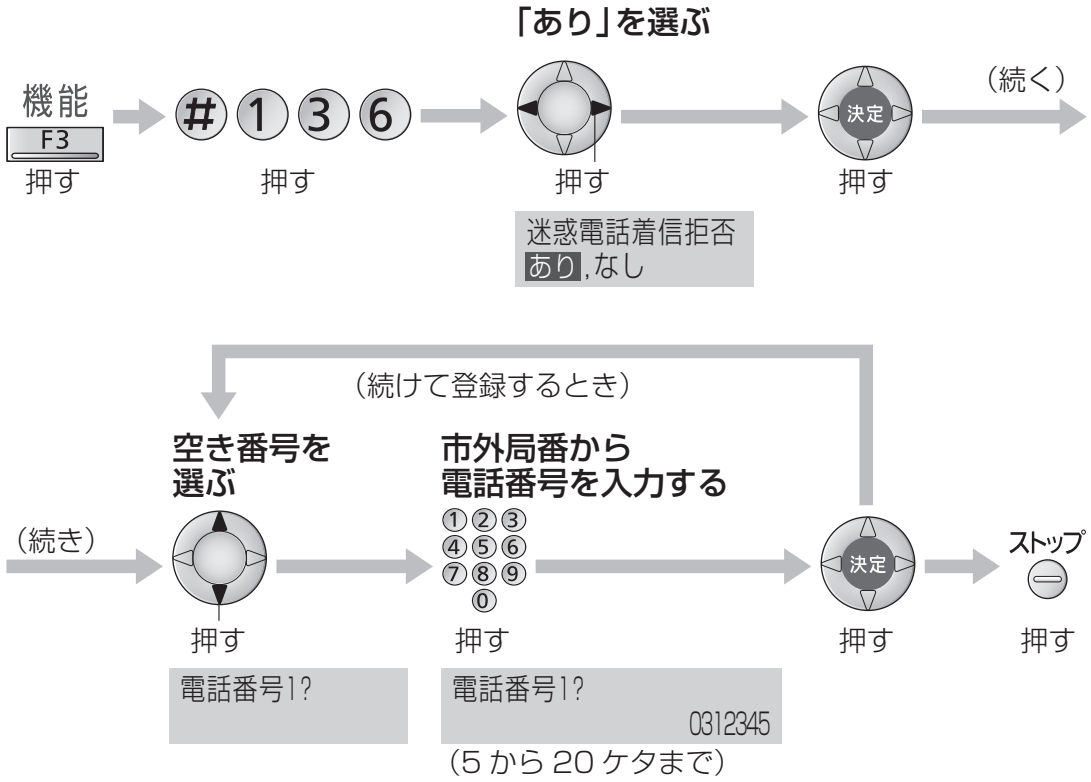


相手によって受けかたを変える（ナンバー・ディスプレイご利用時）

特定の相手からの**迷惑電話やファクスを拒否する**

迷惑電話着信拒否

（30 件まで）



- 拒否した相手から電話があったときは、呼出音は鳴らずに相手に話し中の音（プープー…）が流れます。
- 光回線などに接続する機器によっては、相手に呼出音（プルル・プルル…）が流れることがあります。

■着信メモリーを使って迷惑電話を拒否するとき

着信・ファクス一覧 → 着信メモリー F1 → 相手を選び → 登録 F3 → 迷惑 F1 → はい F1 → ストップ

■解除するとき

（特定の相手からの迷惑電話の拒否を個別に解除）

機能 F3 → #136 → 「あり」を選び → (決定) → 番号を選び → カーソルが先頭のときに 消去 F4 2秒以上押す → （続く）

（続き） → (決定) → ストップ

（特定の相手からの迷惑電話の拒否をすべて解除）

機能 F3 → #136 → 「なし」を選び → (決定) → ストップ

お知らせ

- 呼出音が鳴っているときや通話中、通話拒否したあとに、設定することもできます。（☞ 51 ページ）
- キャッチホン・ディスプレイをご利用時、通話中にキャッチホンが入ったときは、各着信拒否機能は働きません。
- プリント中は、非通知着信拒否・公衆電話着信拒否・表示圏外着信拒否は働きません。
- 着信を拒否する設定をしたときは、緊急の場合でも拒否した電話からの着信音は鳴りませんのでご注意ください。
- 着信を拒否した相手から電話があったとき、子機のディスプレイは待機状態のままです。
- 050IP 電話サービスをご利用の場合、非通知着信拒否に設定すると、公衆電話や表示圏外からの着信を、着信拒否してしまう場合があります。ご契約の 050IP 電話サービス事業者にご確認ください。

非通知の電話やファクスを受けない

非通知着信拒否

「受けない」を選ぶ

機能（F3）押す → #184 押す → 決定 押す → ストップ 押す

非通知拒否/留守応答
受ける, 受けない, 録音

- ディスプレイに「拒否 非通知」と表示される。
- 非通知の電話は、呼出音が鳴らずに相手にメッセージ ⑩（☞ 123 ページ）が流れる。

公衆電話からの電話を受けない

公衆電話着信拒否

「受けない」を選ぶ

機能（F3）押す → #186 押す → 決定 押す → ストップ 押す

公衆電話拒否/留守応答
受ける, 受けない, 録音

- ディスプレイに「拒否 公衆」と表示される。
- 公衆電話からの電話は、呼出音が鳴らずに相手にメッセージ ⑪（☞ 123 ページ）が流れる。

表示圏外（海外など番号を通知できない電話）からの電話やファクスを受けない

表示圏外着信拒否

「受けない」を選ぶ

機能（F3）押す → #187 押す → 決定 押す → ストップ 押す

表示圏外拒否/留守応答
受ける, 受けない, 録音

- ディスプレイに「拒否 圏外」と表示される。
- 表示圏外からの電話は、呼出音が鳴らずに相手にメッセージ ⑫（☞ 123 ページ）が流れる。

- 非通知、公衆電話、表示圏外の設定で、「録音」を選ぶと、留守セットしていなくても留守番電話が応答し、相手の声を確かめてから電話に出られます。（ファクスは受信）

■着信メモリーを使って、非通知の電話・公衆電話・表示圏外からの電話を拒否するとき

着信・ファクス一覧 → 着信メモリー（F1） → 表示を選び → 登録（F3） → はい（F1） → ストップ

■解除するとき

機能（F3） → それぞれコード番号を押し → 「受ける」を選び → （決定） → ストップ

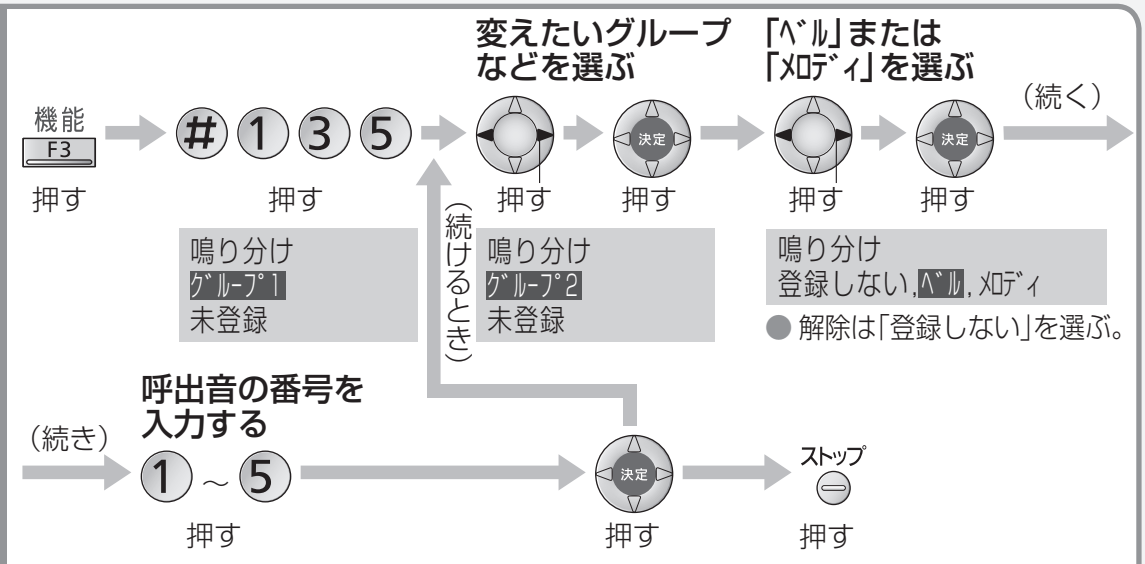
ナンバー・ディスプレイ（続き）

相手によって呼出音を変える〈着信鳴り分け〉（ナンバー・ディスプレイご利用時）

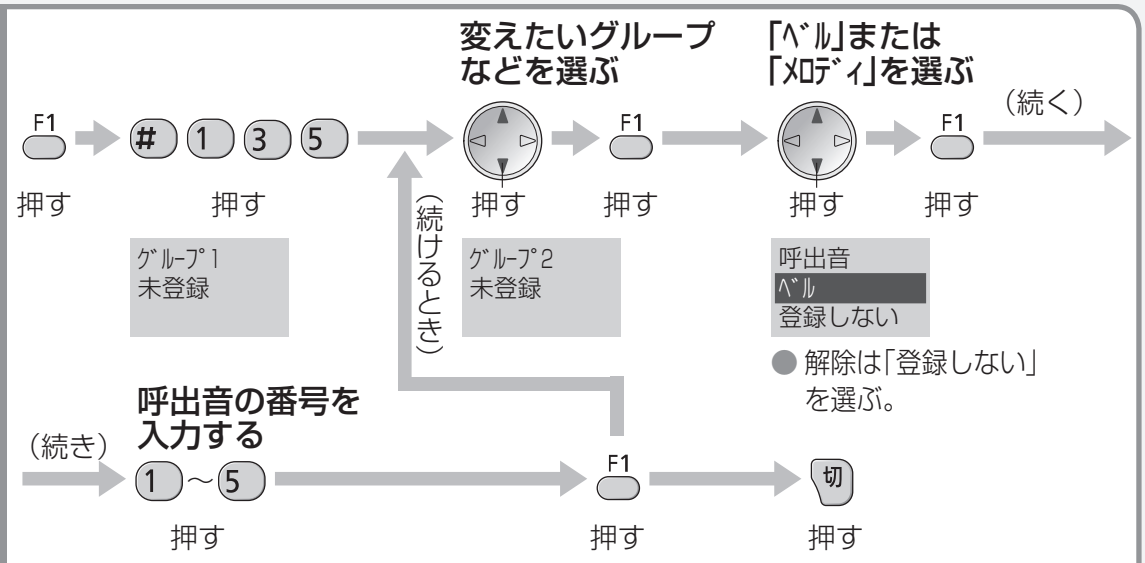
電話帳のグループ（事前に登録が必要☞ 58･60 ページ）、非通知、公衆電話、表示圏外ごとに変えられます。

- 電話帳に登録していない電話番号からかかってくると、「呼出音を変える」（☞ 117 ページ）で設定した呼出音が鳴ります。着信鳴り分けでは、「呼出音を変える」（☞ 117 ページ）で設定した呼出音以外を選ぶことをお勧めします。（同じ呼出音にすると、区別がつかなくなります）

親機の呼出音を変える

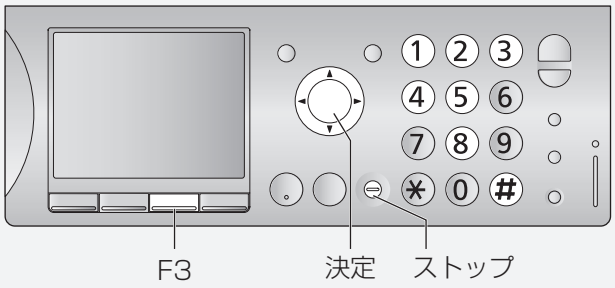


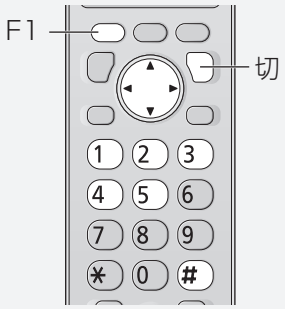
子機の呼出音を変える



お知らせ

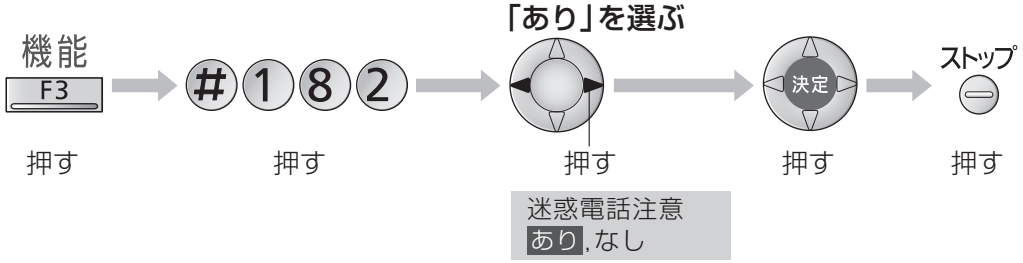
- キャッチホン・ディスプレイをご利用時、通話中にキャッチホンが入っても上記機能は働きません。
- 内線通話中、ドアホン通話中は、上記機能は働きません。
- プリント中は、子機で電話を受けることはできません。（呼出音も鳴りません）
- お買い求め時の呼出音は、すべて「ベル 1」に設定されています。
- グループごとに呼出音を変える場合は、あらかじめ、電話帳の電話番号をグループに分けて登録しておいてください。





非通知･公衆電話･表示圏外のときにお知らせする（ナンバー・ディスプレイご利用時）

呼出中に迷惑電話注意のメッセージを流す



● 非通知の電話、公衆電話、表示圏外からの電話は、ディスプレイに「迷惑電話に注意」と表示され、スピーカーから「迷惑電話にご注意ください」のメッセージが流れる。
なお、この場合には設定した呼出音（ベル、メロディ）と違う呼出音が鳴ります。

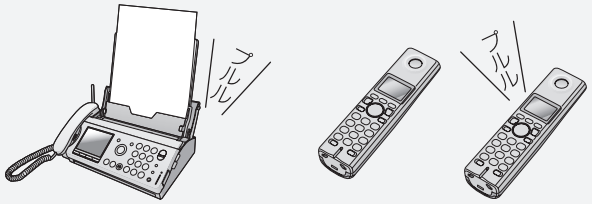
● 非通知、公衆電話、表示圏外の着信拒否機能（☞ 105 ページ）が働いているときは、上記機能は働きません。
● 無鳴動受信（☞ 71 ページ）とおやすみモード（☞ 111 ページ）のときは、上記機能は働きません。
● 「ファクス自動受信」（☞ 70 ページ）を「する」に設定しているときや、「在宅呼出回数」（☞ 118 ページ）まで電話に出なかったときに、本商品が応答して呼出音が再度鳴り出すと、上記機能は働きません。
● メッセージの音量は、呼出音量の設定（☞ 116 ページ「音の大きさを変える」）に連動します。

モデムダイヤルインサービス

モデムダイヤルインサービス、マイナンバーとは…

1 つの回線で複数の電話番号を使うことができます。
本商品のモデムダイヤルイン機能を使って、ひかり電話の追加番号（マイナンバー）サービスを利用することもできます。

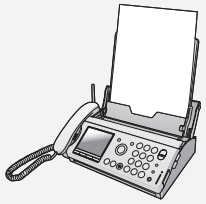
■ 電話用番号にかかってくると…



番号ごとに設定した親機や子機だけが鳴る

- 親機を呼び出し先に設定すると、ファクス受信や留守番電話の応答もできます。親機を呼び出し先に設定していない電話番号では、ファクス自動受信や留守番電話の応答ができません。
- 呼び出し先に設定した子機でも、ファクス受信の操作ができます。（☞ 69 ページ「ファクスを電話に出て受ける」）
- 呼び出し中は、呼び出し先に設定していない親機や子機では、電話に出られません。

■ ファクス専用番号にかかってくると…



呼出音を鳴らさずにファクスを受信

- 電話に出たり、留守番電話での応答はできません。

お知らせ

- モデムダイヤルインに登録されていない番号にかかってくると、親機とすべての子機を呼び出します。
- おやすみモード中は、モデムダイヤルインによる子機の呼び出しはできません。おやすみモード中に子機だけを呼び出す番号にかかってきたときは、電話を受けることができません。
- 外線通話中のキャッチホン時は、モデムダイヤルインによる呼び出し（キャッチ）は働きません。外線通話中の電話機の受話口からキャッチ音が聞こえます。（☞ 49 ページ「キャッチホンを受ける」）
- ドアホン通話中、親機と子機で内線通話中、子機どうしの内線通話中は、モデムダイヤルインによる呼び出しは働きません。通話中の電話機の受話口から呼出音が聞こえます。ドアホン通話または内線通話を終え、外線通話を受けてください。（☞ 134 ページ「■ドアホンとの通話中に電話がかかってきたとき」、☞ 55 ページ「■内線通話中に電話がかかってきたら」）
- 発信者番号通知は主番号での通知となります。
- 電話がかかってきたときは、つながる（呼出音が鳴る）まで約 4 ～ 10 秒かかります。
- トールセーバー（☞ 82 ページ）がうまく働かないことがあります。

モデムダイヤルインサービス、マイナンバーを利用するには（当社との契約が必要です）

■契約の前にご確認ください

- 本商品では複数の電話番号は同時に通話・通信できません。
- ホームテレホン・構内交換機（PBX）では使用できません。
- 他のサービスとの併用は、局番なしの「116」（通話料金無料）に確認してください。

当社と契約する（有料） ▶ 連絡が来る ▶ 必ずサービス開始後に設定する（☞右ページ）

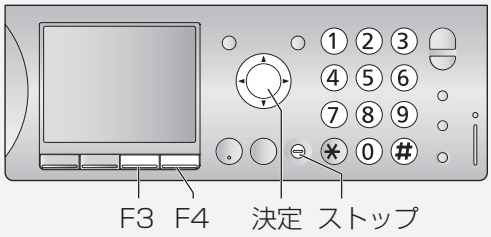
- 契約・工事については、局番なしの 116 番または当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

お願い

- 一回線に複数の電話機・ファクスなどを接続しないでください。（誤動作の原因）
- 本商品はダイヤルインサービス（PB 信号方式）には対応していません。モデムダイヤルインサービス（モデム信号方式）を利用してください。（ダイヤルインサービス利用時は変更する〈有料〉）

お知らせ

- ISDN 回線のときは、ターミナルアダプターの設定が必要です。主番号に設定したアナログポートに、本商品を接続してください。
- ひかり電話の追加番号（マイナンバー）サービスを利用するときは、VoIP アダプタ（ルータ）などの取扱説明書も合わせてお読みください。



設定のしかた（モデムダイヤルインサービスご利用時）

モデムダイヤルイン番号は、5 つまで設定でき、番号ごとに電話用かファクス専用かを設定できます。

電話用番号と呼出先を登録する

● 親機で操作します。

機能 F3 押す → #131 押す → 「あり」を選ぶ 押す → 押す → 空き番号を選ぶ 押す → 電話番号の下 4 ケタを入力する ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⓪ 押す → 押す → (続く)

ﾓﾃﾞﾑﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ あり,なし	ﾓﾃﾞﾑﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ あり,なし
電話番号1？	電話番号1？ 1234

● 間違えたときは 消去 F4 押す

(続き) → 「しない」を選ぶ 押す → 押す → 親機を「呼び出す」「呼び出さない」を選ぶ 押す → 押す → 子機 1 を「呼び出す」「呼び出さない」を選ぶ 押す → 押す → ストップ 押す

(続けるとき)

ﾌｧｸｽ専用 する,しない	親機 呼び出す,呼び出さない	子機1 呼び出す,呼び出さない

● 2 台目以降の子機があるときは、続けて選ぶ。

ファクス専用番号を登録する

● 親機で操作します。

機能 F3 押す → #131 押す → 「あり」を選ぶ 押す → 押す → 空き番号を選ぶ 押す → 電話番号の下 4 ケタを入力する ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⓪ 押す → 押す → (続く)

ﾓﾃﾞﾑﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ あり,なし	ﾓﾃﾞﾑﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ あり,なし
電話番号2？	電話番号2？ 1235

● 間違えたときは 消去 F4 押す

(続き) → 「する」を選ぶ 押す → 押す → ストップ 押す

ﾌｧｸｽ専用 する,しない

■利用をやめるには（当社へ連絡し、工事終了後に設定する）

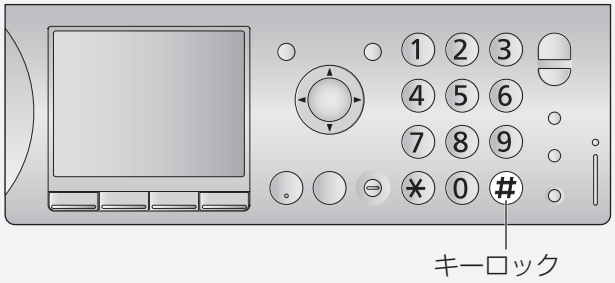
機能 F3 → #131 → 「なし」を選び → （決定） → ストップ

お知らせ

● 電話番号 1 ～ 5 には、同じ番号は設定できません。

キーロックを使う

お掃除などのとき、誤操作を防ぐため操作ボタンを受けつけないようにできます。





操作をできないようにする

親機

■ 設定するには

「ピッ」と鳴るまで

3秒以上押す

キーロック(3秒)

キーロックを
設定しました

● 設定するとディスプレイに
キーロック と表示します。

■ 解除するには

「ピッ」と鳴るまで

3秒以上押す

キーロック(3秒)

キーロックを
解除しました

子機

■ 設定するには

「ピッ」と鳴るまで

#🔒 3秒以上押す

キーロックを
設定しました
🔒

● 設定するとディスプレイに
🔒 と表示します。

■ 解除するには

「ピッ」と鳴るまで

#🔒 3秒以上押す

キーロックを
解除しました

お知らせ

- キーロックを設定すると、
  - 電話をかけることはできません。(「110」「119」などの緊急連絡先にもかけることはできません)
  - 呼出音が鳴っているときに、通話拒否(☞ 50 ページ)やあんしん応答(☞ 52 ページ)の操作をすることができます。
  - かかってきた電話を受けたり、ドアホンに出ることはできます。
  - 通話中は一時的にキーロックが解除されます。通話を終了すると再度設定されます。
  - 受話器を取ったり、ボタンを押すとディスプレイに次のように表示します。

〈親機〉 キーロック設定中
解除は[#]を3秒押す

〈子機〉 キーロック解除は
[#] 3秒押す
🔒

  - 表示中に親機で受話器を取る、またはボタンを押す操作を合計 3 回行うと、キーロックの設定をしていることを音声でお知らせします。

おやすみモードを使う （続く）

おやすみになりたいときや、静かにすごしたいとき、おやすみモードにすると、本商品の音を鳴らさないようにできます。

- 毎日指定した時間帯に、おやすみモードをタイマー設定することもできます。（☞ 112 ページ「おやすみタイマー」）
- ナンバー・ディスプレイを利用しているときは、特定の相手からの電話やファクスを、呼出音を鳴らして留守番電話が応答するようにできます。（☞ 113 ページ）



- おやすみモードのときは
  - 親機も子機も呼出音（外線・ドアホン）が鳴りません。（内線の呼出音は鳴ります）
  - 親機のキー確認音は鳴りません。
  - 留守セットされます。（☞ 78 ページ）
  - ファクスはメモリーに記憶されます。（☞ 68 ページ）
  - 留守番電話が応答中の音声は、スピーカーから聞こえません。（☞ 80 ページ）
  - 操作案内などの音声は流れません。（☞ 36 ページ）

おやすみモードにする

■ 設定するには

＊ 3 秒以上押す

おやすみ(3秒)

おやすみﾓｰﾄﾞを
設定しました

■ 解除するには

＊ 3 秒以上押す

おやすみ(3秒)

おやすみﾓｰﾄﾞを
解除しました

- おやすみモードのときは、ディスプレイに おやすみ と表示し、留守 が点灯します。

- 次の場合は、着信・ファクス一覧 が点灯します。
  - 新規にファクスをメモリー受信したとき（☞ 68 ページ）
  - ナンバー・ディスプレイを利用している場合に着信があったとき（☞ 100 ページ）
- 「新しい用件が録音されました」と表示されたときは

新しい用件が
録音されました

用件 2件
ﾌｧｸｽ 3件
すべての用件の数

おやすみﾓｰﾄﾞ中です
電話・ﾌｧｸｽの呼出音は
鳴りません

  - 再生 押す（新しい用件が再生されます。新しい用件が録音されていなければ、すべての用件が再生されます） （☞ 78 ページ）

お知らせ

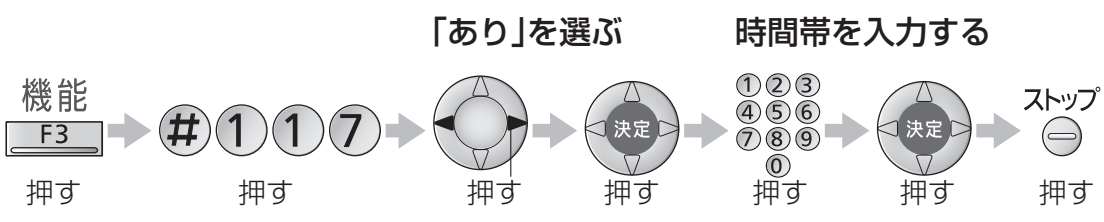
- おやすみモードのときは、次の機能は働きません。
  - 用件転送（☞ 83 ページ）
  - モデムダイヤルインによる子機の呼び出し
  - 迷惑電話注意（☞ 107 ページ）
  - ドアホンワープ（☞ 135 ページ）
- おやすみモードのときに、用件録音・通話録音のメモリーがいっぱいになると、新しい用件は録音されません。
- おやすみモードのときに、ファクスのメモリーがいっぱいになると、新しいファクスは受信されません。
- おやすみモードのときに留守セットを解除する（親機は 留守 、子機は F2 ➡ 0 、詳しくは ☞ 79 ページ）と、おやすみモードも解除されます。

おやすみモードを使う （続き）



おやすみモードにする時間帯を設定する（おやすみタイマー）

おやすみタイマーを設定する



- 解除は「なし」を選ぶ。
- 24 時間方式で入力。（深夜 12 時は「00 : 00」）
- 設定した時間帯は、ディスプレイに おやすみ と表示し、留守 が点灯します。
- おやすみタイマーの設定時間帯の中で上記操作をした場合は、開始時間が過ぎているため、✳ を3秒以上押しておやすみモードにしてください。

お知らせ

- おやすみタイマー中に、✳ を3秒以上押すと、おやすみモードは解除されます。（おやすみタイマーは解除されません）
- ✳ を押しておやすみモードに設定したときも、おやすみタイマーの終了時間になると、おやすみモードは解除されます。
- ディスプレイに表示される時刻がずれていると、おやすみタイマーが働く時間帯もずれます。
  ずれているときは、日付・時刻を設定し直してください。（☞ 33 ページ）
  現在時刻を設定し直すときに、おやすみタイマー開始時刻や終了時刻をまたぐと、開始・終了が自動的に行われません。✳ を3秒以上押して設定／解除してください。

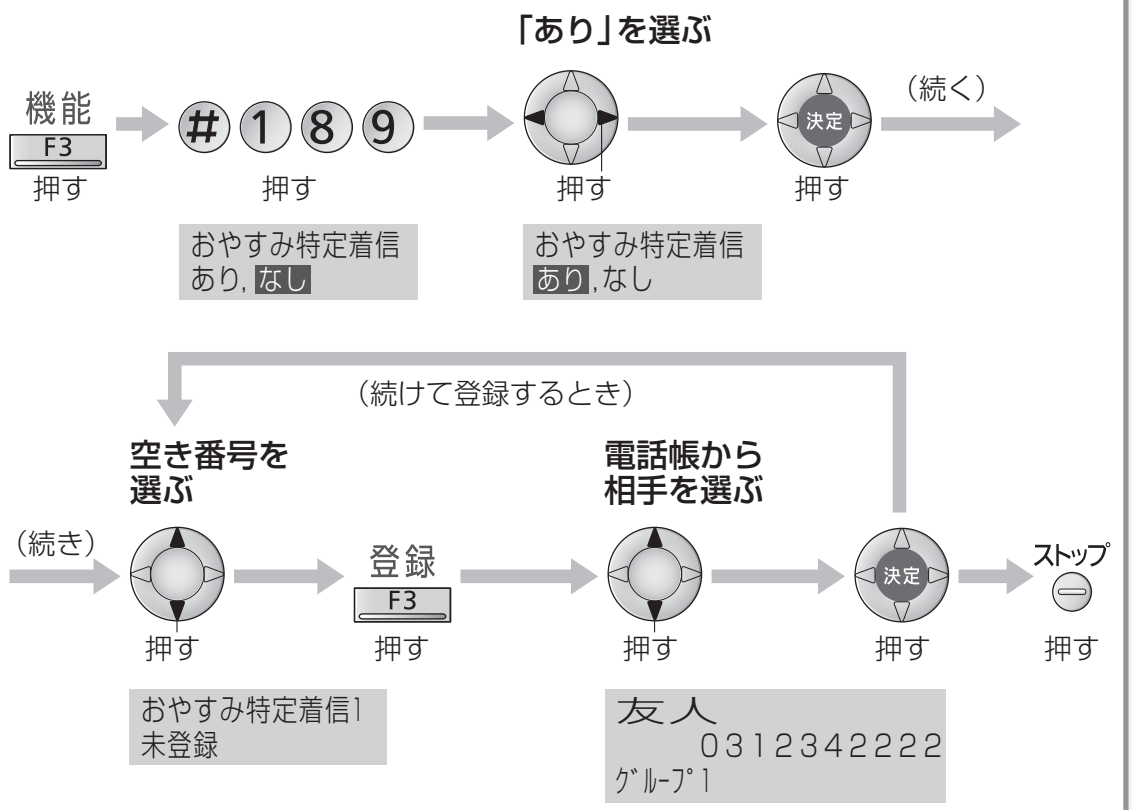
おやすみモード中、特定の相手のみ呼出音を鳴らす（ナンバー・ディスプレイご利用時）

- 親機の電話帳に登録している相手のみ登録できます。
- 登録した相手から電話があったときは、呼出音が鳴り、留守番電話が応答します。
- 登録した相手からファクスがあったときは、呼出音が鳴り、ファクスが自動的に受信されます。見てから印刷を解除しているときは（☞ 68 ページ）、記録紙にプリントされます。

呼出音を鳴らす相手を登録する

おやすみ特定着信

- 9 件まで



■解除するとき

（個別に）

機能 F3 → #189 → 「あり」を選び → （決定） → 番号を選び → 消去 F4 → はい F1 → ストップ

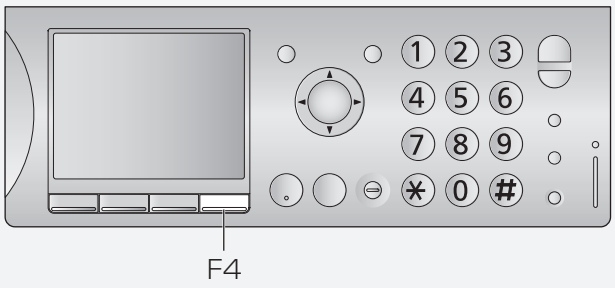
（すべて）

機能 F3 → #189 → 「なし」を選び → （決定） → ストップ

お知らせ

- 親機の電話帳を修正・消去すると、おやすみ特定着信で登録した番号も修正・消去されます。
- SD メモリーカードに保存されている電話帳を「上書読込」で読み込むと、おやすみ特定着信で登録した番号は消去されます。（☞ 96 ページ「SD メモリーカードの電話帳を親機に読み込む」）

音の設定 音質





相手の声の音質を変える（相手の声が聞きとりにくいときなど）

外線通話中 ボイスセレクトを使う

親機

ﾎﾞｲｽｾﾚｸﾄ
F4 押すごとに切り替わる

標準（お買い求め時）

ﾎﾞｲｽｾﾚｸﾄ
低い　－－■■－－　高い

高音を強調

ﾎﾞｲｽｾﾚｸﾄ
低い　－－－－■■　高い

低音を強調

ﾎﾞｲｽｾﾚｸﾄ
低い　■■－－－－　高い

子機

F1 押す → **「ﾎﾞｲｽｾﾚｸﾄ」を選ぶ** → F1 押す → **声の音質を選ぶ** → F1 押す → F1 押す

通話録音
ﾎﾞｲｽｾﾚｸﾄ
ﾎﾞｲｽﾁｪﾝｼﾞ

ﾎﾞｲｽｾﾚｸﾄ
低 --■■-- 高

● 押して高く、 押して低く

低 ----■■ 高　：高音を強調
低 --■■-- 高　：標準（お買い求め時）
低 ■■---- 高　：低音を強調

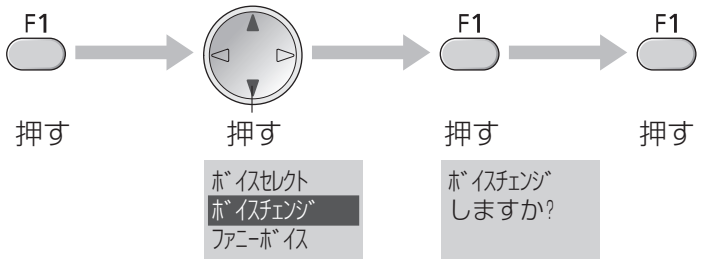
● 親機のモニター、子機のハンズフリー（スピーカーホン）での通話、内線通話、ドアホン通話では使えません。
● 次に設定するまで、設定は変わりません。

自分の声を低く変える（迷惑な相手に対応するときなど）

電話やドアホンで通話中 **ボイスチェンジを使う**

子機のみ

「ﾎﾞｲｽﾁｪﾝｼﾞ」を選ぶ



- 通話が終わると、解除されます。

- 次の場合は、ボイスチェンジは使えません。
  - 電話をかけたとき
  - 電話をかけて通話中に、キャッチホンでかかってきたとき
  - 子機どうしの内線通話中

■通話中に解除するとき

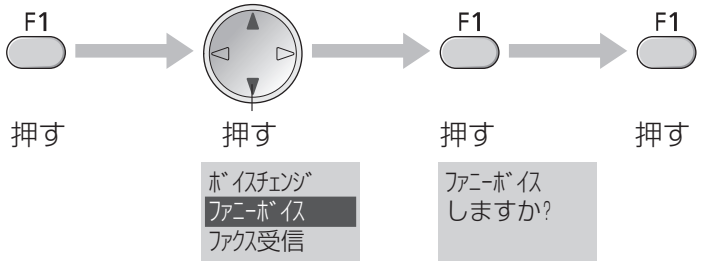
F1 ➡ 「ﾎﾞｲｽﾁｪﾝｼﾞ」を選び ➡ F1 ➡ F1

自分の声を高く変える（会話をより楽しくしたいときなど）

電話やドアホンで通話中 **ファニーボイスを使う**

子機のみ

「ﾌｧﾆｰﾎﾞｲｽ」を選ぶ



- 通話が終わると、解除されます。

- 次の場合は、ファニーボイスは使えません。
  - 電話をかけたとき
  - 電話をかけて通話中に、キャッチホンでかかってきたとき
  - 子機どうしの内線通話中

■通話中に解除するとき

F1 ➡ 「ﾌｧﾆｰﾎﾞｲｽ」を選び ➡ F1 ➡ F1

音の設定 音量・呼出音

音の大きさを変える

	変えられるとき	変えられる範囲
呼出音量 (外線/内線/ドアホン)	呼出音が鳴っているとき／待機中	8 段階＋ステップトーン＋「切」
受話音量	通話中／待機中	(親機)　3 段階 (子機)　6 段階
スピーカー音量	(親機)　モニター を押したとき／保留中／操作案内中／留守電再生中／音声内線呼出中(受ける側)／待機中 (子機)　スピーカーホン を押したとき／留守電再生中／音声内線呼出中(受ける側)／待機中	(親機)　9 段階 (子機)　6 段階

■ステップトーンについて

電話がかかってきたときに、呼出音量がレベル「1」から「8」まで 1 段階ずつ大きくなります。

● ドアホンの呼出音は、「ステップトーン」にしてもレベル「4」の音量で鳴ります。

音量を変える

親機

待機中に**音量の種類を選ぶ**　**音量を変える**

音量 押す → 決定 押す → 音量 押す → ストップ 押す

(例)
呼出音量
受話音量
ｽﾋﾟｰｶｰ音量

● 約 5 秒間操作をしないと待機画面に戻り、表示されている音量に設定されます。

■ **呼出音をステップトーンにするには**
レベル「8」で「ｽﾃｯﾌﾟﾄｰﾝ」が反転表示される(レベル「1」で鳴る)まで 押し続ける。(押すと解除)

■ **「切」**(呼出音を鳴らさない)**にするには**
「ピピッピピッ」と鳴るまで 押し続ける。(押すと解除)

子機

待機中に**音量の種類を選ぶ**　**音量を変える**

音量/変換 押す → F1 押す → 音量/変換 押す → F1 または 切 いずれかを押す

(例)
ｽﾋﾟｰｶｰ音量
呼出音量
受話音量

● 約 5 秒間操作をしないと待機画面に戻り、表示されている音量に設定されます。

■ **呼出音をステップトーンにするには**
レベル「8」で「ｽﾃｯﾌﾟﾄｰﾝ」と表示される(レベル「1」で鳴る)まで 押し続ける。(押すと解除)

■ **「切」**(呼出音を鳴らさない)**にするには**
「ピピッピピッ」と鳴るまで 押し続ける。(押すと解除)

● 呼出音が鳴っているとき・通話中・留守電再生中など(待機中でないとき)に、音量を変えるには
〈親機〉 押す　〈子機〉 押す

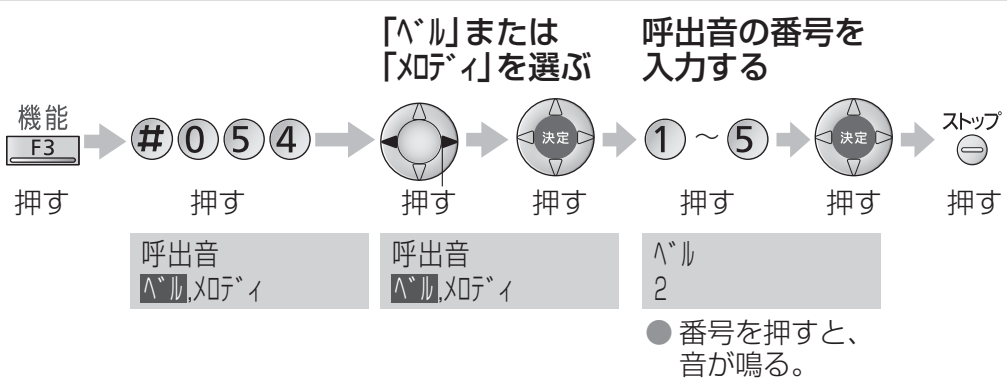
● 内線通話／ドアホンの呼出音は、「切」にしても最小で鳴ります。

● 親機のスピーカー音量はレベル「0」にしても、次回使うときは「2」の音量になります。

呼出音を変える

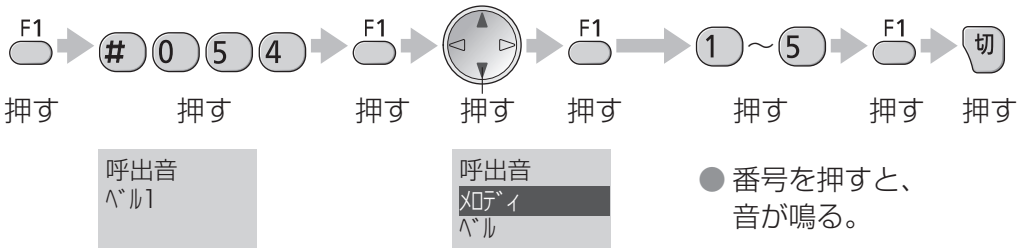
電話がかかってきたときの呼出音を変える

親機



● 番号を押すと、音が鳴る。

子機



● 番号を押すと、音が鳴る。

■呼出音の種類

	呼出音の番号	内　容
ベル	1 ～ 5	5 種類のベル
メロディ	1	JUPITER
	2	ヴァルキューレの騎行
	3	CANTATA（主よ、人の望みの喜びよ）
	4	くるみ割り人形

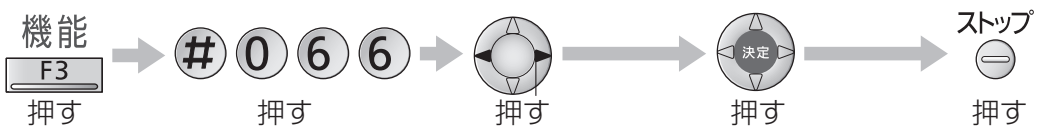
● 内線通話／ドアホンの呼出音は変更できません。

© 2006 Copyrights Vision Inc.

内線通話の呼び出しかたを変える

内線通話の呼び出しを音声に変える（音声内線呼び出し）

● 親機で操作します。



● 呼出音に戻すときは、「ﾍﾞﾙ」を選ぶ。

〈呼び出す側の操作〉　内線通話をかけて呼出音が 2 回聞こえたあと、受話器（または子機）を使って相手に呼びかけてください。

〈 受ける側の操作 〉　内線通話の呼出音が 1 回鳴ったあと、スピーカーから相手の声を聞くことができます。受話器を取って（子機は充電器から取り、内線 押して）話してください。

親機の機能一覧

● お買い求め時は、［　　］枠の値に設定されています。

■変更するときは

機能 F3 押す → **コード番号を押す** → **選ぶ**または**数字などを入力**（押す）→ 決定 押す → ストップ 押す

一覧表に設定手順があるものはそれに従う。

項目	内容〈機能名〉	コード番号	設定値／設定手順	ページ
最初の設定	現在の日時 〈日付時刻〉	#001	年・月・日・時刻を入力	33
	相手のファクスにプリントされる名前 〈名前(印刷用)〉	#002	名前を入力	34
	相手のファクスに表示される名前 〈名前(表示用)〉	#003	名前を入力	34
	相手のファクスにプリントされる電話番号 〈あなたの電話番号〉	#004	電話番号を入力	34
	電話回線の設定 〈回線種別〉	#079	［自動］、ﾌﾟｯｼｭ、20、10	32
	親機の機能登録の内容をプリント 〈登録リスト印刷〉	#000	(決定)押す	–
呼出音とベル回数	親機の呼出音 〈呼出音〉	#054	ﾍﾞﾙ　：［1］、2、3、4、5 ﾒﾛﾃﾞｨ：1、2、3、4	117
	在宅時、自動的に回線がつながるまでの呼出音の回数 〈在宅呼出回数〉	#112	3、5、10、［15］、20、留守、自動応答しない ● 「3」、「5」を選ぶと、自動受信に設定される。 ● 留守：呼出音が15回鳴ったあと、自動的に留守セットされる。 ● 自動応答しない：電話に出るまで鳴り続ける。	70
	留守時、応答メッセージを流すまでの呼出音の回数 〈留守呼出回数〉	#121	2、［4］、6、9、ﾌｧｸｽ専用、ﾄｰﾙｾｰﾊﾞｰ ● 9：応答するまでの時間が長いため、相手機のファクス信号が終了し、ファクスを自動受信できないことがある。 ● ﾌｧｸｽ専用：留守セットが必要。 ● ﾄｰﾙｾｰﾊﾞｰ(☞82ページ)	70
	本商品の音を鳴らさない時間帯を設定 〈おやすみタイマー〉	#117	あり、［なし］ ● あり：時間帯を設定	112
音声の設定	送受信結果の音声を流す 〈ファクス親切案内〉	#020	［あり］（流す）、なし（流さない）	67 69
	原稿をセットしたとき、自動で操作案内をする 〈自動操作案内〉	#021	［あり］、なし	36
	ダイヤルした番号を音声で読み上げる 〈読み上げダイヤル〉	#130	［あり］、なし	36
	電話帳・短縮ダイヤルに登録するときや検索して電話をかけるとき、音声で操作案内をする 〈電話帳音声案内〉	#167	［あり］、なし	36
	インクフィルム交換でバックカバーを開けたとき、音声で操作案内をする 〈インクフィルム交換音声案内〉	#173	［あり］、なし	36
	メモリー受信したファクスを選ぶとき、音声で操作案内をする 〈ファクス一覧音声案内〉	#177	［あり］、なし	36
電話帳の設定	電話帳の内容をプリント 〈電話帳印刷〉	#041	［親機］、子機	59 61
	親機の電話帳の内容を子機に転送 〈電話帳転送〉	#143	転送先を選ぶ ➡ 内容を選ぶ	62

項目	内容〈機能名〉	コード番号	設定値／設定手順	ページ
電話帳の設定	親機の電話帳の内容をすべて消去 〈電話帳全消去〉	#144	(決定)➡ はい F1	–
	短縮ダイヤルの内容をプリント 〈短縮ダイヤル印刷〉	#039	(決定) 押す	65
ファクスの受け方	在宅呼出回数を3回にして、ファクスの自動受信を設定する 〈自動受信〉	#116	する　：呼出回数が3回に設定される。 しない　：呼出回数が15回に設定される。（ファクスの自動受信を解除）	70
	在宅時、呼出音を鳴らさずにファクスを受ける 〈無鳴動受信〉	#114	しない、常にする、ﾀｲﾏｰ ● ﾀｲﾏｰ　：鳴らさない時間帯を設定。	71
	記録紙節約のため、縮小してプリント 〈エコノミー受信〉	#090	あり(1)　：92 %に縮小してプリント あり(2)　：原寸でプリント（収まらない部分はプリントしない） なし　：原寸でプリント（収まらない部分は2枚目にプリント）	74
ファクスの設定	海外へうまく送れないとき 〈海外送信〉	#023	1回、なし	67
	Fネットを利用する 〈Fネット〉	#105	あり（する）、なし（しない） ● Fネット(G3サービス　1300Hz)利用時は、「あり」を選ぶ。	75
	ファクスのプリント濃度 〈受信印字濃度〉	#099	濃く、ふつう、薄く	74
	SDメモリーカードへ保存するファクスのサイズ 〈SDのJPEG保存形式〉	#181	大　：約400万画素相当 小　：約90万画素相当	–
留守番電話の設定	外出先から操作時の暗証番号 〈留守電暗証番号〉	#006	4ケタの数字を入力	82
	用件1件あたりの録音時間 〈用件録音時間〉	#030	2分、最大	80
	留守電のリモート再生で一度聞いた用件の再生 〈留守電リモート再生〉	#127	繰り返し　：聞くたびにすべて再生する 1回　：一度聞いた用件を再生しない	83
	用件を外出先に転送 〈用件転送〉	#142	する（転送先登録）、しない	83
	自分の声で応答メッセージを作る 〈自作応答録音〉	#147	録音する	81
	自作メッセージを消す 〈自作応答消去〉	#148	(決定)➡ はい F1	81
	応答メッセージを選ぶ 〈留守応答〉	#128	自動、固定1、固定2 ● 自動：自動切替（自作メッセージ優先）	80 81
	用件をすべて消す 〈用件全消去〉	#163	(決定)➡ はい F1	79
	用件や通話の録音先を設定する 〈用件録音先〉	#180	SDｶｰﾄﾞ優先、本体ﾒﾓﾘｰ固定	78
ナンバー・ディスプレイ	ナンバー・ディスプレイを利用 〈ナンバー・ディスプレイ〉	#133	自動、あり、なし（やめるとき）	99
	キャッチホン・ディスプレイを利用 〈キャッチホン・ディスプレイ〉	#137	あり（する）、なし（しない）	99
	相手によって呼出音を変える 〈鳴り分け〉	#135	電話帳のグループ(1～9)・非通知・公衆電話・表示圏外ごとに設定。	106
	非通知の電話に出ない 〈非通知拒否／留守応答〉	#184	受ける、受けない(拒否)、録音(留守番電話で応答)	105
	公衆電話からの電話に出ない 〈公衆電話拒否／留守応答〉	#186	受ける、受けない(拒否)、録音(留守番電話で応答)	105

親機の機能一覧（続き）

● お買い求め時は、［　　］枠の値に設定されています。

項目	内容〈機能名〉	コード番号	設定値／設定手順	ページ
ナンバー・ディスプレイ	表示圏外の電話に出ない 〈表示圏外拒否／留守応答〉	#187	受ける、受けない（拒否）、 録音（留守番電話で応答）	105
	親機の電話帳に未登録の電話に約８時間出ない 〈未登録番号拒否／留守応答〉	#188	受ける、受けない（約８時間拒否）、 録音（留守番電話で応答）	103
	特定の相手からの電話に出ない 〈迷惑電話着信拒否〉	#136	あり（拒否する相手を設定）、なし	104
	おやすみモードのとき、特定の相手からの電話に、呼出音を鳴らして受ける　〈おやすみ特定着信〉	#189	あり（呼出音を鳴らす相手を設定）、なし	113
	迷惑電話を注意するメッセージを流す　〈迷惑電話注意〉	#182	あり、なし	107
携帯通話の設定	携帯番号帯を設定する 〈携帯番号帯設定〉	#197	４ケタの携帯番号帯を入力	42
	付加する事業者識別番号を設定する 〈携帯通話事業者選択〉	#198	携帯通話事業者選択： なし、NTT 東日本（0036）／NTT 西日本（0039）、その他 IP 電話利用：あり、なし ※「NTT 東日本（0036）／NTT 西日本（0039）」はご購入いただいたエリアの事業者名（事業者識別番号）がどちらか１つのみ表示されます。	40
接続機器の設定	子機を増やす　〈子機増設〉	#123	（操作しないでください）	－
	子機を減らす　〈子機減設〉	#178	（操作しないでください）	－
	中継アンテナを登録する 〈中継アンテナ設定〉	#101	（操作しないでください）	－
	ワイヤレスアダプター対応のカラーカメラドアホンモニタ*に接続する 〈ワイヤレスアダプター設定〉	#164	（操作しないでください）	－
	U-ドアホンボックスで接続したドアホンを使うのをやめるとき 〈ドアホン設定〉	#160	自動、なし（使うのをやめるとき）	133
	外出先でドアホンを受ける 〈ドアホンワープ〉	#162	なし、留守（留守時）、あり（すべて） ● 留守・あり：転送先を登録。	135
その他の設定	別売のインクフィルムの残量のめやすを表示 〈インクフィルム残量表示〉	#098	あり（表示する）、なし（表示しない） ● 付属のお試し用インクフィルムでは、正しく表示されません。	137
	ボタンを押すたびに「ピッ」と鳴らす　〈キー確認音〉	#058	あり（鳴らす）、なし（鳴らさない）	－
	電話帳の名前・ダイヤル時の電話番号の表示サイズ 〈文字表示サイズ切替〉	#037	大、ふつう ● 大：電話帳の名前（全角６ケタまで）とダイヤル時の電話番号（12 ケタまで）を横倍角で表示。 （全角６ケタを超える名前、12 ケタを超える電話番号、名前に含まれる半角文字は全角で表示）	－
	液晶ディスプレイのコントラストを調整する　〈LCD コントラスト〉	#052	−4、−3、−2、−1、0、+1、+2、+3、+4	－

項目	内容〈機能名〉	コード番号	設定値／設定手順	ページ
その他の設定	複数の電話番号を使う 〈モデムダイヤルイン〉	#131	あり、[なし] ● あり：電話番号ごとに、ファクス専用か呼出先(親機・子機)を設定。	109
	光回線(ひかり電話)、ADSL やISDN 回線に接続する 〈TA/ スプリッタ〉	#172	ｵﾝ、[ｵﾌ] ●「ｵﾝ」に設定すると、電話の声をやや小さくして、反響を抑えます。	−
	A4 サイズより長い原稿の下部を次ページにプリント　〈分割コピー〉	#091	あり、[なし]（1 ページで中断）	76
	内線通話を音声で呼び出す 〈内線呼出〉	#066	[ﾍﾞﾙ]、音声	117
	すべてお買い求め時の設定に戻す 〈出荷時へ戻す〉	#111	(決定) → はい(F1) ・・・・・▶ (決定)	12

* ワイヤレスアダプター対応のカラーカメラドアホンモニタについては、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

■ディスプレイを見ながら機能を選ぶ場合は、マルチファンクションキーでメニューを選択して、設定してください。

機能(F3) → 項目を選ぶ → (決定) → 機能名を選ぶ

(例)

最初の設定
呼出音とﾍﾞﾙ回数
音声の設定
電話帳の設定

●118 ～ 121 ページの項目を順に表示。

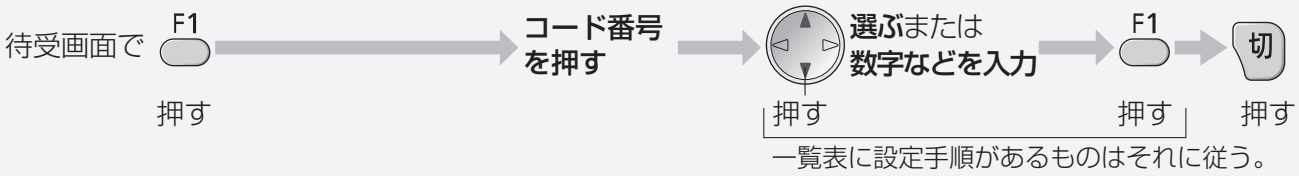
名前(印刷用)
名前(表示用)
あなたの電話番号
回線種別

●「子機減設」、「携帯番号帯設定」は表示されません。

子機の機能一覧

● お買い求め時は、[　　] 枠の値に設定されています。

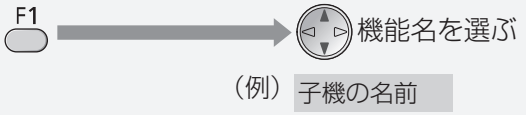
■変更するときは



一覧表に設定手順があるものはそれに従う。

内容〈機能名〉	コード番号	設定値／設定手順	ページ
子機に名前を付ける（内線呼出時に相手側に表示） 〈子機の名前〉	#002	F1 ➡ 名前・フリガナを入力	35
子機の呼出音 〈呼出音設定〉	#054	F1 押す　ﾍﾞﾙ　：[1]、2、3、4、5 ﾒﾛﾃﾞｨ：1、2、3、4	117
充電器から取るだけで電話を受ける 〈オフフック応答〉	#009	あり、[なし] ● なし:外線、内線、スピーカーホン で受ける。	46
どのキーを押しても電話を受ける（十字キー 切 F1 F2 あんしん応答 ミュート 以外） 〈エニーキーアンサー〉	#064	[あり]、なし ● なし:外線、内線、スピーカーホン で受ける。	46
ボタンを押すたびに「ピッ」と鳴らす 〈キー確認音〉	#058	[あり]（鳴らす）、なし（鳴らさない）	–
保留中、４秒ごとに「ピーッ」と鳴らす 〈保留通知音〉	#069	[あり]（鳴らす）、なし（鳴らさない）	47
充電器から取るだけで電話をかける〈クイック通話〉	#008	あり、[なし]	44
ナンバー・ディスプレイで相手によって呼出音を変える 〈着信鳴り分け〉	#135	電話帳のグループ（1 ～ 9）・非通知・公衆電話・表示圏外ごとに設定。	106
子機の電話帳の内容を親機または別の子機に転送 〈電話帳転送〉	#143	転送先を選ぶ ➡ 内容を選ぶ	62
子機の電話帳の内容をすべて消去 〈電話帳全消去〉	#144	F1 ➡ F1	–
子機を増やす（先に親機の設定が必要） 〈子機増設〉	#123	（操作しないでください）	–
すべてお買い求め時の設定に戻す 〈出荷時へ戻す〉	#111	F1 ➡ F1 ➡ F1 ・・・・・・・ F1	12

■ディスプレイを見ながら機能を選ぶ場合は、マルチファンクションキーでメニューを選択して、設定してください。



お知らせ

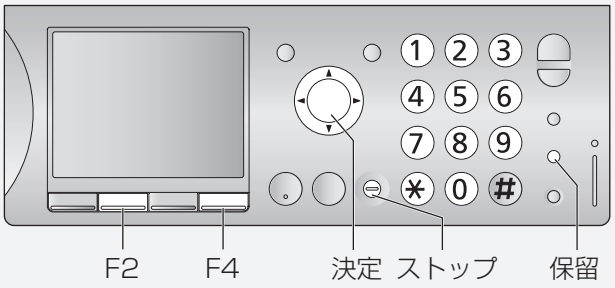
● 通話中に F1 を押すと、＜通話拒否＞＜通話録音＞＜ボイスセレクト＞＜ボイスチェンジ＞＜ファニーボイス＞＜ファクス受信＞の機能を使用できます。（ボイスチェンジとファニーボイス、通話拒否はかかってきた電話で使えます）

応答メッセージ一覧

種類	応答メッセージ	ページ
メッセージ ①	呼び出しましたが近くにおりません。ファクスをご利用の方は送信してください。電話の方はおそれいりますが、のちほどおかけ直しください。	70・71
メッセージ ②	ただいま電話に出ることができません。ファクスをご利用の方は送信してください。電話の方は「ピー」という音に続けてお名前とご用件をお話しください。	80
メッセージ ③	ただいま電話に出ることができません。ファクスをご利用の方は送信してください。電話の方はおそれいりますが、のちほどおかけ直しください。	80
メッセージ ④	ただいま電話に出ることができません。ファクスをご利用の方は、おそれいりますが、のちほどおかけ直しください。電話の方は「ピー」という音に続けてお名前とご用件をお話しください。	80
メッセージ ⑤	ただいま電話に出ることができません。おそれいりますが、のちほどおかけ直しください。	80
メッセージ ⑥	ただいま留守にしております。ファクスをご利用の方は送信してください。電話の方は「ピー」という音に続けてお名前とご用件をお話しください。	80
メッセージ ⑦	ただいま留守にしております。ファクスをご利用の方は送信してください。電話の方はおそれいりますが、のちほどおかけ直しください。	80
メッセージ ⑧	ただいま留守にしております。ファクスをご利用の方は、おそれいりますが、のちほどおかけ直しください。電話の方は「ピー」という音に続けてお名前とご用件をお話しください。	80
メッセージ ⑨	ただいま留守にしております。おそれいりますが、のちほどおかけ直しください。	80
メッセージ ⑩	あなたの電話番号は通知されていません。おそれいりますが、電話番号の前に「186」をつけて、おかけ直しください。	51・105
メッセージ ⑪	公衆電話からはおつなぎできません。おそれいりますが、公衆電話以外から、おかけ直しください。	51・105
メッセージ ⑫	表示圏外からの電話はおつなぎできません。	51・105
メッセージ ⑬	おそれいりますが、あなたの電話番号からはおつなぎできません。	103
メッセージ ⑭	おそれいりますが、この電話はおつなぎできません。	50・51・52
メッセージ ⑮	ただいま迷惑電話対応モードになっています。お名前をおっしゃってください。	52

● 本商品の状態によってメッセージ①～⑭は自動的に切り替わります。選択することはできません。

文字入力のしかた 親機



● あなたの名前(☞ 34 ページ)や電話帳(☞ 58 ページ)を登録するときなどに使います。

親機で入力する

文字入力画面で **文字の種類を選ぶ** ・・・・・・・▶ **文字を入力する**

文字切替 F2 くり返し押す

- かな (ひらがな 漢字 全角カタカナ) ▶ 例：ゆ う じ ん
  8 1 3 ＊ 0
  (2 回)(3 回)(2 回)(1 回)(3 回)
- ｶﾅ (半角ｶﾀｶﾅ) ▶ 例：ﾕ ｳ ｼﾞ ﾝ
  8 1 3 ＊ 0
  (2 回)(3 回)(2 回)(1 回)(3 回)
- 英 (英字・記号) ▶ 例：T E L
  8 3 5
  (1 回)(2 回)(3 回)
- 数 (数字) ▶ 例：1 2 3
  1 2 3

名前？ [かな] ― 文字の種類
ゆうじん ― カーソル（入力位置）

■間違えたときは 消去 F4 押す

こんなときは

■同じボタンの文字を続けて入力するには

例：あい
あ 1 ➡ （カーソルを右へ） ➡ い 1 1

■カーソルを移動するには 押す

■途中で入力をやめるには ストップ 押す

挿入・修正・消去するには

■挿入するには　挿入位置の次の文字にカーソルを移動し、文字を入力する。

■修正するには　修正する文字にカーソルを移動し、消去 F4 押して消し、入力し直す。

■消去するには　消去する文字にカーソルを移動し、消去 F4 押す。

■すべて消去するには　文字の先頭にカーソルを移動し、消去 F4 を約 2 秒以上押す。

お知らせ

- 複雑な漢字は、一部変形または省略して表示されます。
- 希望の漢字に変換できないこともあります。
- 表示できる漢字は、JIS 第1水準および JIS 第2水準です。

■ ひらがなのとき



押す

名前? [かな]
_
ゆうじん

名前? [かな]
ゆうじん▌
_

- 漢字に変換する前は 6 文字まで
- 決定された文字は上段へ移動する。

■ 漢字・全角カタカナに変換するとき



変換
くり返し押して選ぶ



押す

名前? [かな]
_
友人

変換中は反転表示

名前? [かな]
友人▌
_

- 決定された文字は上段へ移動する。

■変換中に変換する文字の区切りを変えるには…

1. 消去 F4 押して変換中の漢字をひらがなに戻す。
2. 押して変換する最後の文字にカーソルを移動し、 押す。

名前? [かな]
_
くぎり

- 「く」の部分だけが変換される。

- **希望の漢字に変換できないとき**
  読みかた(音読み・訓読みなど)を変えて入力し、 押す。

文字列一覧表

ボタン＼表示	かな	カナ	英	数
1 あ	あいうえおぁぃぅぇぉ	アイウエオァィゥェォ	@ . _ −(ハイフン) & $ ¥ % + = ~ ^	1
2 か ABC	かきくけこ	カキクケコ	A B C a b c	2
3 さ DEF	さしすせそ	サシスセソ	D E F d e f	3
4 た GHI	たちつてとっ	タチツテトッ	G H I g h i	4
5 な JKL	なにぬねの	ナニヌネノ	J K L j k l	5
6 は MNO	はひふへほ	ハヒフヘホ	M N O m n o	6
7 ま PQRS	まみむめも	マミムメモ	P Q R S p q r s	7
8 や TUV	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	T U V t u v	8
9 ら WXYZ	らりるれろ	ラリルレロ	W X Y Z w x y z	9
0 わ をん ー	わをん一(長音)！？（）	ワヲン一(長音)！？（）	！？／ −(ハイフン) ＊＃，；：｜・’ ” ( ) [ ] { } 〈 〉「 」	0
＊ ゛゜ トル	゛(濁点) ゜(半濁点) 、。	゛(濁点) ゜(半濁点) 、。	、。	
保留	スペース（1 文字分空ける）			

- 一覧表の文字とディスプレイの文字は形が異なることがあります。
- 文字数には、スペースも含まれます。

文字入力のしかた 子機



● 子機の名前（☞ 35 ページ）や電話帳（☞ 60 ページ）を登録するときなどに使います。

子機で入力する

文字入力画面で **文字の種類を選ぶ** ……▶ **文字を入力する**

F2 くり返し押す

- **漢**（ひらがな／漢字／全角カタカナ）
  例：ゆ（8 TUV）（2 回）　う（1 あ）（3 回）　じ（3 DEF）（＊ ﾞﾟ ﾄｰﾝ）（2 回）（1 回）　ん（0 わ をん ー）（3 回）
- **カナ**（半角ｶﾀｶﾅ）
  例：ﾕ（8 TUV）（2 回）　ｳ（1 あ）（3 回）　ｼﾞ（3 DEF）（＊ ﾞﾟ ﾄｰﾝ）（2 回）　ﾝ（0 わ をん ー）（1 回）（3 回）
- **英**（英字・記号）
  例：T（8 TUV）（1 回）　E（3 DEF）（2 回）　L（5 な JKL）（3 回）
- **数**（数字）
  例：1（1 あ）　2（2 か ABC）　3（3 さ DEF）

名前?
ゆうじん ― カーソル（入力位置）
決定 ◆ 漢 ― 文字の種類

■間違えたときは キャッチ 消去 押す

こんなときは

■同じボタンの文字を続けて入力するには
例：あい
あ（1 あ）➡（カーソルを右へ）➡ い（1 あ）（1 あ）

■カーソルを移動するには ◆ 押す

■途中で入力をやめるには 切 押す

挿入・修正・消去するには

■挿入するには
挿入位置の次の文字にカーソルを移動し、文字を入力する。

■修正するには
修正する文字にカーソルを移動し、キャッチ 消去 押して消し、入力し直す。

■消去するには
消去する文字にカーソルを移動し、キャッチ 消去 押す。

■すべて消去するには
文字の先頭にカーソルを移動し、キャッチ 消去 を約 2 秒以上押す。

お知らせ

- 複雑な漢字は、一部変形または省略して表示されます。
- 希望の漢字に変換できないこともあります。
- 表示できる漢字は、JIS 第1水準および JIS 第2水準です。

■ ひらがなのとき

F1 押す

名前?
ゆうじん

●漢字に変換する前は 6 文字まで

ゆうじん▮
_

●決定された文字は上段へ移動する。

■ 漢字・全角カタカナに変換するとき

音量/変換 くり返し押して選ぶ

F1 押す

名前?
友人

変換中は反転表示

友人▮
_

● 決定された文字は上段へ移動する。

■変換中に変換する文字の区切りを変えるには…

1. キャッチ 消去 押して変換中の漢字をひらがなに戻す。
2. 押して変換する最後の文字にカーソルを移動し、押す。

名前?
くぎり

●「く」の部分だけが変換される。

● 希望の漢字に変換できないとき

読みかた(音読み・訓読みなど)を変えて入力し、 押す。

文字列一覧表

ボタン＼表示	漢	カナ	英	数
1 あ	あいうえおぁぃぅぇぉ	アイウエオァィゥェォ	@ . _ −(ハイフン) & $ ¥ % + = ~ ^	1
2 か ABC	かきくけこ	カキクケコ	A B C a b c	2
3 さ DEF	さしすせそ	サシスセソ	D E F d e f	3
4 た GHI	たちつてとっ	タチツテトッ	G H I g h i	4
5 な JKL	なにぬねの	ナニヌネノ	J K L j k l	5
6 は MNO	はひふへほ	ハヒフヘホ	M N O m n o	6
7 ま PQRS	まみむめも	マミムメモ	P Q R S p q r s	7
8 や TUV	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	T U V t u v	8
9 ら WXYZ	らりるれろ	ラリルレロ	W X Y Z w x y z	9
0 わ をん	わをんー(長音)！？（）	ワヲンー(長音)！？（）	！？／ −(ハイフン) ＊ ＃ ， ； ： ｜ ・ ’ ” （）［］｛｝〈〉「」	0
＊ ゛゜ トーツ	゛(濁点) ゜(半濁点) 、 。	゛(濁点) ゜(半濁点) 、 。	、 。	
保留	スペース（1 文字分空ける）			

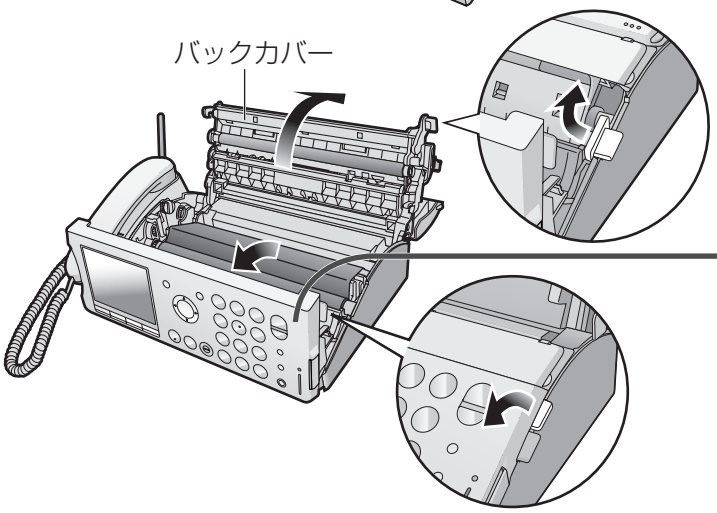
- 一覧表の文字とディスプレイの文字は形が異なることがあります。
- 文字数には、スペースも含まれます。

記録紙が詰まったとき

記録紙を取り除いたあと、給紙ローラーの汚れをふき取ってください。



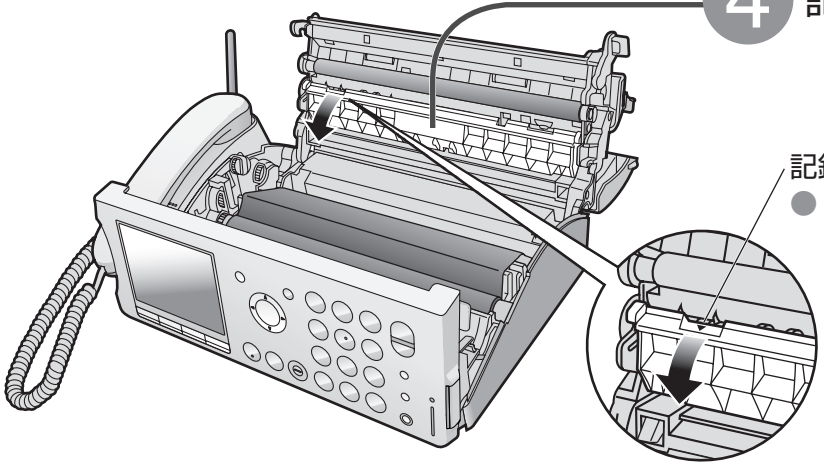
1 電源コードを抜き、
残っている記録紙を取り出し、
記録紙スタンドをたたむ
- 左右のどちら側からも
たためます。



2 操作パネルを開ける

3 バックカバーを開ける

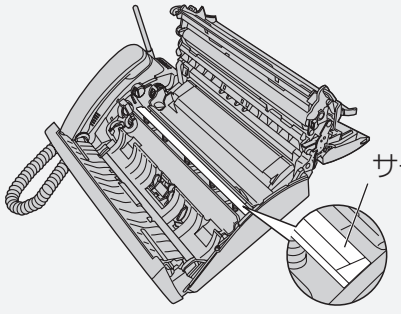
4 記録紙ガイドを開ける



記録紙ガイド
- 指をかけて
下方向に開ける。

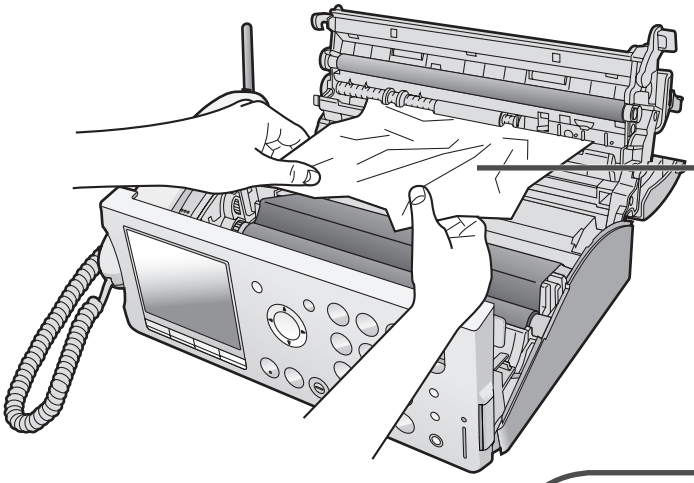
お願い

- サーマルヘッド部分は、触らないようにご注意ください。
印字不良の原因となります。
- みがき粉、粉せっけん、ベンジン、シンナー、アルコール、
ワックス、石油、熱湯などは絶対に使わないでください。
化学ぞうきんは、その注意書に従ってください。



お願い

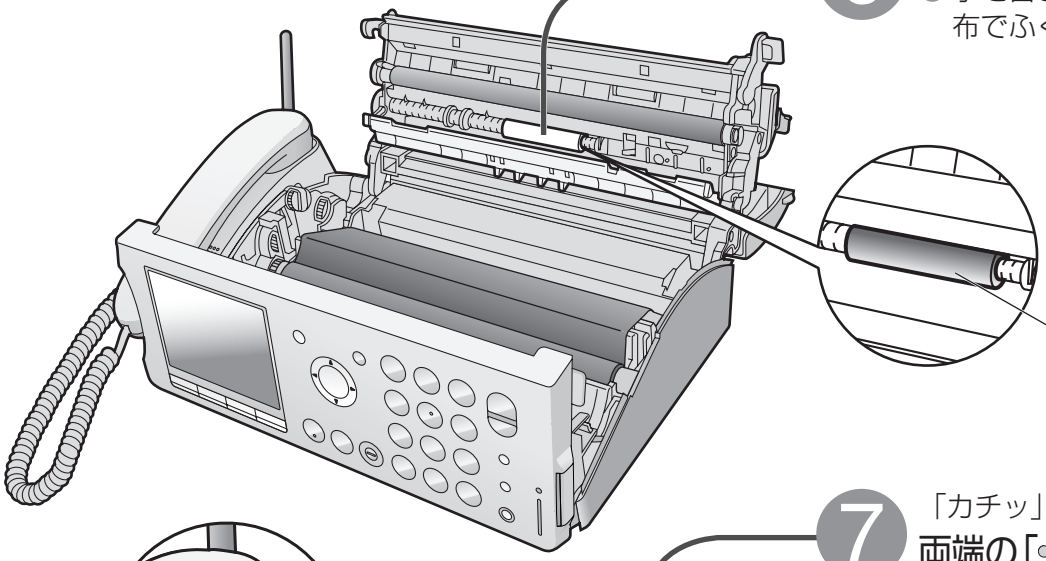
- **ふだんは記録紙をセットせずに記録紙トレーをたたんでおいてください。**
  （開けたままにしていると、ほこりが中に入り、**記録紙詰まりの原因になります**）
  受信したファクスのプリントやコピーをするときに、随時、記録紙をセットしてください。
- プリント・コピーするときは、必ず記録紙スタンドを立ててください。（☞ 26 ページ）
  （記録紙スタンドを立てないで記録紙を入れると、記録紙詰まりの原因になります）

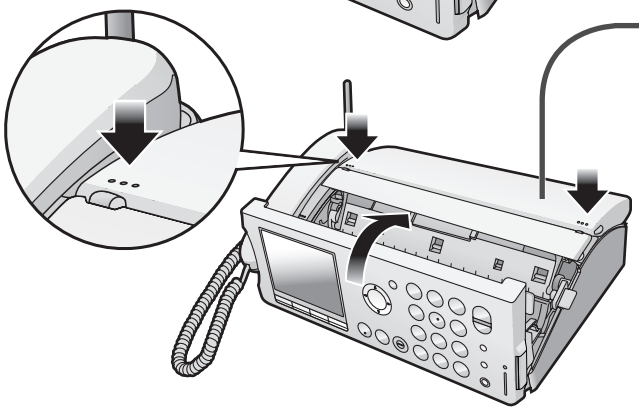


5 詰まった記録紙を内側から取り除く

6 給紙ローラーをふく

- 水を含ませて固く絞った布でふく。





7 「カチッ」と音がするまで両端の「◦◦◦」の部分を押してバックカバーを閉める

8 操作パネルを閉めて電源コードを接続する

9 記録紙をもう一度セットし直す
（☞ 26 ページ）

お知らせ

- 「未登録番号拒否／留守応答」（☞ 103 ページ）を「受けない」に設定しているときに、電源コードを抜くと解除（設定：受ける）されます。（その他の登録した内容・応答メッセージ・用件・メモリー受信したファクスは消えません）
- 電源コードを接続し直すと、オープニングツアー（☞ 29 ページ）が始まる場合があります。
- バックカバー開閉時に右記の表示が出たら、いいえ F4 を押す
  （インクフィルムの残量表示は継続される）

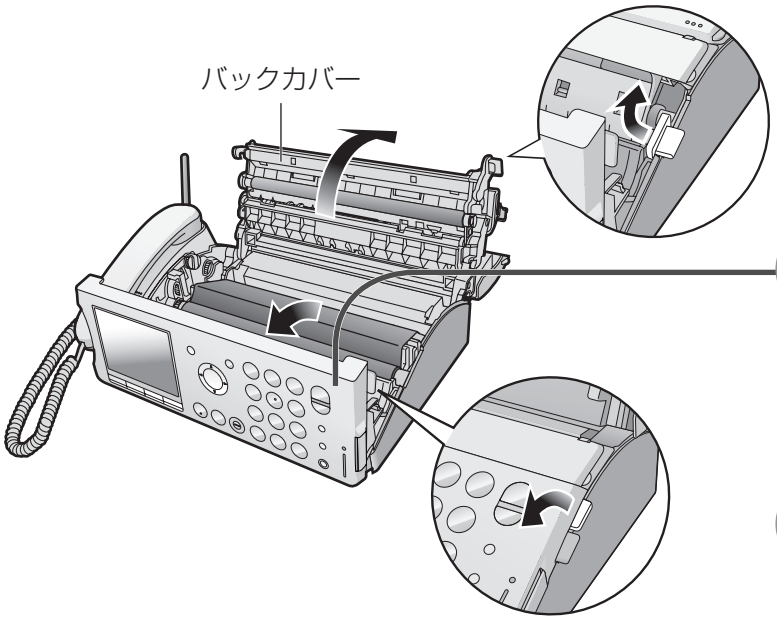
ｲﾝｸﾌｨﾙﾑを交換しましたか?

記録紙や相手の受信用紙に 白や黒の線などが入るとき

白い線・黒い線・黒い点が入るときは、内部の汚れをふき取ってください。



1 電源コードを抜き、
残っている記録紙を取り出し、
記録紙スタンドをたたむ
- 左右のどちら側からもたためます。

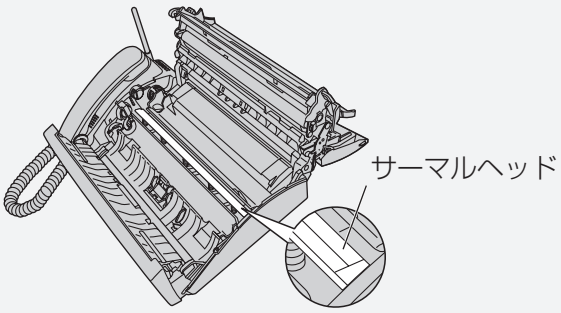


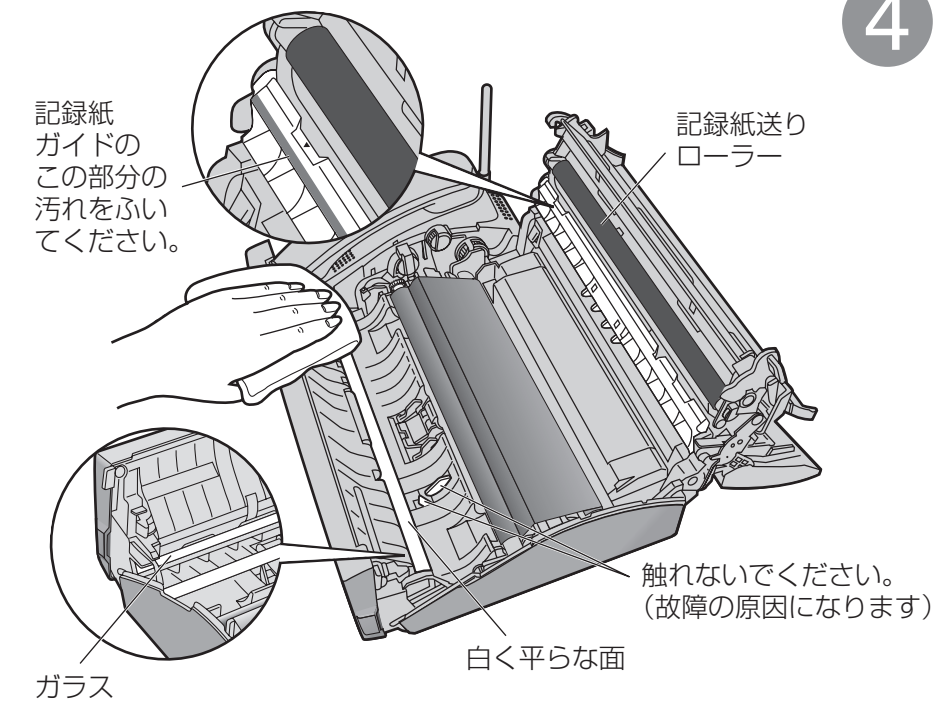
2 操作パネルを開ける

3 バックカバーを開ける

お願い

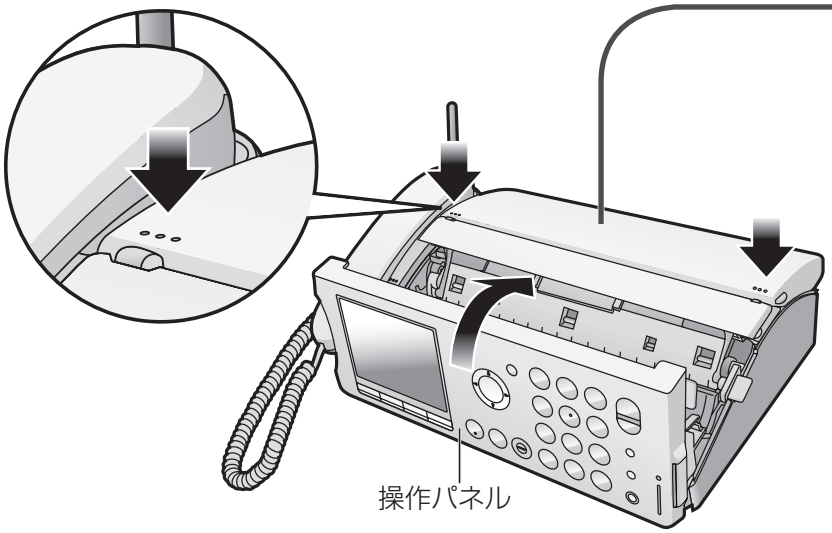
- ガラス部分は指で触らないでください。(汚れの原因)
- サーマルヘッド部分は、触らないようにご注意ください。印字不良の原因となります。
- みがき粉、粉せっけん、ベンジン、シンナー、アルコール、ワックス、石油、熱湯などは絶対に使わないでください。化学ぞうきんは、その注意書に従ってください。
- お手入れ後は、コピーして線が入らないことを確認してください。(入るときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご相談ください)





4 原稿読み取り部(ガラス・白く平らな面)・記録紙送りローラー・記録紙ガイドをふく

- 水を含ませて固く絞った布でふいてください。



5 「カチッ」と音がするまで両端の「○○○」の部分を押してバックカバーを閉める

6 操作パネルを閉めて電源コードを接続する

7 記録紙をもう一度セットし直す

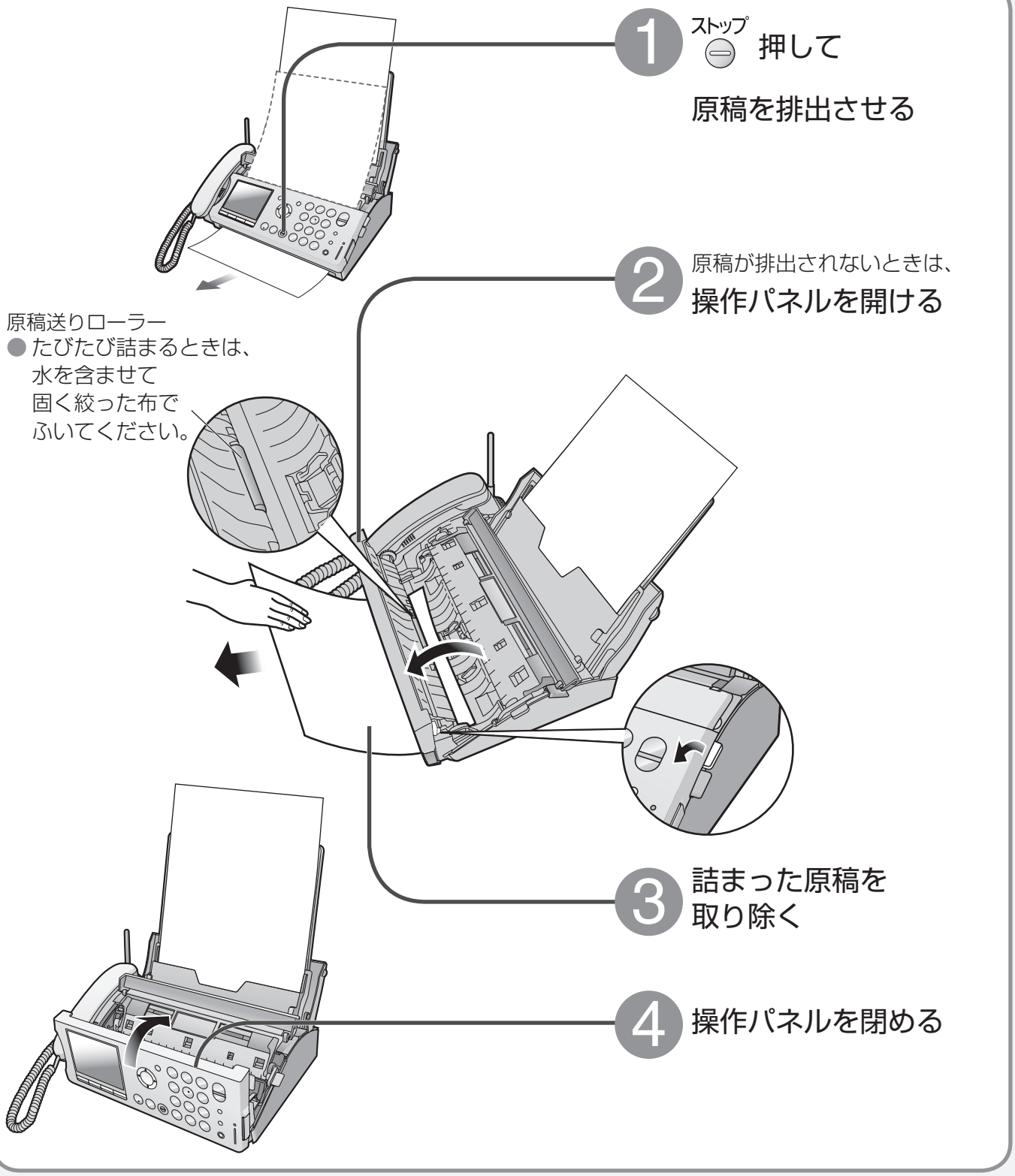
(☞ 26 ページ)

お知らせ

- **お手入れ後も受信用紙が汚れるときは**
  通信相手の問題も考えられます。相手の原稿またはファクスの読取部が汚れていないか、確認してもらってください。
- 「未登録番号拒否／留守応答」(☞ 103 ページ)を「受けない」に設定しているときに、電源コードを抜くと解除(設定：受ける)されます。(その他の登録した内容・応答メッセージ・用件・メモリー受信したファクスは消えません)
- 電源コードを接続し直すと、オープニングツアー(☞ 29 ページ)が始まる場合があります。
- バックカバー開閉時に右記の表示が出たら、いいえ F4 を押す
  (インクフィルムの残量表示は継続される)

ｲﾝｸﾌｨﾙﾑを交換しましたか?

原稿が詰まったとき



お願い

- ガラス部分は指で触らないでください。（汚れの原因）
- みがき粉、粉せっけん、ベンジン、シンナー、アルコール、ワックス、石油、熱湯などは絶対に使わないでください。化学ぞうきんは、その注意書に従ってください。

子機やドアホンを増設するとき

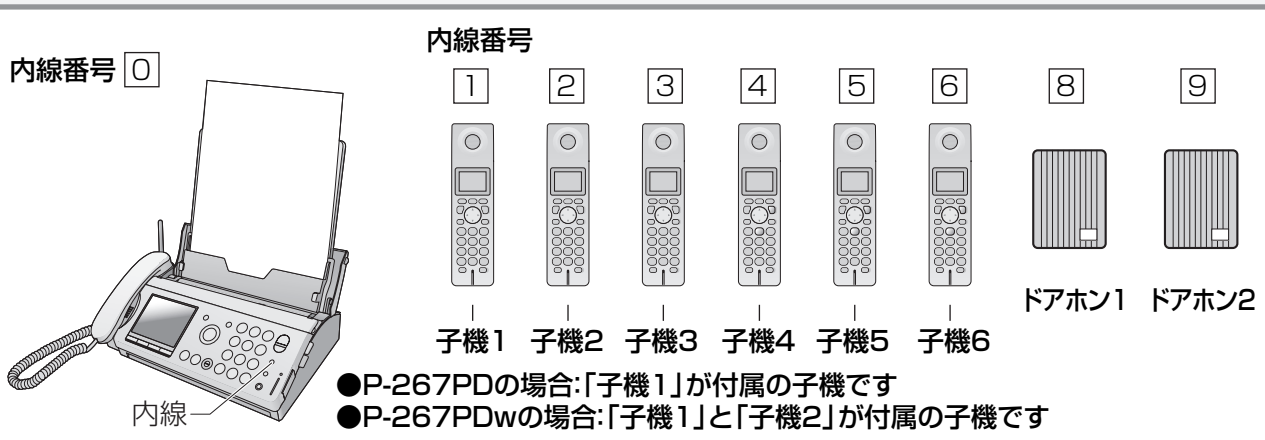
子機は、付属品の子機と合わせて 6 台まで増設できます。
ドアホンは 2 台まで接続できます。ドアホンとは、U-ドアホンボックス(別売品)を使って接続する方法と、ワイヤレスアダプター機能を使って接続する方法があります。接続できるドアホンや接続･登録など詳しくは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

● **ワイヤレスアダプター機能を使った接続について**
ワイヤレスアダプター機能に対応したカラーカメラドアホンモニタ -P Ⅲ(別売品)と本商品は、U-ドアホンボックスを使わずに無線接続できます。ワイヤレスアダプター機能を使うときは、U-ドアホンボックスは使えません。

子機やドアホンを増設したときの内線番号

親機からドアホンまたは子機を呼び出すときは、内線 を押したあとに「内線番号」を押してください。

ドアホンは内線番号 8 と 9 に振り分けられます。



●P-267PDの場合:「子機 1」が付属の子機です
●P-267PDwの場合:「子機 1」と「子機2」が付属の子機です

■必要な手続きは

● 子機の増設・ドアホンの接続は、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

■増設の子機は (☞ 159 ページ)

● 2.4G デジタルコードレス電話機「P7」:付属の子機と同等品です。

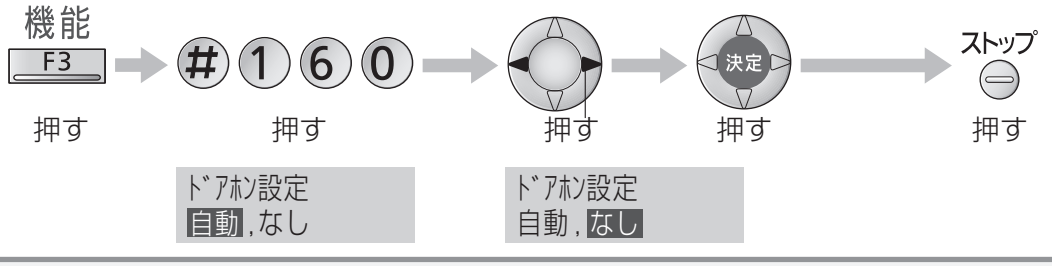
お知らせ

● ホームテレホンなどに接続した場合、本商品のドアホン機能は使えません。
● ファクス送信・受信中にドアホンが押されると、親機は「ピーンポーン」と鳴りますが、ドアホンの相手と話をすることはできません。また、子機の呼出音は鳴りません。
● コピー中にドアホンが押されると、親機が「ピーンポーン」と鳴り、受話器を取ると通話できます。また、子機の呼出音は鳴りません。
● ドアホンと通話中は、外線に電話をかけたり、内線通話をかけたりすることができません。

■U-ドアホンボックスで接続したドアホンを使うのをやめるときは

登録を取り消す

● 本商品の親機で操作します。



お知らせ

● 再度ドアホンに接続するときは、「ドアホン設定」を「自動」に設定したあと、接続してください。

ドアホンを接続したとき

ドアホン 1（内線番号 8）では「ピーンポーン」、ドアホン 2（内線番号 9）では「ピンポーンピンポーン」の呼出音が鳴ります。

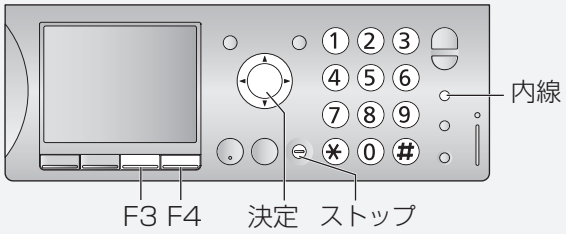
来客があったとき



親機で

1 「ピーンポーン」と鳴ったら
受話器を取り、話す

2 終わったら
受話器を戻す



子機で

1 「ピーンポーン」と鳴ったら
充電器から取り、
内線 押し、話す

2 終わったら
切 押す
（または充電器に戻す）



■ドアホンとの通話中に電話がかかってきたとき（ドアホンとの通話を切って出る）

〈親機〉 戻す ➡ 取る　　〈子機〉 切 ➡ 外線

電話中に来客があったとき

電話を切って出る

親機

電話中にドアホンが鳴ったら
戻す ➡ 取る ➡ **来客と話す**

子機

電話中にドアホンが鳴ったら
切 押す ➡ 内線 押す ➡ **来客と話す**

電話を保留して出る

親機

電話中にドアホンが鳴ったら
内線 押す ➡ **来客と話す**
- 電話は保留される。

➡ 内線 押す ➡ **電話に戻る**
- ドアホンとの通話が終わり、保留が解除される。

子機

電話中にドアホンが鳴ったら
内線 押す ➡ **来客と話す**
- 電話は保留される。

➡ 外線 押す ➡ **電話に戻る**
- ドアホンとの通話が終わり、保留が解除される。

■本商品からドアホンに呼びかけるには

〈親機〉 受話器を取り、内線 ➡ 8（ドアホン 1）または 9（ドアホン 2）

〈子機〉 内線 ➡ 8（ドアホン 1）または 9（ドアホン 2）

お知らせ

- 次のことは、できません。
  - 子機のハンズフリー（スピーカーホン）でのドアホン通話
  - ドアホンとの通話を（子機や親機に）取りつぐ
  - ファクス送受信中のドアホン通話（親機の呼出音は鳴ります）
  - ドアホン・親機・子機の 3 者通話
  - 留守セット中、来客者の声を録音する
  - ドアホンとの通話を録音する
- 相手と交互に話してください。（同時に話すと途切れることがあります）
- ドアホンとの通話中は、モデムダイヤルインによる呼び出しは働きません。通話中の電話機の受話口から呼出音が聞こえます。

以下の操作で外出先からドアホンに出ることができます。（ドアホンワープ）

外出先から携帯電話などでドアホンに出るための準備

ドアホンからの呼び出しを、自動的に携帯電話などに転送します。

ワープ先（転送先）を登録する

● 親機で操作します。

機能 F3 → #162 → 「留守」または「あり」を選ぶ → 決定 → 電話番号を入力する → 決定 → （続く）

押す　押す　押す　押す　押す　押す

ﾄﾞｱﾎﾝﾜｰﾌﾟ
なし , 留守 , あり

● なし：解除
● 留守：留守セット時のみ転送
● あり：すべて転送

ﾜｰﾌﾟ先の電話番号?
0901

（24 ケタまで）

● 間違えたときは 消去 F4 押す

（続き） → ストップ 押す

■ワープ先（転送先）を変更するときは

機能 F3 → #162 → 「留守」または「あり」を選び → （決定） → （続く）

（続き） → 消去 F4 番号を消す → 新しい番号を入力 → （決定） → ストップ

● フリーダイヤルの番号には転送できません。
● おやすみモードのときは、ドアホンワープできません。（☞ 111 ページ）
● トーン(PB)信号(ピッポッパッ)が出せる電話機に転送してください。

外出先での操作

ドアホンが鳴ると、家から電話がかかる

外出先で電話に出る
● 電話に出ないと約 50 秒で電話が切れる。

メッセージに従い、30 秒以内に
押し、来客と話す
● 約 10 分まで話せる。
● 家に人がいて、ドアホンに出たとき「お家の方が応答しました。電話を切ります。」と聞こえ、電話が切れる。

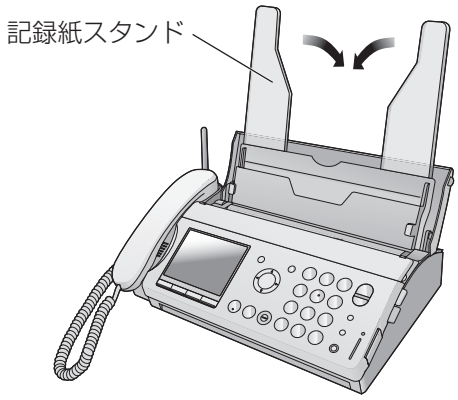
終わったら ✳ # 押し電話を切る

お知らせ

● 転送するたびに、転送先までの電話料金がかかります。
● 電話回線がプッシュ（PB)回線のとき、ドアホン呼出から約 15 秒後に電話がかかってきます。ダイヤル(DP)回線は時間がかかるため、お勧めできません。
● ISDN 回線のときは、ターミナルアダプターのアナログポートは、相手の応答時に極性反転するものを使用してください。（詳しくはターミナルアダプターの各メーカーへ）
● ドアホンと転送先で通話中にキャッチホンが入ると、ドアホンからキャッチホンの呼出音が聞こえます。
● 親機や子機を使用中は、ドアホンワープできません。
● 終わるときに ✳ # を押すと、トーン(PB)信号(ピッポッパッ)がドアホンの相手にも聞こえます。

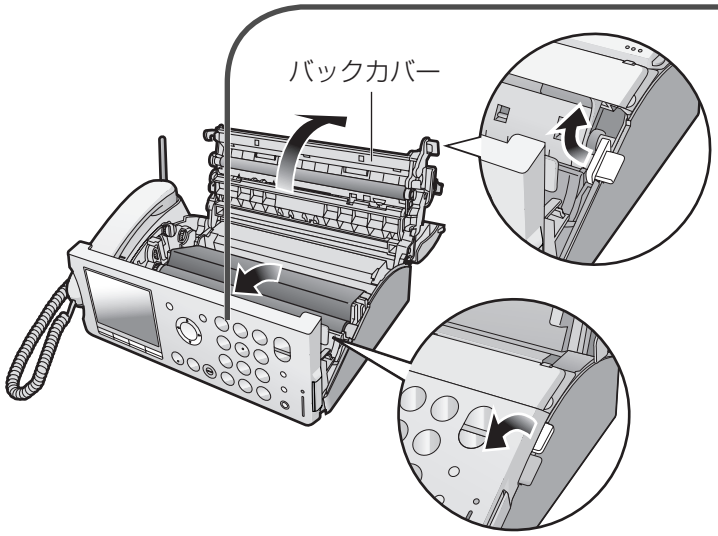
インクフィルムを交換する

インクフィルムの交換のしかた

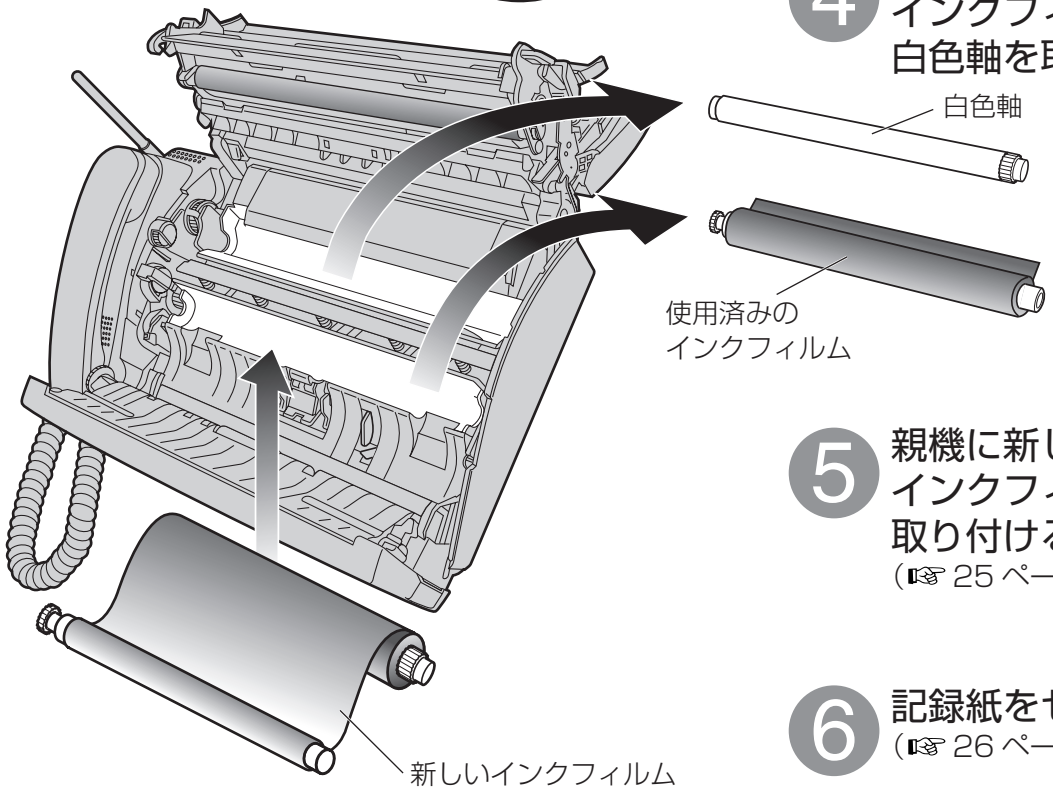


1 記録紙を取り出し
記録紙スタンドをたたむ
- 左右のどちら側からもたためます。

2 操作パネルを開ける



3 バックカバーを開ける
- [フィルムがなくなりました] と表示されているときは、操作案内が流れる。
  - 止めるときは ストップ 押す
  - 流れないようにするには（☞ 36 ページ）



4 使用済みのインクフィルムと白色軸を取り出す

5 親機に新しいインクフィルムを取り付ける
（☞ 25 ページ手順 ❸ ～ ❻）

6 記録紙をセットし直す
（☞ 26 ページ）

インクフィルムについて

■消耗品について（☞ 159 ページ）

- 当社指定のインクフィルムをお使いください。
  当社指定以外のインクフィルムをご使用になると、故障や印字不良の原因となることがあります。
- 保管は、高温・多湿・直射日光が当たる場所は、避けてください。

■インクフィルム残量のめやすを表示させたいとき

交換終了後に「インクフィルム残量表示」を「あり」に設定する（☞ 120 ページ）と、ディスプレイにインクフィルム残量のめやすを表示します。（☞ 22 ページ）

- 設定すると、バックカバー開閉時に下記の表示が出ます。

  ｲﾝｸﾌｨﾙﾑを交換しましたか?

  - 交換したときは　はい F1 押す
  - 交換していないときは　いいえ F4 押す

- 付属のお試し用インクフィルムでは、正しく表示されません。
- インクフィルムを使用後に「インクフィルム残量表示」を設定したときは、正しく表示されません。

■使用済みのインクフィルム（芯を含む）を捨てるとき

- インクフィルムには印字した文字が白抜きで残りますので、破棄の際ははさみなどで切るなどして、情報の保護にお気をつけてください。
- インクフィルムは使い捨てです。ご使用済のインクフィルムは「プラスティック製品」として地域条例に基づいて破棄してください。

お手入れ

お手入れするときは、電源コードを電源コンセントから抜いてください。

- 操作ボタンをお手入れするときは、キーロックを使うと（☞ 110 ページ）、電源コードを電源コンセントから抜かずにお手入れすることができます。



お願い

- お手入れに、アルコール類・みがき粉・粉せっけん・ベンジン・シンナー・ワックス・石油・熱湯などは使用しないでください。また、殺虫剤・ガラスクリーナー・ヘアスプレーなどをかけないでください。（変色、変質の原因）

■親機の内部のお手入れ

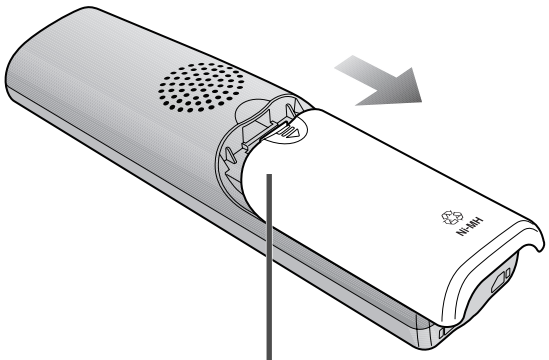
- **記録紙がスムーズに入っていくように**
  月に一度は、記録紙の給紙ローラーをお手入れしてください。（☞ 128 ページ）
- **記録紙や相手の受信用紙に白い線・黒い線・黒い点が入らないように**
  月に一度は、記録紙送りローラーなどをお手入れしてください。（☞ 130 ページ）

お知らせ

- 「未登録番号拒否／留守応答」（☞ 103 ページ）を「受けない」に設定しているときに、電源コードを抜くと解除（設定：受ける）されます。（その他の登録した内容・応答メッセージ・用件・メモリー受信したファクスは消えません）

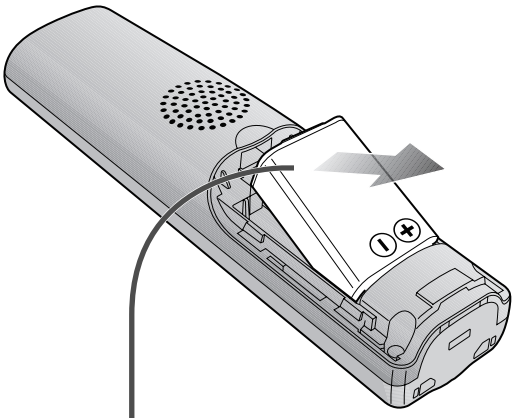
子機の電池パックを交換する

電池パックは消耗品です。子機の使用頻度にもよりますが、約 2 年程度ご使用になれます。長時間充電してもすぐに電池の残量がなくなる場合は、新しい電池パック(品名：電池パック−092)に交換してください(☞ 159 ページ)。ご購入の際は、**パーツサービスセンタ(0120-86-8289)**またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。



1 電池カバーを開ける

● を押し下げながら手前に引く。



2 古い電池パックを外す

3 新しい電池パックを入れて、充電する

(☞ 31 ページ)

■電池パック回収のお願い

使用済の電池パックなどは貴重な資源です。使用後は端子が接触しないように、端子にテープを貼るなどの処置をしてから当社のサービス取扱所などへお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。リサイクルの推進にご協力をお願いします。

Ni-MH

⚠ 危険

●電池パックについて

電池パックの取り扱いは、次の点にご注意ください。

- 必ず専用のものをお使いください。
- 取り出して充電しないでください。
- 火の中に投入したり、分解・加熱しないでください。
- 充電には、指定の充電器をお使いください。
- 端子を短絡させないでください。
- 外装チューブ（被覆）をはがしたり、傷つけないでください。

故障かなと思ったとき

電話

こんなとき	原因と対応	ページ
電話をかけられない	● 電話の回線種別を確認し、手動で設定し直してください。	32
	● 電話機コードの接続を確認してください。	28
	● 電源プラグが正しく電源コンセントに差し込まれていることを確認してください。	28
	● 親機や子機が使用中ではありませんか。使用が終わってから、電話をかけてください。	−
	● プリント中ではありませんか。プリントが終わってから、電話をかけてください。	−
	● キーロックの設定をしていませんか？ →親機は (#) (キーロック(3秒))、子機は (#) を３秒以上押して解除してください。	110
携帯電話に電話をかけられない	● 携帯通話設定が正しく設定されていますか？ →正しく設定してください。	40
	● ひかり電話サービスをご利用になっていて、携帯通話設定を設定していませんか？ →携帯通話設定を解除してください。	40
	● ひかり電話サービスをご利用になっていて、事業者識別番号（0036、0039 など）を付けてダイヤルしていませんか？ →携帯電話番号のみダイヤルしてください。	37
フリーダイヤル、天気予報、184 や 186 を付けてかけられない	● 050IP 電話などで使用しているとき、電話帳にポーズ（親機は (留守)、子機は (F2)）を入れて登録するとかからないことがあります。そのときは、ポーズをはずして登録してください。	44・59・61・102
	● 050IP 電話などで使用しているとき、当社との契約に合わせて、手動で電話の回線種別を設定してください。 ● それでもかけられないときは、ご契約の 050IP 電話サービス事業者にお問い合わせください。	32
電話を受けられない。通常より短い呼出音が鳴って電話に出たときに、「ザー」音が聞こえたり、電話が切れたりする（電話をかけることはできる）	● ナンバー・ディスプレイを契約しているのに、「ナンバー・ディスプレイ」の設定が「なし」になっていませんか？ →「ナンバー・ディスプレイ」を「あり」に設定してください。	99・119
電話を受けられない。呼出音が１～２回鳴って切れる	● ダイヤルインサービスの契約をしていませんか？ → ダイヤルインサービスには対応していません。モデムダイヤルインサービスを利用するときは、モデムダイヤルインサービスの契約に変更してください。（有料）	108
通話中、自分の声が相手に聞こえない	● 受話器や子機の送話口を指や顔などでふさいでいませんか？	20
	● 受話器を置いたまま (モニター) を押して通話していませんか？ → モニター通話では、こちらの声は相手に聞こえません。相手と話すときは、受話器を取ってください。	45
	● ミュートになっていませんか？（子機のみ） → (あんしん応答 ミュート) を押してミュートを解除してください。	−

	こんなとき	原因と対応	ページ
子機の充電	充電器に置いても、「充電中」と表示されない	● 電池パックは入っていますか？ →電池パックを入れてください。	31
		● 電池パックが新品、または電池の残量が少なくなっていませんか？ → 数分間、充電器に置いたままにしてください。	31
		● 充電器に、正しく置かれていますか？	31
		● 充電器の電源プラグは、正しく電源コンセントに差し込まれていますか？	31
	液晶ディスプレイが点滅をくり返す	● 電池パックは入っていますか？ →電池パックを入れてください。	31
		● 30 分間充電しても点滅をくり返すときは、電池パックの寿命です。交換してください。	139
	充電完了まで充電しても、通話数分後に▭が点滅する	● 電池パックの寿命です。交換してください。	139
	約10時間充電しても、「充電完了」と表示されない	● 途中で子機を使用したりすると、充電時間が長くなります。	31
		● 使用環境温度が低いときや、電源電圧が低いときは、充電時間が長くなります。	162
		● 親機の電源が入っていないときや、子機に「圏外」と表示されているときは、充電時間が長くかかります。 → 親機の電源コードをつなぎ、「圏外」の表示が消えるまで子機を親機に近づけてから充電してください。	23
子機の通話	相手の声がとぎれたり、雑音が入る 「ピピッピピッ」音が聞こえ、通話が切れる	● 親機から離れすぎていませんか？ →子機を親機に近づけてください。	23
		● 近くで電子レンジや無線 LAN 機器を使っていませんか？ →電波の干渉による悪影響を防止するため、それらの機器からは親機·子機とも 3m 以上離してください。	11
		● 親機との間に金属やコンクリート壁など、障害物がありませんか？ → 場所を移動して通話してください。	–
		● 子機のアンテナ部に指を置いたり、手で覆っていませんか？ → アンテナ部を手で覆わないようにしてください。	21
	しばらく話していると、だんだん相手の声が聞こえにくくなる	● 耳の位置から子機の受話口がずれていませんか？ → 受話口の位置を耳に合わせ直してください。	–
	子機を充電器から取り、しばらくすると「ピピッ」と鳴り始める	● クイック通話に設定されています。 ● 通話しないときは→[切]を押す。 （そのまま放置しても約 90 秒後に切れます） ● 電話をかけるときは→[切]➡[外線]を押してからダイヤルしてください。	122

故障かなと思ったとき（続き）

	こんなとき	原因と対応	ページ
子機の通話（続き）	外線を押さないと電話に出られない	● オフフック応答を「なし」に設定していませんか？	122
	無線機などの音が混信する	● 異常ではありません。場所を変えて通話してください。	11
ファクス送受信	送信した相手に何もプリントされない	● 送る面を裏にして、送信していませんか？ → 表向きで送り直してください。	66
	送信したあと、アラーム音が鳴る	● 相手ファクスの記録紙がなくなっていませんか？ → ストップ を押してください。	66
	ファクスを送信できない	● 相手が非通知電話を拒否に設定していませんか？ → 電話番号を通知して送信してください 。	99
		● ADSL 回線に接続しているときは、ADSL の事業者に相談してください。	–
		● キーロックの設定をしていませんか？ → # キーロック(3秒) を 3 秒以上押して解除してください。	110
		● 電話機コードが外れていませんか？	28
		● 相手先が、ナンバー・リクエスト（ナンバー・ディスプレイのオプション機能）を利用しているとき、電話番号を通知しないで送信していませんか？	99
		● 相手のファクスが、電話番号を登録した特定の相手のみ受信するような設定をしていませんか？	–
	ファクスを受信できない	●「見てから印刷」（メモリー受信）を解除しているときは、記録紙やインクフィルムを確認し、なくなっていたら補充、交換してください。	26・136
		● ADSL 回線に接続しているときは、ADSL の事業者に相談してください。	–
		● 電話に出て「ポーポー」音がしたとき、そのまま切っていませんか？ → 電話を切る前に親機は ファクス 、 子機は F1 → ◁▷ 「ファクス受信」を選び → F1 → F1	69
		●「見てから印刷」（メモリー受信）に設定されているとプリントされません。 →受信した内容を見て、必要であればプリントしてください。 →「見てから印刷」を解除するには（☞ 68 ページ）	72 68
		● メモリーがいっぱいになっていませんか？ （記録紙とインクフィルムがセットされていても、ファクスメモリーがいっぱいのときは、自動受信できません） → メモリー受信したファクスをプリントするか、不要なファクスを消去してください。	72
		● 相手の原稿や画質によっては、途中までしか受信できないことがあります。 → 相手の画質設定を下げて送ってもらってください。	–

	こんなとき	原因と対応	ページ
ファクス送受信（続き）	ファクスを自動で受信できない	● ナンバー･ディスプレイを利用しているときに、「ナンバー･ディスプレイ」の設定が「なし」になっていませんか？ → 設定を「あり」にしてください。	119
	184 や 186 を付けてファクスを送信できない	● ADSL 回線に接続しているときは、当社との契約に合わせて、手動で電話の回線種別を設定してください。 ● それでも送信できないときは、ADSL の事業者に相談してください。	32
	ファクスを海外へ送信できない	● 電話回線のノイズが多いなど、送信しにくいことがあります。 →「海外送信」の設定を「1 回」にしてください。 ※それでも送信できないときには、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご相談ください。	67･119
	ファクスを送る際、ダイヤルした番号と違う番号が表示される	● 送信先のファクスに登録されている相手の電話番号が表示されています。 → 正しくダイヤルしていれば問題ありません。	−
	呼出音が鳴りっぱなしで、受信が始まらない	●「在宅呼出回数」が「自動応答しない」になっていませんか？	118
		● メモリーがいっぱいになっていませんか？ （記録紙とインクフィルムがセットされていても、ファクスメモリーがいっぱいのときは、自動受信できません） → メモリー受信したファクスをプリントするか、不要なファクスを消去してください。	72
プリント	コピーできない	● 記録紙やインクフィルムがなくなっていませんか？ → 記録紙やインクフィルムを入れてください。	26･136
		● キーロックの設定をしていませんか？ → #（キーロック(3秒)）を 3 秒以上押して解除してください。	110
	受信したファクスがプリントされない	●「見てから印刷」（メモリー受信）に設定されているとプリントされません。 → 受信した内容を見て、必要であればプリントしてください。 →「見てから印刷」を解除するには（☞ 68 ページ）	72 68
	記録紙が重なって（ずれて）プリントされる	● 記録紙が正しくセットされていますか？ → 記録紙はさばいてからセットしてください。（15 枚まで） 記録紙を追加するときなどは、残っている記録紙を一度取り出してから一緒に入れ直してください。	26
	記録紙が繰り込まれない	● 親機内部の給紙ローラーが汚れていませんか？ → 汚れをふき取ってください。	128
	メモリー受信時、記録紙やインクフィルムを入れてもプリントしない	● プリントの操作をしてください。	72
		● プリント操作でプリントできないときは、電源コードを抜き、10 秒以上待ってから電源コードを接続し、再度操作してください。 ●「未登録番号拒否／留守応答」（☞ 103 ページ）を「受けない」に設定しているときは解除（設定：受ける）されます。（その他の登録した内容、応答メッセージなどは消えません）	−
	受けたファクスが縮小される	● お買い求め時は A4 が約 92 % に縮小されます。 相手の原稿サイズや送りかた（B5 サイズ横向きなど）によっては、さらに縮小されます 。	74

故障かなと思ったとき（続き）

こんなとき		原因と対応	ページ
プリント（続き）	受けたファクスがかすれている	● 相手の原稿の文字などが小さかったり、細かったり、薄いとかすれます。 →「受信印字濃度」を「濃く」に変更してください。 → エコノミー受信の設定を「あり（2）」または「なし」にしてみてください。 → 相手に画質設定を変えて送ってもらってください。	119
		● 当社指定の記録紙を使用していますか？	159
		● 当社指定のインクフィルムを使用していますか？	159
	同じ内容が何度もプリントされる	● 送られてきたファクスの原稿サイズによっては 1 ページが複数枚に渡ることがあり、その途中で記録紙がなくなると再度そのページの最初から印刷し直します。 → 記録紙を多めに（15 枚まで）セットして、プリントが完了するようにしてください。	26・72
	受けたファクスやコピーに白や黒い線、黒い点が入ったり、文字がつぶれたり、伸びたりする	● 記録紙送りローラーまたは記録紙ガイドが汚れていませんか？ → 汚れをふき取ってください。	130
		● ファクス受信中にキャッチホンの信号が入った。 → 再度送ってもらってください。	–
		● ファクス送受信中に並列接続した電話機を使っていませんか？ → 並列接続しないでください。	–
		● ファクスの故障、または電話回線の不良です。 → 局番なしの 113 番へお問い合わせください。 受付時間　24 時間 365 日 ※ 17：00 ～翌日 9：00 までは、録音にて受付しており順次ご対応いたします。 ※故障修理などの対応時間 ： 9：00 ～ 17：00	–
	相手に送ったファクスに白や黒い線が入ったり、文字などがつぶれたり、伸びたりする	● ガラスと白く平らな面が汚れていませんか？ → 汚れをふき取ってください。	130
		● 送信中にキャッチホンの信号が入った。 →送り直してください。	–
		● ファクス送受信中に並列接続した電話機を使っていませんか？ → 並列接続しないでください。	–
	記録紙が詰まる	● ファクス親機内部の給紙ローラーが汚れていませんか？ → 汚れをふき取ってください。 ほこりなどが中に入ると、記録紙が詰まる原因になりますので、ふだんは、記録紙をセットせずに記録紙トレーをたたんでおくことをお勧めします。	128 26
留守番電話	留守番電話の応答メッセージが流れない	● 自作応答メッセージが無音で録音されていませんか？ → 録音し直す、または固定メッセージに戻してください。	81
	外出先から留守番電話を操作できない	● 次の内容を確認してください。 ● トーン（PB）信号（ピッポッパッ）が出せる電話機からかけていますか？ ● 留守電暗証番号を登録していますか？ ● 応答メッセージが終わってから、留守電暗証番号を押していませんか？	82・83 82 82

	こんなとき	原因と対応	ページ
留守番電話（続き）	用件が録音の途中で切れている	● 録音中に 6 秒以上無音が続く、または相手の声が小さいと録音が切れます 。 → メッセージは続けて話す、または大きめの声で話すよう、相手に伝えてください 。	78
	留守番電話の用件を録音できない	● メモリーがいっぱいになっていませんか？ → 不要な用件を消去してください。	79
		● ナンバー･ディスプレイを利用しているときに、「ナンバー･ディスプレイ」の設定が「なし」になっていませんか？ → 設定を「あり」にしてください。	119
	留守番電話のとき、何も録音されていないのに用件が増えている	● 相手が何も話さないで電話を切っています。	−
		● 応答メッセージのあとに手動でファクスを送っています。	−
	用件録音中にファクス受信に切り替わってしまう	● 約 6 秒以上相手が話さなかったときや、声が小さいときは、ファクス受信に切り替わります。	78
SDメモリーカード	用件を録音しても SD メモリーカードに録音されず、本体メモリーに録音される	● 「用件録音先」（☞ 119 ページ）の設定が「本体ﾒﾓﾘｰ固定」になっていませんか？ →「SD ｶｰﾄﾞ 優先」に設定してください。	119
	用件録音先を「SD ｶｰﾄﾞ 優先」に設定しても、本体メモリーに録音される (SD メモリーカードに保存できない)	下記の場合は本体メモリーに録音されます。 ● SD メモリーカードの空き容量がないとき。 ● SD メモリーカードが装着されていないとき。 ● SDHC メモリーカードが装着されているとき。 ● SD メモリーカードがフォーマットされていないとき。 ● SD メモリーカードが書込み禁止になっていたとき。	119
	SDHC メモリーカード、miniSDHC カード、microSDHC カード、マルチメディアカードは使えますか？	● 使えません。	84
	受信したファクスをパソコンなどで見ると画像が粗い	● お買い求め時の設定では、JPEG 形式の画像は TIFF 形式に比べて粗くなっています。 → TIFF 形式の画像を見てください。 → JPEG 形式は、「SD の JPEG 保存形式」を「大」にしておくと、よりきれいに保存されます。	− 119

故障かなと思ったとき（続き）

こんなとき		原因と対応	ページ
呼出音	呼出音が鳴らない	● 呼出音が「切」になっていませんか？ → 音量を調節してください。	116
		● おやすみモードの設定をしていませんか？ → ＊（おやすみ(3秒)） を 3 秒以上押して解除してください。	111
		● 子機の電池が切れていませんか？（子機が鳴らないとき） → 充電してください。	31
		● 子機が親機から離れすぎていませんか？（子機が鳴らないとき） → 親機に近づけてください。	–
		● 電話機コードは、正しく接続されているか確認してください。	28
		● 電源プラグを差し込み直してください。	28
		● 「モデムダイヤルイン」で呼び出し先の設定をしていますか？ → 呼び出し先に設定してください。	109
	呼出音が 鳴り出すのが遅い	● 無鳴動受信の設定をしていませんか？ → かかってきたのが電話かファクスかを判断するため、少し遅く鳴り始めます 。	71
		● 子機では、親機より遅れて鳴ります。	–
	無鳴動受信に 設定しても 呼出音が鳴る	● 次の場合は、無鳴動受信でも呼出音が鳴ります。 ● 電話がかかってきたとき ● 留守セット中（留守ボタン点灯） ● ファクスのメモリーがいっぱいのとき（☞ 22 ページ「メモリー残」） ● 相手が受話器を取って手動でダイヤルし、ファクスを送信したとき	71
		● かけてきた相手の回線や接続機器によっても鳴ることがあります。	–
	ドアホンの 呼出音が鳴らない	● おやすみモードの設定をしていませんか？ → ＊（おやすみ(3秒)） を 3 秒以上押して解除してください。	111
		● U-ドアホンボックスで接続しているとき、「ドアホン設定」が「なし」になっていませんか？ → 設定を「自動」にしてください。	120
		● ファクス本体と U-ドアホンボックスもしくはドアホン親機またはドアホンの電源プラグを差し込み直してください。	–
		● 当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご相談ください。	–

こんなとき		原因と対応	ページ
呼出音（続き）	ナンバー・ディスプレイをお使いのとき、呼出音が鳴らない	● 迷惑電話着信拒否に登録した相手からかかってきていませんか？	104
		● 非通知着信拒否を設定しているとき、非通知の相手からかかってきていませんか？ →「非通知」の設定を「受ける」にしてください。	105
		● 公衆電話着信拒否を設定しているとき、公衆電話からかかってきていませんか？ →「公衆電話」の設定を「受ける」にしてください。	105
		● 表示圏外着信拒否を設定しているとき、表示圏外からかかってきていませんか？ →「表示圏外」の設定を「受ける」にしてください。	105
		● 未登録番号着信拒否に設定しているとき、親機の電話帳に登録していない相手からかかってきていませんか？ → 相手を親機の電話帳に登録してください。 →「未登録番号拒否 / 留守応答」の設定を「受ける」にしてください。	58 103
ナンバー・ディスプレイ	かけてきた相手の電話番号を表示しない	● 当社との契約が済んで、工事が完了していますか？ → 局番なしの 116 番または当社のサービス取扱所へお問い合わせください。	99
		● 構内交換機（PBX）・ホームテレホンに接続していると表示できません。	−
		●「ナンバー･ディスプレイ」の設定が「なし」になっていませんか？ → 設定を「あり」にしてください。	119
		● キャッチホン･ディスプレイの契約をしているときに、「キャッチホン･ディスプレイ」の設定が「なし」になっていませんか？ → 設定を「あり」にしてください。	99
		● ISDN 回線でご使用の場合、ターミナルアダプターの設定を確認してください。	−
		● 相手または本商品が 050IP 電話サービスに加入しているとき、相手の電話番号が表示されないことがあります。 → 050IP 電話サービス事業者にお問い合わせください。	−
	ネーム･ディスプレイを契約しているが、相手の名前を表示しない	● かけてきた相手が名前を通知するように当社に申し込んでいるときだけ表示します。	99
		● ネーム･ディスプレイが利用できない地域もあります。	−
	「表示できません」（子機は「外線着信中」）と表示される	● 電話がかかってきたときに、雑音が多いなど、電話回線の状態が悪いときなどに表示されます。	100
	「表示圏外」と表示される	● 海外など番号を通知できない電話からかかってきています。	100

故障かなと思ったとき(続き)

こんなとき		原因と対応	ページ
こんなときは	正しく操作しても動かない 動作がおかしい	● 直らないときは、下記の操作を行ってみてください。**(リセット)** 〈親機〉1. ストップ を5秒以上押す。 2. はい F1 を押す。 リセットしますか? ● 上記の画面が表示されなかったり、手順1～2を行っても動作がおかしいときは、電源プラグを抜き、10秒以上待ってから接続し直してください。 (「未登録番号拒否／留守応答☞103ページ」を「受けない」に設定しているときは解除(設定:受ける)されます。 その他の登録した内容、応答メッセージなどは消えません) 〈子機〉電池パックを外し、10秒以上待ってから電池パックを入れてください。 (電池残量マークが ▭ になりますが、残量は変わりません。)	– 139
	次々に画面が切り替わり、操作案内が流れる	● 電話機コードを接続せずに放置(約20分後)すると、デモモードになります。 → 電話機コードを接続し、電源コードを抜き、10秒以上待ってから電源コードを接続し直してください。	28
	本体底部の金属部分、子機、充電器が温かい	● 異常ではありません。 (夏は冬に比べて少し熱く感じることがあります) → 異常に熱いときは、電源プラグを抜いて、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご相談ください。	–
	インク残表示の残量が残っているのにインクフィルムがなくなった	● バックカバーを開閉したあとに、はい F1 を押していませんか? → インクフィルムを交換したときは はい F1、交換していないときは いいえ F4 を押してください。	137
	インクフィルムを交換したのにインク残表示の残量が増えない	● インクフィルムを交換したときに、はい F1 を押しましたか? → インクフィルムを交換したときは はい F1、交換していないときは いいえ F4 を押してください。	137
	電話帳が転送できない	● 転送先の電話帳に空きがない。 → 転送先の不要な電話番号を消去して転送し直してください。	59・61
	親機から「ピーピー」と音がする	● 受話器を上げたままにしていませんか? → 受話器を戻してください。	–
	親機の電源ランプは点灯しているが、液晶ディスプレイが消えている	● 本商品を操作しないと、節電のため、約2分後に表示が消えます。(常時表示させることはできません) → ストップ 押すと表示されます。 本商品を操作したり、電話がかかってきたりすると表示されます。	22

こんな表示が出たら （続く）

親　機

	表　示	原因と対応	ページ
A～Z行	SDﾒﾓﾘｰｶｰﾄﾞの 空き容量が不足しています これ以上保存できません	● 留守番電話の用件・通話録音・保存されたファクス・原稿・電話帳で SD メモリーカードがいっぱいになっています。 → 不要な用件などを消去してください。	91・93・96
	SDﾒﾓﾘｰｶｰﾄﾞのﾃﾞｰﾀが いっぱいです	● 留守番電話の用件・通話録音・保存されたファクス・原稿・電話帳で SD メモリーカードがいっぱいになっています。 → 不要な用件などを消去してください。	91・93・96
	SDﾒﾓﾘｰｶｰﾄﾞのﾃﾞｰﾀが 消去されています SDﾒﾓﾘｰｶｰﾄﾞの整理を 実行してください[F4] 押す	● パソコンなどでフォルダやファイルを消去したり、名前を変更したため、本商品で再生できない不要なデータが残っています。 →「SD メモリーカードのデータを整理する」（☞ 98 ページ）を行ってください。	88 98
	SDﾒﾓﾘｰｶｰﾄﾞの読み込みや 書き込みに失敗しました もう一度 SDﾒﾓﾘｰｶｰﾄﾞを 入れ直してください	● データの読み込みや書き込みに失敗しました。 → SD メモリーカードを入れ直してみてください。	88
	SDﾒﾓﾘｰｶｰﾄﾞを入れると この機能が使えます	● SD メモリーカードが入っていません。 → SD メモリーカードを入れてください。	88
ア行	新しい用件が 録音されました	● 通話を録音したときや、下記のときに新しい用件が録音されると表示します。 ● 留守セット中 ● おやすみモードのとき ● 非通知、公衆電話、表示圏外、未登録番号の設定を「録音」にしているとき →用件を再生してください。	48 79 111 103・105 78・79
	印刷できません！　U31 しばらく お待ちください	● 本体が余分な熱を持っていてプリントできません。 →表示が消えるまでしばらくお待ちください。	－
カ行	回線種別が 設定できませんでした 手動設定してください	● 電話の回線種別の自動判定ができませんでした。 →手動で設定してください。	32
	書き込みに失敗しました	● SD メモリーカードへの書き込み中に SD メモリーカードが抜かれたときなど、SD メモリーカードへのデータの書き込みに失敗したときに表示されます。 → SD メモリーカードを入れ直してみてください。	88

こんな表示が出たら(続き)

親　機

表　示	原因と対応	ページ
記録紙がありません　U20 紙を入れてください	● 記録紙が入っていません。 →記録紙を入れてください。 それでも表示が出るときは、詰まった記録紙を取り除き、給紙ローラーの汚れをふき取ったあと、正しく入れてください。 また、ほこりなどが中に入ると、記録紙が詰まる原因になりますので、ふだんは記録紙をセットせずに記録紙トレーをたたんでおいてください。	26･128
記録紙づまりです　U12 操作ﾊﾟﾈﾙとﾊﾞｯｸｶﾊﾞｰを開けて 紙を取り除いてください	● 記録紙が詰まっています。 →詰まった記録紙を取り除き、給紙ローラーの汚れをふき取ったあと、正しく入れてください。 また、ほこりなどが中に入ると、記録紙が詰まる原因になりますので、ふだんは記録紙をセットせずに記録紙トレーをたたんでおいてください。	128 26
原稿づまりです　U13 操作ﾊﾟﾈﾙを開けて 紙を取り除いてください	● 原稿が詰まっていませんか？ →原稿を取り除いてください。	132
	● 600 mm より長い原稿を使っていませんか？ →長さ 600 mm 以下の原稿を使ってください。	77
原稿が残っています　U14 [ｽﾄｯﾌﾟ]を押してください	● 原稿挿入口に原稿が残っています。 → ストップ 押す。(原稿を排出)	132
子機初期化ｴﾗｰ　H82	● 親機に登録している子機の情報が消えています。 → **当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。**	−
このSDﾒﾓﾘｰｶｰﾄﾞは 書き込み保護が かけられています	● SD メモリーカードが書き込み禁止になっていませんか？ → SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチを解除してください。	84
このｶｰﾄﾞには 対応していません	● SDHC メモリーカードやマルチメディアカードなど、本商品で使用できないカードが入っています。 → SD メモリーカードを使用してください。 ● SD メモリーカードが壊れている可能性があります。	84

カ行

親　機

	表　示	原因と対応	ページ
カ行	このSDﾒﾓﾘｰｶｰﾄﾞは 本機で使用できる ﾌｫｰﾏｯﾄではありません	● SD メモリーカードがフォーマットされていません。 → フォーマットしてください。	98
		● 本商品（本機）以外（パソコンなど）でフォーマットされた SD メモリーカードを使用していませんか？ → 本商品（本機）でフォーマットした SD メモリーカードを使用してください。	98
		→この SD メモリーカードをお使いになるときは、パソコンなどに必要なデータを保存したあと、本商品（本機）でフォーマットしてください。	98
		● SD メモリーカードの空き容量が少ないと、必要なフォルダが作成できずに表示されることがあります。 → 空き容量の大きな SD メモリーカードを使用してください。	–
	これ以上読み込めません （本体ﾒﾓﾘｰがいっぱいです）	● 原稿の読み込み中に本体のファクスメモリーがいっぱいになり、原稿を読み込むことができませんでした。 → 本体メモリーのファクスを表示またはプリントして内容を確認したあと、不要なファクスを消去し、もう一度やり直してください。	72
タ行	通信ｴﾗｰ　H40	● 通信エラーで送信できませんでした。 → 当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。	–
	通信ｴﾗｰ　U40	● 下記の原因で送信できなかったときに表示します。 ● 回線状況が悪い。 ● キャッチホンの信号が入った。 ● 相手側が受信を中断した。 ● 相手側の記録紙がなくなっている。 （相手側に確認し、送り直してください。）	66・67
		● 海外に送れなかった。 →「海外送信」を「1 回」に設定して送ってください。	119
	通信ｴﾗｰ　U40 相手が話し中です	● 相手が話し中で送信できませんでした。 →しばらく待ってから送り直してください。	66
	通信ｴﾗｰ　U40 相手の応答がありません	● 相手のファクスが応答しなかったため、送信できませんでした。 →相手に確認してください。	–
	転送できませんでした	● 子機が親機から離れすぎていませんか？ →親機に近づけてください。	23
		● 子機の電池が切れていませんか？ →充電してください。	31
		● 転送先（子機）の電話帳に空きはありますか？ →子機で不要な電話番号を消去してください。	61

こんな表示が出たら（続き）

親　機

	表　示	原因と対応	ページ
タ行	電話機ｺｰﾄﾞを 接続してください	● 電話機コードが正しく接続されていません。 →正しく接続してください。 ● 電話機コードが接続されている場合は、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご相談ください。 （電話回線が何らかの原因で不具合の場合があります）	28 －
	電話帳がいっぱいです 登録できません	● 電話帳に空きがありません。 → 不要な電話番号を消去してください。	59
	電話帳が 登録されていません	● SD メモリーカード内に電話帳が保存されていません。	96
	登録できません　U72	● モデムダイヤルインの番号が正しく登録されていません。 →モデムダイヤルインの番号を正しく登録してください。	109
ナ行	ﾅﾝﾊﾞｰ･ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲが 使えるようになると この機能が はたらきます	● ナンバー･ディスプレイの契約をしていますか？	99
		● ナンバー･ディスプレイの契約をしていても、本商品を接続してから一度も電話がかかってきていないときに表示される場合があります。 →一度電話がかかってくると、表示されません。	－
ハ行	ﾊﾞｯｸｶﾊﾞｰを　U10 閉めてください	● バックカバーが、きちんと閉まっていません。 →きちんと閉めてください。	25
	表示圏外	● ナンバー・ディスプレイの契約をしているときに、海外など番号を通知できない電話からかかってきています。	100
	表示できません	● ナンバー・ディスプレイご利用時、雑音が多いなど、電話回線の状態が悪いときに電話がかかってきています 。	100
	ﾌｨﾙﾑがなくなりました U23 交換してください	● インクフィルムがなくなっています。 →交換してください。	136
		● インクフィルムが正しく入っていません。 →インクフィルムのたるみをとり、正しく入れてください。	24
	保存したﾌｧｸｽがありません	● SD メモリーカード内にファクスが保存されていません。	92

親　機

	表　示	原因と対応	ページ
ハ行	本体ﾒﾓﾘｰがいっぱいです 原稿を読み込めません 不要なﾌｧｸｽを 消去してください	● 本体のファクスメモリーがいっぱいのため、原稿を読み込むことができませんでした。 → 本体メモリーのファクスを表示またはプリントして内容を確認したあと、不要なファクスを消去し、もう一度やり直してください。	72
	本体ﾒﾓﾘｰがいっぱいです 本体に録音できません U82 不要な用件を 消去してください	● 留守番電話の用件・通話録音のメモリーがいっぱいになっています。 → 用件や通話録音を再生したあと、不要な用件などを消去してください。	48・78・79
	本体ﾒﾓﾘｰとSDﾒﾓﾘｰｶｰﾄﾞのどちらの用件も 消去できませんでした	● SD メモリーカードが書き込み禁止になっていませんか？ → SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチを解除してください。	84
マ行	未保存のﾌｧｸｽがありません	● 本体メモリー内に、まだ SD メモリーカードに保存したことがないファクスがありません。	92
	無鳴動 見てから印刷　無鳴動	● 「無鳴動受信」の設定が「常にする」または「ﾀｲﾏｰ」になっています。 →呼出音を鳴らすには、設定を「しない」にする。	71
	ﾒﾓﾘｰがいっぱいです　U81 ﾌｧｸｽ受信できません 不要なﾌｧｸｽを 消去してください	● ファクスのメモリーがいっぱいになっています。 →表示またはプリントして内容を確認したあと、不要なファクスを消去してください。	72
	読み込みに失敗しました	● SD メモリーカードからの読み込み中に SD メモリーカードが抜かれたときなど、SD メモリーカードからのデータの読み込みに失敗したときに表示されます。 → SD メモリーカードを入れ直してみてください。	88
	読み取りｴﾗｰ　U32	● 原稿の読み取りに失敗しました。 →原稿を取り除き、もう一度最初からやり直してください。	–
ラ行	録音中停電　U83	● 用件録音中に停電になり、用件が途中で消えています。 → ストップ を押す。（表示が消える）	–

こんな表示が出たら（続き）

子　機

	表　示	原因と対応	ページ
ア行	親機に接続 できません	● 子機が親機から離れすぎていませんか？ → 親機に近づけてください。	23
		● 親機の電源コードが外れていませんか？ → 電源コードを接続してください。（停電中は使えません）	28
カ行	外線着信中	● 電話がかかってきています。	–
		● ナンバー・ディスプレイご利用時は、雑音が多いなど、電話回線の状態が悪いときに電話がかかってくると表示されます。	100
	圏外 子機1 圏外	● 親機からの電波が届いていません。 →「圏外」が消えるまで親機に近づけてください。	23
		● 親機の電源コードが外れていませんか？ → 電源コードを接続してください。（停電中は使えません）	28
サ行	ｻｰﾁ停止中 再開はF2押す 圏外	● 親機からの電波が届いていない状態（圏外）で約 3 時間が経過しました。（子機は使えなくなっています） → 子機を使えるようにするには、F2 を押す。	–
	使用中 今できません	● 親機で通話または、ファクスを送受信中です。 → 親機を使い終わってから、子機をお使いください。	–
		● 子機が 3 台以上のときに別の子機どうしで通話中ではありませんか？ → 通話が終わってから、子機をお使いください。	–
タ行	通話録音中 残りわずか です	● 留守番電話の用件・通話録音で親機のメモリーが少なくなっています。 → 用件や通話録音を再生したあと、不要な用件などを消去してください。	48・ 78・79
	転送 できません	● 子機が親機から離れすぎていませんか？ → 親機に近づけてください。	–
		● 転送先の子機の電池が切れていませんか？ → 充電してください。	31
		● 転送先の電話帳に空きがありますか？ → 転送先で不要な電話番号を消去してください。	59・61

子　機

	表　示	原因と対応	ページ
タ行	電話帳が いっぱいです	● 電話帳に空きがありません。 → 子機で不要な電話番号を消去してください。	61
ハ行	表示圏外	● ナンバー・ディスプレイの契約をしているときに、海外など番号を通知できない電話からかかってきています。	100
マ行	ﾒﾓﾘｰいっぱい 録音 できません	● 留守番電話の用件・通話録音で親機のメモリーがいっぱいになっています。 → 用件や通話録音を再生したあと、不要な用件を消去してください。	48・78・79
ラ行	録音 できません	● 通話録音の操作を行ったときに親機で登録操作をしていると、通話録音はできません。 → 親機の操作が終わってから、やり直してください。	−

Q&A

Q（質問）	A（答え）	ページ
相手が電話に出なくても電話番号は通知されますか？	相手がナンバー・ディスプレイをご利用になっている場合、相手が電話に出ないときや留守番電話が応答したときも通知されます。	100
ナンバー・ディスプレイで表示された電話番号にかけても相手につながらない。（当社の「現在使われておりません。」のメッセージが流れる）	通知された相手の番号が発信専用として使われている場合、電話をかけてもつながりません。	–
本商品を構内交換機（PBX）、ホームテレホンに接続（ファクスアダプターによる接続）しているとき、本商品のディスプレイに相手の電話番号は表示されますか？	表示されません。	–
携帯電話やPHSなどから、かかってきたとき、電話番号は表示されますか？	デジタル方式の携帯電話（一部業者除く）やPHSなどから、かかってきた場合は表示されます。	–
キャッチホンで割り込んできた通話の電話番号は表示されないのですか？	キャッチホン・ディスプレイを利用して表示することができます。キャッチホン・ディスプレイを利用するには当社との契約が必要です。 ・局番なしの116番または当社のサービス取扱所にお問い合わせください。	101
携帯通話設定は、契約が必要ですか？	契約は必要ありません。	–
携帯通話設定時に、なぜ050IP電話の設定が必要なのですか？	050IP電話サービスと携帯通話設定を同時に利用することはできませんので、050IP電話サービスを一時解除して電話をかけるためです。	38
加入電話選択番号とは何ですか？	050IP電話サービスをご契約時に、050IP電話サービスを一時解除して電話をかけるための番号です。 ・加入電話選択番号を登録するのは、050IP電話サービスを契約している電話機から携帯通話設定を利用する場合に、050IP電話サービスを一時解除して電話をかけるためです。	39
携帯通話設定を利用できる携帯電話は？	国内のすべての携帯電話で利用することができます。 ・衛星船舶サービス、携帯事業者の転送電話サービス、フリーナンバーなどについては利用できません。	–
携帯通話設定中です。「184」「186」は利用できますか？	利用できます。 ・「184/186」+「携帯電話番号」の順にダイヤルしてください。このとき、ポーズ（留守または F2）は入れないでください。	37
携帯通話設定中です。通話相手の携帯電話の表示は？	電話番号のみが表示されます。 （例）03-XXXX-XXXX ※発信者番号を通知している場合 ・事業者識別番号は表示されません。	37

Q（質問）	A（答え）	ページ
携帯通話設定中です。電話につながらないのですが？	通話相手が PHS（070）ではありませんか？ ・PHS にはご利用できません。070X を携帯番号帯に設定しないでください。	–
	ひかり電話サービスを利用していませんか？ ・ひかり電話サービスでは、携帯通話設定をご利用できません。 ・携帯通話設定は行わないでください。	40
	携帯通話設定は正しく設定されていますか？ ・携帯通話設定の事業者選択で「その他」を選び、事業者識別番号に市外局番や存在しない事業者識別番号などを設定すると、相手につながりません。	40
メモリー受信されている内容を消去したい	1 件ずつまたは、すべて消去できます。 （消去した内容は、あとからプリントできません）	72
B4 サイズや A3 サイズのファクスを受信するとどうなる？	およそ A4 サイズになります。ファクス通信の決まりで、送信側のファクスが縮小して送る仕組みです。 ・一部のファクスは除きます。	74
留守番電話の呼出回数を変更したい	「留守呼出回数」で変更できます。	118
在宅時、電話に出るまで呼出音を鳴り続けるようにしたい	「在宅呼出回数」の設定を「自動応答しない」にしてください。	118
かけてきた相手の電話番号を表示したい	当社とナンバー・ディスプレイの契約が必要です。 ・局番なしの 116 番または当社のサービス取扱所にお問い合わせください。本商品の設定は不要です。（お買い求め時）	99
ネーム・ディスプレイには、対応していますか？	対応しています。 ・かけてきた相手が名前を通知するように当社に申し込んでいると、名前を表示します。	100
転居などで電話番号が変わったときは？	新しい電話番号を登録し直してください。 ナンバー・ディスプレイ、キャッチホン・ディスプレイ、ネーム・ディスプレイの契約の内容と、本商品の設定を確認してください。	34 99・119
かかってきた電話を直接転送したい	ボイスワープを利用して転送することができます。ボイスワープを利用するには当社との契約が必要です。 ・局番なしの 116 番または当社のサービス取扱所にお問い合わせください。 ・ただし、電話もファクスも区別なく転送されます。	–
相手がダイヤルインサービスを利用している場合、どのように本商品のディスプレイに電話番号が表示されますか？	以下の 2 つの場合があります。 ・ダイヤルイン内で契約している番号のうちの 1 つが表示されます。 ・企業などでダイヤルインサービスを複数の電話回線を使って利用している場合、相手が使った回線によって表示される番号が異なります。	–

停電になったときには

● 停電のときや親機の電源コードが抜けたときは、親機・子機ともに使えません。

電話をかける・受ける	親機･子機ともにできません。	**親機や子機で通話中**	通話が切れます。
用件録音中	停電するまでに録音した部分は、録音されています。	**用件再生中**	再生が中断します。停電復旧後に、最初から再生することができます。
外からのリモコン再生中	電話が切れます。	**ファクス送信中**	通信は切断、原稿は途中で止まります。「原稿が詰まったとき」（☞ 132 ページ）を参照して原稿を取り除き、送信し直してください。
ファクス受信中	通信は切断されます。停電するまでに受信した内容がメモリーに残ります。見てから印刷を解除していても、停電復帰後に自動的に記録紙にはプリントされません。	**プリント中** **コピー中**	途中までプリントして止まります。「原稿が詰まったとき」（☞ 132 ページ）、「記録紙が詰まったとき」（☞ 128 ページ）を参照して記録紙や原稿を取り除き、プリントやコピーをし直してください。

● 「未登録番号拒否 / 留守応答」（☞ 103 ページ）を「受けない」に設定しているときは解除（設定：受ける）されます。

● 停電しても、以下の情報は消えません。

- 親機・子機に登録した電話帳や上記以外の設定値
- 日付・時刻
- 自作・固定の応答メッセージ
- 留守番電話に録音された用件
- メモリー受信された受信文書
- 通話録音された内容
- 親機・子機の着信メモリーに記憶された電話番号
- 親機・子機の再ダイヤルに記憶された電話番号

重要な内容は必ずメモに取るなどして保管しておいてください。

記憶内容が変化、消失したことによる損害については、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
お客様または第三者などが本商品の取り扱いを誤ったとき、本商品のメモリーなどが静電気ノイズの影響を受けたとき、故障修理などのとき、誤動作や子機の電池切れなどの外部要因により、まれに記憶内容が変化、消失することがあります。

● 停電復旧時にオープニングツアー（☞ 29 ページ）が始まる場合があります。

● 約 3 時間停電が続くと、子機に「ｻｰﾁ停止中 再開は F2 押す」が表示されます。停電復旧時には、子機の F2 を押してください。

別売品／消耗品について

別売品

より便利にお使いになるための別売品が用意されています。別売品をご利用になるときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。

■増設用子機

子機は、最大 6 台まで使うことができます。増設用の子機には、充電器がセットされています。

2.4G デジタルコードレス電話機「P7」

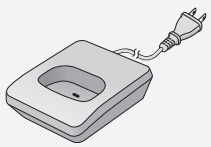
本商品に付属の子機と同じものです。



■充電器

付属の充電器以外の場所で子機を充電できるように、充電器があります。

2.4G デジタルコードレス電話機「P6」充電器「W」



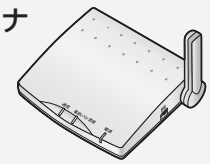
■ドアホン／ U-ドアホンボックス

ドアホンが 2 台まで接続できます。玄関や勝手口などで来客との対応ができる各種ドアホンなどを用意しています。

■中継アンテナ

親機と子機の距離が離れていたり、壁などの障害物で、子機での通話が途切れるときは、中継アンテナをご利用ください。

中継アンテナ



消耗品

消耗品については、**パーツサービスセンタ（ 0120-86-8289）**またはお買い求めになった販売店にお申し付けください。

■記録紙

記録品質への悪影響および故障の原因となることがありますので、当社指定の記録紙以外はご使用にならないでください。

普通紙 A4

[A4 サイズ (250 枚 1 組)]

Panasonic 製普通紙ファクス用記録紙 [A4 サイズ (250 枚 1 組)] もご使用できます。

品番：KX-FAN150A4

■インクフィルム

ファクシミリ用 P 形 A4 インクリボン(11)

Panasonic 製インクフィルム（15m）もご使用できます。

品番：KX-FAN190（15 m）

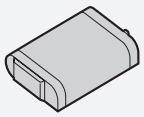
ファクシミリ用 P 形 A4 インクリボン(14)

- ファクシミリ用 P 形 A4 インクリボン(11)を 2 本セットした商品です。

■電池パック

子機の電池パックを交換するときにご利用ください。

電池パック－ 092



索引

記号、数字、アルファベット

＃（シャープ）ボタン.....19・20
＊（スター）ボタン.....19・20
184（電話番号非通知）.....99
186（電話番号通知）.....99
3人で話す（3者通話）.....56
Fネット.....75・119
LCDコントラスト.....120
SDメモリーカード.....84
　JPEG保存形式.....119
　入れる／取り出す.....88
　原稿（保存）.....94
　残量表示.....85
　データ整理.....98
　電話帳（保存／読み込み）.....96
　ファイル形式.....87
　ファクス（表示／プリント）92
　ファクス（保存）.....92
　フォーマット.....98
　フォルダ構造.....87
　保存枚数.....85
　用件（再生／保存）.....90
　録音時間.....85
U-ドアホンボックス...133・159

【ア　行】

あなたの電話番号.....34・118
あなたの名前.....34・118
暗証番号を登録する.....82・119
あんしん応答.....52
アンテナ.....17・28
アンテナレベル.....23
インクフィルム.....16・159
　取り付け.....24
　交換.....136
　残量表示.....120・137
　捨てるとき.....137
液晶ディスプレイ.....22
エコノミー受信.....74・119
エニーキーアンサー.....46・122
応答メッセージ.....80
応答メッセージ一覧.....123
オープニングツアー.....29
お手入れ.....138
オフフック応答.....122
おやすみタイマー.....112・118
おやすみ特定着信.....113・120
おやすみモード.....111
音質を変える.....114
音声内線呼び出し.....117・121
音量を変える.....116

【カ　行】

カーソル.....124・126
海外送信.....67・119
海外へ送る.....67
外出先からドアホンに出る...135
外出先から留守番電話を聞く..82
回線種別.....32・118
回線の設定.....32
画質.....66・76
紙詰まり.....128・132
かんたん再ダイヤル.....45
キー確認音.....120・122
キーロック.....110
機能一覧表.....118・122
機能登録の内容をプリント...118
キャッチホン.....49
キャッチホン・ディスプレイ
　.....101・119
給紙ローラー.....129
記録紙.....16・26・159
記録紙送りローラー.....131
記録紙ガイド.....128・131
記録紙スタンド.....17・26
記録紙詰まり.....128
記録紙トレー.....17・26
記録紙について.....77
記録紙のセット.....26
クイック通話.....44・122
携帯通話設定.....39・40・120
携帯番号帯設定.....42・120
原稿送りローラー.....132
原稿ガイド.....17・66・76
原稿挿入口.....17
原稿について.....77
原稿詰まり.....132
原稿ふた.....17・66・76
原稿読み取り部.....131
公衆電話（着信）拒否／留守応答
　.....105・119
構内交換機（PBX）.....44・67
子機の名前登録.....35・122
固定の応答メッセージ.....81
コピー.....76

【サ　行】

サーマルヘッド.....128・130
再ダイヤル.....45・67
在宅呼出回数.....70・118
自作の応答メッセージ
　消去.....81・119
　録音.....81・119
自動でファクスを受ける
　（自動受信）.....70・71・119
シャープ（＃）ボタン.....19・20
受信印字濃度.....74・119
充電（子機）.....31
充電器.....16・21・159
出荷時へ戻す....12・121・122
受話音量.....116
受話器.....16・17・28
受話器コード.....16・17・28
受話器用モジュラージャック..17
受話口（子機）.....20
消耗品.....159
スター（＊）ボタン.....19・20
スピーカー.....17・21
スピーカー音量.....116
スピーカーホン（子機）.....45
操作案内.....36・118
操作パネル.....17・18
送話口（子機）.....20

【タ　行】

ダイヤル（DP）回線.....32・44
短縮ダイヤル
　印刷（プリント）.....65・119
　電話をかける.....45
　登録／消去.....64・65
　ファクスを送る.....67
着信拒否
　公衆電話着信拒否.....105
　迷惑電話着信拒否.....104
　非通知着信拒否.....105
　表示圏外着信拒否.....105
　未登録番号着信拒否.....103
着信鳴り分け
　.....106・119・122
着信メモリー.....102
中継アンテナ.....159
通話拒否.....50
通話録音.....48
ディスプレイ.....22
停電.....158

転送
電話帳 .....62・118・122
用件転送 83
電池カバー（子機） .....21・31
電池残量(子機) 23
電池パック(子機) .....16・159
回収・リサイクル 139
交換 139
残量 23
取り付け 31
電話を受ける 46
電話をかける 44
短縮ダイヤルでかける 45
電話帳でかける 45
電話を取りつぐ(転送する) 56
電話回線種別 32
電話回線用モジュラージャック....17
電話機コード .....16・28
電話帳
印刷(プリント)
.....59・61・118
全消去 .....119・122
転送 .....62・118・122
電話をかける 45
登録／修正／消去(親機)
.....58・59
登録／修正／消去(子機)
.....60・61
ファクスを送る 67
電話番号を登録する.....34・118
ドアホン .....133・159
U- ドアホンボックス.....159
外出先からの操作.....135
接続 134
ドアホン設定.....120・133
ドアホンワープ.....120・135
内線番号 133
来客応対 134
トールセーバー .....82・118
トーンボタン .....19・20
登録リスト印刷 118

【ナ　行】

内線通話 54
内線転送(電話を取りつぐ) 56
内線番号 .....54・55・133
名前をつける(子機) ....35・122
ナンバー・ディスプレイ
.....99・119
ネーム・ディスプレイ.....100

【ハ　行】

バックカバー 17
ハンズフリー（子機） 45
非通知(着信)拒否／留守応答
.....105・119
日付・時刻の設定 .....33・118
表示圏外(着信)拒否／留守応答
.....105・120
ファクスを送る 66
短縮ダイヤルで送る 67
電話帳で送る.....67
ファクス親切案内...67・69・118
ファクス専用 70
ファニーボイス(子機) ....47・115
付属品.....16
プッシュ（PB)回線 32
プッシュホンサービス.....44
プリント可能範囲 .....74・77
分割コピー.....76・121
別売品.....159
ボイスセレクト .....47・114
ボイスチェンジ(子機) 47・115
保留.....47
保留通知音(子機) .....47・122

【マ　行】

マイナンバー 108
待受時間(子機) 23
マルチファンクションキー
.....19・21
見てから印刷.....68・72
未登録番号(着信)拒否／留守応答
.....103・120
無鳴動受信.....71・119
迷惑電話着信拒否 .....104・120
迷惑電話注意 .....107・120
メモリー残量(親機) 22
メモリー受信 68
文字入力
入力のしかた(親機) 124
入力のしかた(子機) 126
文字の種類.....124・126
挿入／修正／消去
.....124・126
文字列一覧表.....125・127
文字表示サイズ切替..... 120
モデムダイヤルインサービス
.....108・121

【ヤ　行】

用件
聞き直し 79
再生(本商品で) .....78・79
再生(外出先から) 82
消去する .....78・79
全消去 119
転送する .....83・119
録音先 .....78・119
録音時間 .....80・119
用件転送.....83・119
呼出音
音量 116
在宅呼出回数..... 118
種類(ベル／メロディ) 117
変更する ....117・118・122
留守呼出回数..... 118
読み上げダイヤル .....36・118
読み取り可能範囲 77

【ラ　行】

リセット..... 148
留守応答.....81・119
留守セット..... 78
留守電暗証番号 .....82・119
留守電リモート再生
.....83・119
留守呼出回数.....70・118
連続通話時間(子機) 23
録音時間と件数 .....80・85

主な仕様

●認証番号は、商品の背面に記載しております。
●外観・仕様は予告なしに変更することがあります。

親　機

電源	AC100 V（50 Hz/60 Hz）
消費電力	待機時　：約 1.2 W （F ネットの設定が「なし」の場合） 最大時　：約 130 W （真っ黒の原稿をコピーするとき） コピー時：約 18 W 送信時　：約 10 W 受信時　：約 15 W
外形寸法 （高さ×幅×奥行）	約 86 × 296 × 191 mm （受話器・突起部除く） 約 265 × 296 × 231 mm （記録紙トレーオープン時、 受話器・突起部除く）
質量	約 2.5 kg （お試し用インクフィルム 10 m 装着時）
使用環境	温度 5 ℃～ 35 ℃　湿度 45 %～ 85 %
適用回線	電話回線 ・ダイヤル（DP）回線 ・プッシュ（PB）回線 ファクシミリ通信網
直流抵抗値	275 Ω
形式	送受信兼用　G3 機
原稿サイズ	定型サイズ：A4 ～ A5 最大：幅 210 mm × 長さ 600 mm 最小：幅 128 mm × 長さ 128 mm
有効読取幅	208 mm（A4）
有効記録幅	202 mm（A4 普通紙）
電送時間 ※1	約 15 秒（独自モード）
通信速度	9600／7200／4800／2400 bit／s 自動切替（フォールバック機能）
写真（ハーフトーン）	64 階調
走査線密度	主走査：8 画素／ mm 副走査：7.7 本／ mm（小さい） 3.85 本／ mm（ふつう）
読取方式	密着イメージセンサーによる読取
記録方式	熱転写記録方式による普通紙記録
データ圧縮方式	モディファイドハフマン（MH）・独自
記録紙サイズ	A4 カット紙：210 mm × 297 mm
留守番電話	応答メッセージ　：デジタル録音方式 オリジナル（約 16 秒） 固定内蔵 留守番録音　：デジタル録音方式 合計録音時間　：最大約 12 分 ※2
対応カード種類	SD メモリーカード ※3 ： 8 MB ～ 2 GB
SD メモリー カード容量	受信ファクスなどの画像情報： 最大 100 件（最大約 5000 枚 ※4） （2 GB SD メモリーカード時） 通話録音などの音声情報： 最大 500 件 （最大約 68 時間） （2 GB SD メモリーカード時） 電話帳：最大 10 ファイル （最大 1500 件）
SD メモリー カード記録方式	画像情報：JPEG 方式、TIFF 方式 音声情報：WAVE（μ -Law）方式
SD メモリー カード フォーマット	FAT16 ／ FAT12

■本体メモリー容量のめやす

音声	用件録音・通話録音・ 自作応答メッセージの合計 最大約 12 分 ※2
画像	メモリー受信　最大約 50 枚 ※4

- 写真や文字の多い原稿は受信できる枚数が少なくなります。（例：A4 サイズの新聞を画質「ふつう字」で受信･･･最大約 8 枚）
- 録音件数が 50 件になると録音できなくなります。
- ファクス受信枚数が 50 枚になると受信できなくなります。
- SD メモリーカード容量について（☞ 85 ページ）

子　機

電源	専用ニッケル水素蓄電池 （専用ニッケル水素電池） （DC 3.6 V）（650 mAh）
外形寸法 （高さ×幅×奥行）	約 171 × 44.5 × 33.5 mm
質量	約 157 g（電池パック含む）
使用環境	温度 5 ℃～ 35 ℃　湿度 45 %～ 85 %
無線通信方式	2.4 GHz 周波数ホッピング方式
使用時間	連続通話時間　：約 5 時間 ※5 待受時間　　：約 150 時間 ※5
充電時間	約 10 時間 ※6
使用可能距離	約 100 m ／見通し距離

子機用充電器

電源	AC100 V（50 Hz/60 Hz）
消費電力	待機時：約 0.5 W （子機を充電器から外しているとき） 充電時：約 1.2 W
外形寸法 （高さ×幅×奥行）	約 34 × 72.5 × 100.5 mm
質量	約 160 g
使用環境	温度 5 ℃～ 35 ℃　湿度 45 %～ 85 %

※ 1 電送時間：A4 サイズ 700 字程度の原稿を標準的画質（8 × 3.85 本／ mm）で高速モード（9600 bit ／ s）で送ったときの速さです。これは画像情報のみの電送時間で通信の制御時間は含まれておりません。なお、実際の通信時間は原稿の内容・相手機種・回線状態により異なります。
※ 2 録音に無音状態が含まれると、録音できる時間は長くなります。
※ 3 miniSD カード、microSD カード含む（miniSD カード、microSD カード使用時はアダプター装着）
※ 4 A4 サイズ 700 字程度の原稿を標準的画質（8 × 3.85 本／ mm）で受信したときの枚数です。
※ 5 充電完了した状態で、使用環境温度が 20 ℃のとき
※ 6 使用環境温度が 20 ℃、電源電圧が AC100 V のときの時間です。使用環境温度が低いときや、電源電圧が低いときは、充電時間が長くなります。

保守サービスのご案内

●保証について

保証期間（1 年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたします。
（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。ただし、電池パック、インクフィルムを除く。）

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。
当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしております。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	●毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	●修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ●当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要になります。

●故障の場合は

故障した場合のお問い合わせは局番なしの 113 番へご連絡ください。
受付時間　24 時間 365 日
※17：00 ～翌日 9：00 までは、録音にて受付しており順次ご対応いたします。
※故障修理などの対応時間 ： 9：00 ～ 17：00

- 修理時に、本商品に登録された電話帳などのデータが消失する場合がありますが、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
登録した電話帳などの重要な情報は、修理を依頼する前にプリントしたりメモして保管してください。

●お話し中調べは

お話し中調べは局番なしの 114 番へご連絡ください。

●その他

定額保守サービスの料金については、NTT 通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT 通信機器お取扱相談センタ

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

●本商品の取り扱いに関するお問い合わせ

0120−970413
（03−5667−7100※）
※携帯電話・PHS・050IP電話用　通話料金がかかります

受付時間　9：00～21：00
※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

●本商品の取り扱いに関するお問い合わせ

0120−248995
（携帯電話・PHSからも利用可能です）

受付時間　9：00～21：00
※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

●補修用部品の保有期間について

この商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7 年間保有しております。

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ: http://web116.jp/ced/
http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

使いかたなどでご不明の点がございましたら、NTT 通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■NTT 東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

●本商品の取り扱いに関するお問い合わせ

フリーアクセス 0120−970413

（03−5667−7100※）

※携帯電話・PHS・050IP電話用　通話料金がかかります

受付時間　9：00〜21：00

※年末年始12月29日〜1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT 西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

●本商品の取り扱いに関するお問い合わせ

お問い合わせ先： 0120−248995

（携帯電話・PHSからも利用可能です）

受付時間　9：00〜21：00

※年末年始12月29日〜1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

©2008 NTTEAST・NTTWEST

NTT

本2979-1(2008.9)
G3-<P267PDW/P267PD>-FAXﾄﾘｾﾂ
PNQX1611ZA

P267PD